

感染症発生動向調査事業報告書

令和5年
(2023年)



東京都保健医療局

序

感染症発生動向調査事業は、感染症発生状況の把握・分析、情報提供による感染症の発生及びまん延防止を目的として行われており、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく事前対応型の感染症対策として位置づけられています。東京都健康安全研究センターでは、所内に東京都感染症情報センターを設置し、都内の感染症の発生状況や病原体の検出状況等を迅速に把握し、解析・評価を行ったうえで都民や医療機関等に情報提供を行っています。

2023年5月にWHOより新型コロナウイルス感染症（COVID-19）についての「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（Public Health Emergency of International Concern : PHEIC）」の終了が宣言されました。2020年1月にPHEICが宣言されて以降、3年以上にわたり国内においては渡航制限や外出自粛、また、基本的な衛生対策の徹底などが厳しく呼びかけられてきましたが、2023年は人々の行動様式も徐々にコロナ前のものに戻っていきました。こうした中、2023年はCOVID-19以外の多くの感染症が増加傾向に転じました。全数把握疾患では、エムポックスが2022年の5件から168件へと大幅な増加を示し、梅毒も前年をさらに上回り3,701件となり、先天梅毒も前年の0件から9件に増加しました。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は1999年に統計をとりはじめて以降最多の141件となりました。また、過去2年間発生がなかった麻しんの発生も相次ぎ、デング熱やマラリアなどの輸入感染症も増加しました。定点把握疾患につきましても、第24週（6月12日～18日）にはヘルパンギーナが、第40週（10月2日～8日）には咽頭結膜熱が、第50週（12月11日～17日）にはA群溶血性レンサ球菌咽頭炎がそれぞれ警報基準に達しました。インフルエンザは2023/2024シーズンにおいては第37週（9月11日～17日）に「注意報基準」を超えるという例年にみられない状況でした。

本報告書は、東京都感染症予防検討委員会における2023年の感染症発生情報の評価や予防策の検討の結果をまとめたものです。各疾患の発生動向につきまして、五類感染症（定点把握対象）のうち「小児科・内科疾患」と「基幹定点における疾患」は櫻山豊夫委員長に、「眼科疾患」は稲毛佐知子委員に執筆をお願いしました。また、「一～四、五類感染症（全数把握対象）」及び「性感染症」につきましては当センターの疫学情報担当が、「病原体情報」につきましては同じく微生物部が担当しました。

末筆になりましたが、感染症発生動向調査事業にご協力くださいました東京都医師会、定点医療機関および保健所等の関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

関係各位におかれましては、感染症対策の一助として本書を広くご活用くださいますようお願い申し上げます。

令和6年（2024年）5月

東京都健康安全研究センター所長 吉村 和久

目 次

第1章 東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患	3
(2) 定点医療機関	3
表1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数	3
(3) 運営方法	3
(4) 情報発信	4

2 2023年の概況

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等	4
(2) 五類感染症（定点把握対象）	6
(3) 疑似症	8
表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(一～四類、五類全数等)	9
表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(全数動物)	10
表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(インフルエンザ/COVID-19 定点・小児科定点)	11
表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(眼科定点)	12
表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(基幹定点週報告分)	12
表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(基幹定点月報告分)	13
表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(性感染症定点)	13

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等	14
ア 一類感染症	14
イ 二類感染症	14
ウ 三類感染症	14
エ 四類感染症	17
オ 五類感染症（全数把握対象）	22
カ 新型インフルエンザ等感染症	36
表3-1 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 週別患者報告数	38
表3-2 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 保健所別患者報告数	41
表3-3 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等 年齢階級別患者報告数	44
(2) 小児科・内科疾患	47
ア インフルエンザ	47
イ 新型コロナウイルス感染症	49
ウ R S ウイルス感染症	50
エ 咽頭結膜熱	51
オ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52
カ 感染性胃腸炎	53
キ 水痘	54

ク	手足口病	55
ケ	伝染性紅斑	56
コ	突発性発しん	57
サ	ヘルパンギーナ	58
シ	流行性耳下腺炎	59
ス	不明発しん症	60
セ	川崎病	61
(3)	眼科疾患	62
ア	急性出血性結膜炎	62
イ	流行性角結膜炎	63
(4)	基幹定点医療機関における週報告疾患	64
ア	細菌性髄膜炎	64
イ	無菌性髄膜炎	65
ウ	マイコプラズマ肺炎	66
エ	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	67
オ	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	68
カ	インフルエンザ入院	69
キ	新型コロナウイルス感染症入院	70
(5)	基幹定点医療機関における月報告疾患	71
ア	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症	71
イ	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	72
ウ	薬剤耐性緑膿菌感染症	73
(6)	性感染症	74
ア	性器クラミジア感染症	74
イ	性器ヘルペスウイルス感染症	75
ウ	尖圭コンジローマ	76
エ	淋菌感染症	77
オ	膣トリコモナス症	78
表 4-1	週別患者報告数（インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹）	79
表 4-2	週別定点当たり患者報告数（インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹）	81
表 5-1	保健所別患者報告数（インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹）	83
表 5-2	保健所別定点当たり患者報告数（インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹）	85
表 6	年齢階級別患者報告数（インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹）	87
表 7-1	二次医療圏別患者報告数（インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹）	89
表 7-2	二次医療圏別定点当たり患者報告数（インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹）	90
表 8-1	月別患者報告数（基幹）	91
表 8-2	月別定点当たり患者報告数（基幹）	91
表 8-3	月別・性別患者報告数（基幹）	91
表 8-4	性別・年齢階級別患者報告数（基幹）	92
表 9-1	月別患者報告数（性感染症）	92

表 9-2	月別定点当たり患者報告数（性感染症）	92
表 9-3	月別・性別患者報告数（性感染症）	93
表 9-4	月別・性別定点当たり患者報告数（性感染症）	93
表 9-5	保健所別、二次医療圏別患者報告数（性感染症）	94
表 9-6	保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数（性感染症）	95
表 9-7	年齢階級別患者報告数（性感染症）	96
表 10	検査結果別報告数（基幹）	96
表 11	入院サーベイランス 入院時の状況	97

第2章 東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

1 ウイルス検査結果

(1)	小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体	101
ア	インフルエンザ	101
イ	RSウイルス感染症	107
ウ	咽頭結膜熱	107
エ	感染性胃腸炎	108
オ	水痘	110
カ	手足口病	110
キ	伝染性紅斑	111
ク	突発性発しん	111
ケ	ヘルパンギーナ	112
コ	流行性耳下腺炎	113
サ	不明発しん症	114
シ	川崎病	115
ス	無菌性髄膜炎	116
(2)	眼科病原体定点医療機関からの搬入検体	116
ア	流行性角結膜炎	116
(3)	性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体	117
ア	性器ヘルペスウイルス感染症	117
イ	尖圭コンジローマ	117
(4)	積極的疫学調査による搬入検体	117
ア	二類感染症	117
イ	四類感染症	117
ウ	五類感染症（全数把握疾患）	118
エ	指定感染症等	119

2 細菌検査結果

(1)	二類感染症の病原体検索	120
ア	ジフテリア	120
(2)	四類感染症の病原体検索	120

ア	レジオネラ症	120
(3)	五類感染症（全数把握対象）の病原体検索	120
ア	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	120
イ	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	120
ウ	侵襲性インフルエンザ菌感染症	122
エ	薬剤耐性アシネトバクター感染症	122
オ	侵襲性肺炎球菌感染症	122
カ	バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症	122
キ	侵襲性髄膜炎菌感染症	123
ク	百日咳	123
(4)	五類感染症（定点把握対象）の病原体検索	123
ア	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	123
イ	感染性胃腸炎	123
ウ	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症	123
エ	マイコプラズマ肺炎	123
(5)	性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体	123
ア	クラミジア・トラコマチスおよび淋菌	123
イ	膣トリコモナス	124

第3章 資料

1	東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿	129
2	東京都感染症予防検討委員会委員名簿	148
3	東京都感染症発生動向調査事業の流れ	149
	東京都感染症発生動向調査事業実施要綱	150
	別表1 感染症法に基づく感染症の分類	162
	別表2 五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期	166
	別表3 疑似症の調査単位と報告時期	167
	別記様式一覧表	168

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膣トリコモナス症を性感染症に加えている。

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症定点 36 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点はインフルエンザ／新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 定点としての機能も果たしている (新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) については令和 5 (2023) 年 5 月 8 日から)。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2023 年 12 月 31 日現在)

定点種別 (疾患数)	患者定点数	病原体定点数
小児科定点 (14)	264	26
内科定点 (2)	155	15
眼科定点 (2)	39	4
基幹定点 (10)	25	21
性感染症定点 (5)	55	4
疑似症定点	36	

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに (五類感染症は 7 日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん及び麻しんは診断後直ちに) 医療機関等から保健所に届出が行われる。小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患 (薬剤耐性菌による感染症) については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関 (薬剤耐性菌による感染症を除く) は年齢及び検出病原体名を保健所に報告する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の性別・年齢別患者数、基幹定点医療機関 (薬剤耐性菌による感染症) は当該月の患者の年齢、検体採取部位を保健所に報告する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診察された場合に直ちに保健所に報告する。

医療機関等からの保健所への報告は原則として、感染症サーベイランスシステムへの入力による (令和 5 年 4 月 1 日より、医師が届出を行う場合には、本システムによる報告が努力義務化 (厚生労働省令で定める感染症指定医療機関は義務化) された)。東京都健康安全研究センター疫学情報担当 (基幹地方感染症情報センター) (以下、疫学情報担当という) は、保健所からの情報を確認後、国へ報告する。

また、疑似症については、保健所は随時、保健医療局感染症対策部防疫課（以下、防疫課という）へ報告する。保健所からの報告を受けた防疫課は、疫学情報担当へ報告し、両者で検討の上、国へ報告する。

（４）情報発信

患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果とともに、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページで公開し、広く都民に情報還元を図っている。また、感染症週報には、東京都医師会発行の情報誌から引用した「感染症豆知識」の記事を掲載し、感染症に関する情報発信に繋げている。

さらに、隔月第４木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において、直近２カ月分の情報について討議し、その情報は情報誌に「感染症だより」として掲載されている。

２ 2023年の概況

（１）一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）の届出はなかった。結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

コレラ：２件の届出があった。いずれも血清型はO1であり、推定感染地は国外であった。

細菌性赤痢：９件の届出があった。菌種は*S.flexneri* ４件、*S.sonnei* ５件であった。推定感染地は国内２件、国外７件であった。

腸管出血性大腸菌感染症：４４２件の届出があった。診断類型は患者３０４人（うち溶血性尿毒症症候群１１人）、無症状病原体保有者１３８人で、推定感染地は国内３１２件、国外３１件、国内又は国外３件、不明９６件であった。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が１４１件で最多であった。

腸チフス：８件の届出があった。推定感染地は国内１件、国外６件、不明１件であった。

パラチフス：３件の届出があった。推定感染地は全て国外であった。

エ 四類感染症

E型肝炎：１６６件の届出があった。推定感染地は国内１３８件、国外４件、不明２４件であった。

A型肝炎：１３件の届出があった。推定感染地は国内４件、国外６件、不明３件であった。

エムポックス：１６８件の届出があった。推定感染地は国内１６１件、国外１件、不明６件であった。

チクングニア熱：１件の届出があった。推定感染地は国外であった。

つつが虫病：１０件の届出があった。推定感染地は全て国内で、うち、東京都は８件であった。

デング熱：４４件の届出があった。推定感染地は全て国外であった。

日本紅斑熱：１件の届出があった。推定感染地は国内であった。

ブルセラ症：１件の届出があった。推定感染地は国外であった。

マラリア： 14 件の届出があった。病型は熱帯熱マラリア 9 件、三日熱マラリア 4 件、四日熱型マラリア 1 件であった。推定感染地は全て国外であった。

ライム病： 1 件の届出があった。推定感染地は国内であった。

レジオネラ症： 168 件の届出があった。病型は肺炎型 158 件、ポンティアック熱型 8 件、無症状病原体保有者 2 件であった。推定感染地は国内 132 件、国外 12 件、不明 24 件であった。

レプトスピラ症： 5 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

オ 五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢： 88 件の届出があった。病型は腸管アメーバ症 82 件、腸管外アメーバ症 2 件、腸管及び腸管外アメーバ症 4 件であった。推定感染地は国内 61 件、国外 9 件、不明 18 件であった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）： 43 件の届出があった。病型はB型肝炎 27 件、C型肝炎 10 件、エプスタイン・バーウイルス（EBV）肝炎 3 件、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎 3 件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症： 228 件の届出があった。推定感染地は国内 195 件、国外 2 件、不明 31 件であった。

急性弛緩性麻痺： 6 件の届出があった。推定感染地は国内 4 件、不明 2 件であった。

急性脳炎： 45 件の届出があった。推定感染地は国内 42 件、国外 1 件、不明 2 件であった。

クリプトスポリジウム症： 1 件の届出があった。推定感染地は国外であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病： 20 件の届出があった。病型は孤発性プリオン病・古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）が 14 件、孤発性プリオン病・その他が 1 件（疑い）、遺伝性プリオン病・家族性 CJD が 5 件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症： 141 件の届出があった。血清群は A 群 80 件、B 群 31 件、G 群 24 件、F 群 1 件、不明 5 件であった。

後天性免疫不全症候群： 302 件の届出があった。AIDS 患者 55 人、HIV 感染者 247 人（指標疾患以外の有症候者 26 人、無症候性キャリア 221 人）であった。推定感染地は国内 244 件、国外 15 件、国内又は国外 2 件、不明 41 件であった。推定感染経路は性的接触が 272 件（同性間 218 件、異性間 23 件、両性間 9 件、性別不明 22 件）で最多であった。

ジアルジア症： 12 件の届出があった。推定感染地は国内 3 件、国外 8 件、不明 1 件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症： 53 件の届出があった。血清型は b 型 2 件、f 型 2 件、e 型 1 件、型別不能 32 件、検査未実施 16 件であった。ワクチン接種歴は 4 回 7 件、3 回 5 件、2 回 1 件、なし 7 件、不明 33 件であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症： 4 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

侵襲性肺炎球菌感染症： 218 件の届出があった。血清型が判明したのは 76 件で、最も多い血清型は 3 型と 10A 型の 10 件であった。ワクチン接種歴は 4 回 23 件、3 回 9 件、2 回 1 件、1 回 16 件、なし 60 件、不明 109 件であった。

水痘（入院例）： 59 件の届出があった。推定感染地は国内 51 件、国外 1 件、不明 7 件であった。

梅毒： 3,701 件の届出があった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期 1,564 件、早期顕症梅毒Ⅱ期 1,228 件、晩期顕症梅毒 25 件、無症候 875 件、先天梅毒 9 件であった。性別は男性 2,409 人、女性 1,292 人であった。推定感染地は国内 3,334 件、国外 19 件、不明 348 件であった。推定感染経路は性的接触が 3,511 件（同性間 636 件、異性間 2,507 件、両性間 24 件、性別不明 344 件）で最多であった。

播種性クリプトコックス症： 17 件の届出があった。推定感染地は国内 16 件、国外 1 件であった。

破傷風：7件の届出があった。推定感染地は全て国内で、うち、東京都は6件であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症：9件の届出があった。推定感染地は国内6件、国外1件、不明2件であった。耐性遺伝子型は *vanB* 5件、*vanC* 1件、検査未実施3件であった。

百日咳：116件の届出があった。ワクチン接種歴は4回60件、3回1件、1回4件、なし1件、不明50件であった。

風しん：4件の届出があった。検査診断例は3件、臨床診断例は1件であった。推定感染地は国内3件、不明1件であった。

麻しん：10件の届出があった。検査診断例は9件、修飾麻しん例は1件であった。推定感染地は国内8件、国外2件であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：3件の届出があった。菌種は全て *Acinetobacter baumannii* であった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス感染症：2023年5月8日から五類感染症（定点把握対象）となった。

（2）五類感染症（定点把握対象）

ア 小児科・内科疾患

2023年は、1月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する取り扱いを五類感染症に移行する方針が示され、5月8日には正式に五類感染症に移行された。医療逼迫なども改善され、予防行動が変化するなかで、五類感染症（定点把握対象）の小児科・内科疾患の多くが前年（2022年）に比べて増加した。COVID-19と同様の感染経路と考えられるインフルエンザは前年（2022年）に比べ大きく増加し、過去10年で最高の報告数となった。咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの報告数も前年（2022年）に比べ大きく増加し、それぞれ過去10年では最高の報告数となった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎も前年（2022年）に比べ大きく増加し、例年並みの報告数であった。いっぽうRSウイルス感染症は、前々年（2021年）は過去10年間の平均値の倍以上の報告があったが、前年（2022年）は報告数が大きく減少し例年並みの報告数となり、2023年は前年（2022年）よりもやや減少した。手足口病は、前年（2022年）に2020年、2021年と比較して報告数が大きく増加し、COVID-19流行以前の例年並みの報告数に近づいたが、2023年は減少した。突発性発しんも前年（2022年）に比べ2023年は減少した。その他の疾患は前年（2022年）の報告数を上回った。

なお、COVID-19について2023年19週より対象疾患となったが、2023年の報告数は89,884人、定点当たり217.41人であった。

【前年比減少疾患】

RSウイルス感染症：2023年の報告数は7,000人、定点当たり26.90人であった。前年比（定点当たり）は0.91であった。

手足口病：2023年の報告数は7,183人、定点当たり27.58人であった。前年比（定点当たり）は0.42であった。

突発性発しん：2023年の報告数は3,477人、定点当たり13.26人であった。前年比（定点当たり）は0.88であった。

【前年並みであった疾患】

報告数が例年に比べると大きく増加している疾患が多く、前年比で「前年並み」と判断される疾患はなかった。

【前年比増加疾患】

インフルエンザ：2023年の報告数は166,792人、定点当たり402.93人であった。前年比（定点当たり）は48.84であった。

咽頭結膜熱：2023年の報告数は14,418人、定点当たり55.36人であった。前年比（定点当たり）は10.03であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2023年の報告数は25,052人、定点当たり96.27人であった。前年比（定点当たり）は11.83であった。

感染性胃腸炎：2023年の報告数は73,680人、定点当たり283.49人であった。前年比（定点当たり）は1.14であった。

水痘：2023年の報告数は1,666人、定点当たり6.41人であった。前年比（定点当たり）は1.66であった。

伝染性紅斑：2023年の報告数は349人、定点当たり1.34人であった。前年比（定点当たり）は1.97であった。

ヘルパンギーナ：2023年の報告数は16,077人、定点当たり61.77人であった。前年比（定点当たり）は3.59であった。

流行性耳下腺炎：2023年の報告数は593人、定点当たり2.28人であった。前年比（定点当たり）は1.21であった。

不明発しん症：2023年の報告数は645人、定点当たり2.48人であった。前年比（定点当たり）は1.77であった。

川崎病：2023年の報告数は166人、定点当たり0.64人であった。前年比（定点当たり）は1.78であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎：2023年の報告数は21人、定点当たり0.55人、前年比（定点当たり）は6.88であった。

流行性角結膜炎：2023年の報告数は996人、定点当たり25.80人、前年比（定点当たり）は3.14であった。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎：2023年の報告数は36人、定点当たり1.44人であった。前年比（定点当たり）は2.12であった。

無菌性髄膜炎：2023年の報告数は38人、定点当たり1.52人であった。前年比（定点当たり）は2.11であった。

マイコプラズマ肺炎：2023年の報告数は50人、定点当たり2.00人であった。前年比（定点当たり）は7.14であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く）：2023年の報告数は9人、定点当たり0.36人であった。前年比（定点当たり）は0.41であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：2023年の報告数は5人、定点当たり0.20人であった。前年

比（定点当たり）は1.25であった。

インフルエンザ入院：2023年の報告数は878人、定点当たり35.14人であった。前年比（定点当たり）は33.79であった。

新型コロナウイルス感染症入院：2023年39週より対象疾患となった。2023年の報告数は1,052人、定点当たり42.08人であった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：2023年の報告数は693人、定点当たり27.72人であった。前年比（定点当たり）は0.95であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：2023年の報告数は71人、定点当たり2.84人であった。前年比（定点当たり）は1.78であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：2023年の報告数は8人、定点当たり0.32人であった。前年比（定点当たり）は1.00であった。

オ 性感染症

2023年に前年より増加した性感染症は性器クラミジア感染症、淋菌感染症で、減少した性感染症は性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、膣トリコモナス症であった。

性器クラミジア感染症：2023年の報告数は2,660人（定点当たり48.59人）で、前年比は1.16であった。男性の報告数は1,599人（前年比1.19）、女性は1,061人（前年比1.13）であった。

性器ヘルペスウイルス感染症：2023年の報告数は598人（定点当たり10.94人）で、前年比は0.87であった。男性の報告数は374人（前年比0.99）、女性は224人（前年比0.73）であった。

尖圭コンジローマ：2023年の報告数は1,050人（定点当たり19.21人）で、前年比は0.90であった。男性の報告数は737人（前年比0.98）、女性は313人（前年比0.75）であった。

淋菌感染症：2023年の報告数は1,070人（定点当たり19.56人）で、前年比は1.02であった。男性の報告数は770人（前年比1.02）、女性は300人（前年比1.00）であった。

膣トリコモナス症：2023年の報告数は79人（定点当たり1.44人）で、前年比は0.76であった。男性の報告数は5人（前年比4.50）、女性は74人（前年比0.72）であった。

（3）疑似症

9件の報告があり、そのうち小児の急性肝炎の報告は5件であった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一～四類、五類全数)

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-
	結核	2,213	1,970	1,810	1,589	1,429	1,193	集計中
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群 ^{*9}	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1) ^{*1}	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*6}	-	-	-	-	-	-	-
三类	コレラ	2	-	2	-	-	1	2
	細菌性赤痢	34	109	27	11	2	2	9
	腸管出血性大腸菌感染症	467	466	388	332	329	356	442
	腸チフス	8	11	3	2	1	6	8
	パラチフス	6	10	4	1	-	4	3
四類	E型肝炎	57	101	128	118	113	131	166
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	65	421	143	24	14	6	13
	エキノкокクス症	1	-	-	-	1	3	-
	エムポックス ^{*14}	-	-	-	-	-	5	168
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	-	2	3	1	-	4	-
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	2	-	-	-	-	-	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	2	-	-	1	-	-
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	1	-	-	3	-	-	-
	ジカウイルス感染症 ^{*10}	-	-	-	-	-	-	-
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*4}	-	-	1	-	-	1	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 ^{*2}	3	-	11	-	-	1	1
	つつが虫病	13	12	12	21	12	14	10
	デング熱	65	61	130	13	-	26	44
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	1	-	-	-	4	-	1
	日本脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-	-
ブルセラ症	-	-	1	-	-	-	1	
ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-	
ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	
発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-	
ボツリヌス症	2	1	-	1	1	1	-	

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
四 類	マラリア	27	14	22	6	11	9	14
	野兔病	-	-	-	-	-	-	-
	ライム病	1	1	1	1	-	2	1
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	1	1	-	1	-	-	-
	レジオネラ症	159	164	187	148	163	120	168
	レプトスピラ症	9	5	9	2	3	5	5
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	-
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	219	163	155	116	97	117	88
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	67	69	98	60	49	35	43
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ^{*7}	212	233	237	171	210	208	228
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) ^{*12}	/	8	7	4	2	4	6
	急性脳炎	74	65	81	31	26	28	45
	クリプトスポリジウム症	2	3	4	-	-	2	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	19	25	19	17	12	18	20
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	72	87	126	101	85	107	141
	後天性免疫不全症候群	464	422	406	383	357	288	302
	ジアルジア症	24	19	12	8	8	12	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 ^{*5}	56	40	85	23	20	19	53
	侵襲性髄膜炎菌感染症 ^{*5}	3	6	5	2	-	1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症 ^{*5}	390	401	382	163	128	141	218
	水痘(入院例) ^{*7}	55	61	80	50	32	49	59
	先天性風しん症候群	-	-	2	-	-	-	-
	梅毒	1,788	1,775	1,712	1,579	2,451	3,677	3,701
	播種性クリプトコックス症 ^{*7}	15	18	12	18	14	15	17
	破傷風	9	8	8	8	4	6	7
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	8	7	8	8	12	8	9
百日咳 ^{*11}	/	2,434	1,340	262	69	55	116	
風しん ^{*3}	22	947	860	29	2	4	4	
麻しん ^{*3}	28	23	124	2	-	-	10	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 ^{*8}	6	4	2	-	1	2	3	
新型 [#]	新型コロナウイルス感染症 ^{*13}	/	/	/	68,506	295,833	3,369,318	*13

*1 2008年5月12日より追加指定。

*2 2011年2月1日より追加指定。

*3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*4 2013年3月4日より追加指定。

*5 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。

*6 2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

*7 2014年9月19日より追加指定、2023年5月26日から法令上の名称変更。(変更前はカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

*8 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更。

*9 2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*10 2016年2月15日より追加指定。

*11 2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*12 2018年5月1日より追加指定。

*13 2020年2月1日より指定感染症に追加指定、2021年2月13日より新型インフルエンザ等感染症に変更、

2023年5月8日から五類(定点把握対象)に変更。

*14 2023年5月26日から法令上の名称変更。(変更前はサル痘)

新型インフルエンザ等感染症

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数 (全数動物)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
エボラ出血熱のサル	-	-	-	-	-	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	-	-
ペストのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-
結核のサル	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器症候群のヒトコブラクダ ^{*1}	-	-	-	-	-	-	-

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	-	-	-	-	-	-	3
細菌性赤痢のサル	-	-	-	-	-	-	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
エキノコックス症の犬	-	-	-	-	-	-	-

*1 2014年7月26日より追加指定

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(インフルエンザ/COVID-19 定点・小児科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
小児科定点数	264	264	264	264	264	264	264	264	264	264
インフルエンザ/COVID-19定点数	419	419	419	419	419	419	419	419	419	419
インフルエンザ	152,421 367.55	59,435 145.11	125,207 302.31	129,813 314.14	137,262 331.57	148,861 361.04	33,424 81.86	43 0.11	3,318 8.25	166,792 402.93
新型コロナウイルス 感染症*1										89,884 217.41
RSウイルス感染症*2	6,183 23.70	7,197 27.82	7,021 27.06	8,838 34.47	7,830 30.49	8,682 34.00	570 2.20	16,189 62.94	7,564 29.40	7,000 26.90
咽頭結膜熱	5,607 21.54	5,385 20.77	5,026 19.38	7,322 28.21	4,671 17.96	4,405 17.04	1,506 5.84	1,596 6.19	1,420 5.52	14,418 55.36
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	27,581 105.60	35,039 134.57	31,211 120.13	30,664 117.71	32,120 123.25	29,223 112.95	13,314 51.33	4,014 15.58	2,094 8.14	25,052 96.27
感染性胃腸炎	84,091 322.84	91,052 350.13	110,239 423.72	84,981 326.63	79,282 304.52	77,421 299.71	40,036 154.79	45,400 176.04	63,709 248.04	73,680 283.49
水痘	10,314 39.69	6,765 26.04	5,541 21.34	5,135 19.73	4,515 17.35	5,739 22.25	2,591 10.05	1,287 4.99	990 3.85	1,666 6.41
手足口病	6,089 23.44	32,599 126.39	6,993 26.97	33,056 129.10	8,452 32.65	34,136 132.46	1,020 3.98	2,542 9.82	16,911 65.92	7,183 27.58
伝染性紅斑	5,069 19.44	10,174 39.08	2,485 9.57	1,311 5.04	10,733 41.36	6,071 23.60	465 1.80	265 1.03	174 0.68	349 1.34
突発性発しん	8,120 31.18	7,816 30.10	7,231 27.87	7,056 27.13	6,771 26.05	5,872 22.77	5,610 21.76	5,291 20.53	3,889 15.13	3,447 13.26
百日咳*3	158 0.61	300 1.15	181 0.70	113 0.44						
ヘルパンギーナ	15,874 61.25	7,200 27.91	13,094 50.69	6,812 26.54	8,188 32.01	10,341 40.26	674 2.61	2,595 10.03	4,423 17.23	16,077 61.77
流行性耳下腺炎	3,003 11.57	4,883 18.83	8,526 32.88	2,903 11.16	1,246 4.79	994 3.85	688 2.67	651 2.53	487 1.89	593 2.28
不明発しん症*4	1,158 4.45	1,312 5.06	983 3.79	1,101 4.25	1,073 4.14	817 3.17	492 1.91	443 1.72	360 1.40	645 2.48
川崎病*4	180 0.69	199 0.77	208 0.80	205 0.79	214 0.82	150 0.58	131 0.51	168 0.65	93 0.36	166 0.64

*1 2023年19週より実施

*2 2003年45週より実施

*3 2018年1月1日から全数把握対象疾患

*4 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(眼科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
定点数	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	13 0.34	14 0.36	11 0.28	12 0.31	14 0.37	11 0.29	11 0.29	2 0.05	3 0.08	21 0.55
流行性角結膜炎	913 23.79	1,256 32.49	1,201 31.03	1,219 31.48	1,060 28.22	649 17.35	363 9.62	284 7.51	311 8.21	996 25.80

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	22 0.88	38 1.52	33 1.32	41 1.64	32 1.28	39 1.57	25 1.00	24 0.96	17 0.68	36 1.44
無菌性髄膜炎	102 4.09	73 2.92	77 3.08	39 1.56	33 1.32	48 1.93	32 1.28	25 1.01	18 0.72	38 1.52
マイコプラズマ肺炎	234 9.37	770 30.85	1,047 41.88	237 9.48	230 9.20	349 14.02	169 6.79	19 0.76	7 0.28	50 2.00
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	21 0.84	59 2.36	50 2.00	46 1.84	40 1.60	39 1.56	25 1.01	17 0.68	22 0.88	9 0.36
感染性胃腸炎 *1 (ロタウイルスによる)	134 5.36	99 3.96	108 4.32	235 9.40	110 4.40	188 7.53	8 0.32	4 0.16	4 0.16	5 0.20
インフルエンザ入院 *2	735 29.40	486 19.44	649 25.96	902 36.08	1,113 44.52	1,511 60.49	357 14.28	2 0.08	26 1.04	878 35.14
新型コロナウイルス 感染症入院 *3										1,052 42.08

*1 2013年42週より実施

*2 2011年36週より実施

*3 2023年39週より実施

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	908 36.44	877 35.21	867 34.68	881 35.24	804 32.16	894 35.76	823 32.92	814 32.56	731 29.24	693 27.72
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	186 7.47	158 6.36	138 5.52	105 4.20	102 4.08	96 3.84	22 0.88	42 1.68	40 1.60	71 2.84
薬剤耐性緑膿菌感染症	21 0.84	28 1.12	22 0.88	3 0.12	9 0.36	8 0.32	7 0.28	5 0.20	8 0.32	8 0.32
薬剤耐性アシネト* バクター感染症	0 0.00									

* 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(性感染症定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
定点数	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,427 44.90	2,678 49.09	2,712 49.39	2,294 41.77	2,551 46.46	2,767 50.93	2,116 39.31	2,225 40.69	2,261 41.78	2,660 48.59
性器ヘルペスウイルス感染症	1,298 24.00	1,329 24.36	1,400 25.49	1,279 23.29	1,037 18.88	977 17.98	663 12.31	718 13.14	679 12.54	598 10.94
尖圭コンジローマ	986 18.22	1,237 22.68	1,321 24.06	1,021 18.58	1,051 19.14	1,564 28.81	956 17.72	1,056 19.31	1,157 21.42	1,050 19.21
淋菌感染症	1,259 23.31	1,394 25.55	1,528 27.82	1,109 20.20	1,104 20.11	1,185 21.81	876 16.25	1,018 18.62	1,041 19.26	1,070 19.56
膺トリコモナス症*	127 2.36	151 2.77	117 2.13	110 2.00	128 2.33	118 2.17	100 1.86	95 1.74	103 1.90	79 1.44
梅毒様疾患*	135 2.50	221 4.05								

* 東京都独自疾患、梅毒様疾患は2015年末で終了

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）等

ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況（2023年／令和5年）」で報告する。

② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

ウ 三類感染症

① コレラ

2023年は2件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性1人、女性1人で、年齢階級別では20～29歳1人、40～49歳1人であった。いずれも血清型はO1、抗原型は小川型、生物型はエルトール型、推定感染地はフィリピンであった。推定感染経路は経口感染1件（生野菜、果物、生魚）、不明1件であった。

② 細菌性赤痢

2023年は9件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性7人、女性2人で、年齢階級別では20～29歳3人、30～39歳3人、40～49歳1人、50～59歳1人、80～89歳1人であった。菌種は*S.flexneri* 4件、*S.sonnei* 5件であった。推定感染地は国内2件、国外7件（インド3件、インドネシア、タイ、バングラデシュ、イタリア又はスペイン又はフランス各1件）であった。推定感染経路は経口感染5件、同性間性的接触1件、不明3件であった。

③ 腸管出血性大腸菌感染症

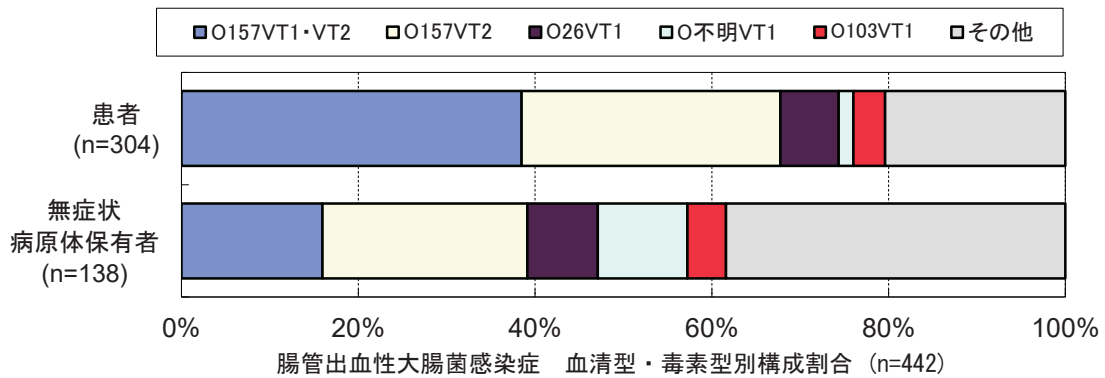
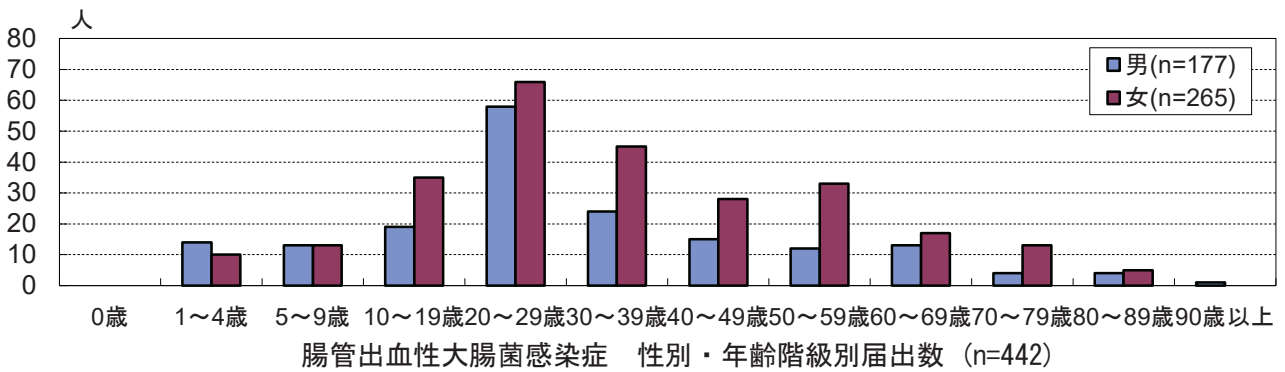
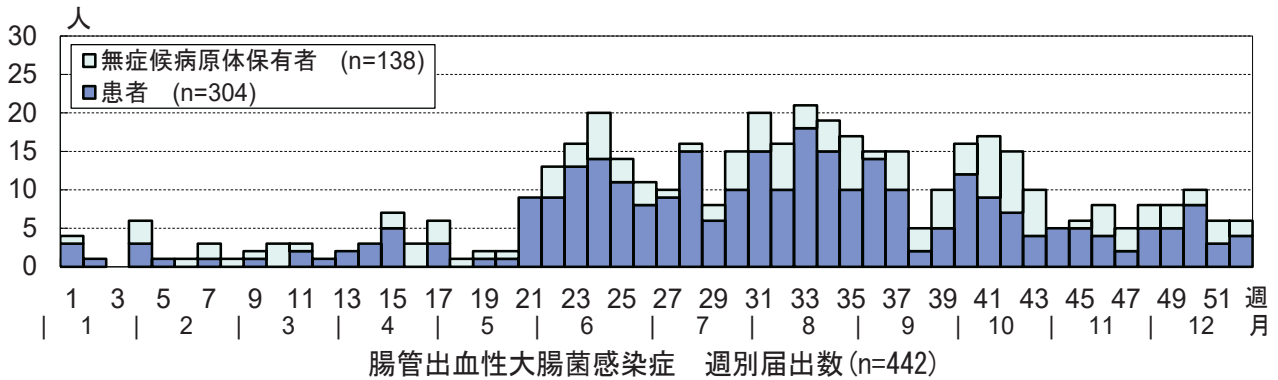
2023年は442件の届出があった。診断類型は患者304人、無症状病原体保有者138人であった。届出の内訳は、性別では男性177人、女性265人で、年齢階級別では10歳未満50人（うち5歳未満24人）、10～19歳54人、20～29歳124人、30～39歳69人、40～49歳43人、50～59歳45人、60～69歳30人、70～79歳17人、80歳～89歳9人、90歳以上1人であった。死亡例は1例（5歳未満）報告された。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が141件で最多であった。

推定感染地は国内312件、国外31件（韓国17件、タイ2件、中国2件、フィリピン2件、ベトナム2件、イタリア、カンボジア、パキスタン、米国、ペルー、ミャンマー各1件）、国内又は韓国2件、国内又はハワイ1件、不明96件であった。

推定感染経路は経口感染180件、接触感染35件、動物・蚊・昆虫等からの感染1件、経口感染又は接触感染5件、経口感染又はその他1件、不明220件であった。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と判明しているものは11人おり、10歳未満4人（うち5歳未満2人）、

10～19歳3人、20～29歳1人、30～39歳1人、50～59歳1人、70～79歳1人であった。



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=446)

血清型	毒素型	人数	血清型	毒素型	人数
O8	VT2	1	O115	VT1	5
O18	VT2	1		VT1・VT2	1
O25	VT1・VT2	1	O121	VT2	3
	VT1	32	O126	VT1	1
O26	VT2	6		VT1	1
	不明	4	O128	VT1・VT2	3
O28	VT2	1	O145	VT2	2
O55	VT1	1	O146	VT2	2
O63	VT2	1	O148	VT2	1
O78	VT1	1		VT1	3
O91	VT1	3		VT2	122
	VT1・VT2	1	O157	VT1・VT2	141
	VT1	19		不明	14
O103	不明	1	O165	不明	1
	VT1	6	O168	VT1	1
	VT2	1		VT1	19
O111	VT1・VT2	1		VT2	16
	不明	1	不明	VT1・VT2	15
				不明	13

4名の感染者で複数の血清型が検出されたため、本表の総数は検出された血清型の延べ数とする。

溶血性尿毒症症候群 (HUS) 発症例 (n=11)

受理週	性別	年齢階級	血清型・毒素型	推定感染	推定感染経路等
15	女	70～79歳	O157 VT2	国内	経口感染 (しゃぶしゃぶ、生野菜)
23	男	10歳未満	O157 VT2	国内	接触感染 (母)
24	女	10歳未満	O157 VT1VT2	国内	経口感染 (ハンバーグ、パスタ、寿司)
26	女	30～39歳	O157 VT2	国内	経口感染 (ホルモン)
27	男	10歳未満	O157 VT2	国内	不明
33	女	10～19歳	O157 VT1VT2	国内	不明
36	男	10歳未満	O157 VT2	国内	経口感染 (焼肉)
38	女	10～19歳	O157 VT2	国内	接触感染 (父)
41	女	20～29歳	血清型・毒素型不明	国内	経口感染 (ミディアムレアの牛肉パテ)
43	女	10～19歳	血清型・毒素型不明	不明	不明
50	女	50～59歳	O157 VT1VT2	国内	経口感染 (ユッケ)

④ 腸チフス

2023年は8件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性5人、女性3人で、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳3人、30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳2人であった。ファージ型はUVS4型5件、A型、D2型、E1型各1件であった。推定感染地は国内1件、国外6件(バングラデシュ2件、パキスタン2件、インド、インドネシア各1件)、不明1件であった。推定感染経路は経口感染2件、接触感染1件、経口感染又は接触感染1件、不明4件であった。

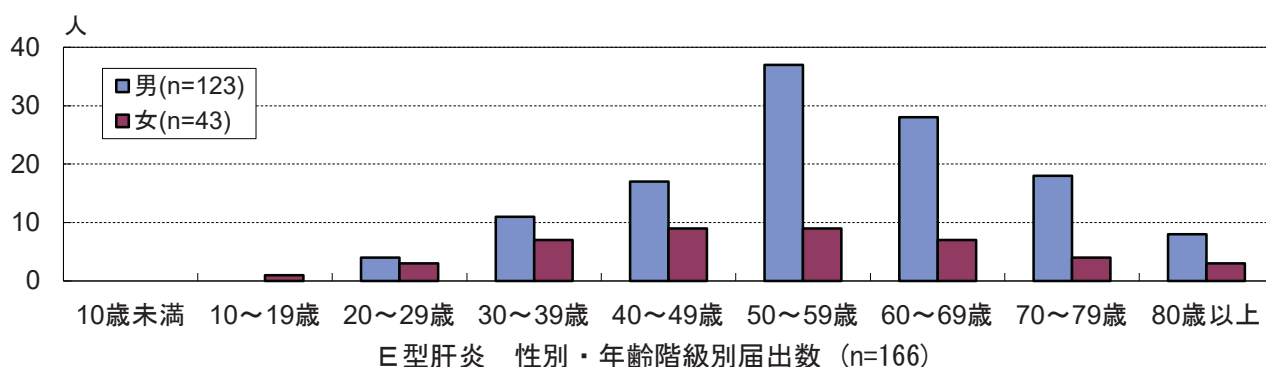
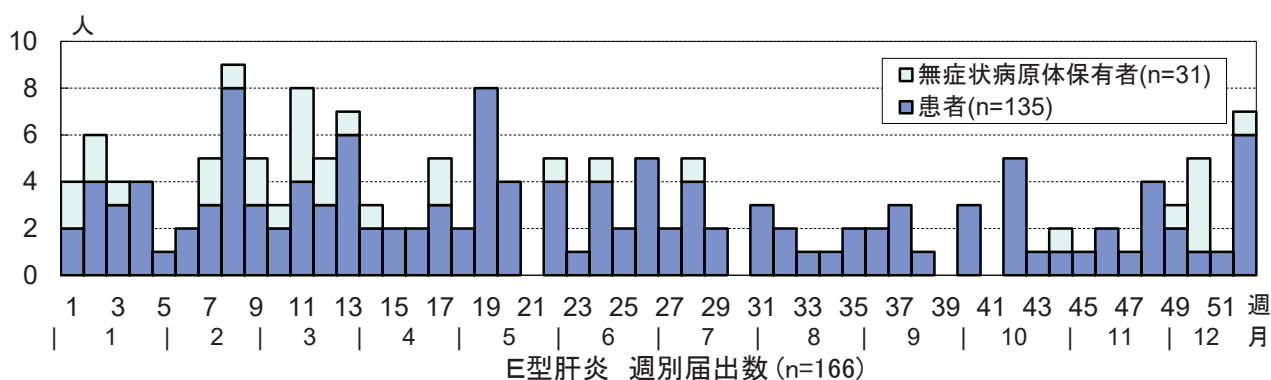
⑤ パラチフス

2023年は3件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性1人、女性2人で、年齢階級別では、10～19歳1人、20～29歳1人、50～59歳1人であった。ファージ型はUT型、1型各1件、未実施1件であった。推定感染地は全て国外（インド2件、バングラデシュ又はメキシコ又はタイ1件）であった。推定感染経路は経口感染1件、経口感染又は接触感染1件、不明1件であった。

エ 四類感染症

① E型肝炎

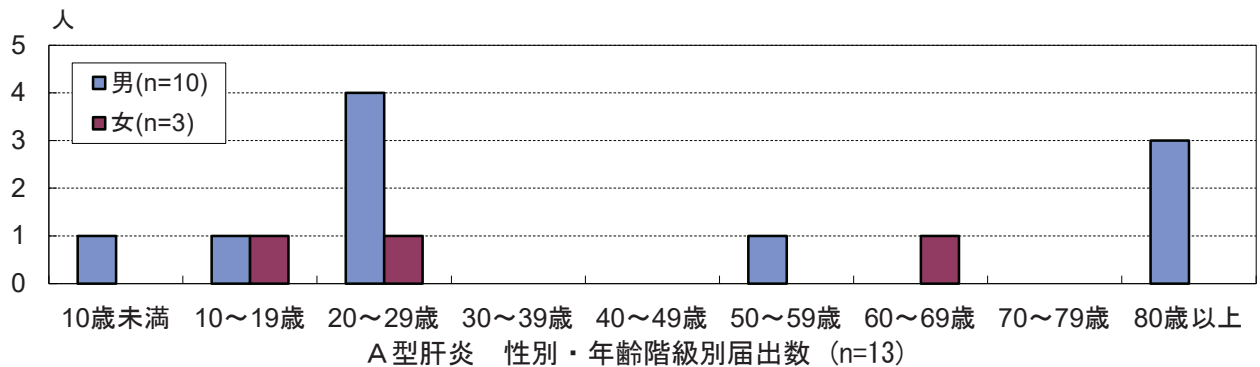
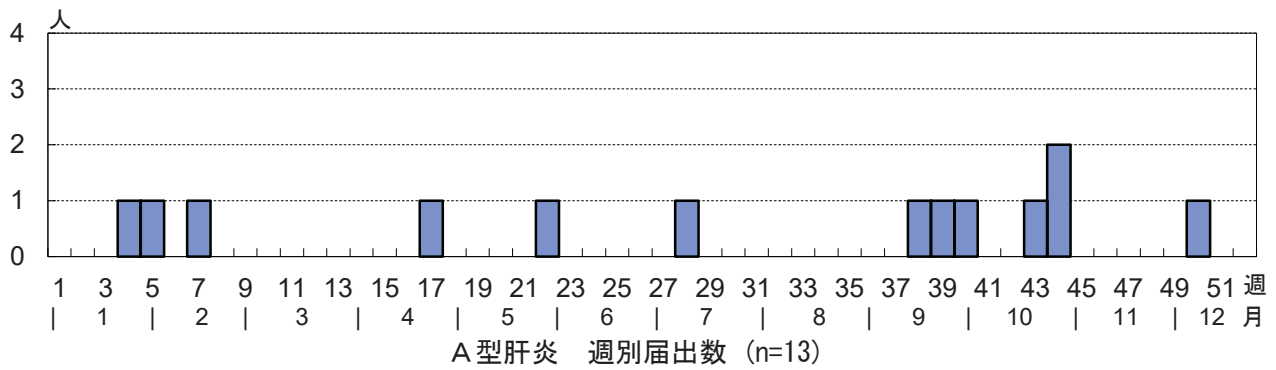
2023年は166件の届出があった。診断類型は患者135人、無症状病原体保有者31人であった。届出の内訳は、性別では男性123人、女性43人、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳7人、30～39歳18人、40～49歳26人、50～59歳46人、60～69歳35人、70～79歳22人、80～89歳10人、90歳以上1人であった。推定感染地は国内138件、国外4件（韓国、アラブ首長国連邦、オーストラリア各1件、渡航先不明1件）、不明24件であった。推定感染経路は経口感染88件、輸血・血液製剤2件、不明76件であった。経口感染88件の推定原因食品は、肉類45件、魚介類1件、肉類又は魚介類2件、その他の食品2件、不明38件であった。



② A型肝炎

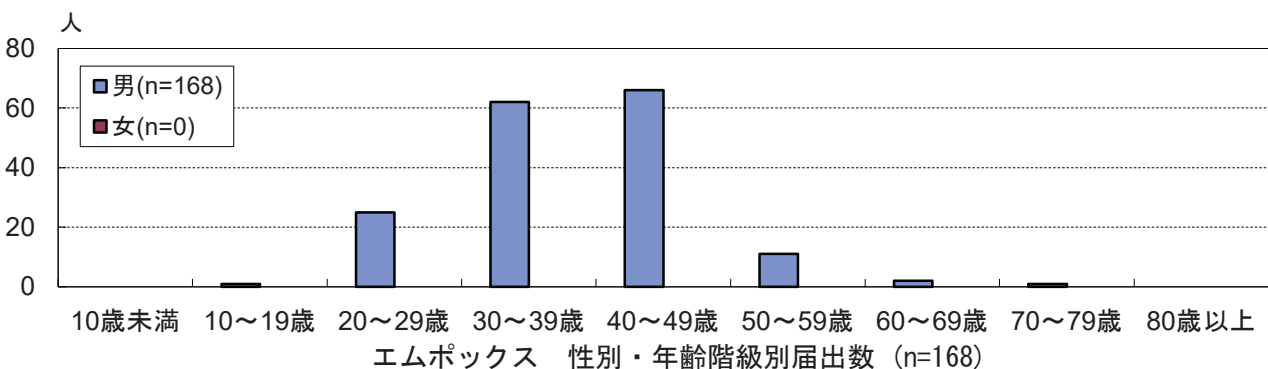
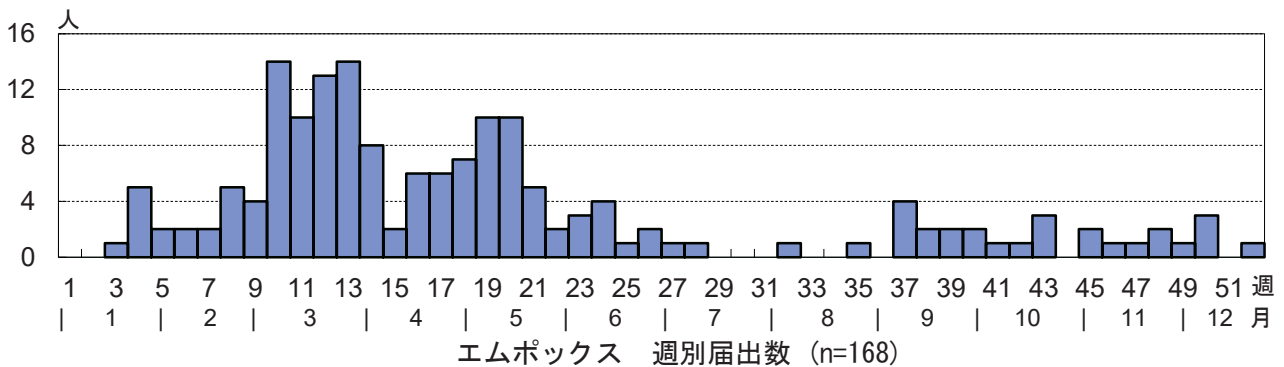
2023年は13件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性10人、女性3人で、年齢階級別では10歳未満1人（うち5歳未満なし）、10～19歳2人、20～29歳5人、50～59歳1人、60～69歳1人、80～89歳2人、90歳以上1人であった。

推定感染地は国内4件、国外6件（ウズベキスタン2件、インド、パキスタン、カメルーン、タンザニア各1件）、不明3件であった。推定感染経路は経口感染8件、不明5件であった。経口感染8件の推定原因食品は魚介類3件、川の水1件、不明4件であった。



③ エムボックス

2023年は168件の届出があった。届出の内訳は、性別では全て男性で、年齢階級では10~19歳1人、20~29歳25人、30~39歳62人、40~49歳66人、50~59歳11人、60~69歳2人、70~79歳1人であった。推定感染地は国内161件、国外1件（韓国）、不明6件であった。推定感染経路は接触感染164件、不明4件であった。



④ チクングニア熱

2023 年は 1 件の届出があった。性別は男性で、年齢階級別では 30～39 歳であった。推定感染地は国外（インド）で、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

⑤ つつが虫病

2023 年は 10 件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性 5 人、女性 5 人であった。年齢階級別では 10 歳未満 1 人（うち 5 歳未満なし）、10～19 歳 1 人、20～29 歳 1 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 2 人、60～69 歳 1 人、70～79 歳 3 人であった。推定感染地は全て国内で、東京都 8 件（多摩地区 1 件、島しょ地区 7 件）、山梨県、長野県各 1 件であった。推定感染経路は全て動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

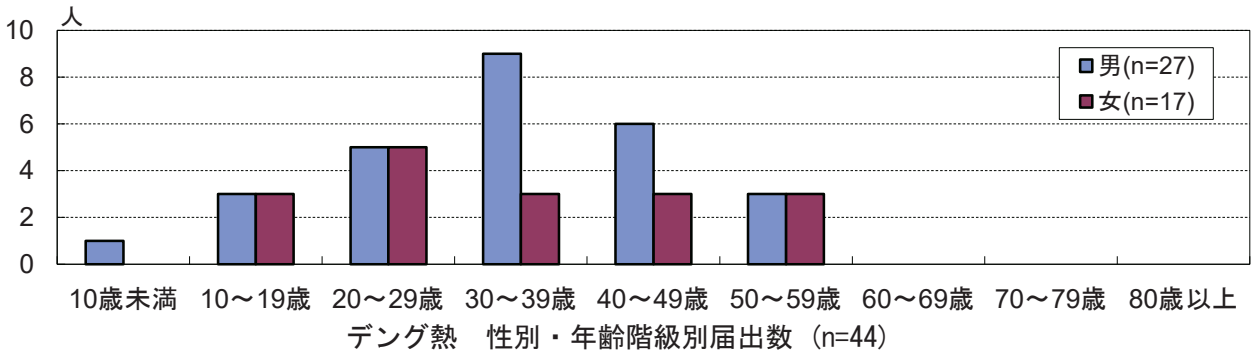
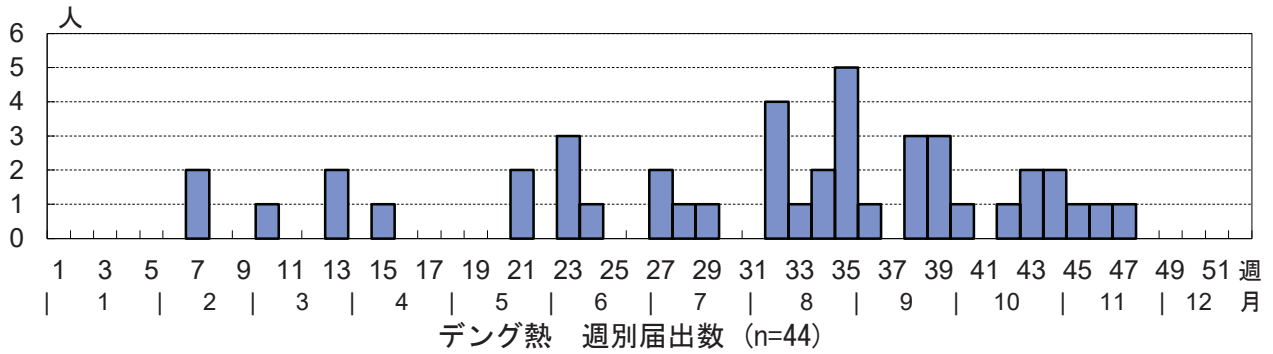
つつが虫病届出例（n=10）

受理週	性別	年齢階級	推定感染地	媒介動物との接触状況
1	女	40～49 歳	東京都（島しょ）	就寝中
1	女	50～59 歳	東京都（島しょ）	散策中
6	男	70～79 歳	東京都（島しょ）	山林
7	女	70～79 歳	東京都（島しょ）	藪
30	男	10 歳未満	山梨県	山
46	男	70～79 歳	長野県	登山
46	男	20～29 歳	東京都（島しょ）	道路の草刈り中
47	男	60～69 歳	東京都（島しょ）	山歩き
49	女	50～59 歳	東京都（多摩）	
50	女	10～19 歳	東京都（島しょ）	バーベキュー

⑥ デング熱

2023 年は 44 件の届出があり、病型は全てデング熱であった。届出の内訳は、性別では男性 27 人、女性 17 人、年齢階級別では 10 歳未満 1 人（うち 5 歳未満なし）、10～19 歳 6 人、20～29 歳 10 人、30～39 歳 12 人、40～49 歳 9 人、50～59 歳 6 人であった。血清型は 27 件報告されており、その内訳は 1 型 6 件、2 型 14 件、3 型 6 件、4 型 1 件であった。

推定感染地は全て国外（マレーシア、インド各 7 件、タイ 5 件、インドネシア 4 件、フィリピン、ベトナム各 3 件、ラオス 2 件、台湾、カンボジア、スリランカ各 1 件、タイ又はベトナム 1 件、タイ又はインド 1 件、タイ又はインドネシア 1 件、マレーシア又はインド 1 件、シンガポール又はインドネシア 1 件、スリランカ又はモルディブ 1 件、スリランカ又はマラウイ 1 件、タイ又はカンボジア又はベトナム 1 件、タイ又はラオス又はマレーシア 1 件、タイ又はラオス又はミャンマー 1 件）であった。推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染 40 件、不明 4 件であった。



⑦ 日本紅斑熱

2023年は1件の届出があった。性別は男性で、年齢階級は70～79歳であった。推定感染地は国内（千葉県）で、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

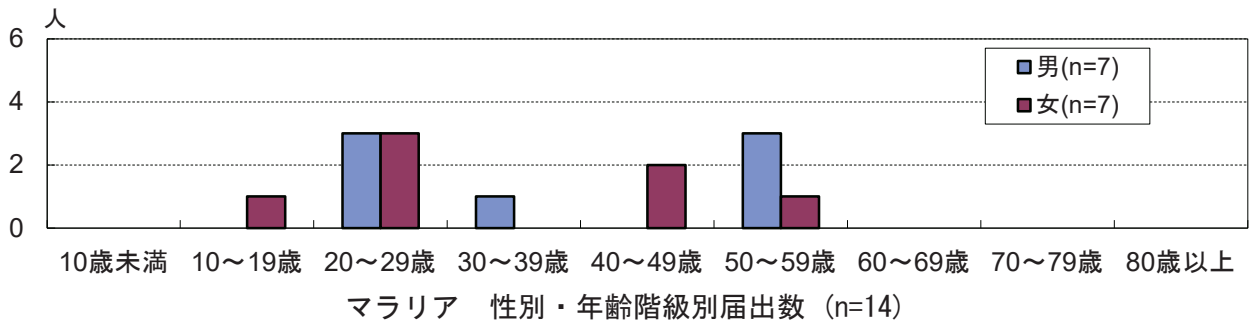
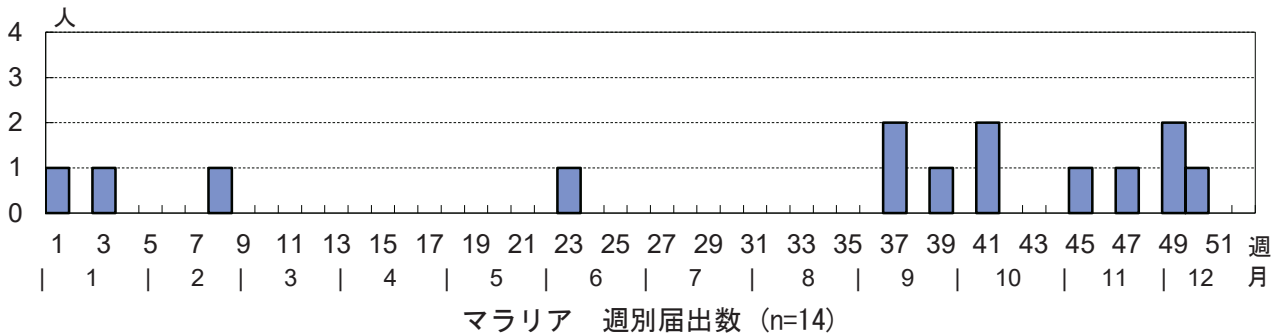
⑧ ブルセラ症

2023年は1件の届出があった。性別は女性で、年齢階級は30～39歳であった。推定感染地は国外（中国）で、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染（羊の飼育、羊肉の摂取）であった。分離された菌は *Brucella melitensis* であった。

⑨ マラリア

2023年は14件の届出があった。届出の内訳は、病型では、熱帯熱マラリア9件、三日熱型マラリア4件、四日熱型マラリア1件であった。性別では男性7人、女性7人、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳6人、30～39歳1人、40～49歳2人、50～59歳4人であった。

病型別推定感染地は、熱帯熱9件は、ウガンダ、ギニア各2件、ケニア、マダガスカル、ナイジェリア、コンゴ共和国各1件、ケニア又はウガンダ1件、三日熱4件は、エチオピア、エクアドル、ソロモン諸島各1件、カンボジア又はシンガポール1件、四日熱は、パキスタン又はシエラレオネ1件であった。推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染13件、不明1件であった。



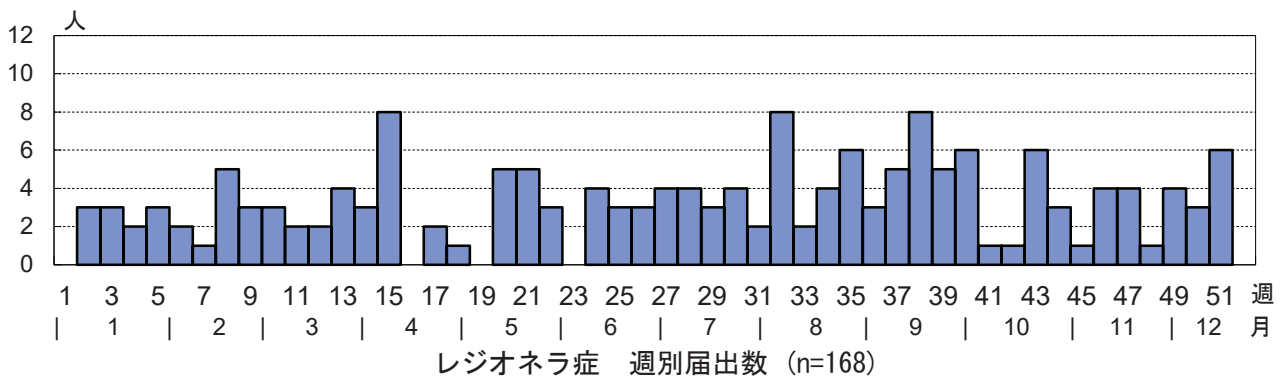
⑩ ライム病

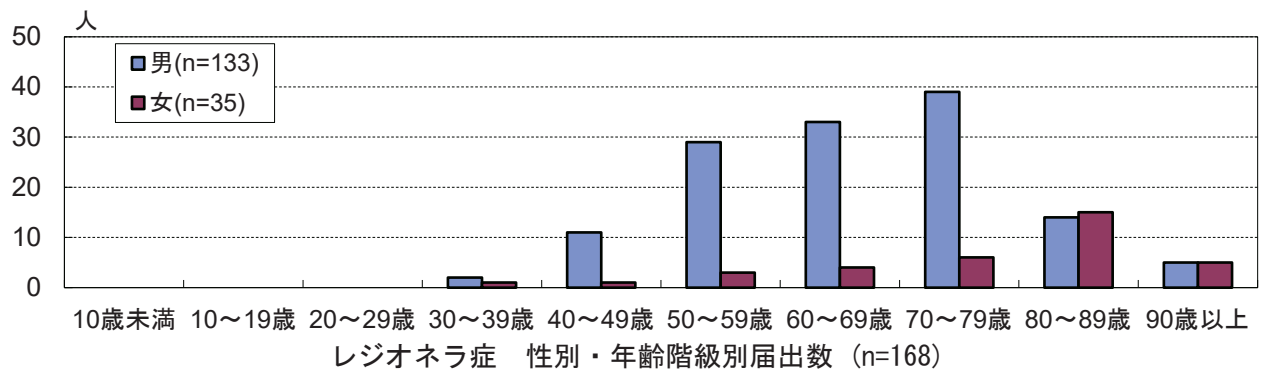
2023年は1件の届出があった。性別は女性で、年齢階級別は20～29歳であった。推定感染地は国内（群馬県）、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

⑪ レジオネラ症

2023年は168件の届出があった。届出の内訳は、病型では肺炎型158件、ポンティアック熱型8件、無症状病原体保有者2件であった。死亡例は2人（40～49歳1件、80～89歳1件）報告された。性別では男性133人、女性35人で、年齢階級別では30～39歳3人、40～49歳12人、50～59歳32人、60～69歳37人、70～79歳45人、80～89歳29人、90歳以上10人であった。

推定感染地は国内132件、国外12件（タイ7件、中国2件、韓国、シンガポール、インド各1件）、不明24件であった。推定感染経路は、水系感染58件、塵埃感染5件、その他3件、水系感染又は塵埃感染4件、不明98件であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは25件であった。





⑫ レプトスピラ症

2023年は5件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性3人、女性2人で、年齢階級別では10歳未満1人（うち5歳未満なし）、20～29歳1人、40～49歳1人、60～69歳1人、80～89歳1人であった。推定感染地は全て国内であった。

レプトスピラ症届出例 (n=5)

受理週	性別	年齢階級	推定感染地	推定感染経路
28	男	20～29歳	東京都（23区）	ネズミがかじった鶏肉を素手で扱う
35	男	60～69歳	東京都（23区）	ネズミが職場厨房に出現
39	女	40～49歳	沖縄県	水系感染（川、滝）
39	男	10歳未満	沖縄県	水系感染（川、滝）
45	女	80～89歳	東京都（23区）	ネズミが家に侵入

⑬ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く）、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、野兔病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、ロッキー山紅斑熱

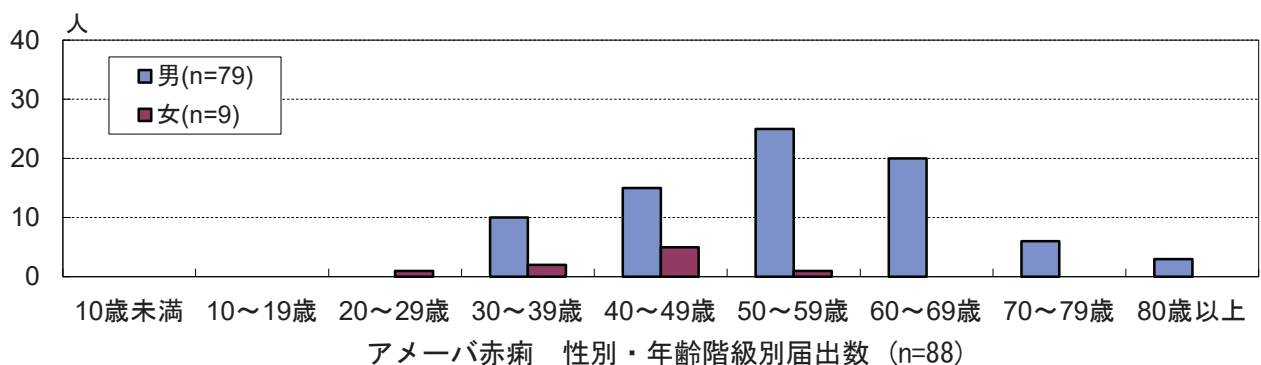
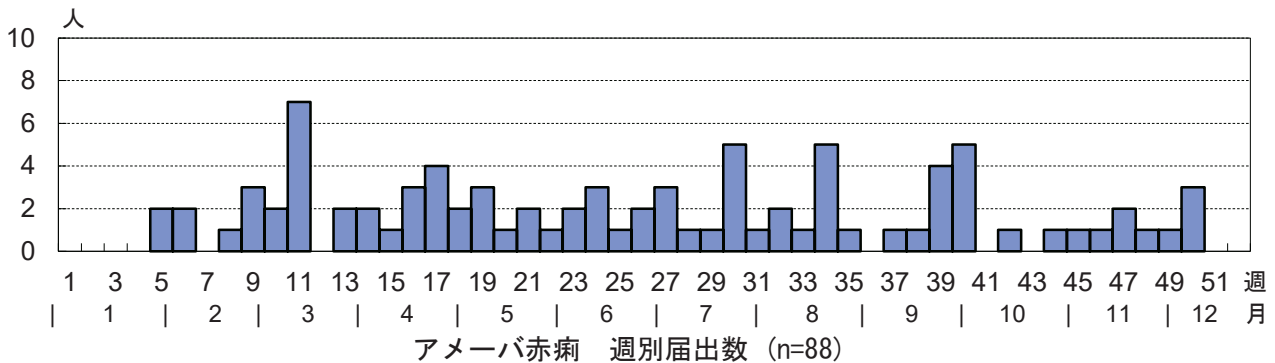
オ 五類感染症（全数把握対象）

① アメーバ赤痢

2023年は88件の届出があった。届出の内訳は、病型では腸管アメーバ症82件、腸管外アメーバ症2件、腸管及び腸管外アメーバ症4件であった。性別では男性79人、女性9人で、年齢階級別では20～29歳1人、30～39歳12人、40～49歳20人、50～59歳26人、60～69歳20人、70～79歳6人、80～89歳3人であった。

推定感染地は国内61件、国外9件（インドネシア、カンボジア、タイ、台湾、フィリピン、米国、ベトナム、ドイツ又はスウェーデン、タイ又は台湾又は韓国各1件）、不明18件であった。

推定感染経路は性的接触 23 件（異性間 10 件、同性間 7 件、性別不明 6 件）、飲食物による経口感染 17 件、その他 3 件、不明 45 件であった。



② ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

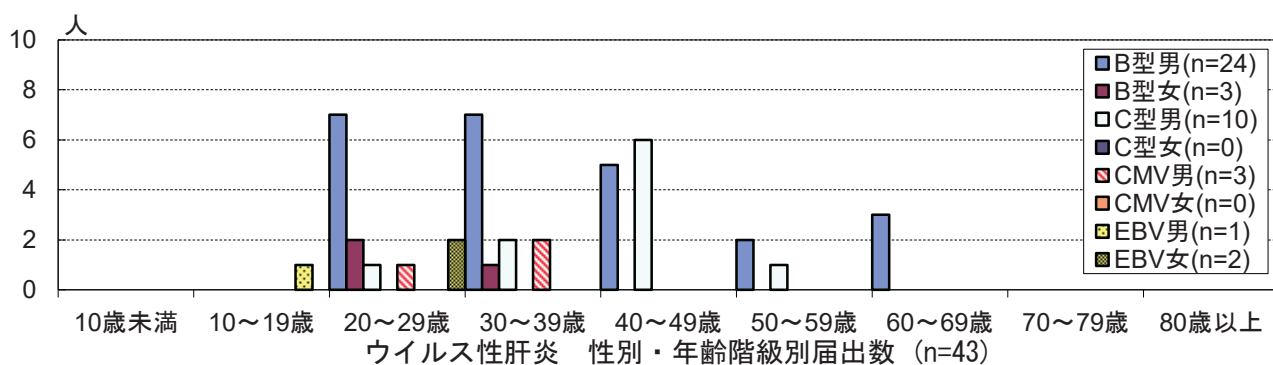
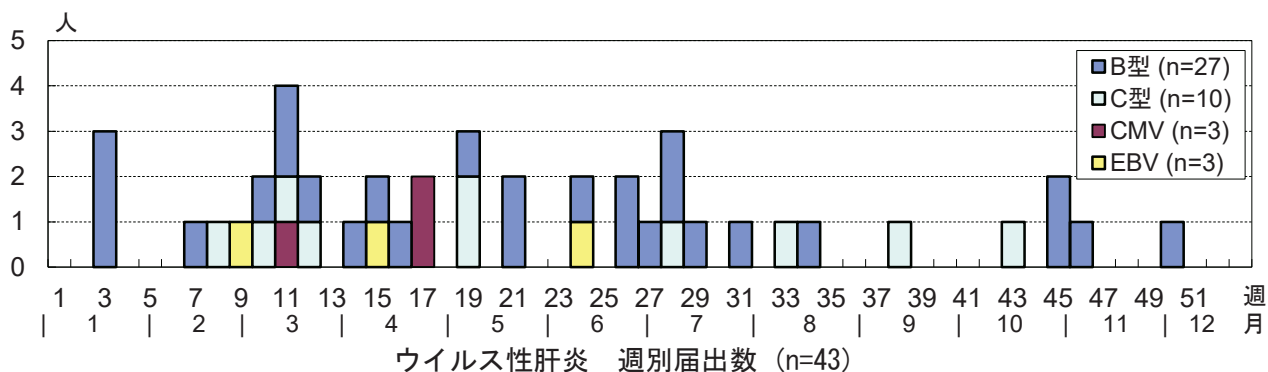
2023 年は 43 件の届出があった。届出の内訳は、病型では B 型肝炎 27 件、C 型肝炎 10 件、エプスタイン・バーウイルス（以下、EBV）肝炎 3 件、サイトメガロウイルス（以下、CMV）肝炎 3 件であった。

B 型肝炎 27 件の届出の内訳は、性別では男性 24 人、女性 3 人で、年齢階級別では 20～29 歳 9 人、30～39 歳 8 人、40～49 歳 5 人、50～59 歳 2 人、60～69 歳 3 人であった。推定感染地は国内 20 件、国外（ミャンマー又はベトナム）1 件、不明 6 件、推定感染経路は性的接触 16 件（異性間 6 件、同性間 4 件、両性間 3 件、性別不明 3 件）、不明 11 件であった。

C 型肝炎は 10 件の届出の内訳は、性別では全て男性で、年齢階級別では 20～29 歳 1 人、30～39 歳 2 人、40～49 歳 6 人、50～59 歳 1 人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触 9 件（同性間 7 件、性別不明 2 件）、不明 1 件であった。

EBV 肝炎は 3 件の届出の内訳は、性別では男性 1 人、女性 2 人で、年齢階級では 10～19 歳 1 人、20～29 歳 2 人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は異性間性的接触 1 件、不明 2 件であった。

CMV 肝炎は 3 件の届出の内訳は、性別では全て男性で、年齢階級別では 20～29 歳 1 人、30～39 歳 2 人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は全て不明であった。



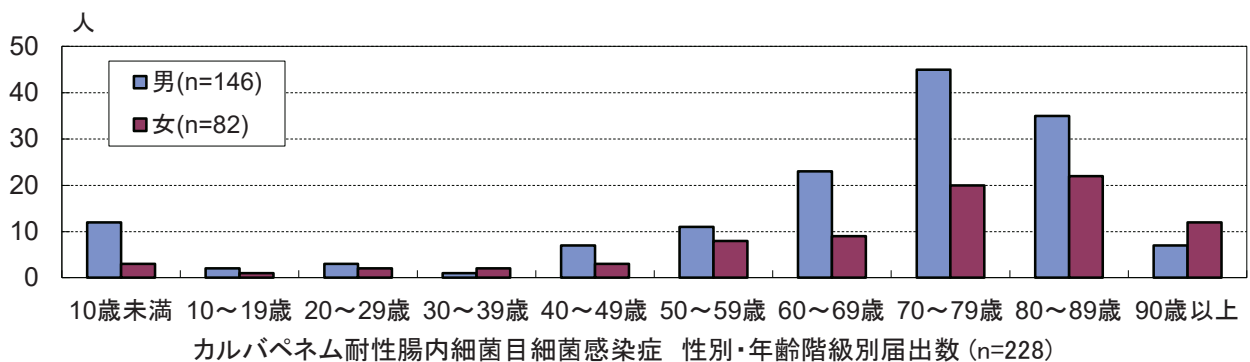
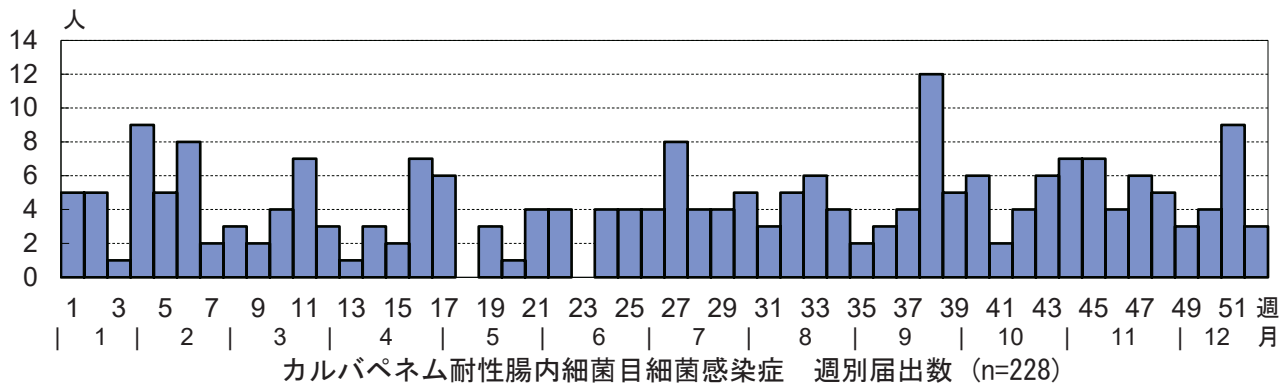
③ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

2023年は228件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性146人、女性82人で、年齢階級別では10歳未満15人（全て5歳未満）、10～19歳3人、20～29歳5人、30～39歳3人、40～49歳10人、50～59歳19人、60～69歳32人、70～79歳65人、80～89歳57人、90歳以上19人であった。死亡例は5人（5歳未満1人、60～69歳1人、70～79歳1人、80～89歳2人）報告された。

推定感染地は国内195件、国外2件（ベトナム、インド各1件）、不明31件であった。推定感染経路は以前からの保菌65件、医療器具関連感染44件（尿路カテーテル22件、中心静脈カテーテル10件、人工呼吸器2件、その他10件）、手術部位感染18件、院内感染6件、以前からの保菌又は医療器具関連感染8件、以前からの保菌又は手術部位感染2件、手術部位感染又はその他1件、その他16件、不明68件であった。

分離された菌種は、*Klebsiella aerogenes* 90件、*Enterobacter cloacae* complex 73件、*Klebsiella pneumoniae* 25件、*Escherichia coli* 11件、*Citrobacter freundii*、*Serratia marcescens* 各6件、*Citrobacter braakii*、*Enterobacter asburiae*、*Klebsiella oxytoca*、*Enterobacter hormaechei* 各2件、*Cedecea davisae*、*Citrobacter amalonaticus*、*Enterobacter gergoviae*、*Kluyvera intermedia*、*Proteus mirabilis*、*K. aerogenes*/*C. braakii*、*Citrobacter* sp.、*Enterobacter* sp.、*Raoultella* spp. 各1件であった。

Enterobacter cloacae complexに含まれる複数の菌種と*Enterobacter cloacae*は生化学的性状のような一般的な検査室での同定検査では区別できないので、集計項目のうち*Enterobacter cloacae*を廃止し、*Enterobacter cloacae* complexに含めた。



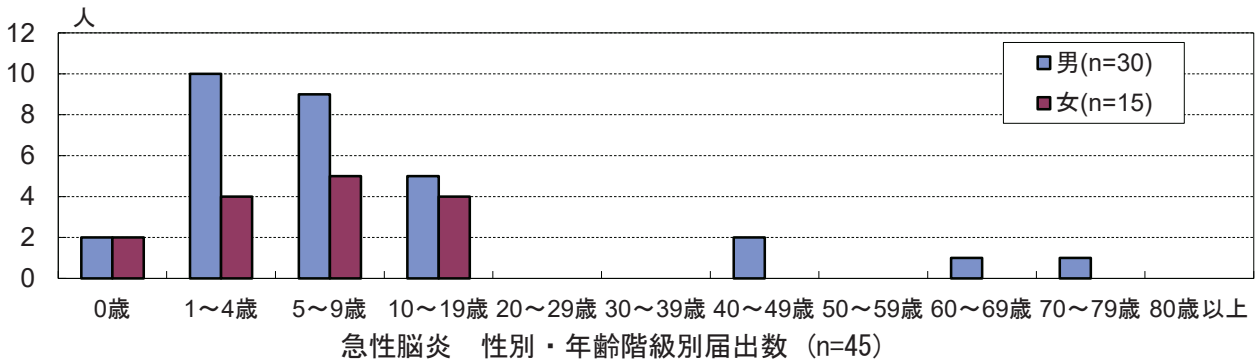
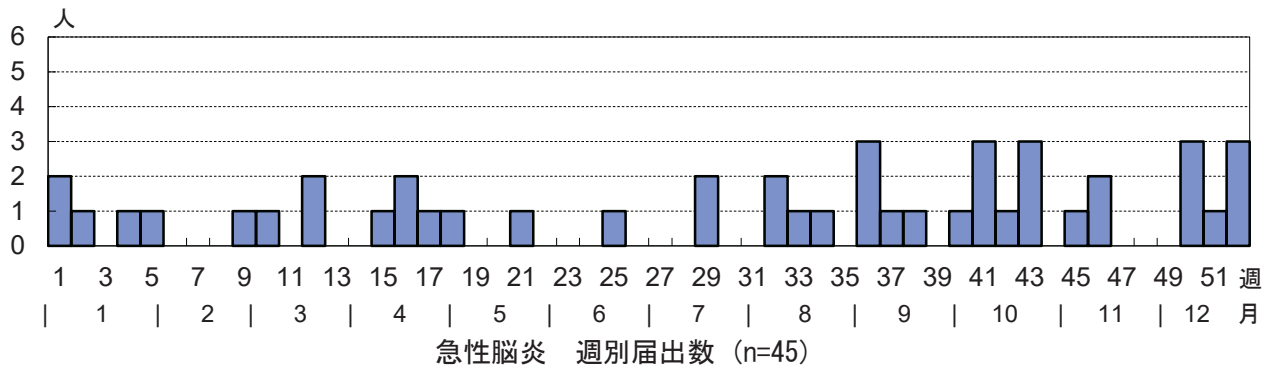
④ 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）

2023年は6件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性2人、女性4人で、年齢階級別では、10歳未満5人（うち5歳未満2人）、10～19歳1人であった。推定感染地は国内4件、不明2件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染2件、不明4件であった。検出された病原体はエンテロウイルス1件、ライノウイルス／エンテロウイルス1件、不明4件であった。ポリオワクチン接種歴は、4回5件、2回1件であった。

⑤ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

2023年は45件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性30人、女性15人で、年齢階級別では10歳未満32人（うち5歳未満18人）、10～19歳9人、40～49歳2人、60～69歳1人、70～79歳1人で、死亡例は1人（5歳未満）報告された。推定感染地は国内42件、国外（シンガポール）1件、不明2件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染24件、接触感染3件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染3件、経口感染又は接触感染1件、不明14件であった。

検出された病原体は、インフルエンザウイルスA型18件、SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）、ヒトメタニューモウイルス、ヘルペスウイルス（単純ヘルペスウイルス2型、ヘルペスウイルス各1件）各2件、アデノウイルス、RSウイルス、エンテロウイルス、ヒトコロナウイルスNL63、アデノウイルス/A群溶血性レンサ球菌、SARS-CoV-2／パラインフルエンザウイルス、RSウイルス／ライノウイルス／エンテロウイルス／ヒトコロナウイルス HKU1、SARS-CoV-2／アデノウイルス／パラインフルエンザウイルス3型／ライノウイルス／エンテロウイルス各1件、不明13件であった。



⑥ クリプトスポリジウム症

2023年は1件の届出があった。性別は男性で、年齢階級別は50～59歳であった。推定感染地は国外（フィリピン）で、推定感染経路は経口感染であった。

⑦ クロイツフェルト・ヤコブ病

2023年は20件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性7人、女性13人で、年齢階級別では40～49歳1人、50～59歳1人、60～69歳2人、70～79歳10人、80～89歳6人であった。

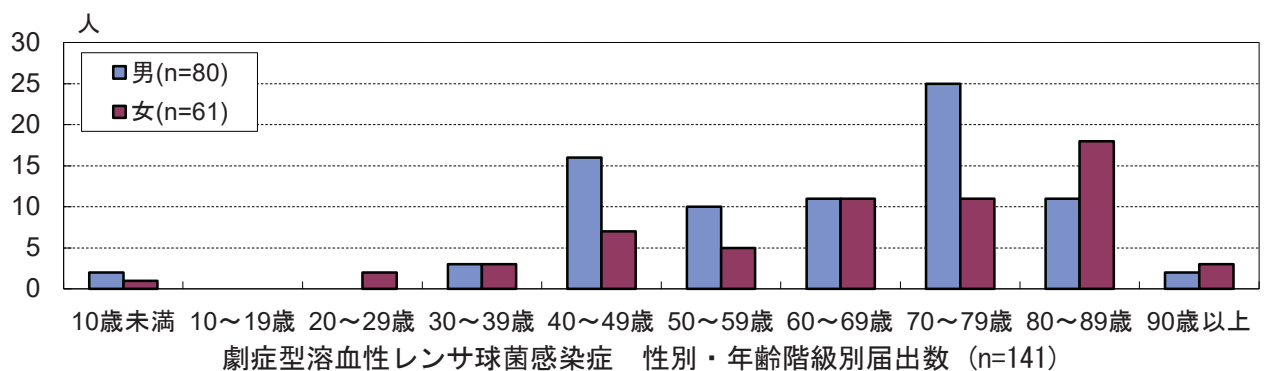
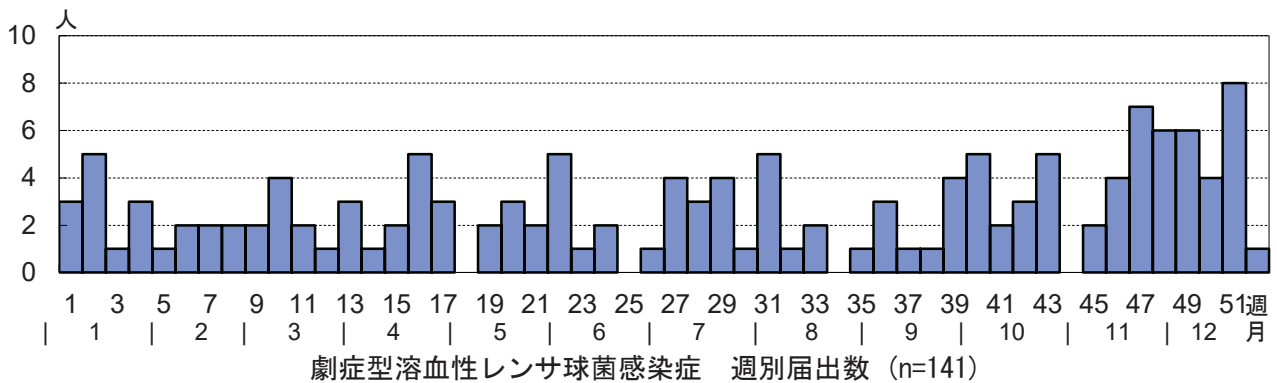
病型は孤発性プリオン病・古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（以下、CJD）が14件（ほぼ確実10件、疑い4件）、孤発性プリオン病・その他が1件（疑い）、遺伝性プリオン病・家族性CJDが5件（全てほぼ確実）であった。

⑧ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2023年は141件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性80人、女性61人で、年齢階級別では10歳未満3人（うち5歳未満2人）、20～29歳2人、30～39歳6人、40～49歳23人、50～59歳15人、60～69歳22人、70～79歳36人、80～89歳29人、90歳以上5人であった。死亡例は42人（30～39歳1人、40～49歳7人、50～59歳2人、60～69歳6人、70～79歳11人、80～89歳12人、90歳以上3人）報告された。

推定感染地は国内122件、国外3件（オーストラリア2件、南アフリカ1件）、不明16件であった。推定感染経路は創傷感染45件、飛沫・飛沫核感染6件、接触感染5件、接触感染又は創傷感染1件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染又は創傷感染1件、その他14件、不明69件であった。

血清群はA群80件、B群31件、G群24件、F群1件、不明5件であった。



⑨ 後天性免疫不全症候群

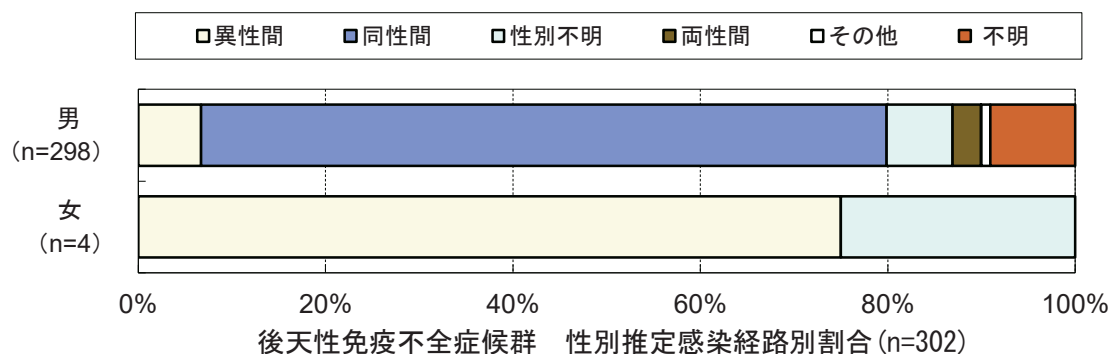
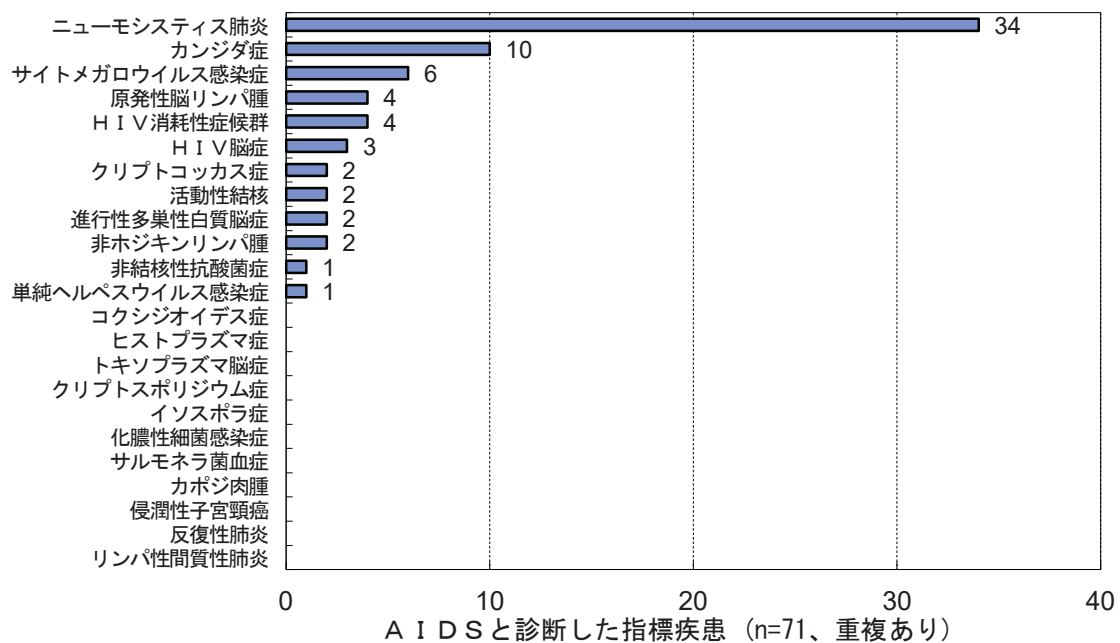
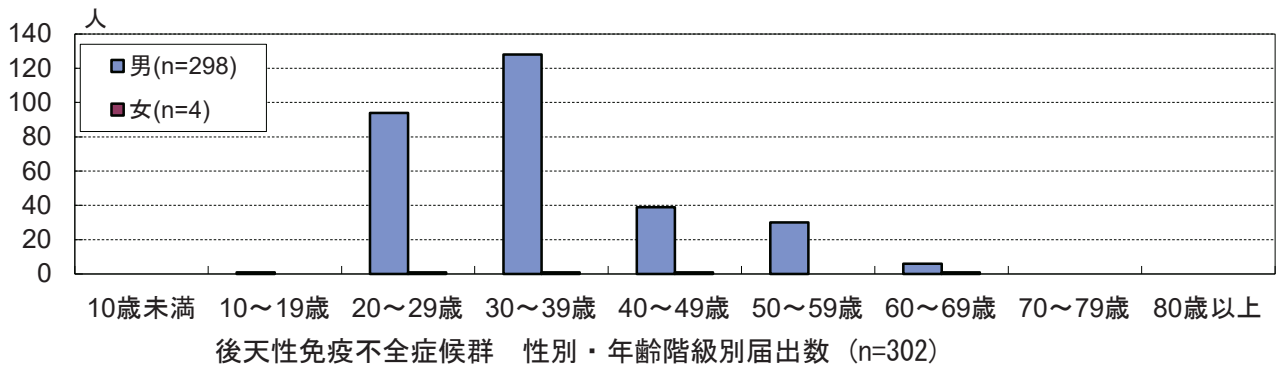
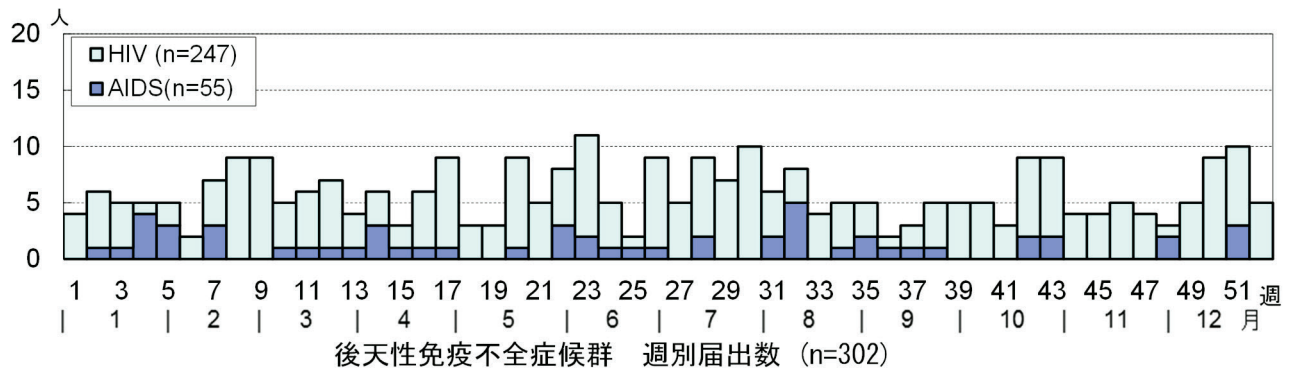
2023年は302件の届出があり、AIDS患者55人、HIV感染者247人（指標疾患以外の有症状者26人、無症候性キャリア221人）であった。届出のうち外国籍は50人で、AIDS患者9人、HIV感染者41人（指標疾患以外の有症状者6人、無症候性キャリア35人）であった。

AIDS患者55人の内訳は男性54人、女性1人で、年齢階級別では20～29歳8人、30～39歳21人、40～49歳11人、50～59歳9人、60～69歳6人であった。

AIDS患者の指標疾患は、ニューモシスティス肺炎（34件）が最多で、次にカンジダ症（10件）、サイトメガロウイルス感染症（6件）が多かった。

HIV感染者のうち無症候性キャリアの221人の内訳は男性218人、女性3人で、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳75人、30～39歳101人、40～49歳27人、50～59歳16人、60～69歳1人であった。

推定感染地は国内244件、国外15件（中国4件、タイ2件、インドネシア、フィリピン、リベリア、ラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナム、トルコ、フランス各1件）、国内又は国外（ミャンマー、渡航先不明）2件、不明41件であった。推定感染経路は性的接触272件（同性間218件、異性間23件、両性間9件、性別不明22件）、静注薬物使用1件、その他1件、性別不明性的接触又はその他1件、不明27件であった。



⑩ ジアルジア症

2023年は12件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性11人、女性1人で、年齢階級別では、20～29歳4人、30～39歳4人、40～49歳2人、60～69歳1人、80～89歳以上1人であった。推定感染地は国内3件、国外8件（インド2件、イギリス、ジブチ、ベトナム、ブラジル又はポルトガル、インドネシア又はベトナム、ガーナ又はケニア又はインド各1件）、不明1件であった。推定感染経路は経口感染6件、水系感染1件、同性間性的接触2件、経口感染又は水系感染1件、不明2件であった。

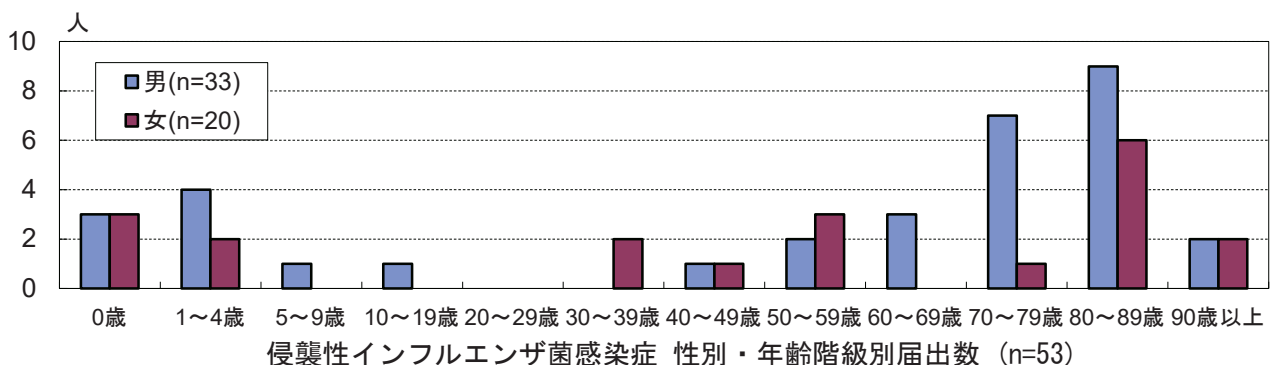
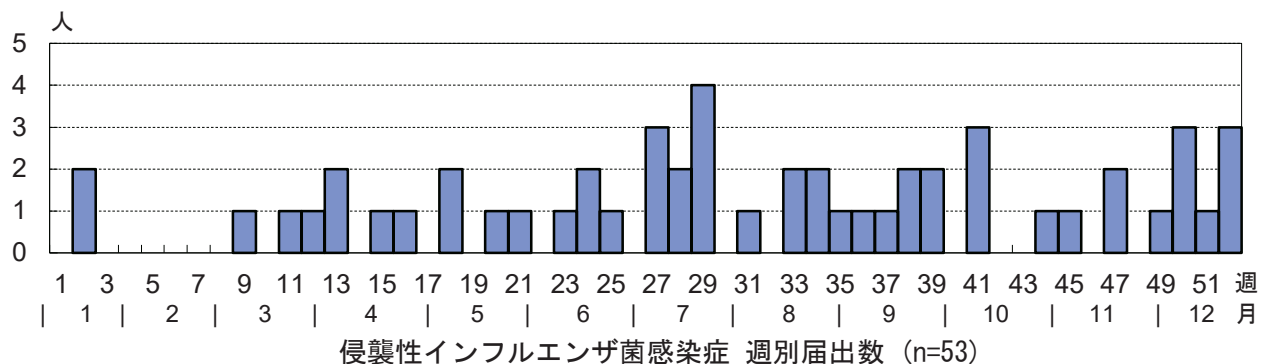
⑪ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2023年は53件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性33人、女性20人で、年齢階級別では10歳未満13人（うち5歳未満12人）、10～19歳1人、30～39歳2人、40～49歳2人、50～59歳5人、60～69歳3人、70～79歳8人、80～89歳15人、90歳以上4人で、死亡例は5人（60～69歳1人、70～79歳1人、80～89歳3人）の報告があった。

血清型はb型2件、f型2件、e型1件、型別不能32件、検査未実施16件であった。

推定感染地は、国内45件、不明8件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染16件、その他1件、不明36件であった。

ワクチン接種歴は4回7件、3回5件、2回1件、なし7件、不明33件であった（接種歴があるものうち1件はワクチンの種類不明、他はHibワクチン）。



⑫ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2023年は4件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性1人、女性3人で、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳2人、50～59歳1人であった。血清型はY群1件、検査未実施3件であった。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は全て不明であった。ワクチン接種歴はあり1件、なし1件、不明2件であった。

⑬ 侵襲性肺炎球菌感染症

2023 年は 218 件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性 136 人、女性 82 人であった。年齢階級別では 10 歳未満 39 人（うち 5 歳未満 31 人）、20～29 歳 2 人、30～39 歳 6 人、40～49 歳 10 人、50～59 歳 28 人、60～69 歳 33 人、70～79 歳 50 人、80～89 歳 38 人、90 歳以上 12 人で、死亡例は 11 人（40～49 歳 1 人、60～69 歳 1 人、70～79 歳 3 人、80～89 歳 3 人、90 歳以上 3 人）の報告があった。推定感染地は国内 184 件、国外 3 件（イタリア、インドネシア、香港）、不明 31 件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 54 件、接触感染 2 件、その他 7 件、不明 155 件であった。

ワクチン接種歴は 4 回 23 件、3 回 9 件、2 回 1 件、1 回 16 件、なし 60 件、不明 109 件であった。

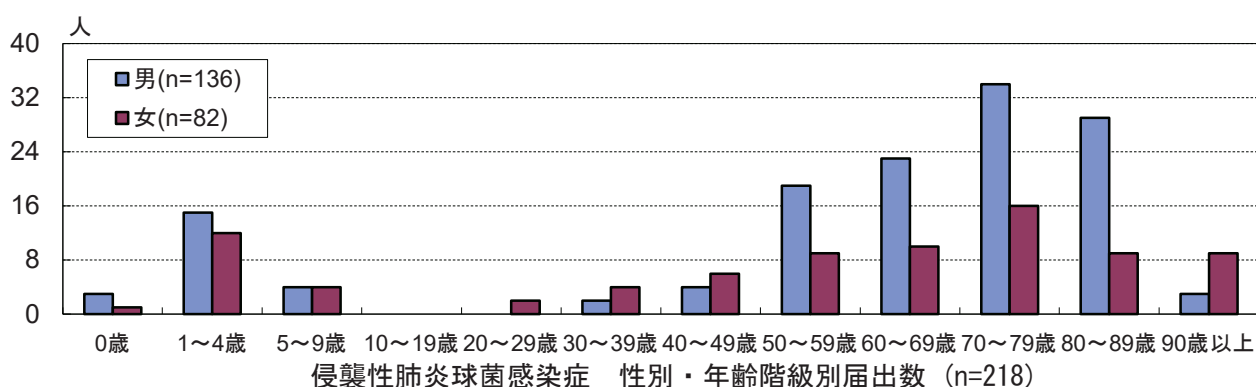
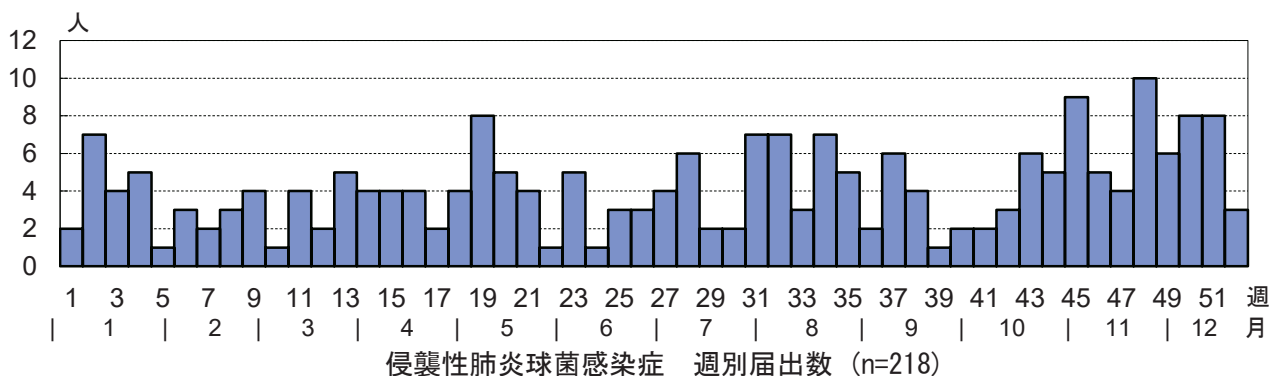
届出のうち、血清型が判明したのは 76 件で、最も多い血清型は 3 型と 10A 型の 10 件であった。

年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=218)

価数	13 価			13 価 1 回+		23 価		価数不明			接種歴なし	接種歴不明	総計	
	回数	1	3	4	2 回+	3 回+	23 価 1 回+	1	2	1				3
回数	1	3	4	3	4	4	1	2	1	3	4			
5 歳未満	1	7	14		1				2	1			5	31
5～9 歳			4	1							2	1		8
10～64 歳						1	1					27	27	56
65 歳以上							8	1	4	1		32	77	123
合計	1	7	18	1	1	1	9	1	6	1	3	60	109	218

侵襲性肺炎球菌感染症 血清型 (n=76)

血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数
3 型	10	15A 型	5	21 型	1	28F 型	1
6B 型	1	15B 型	3	22F 型	5	31 型	1
6C 型	4	15C 型	4	23A 型	8	33F 型	1
10A 型	10	19A 型	2	24B 型	5	37 型	1
11A 型	1	20 型	1	24F 型	3	35B 型	8
14 型	1						

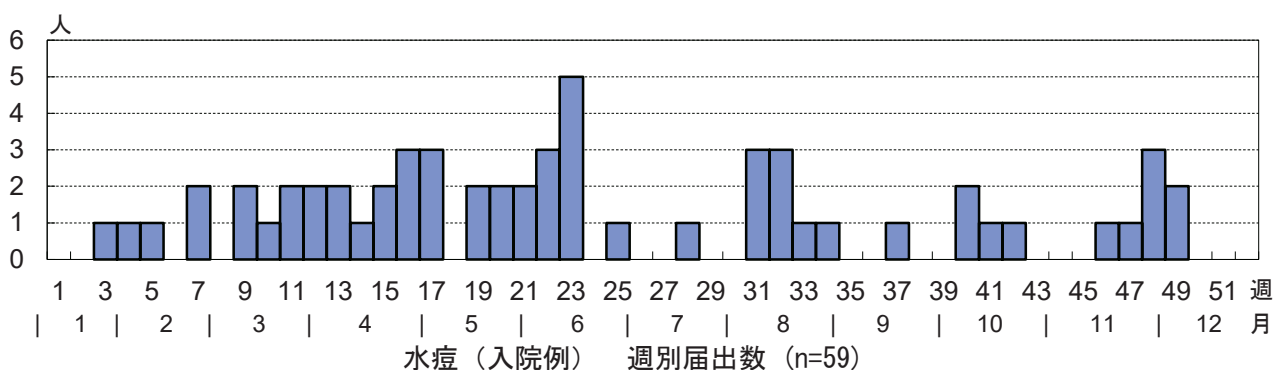


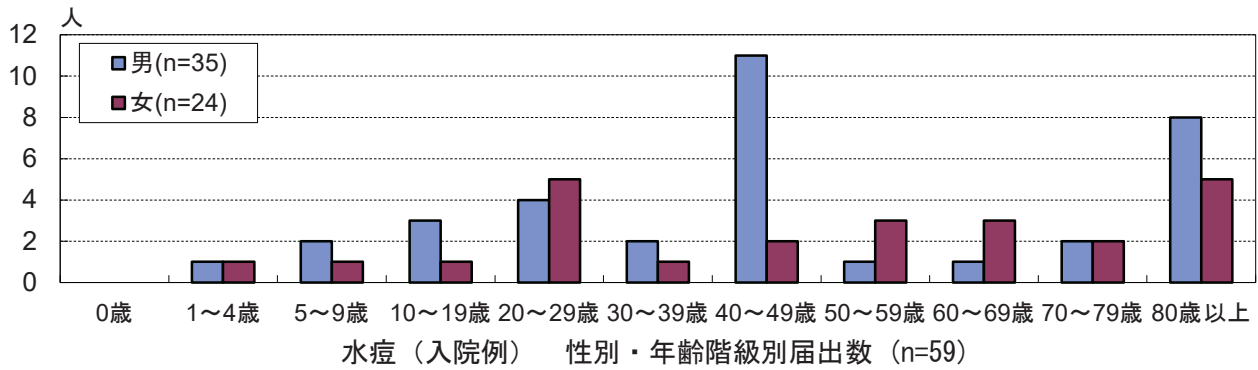
⑭ 水痘（入院例）

2023年は59件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性35人、女性24人で、年齢階級別では10歳未満5人（うち5歳未満2人）、10～19歳4人、20～29歳9人、30～39歳3人、40～49歳13人、50～59歳4人、60～69歳4人、70～79歳4人、80～89歳11人、90歳以上2人であった。死亡例は1人（70～79歳）報告された。

推定感染地は国内51件、国外（インド）1件、不明7件で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染10件、院内感染5件、接触感染4件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染2件、その他1件、不明37件であった。

ワクチン接種歴は2回3件、1回8件、なし21件、不明27件であった。





⑮ 梅毒

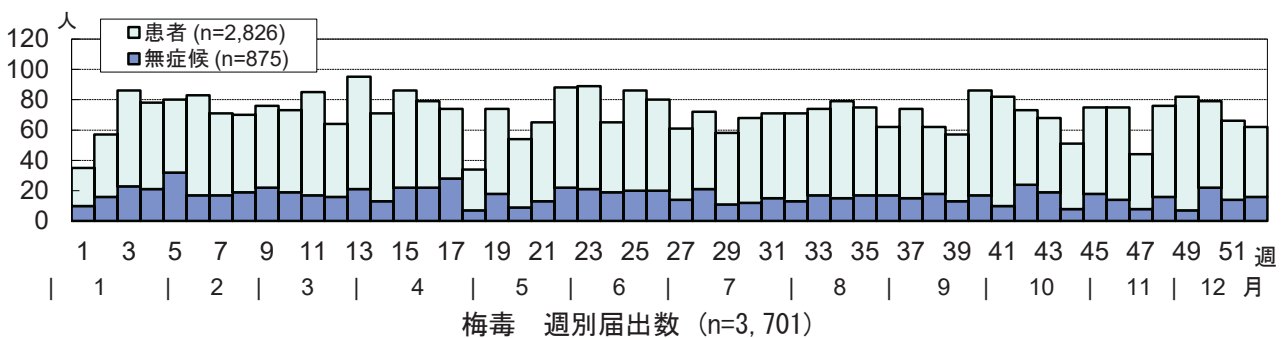
2023年は3,701件の届出があった。届出の内訳は、病型では早期顕症梅毒Ⅰ期1,564件、早期顕症梅毒Ⅱ期1,228件、晩期顕症梅毒25件、無症候875件、先天梅毒9件であった。性別は男性2,409人、女性1,292人であった。年齢階級別では10歳未満9人(全て0歳)、10~19歳115人、20~29歳1,401人、30~39歳821人、40~49歳691人、50~59歳477人、60~69歳133人、70~79歳40人、80~89歳9人、90歳以上2人、不明3人で、20~49歳の男性が1,781人で男性全体の73.9%を占めた。妊娠可能年齢の女性(15~49歳)は1,225人で女性全体の94.8%を占めた。

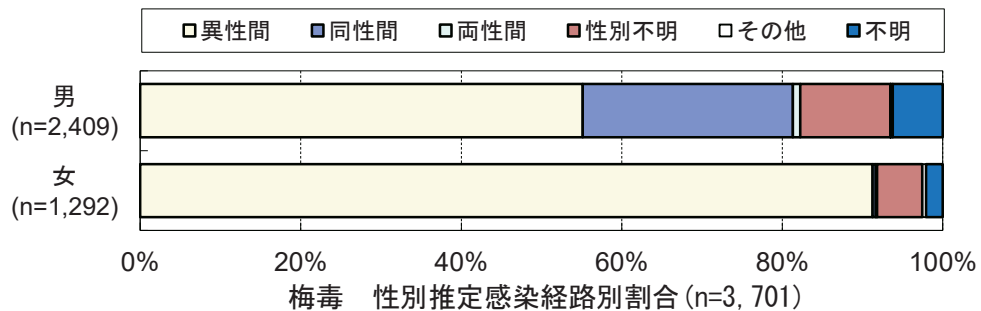
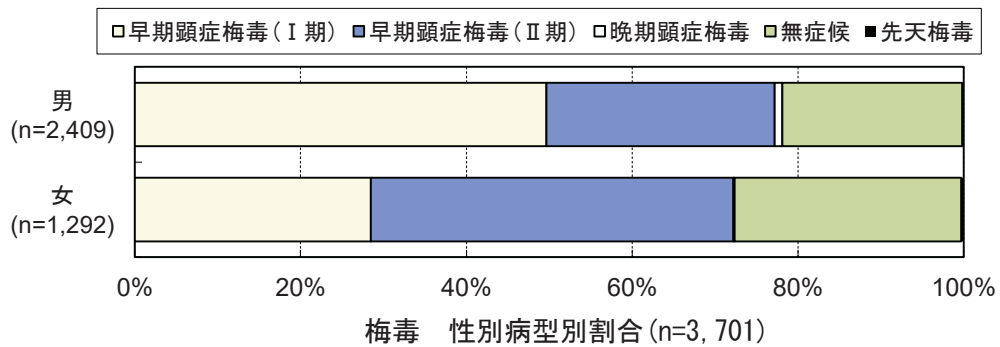
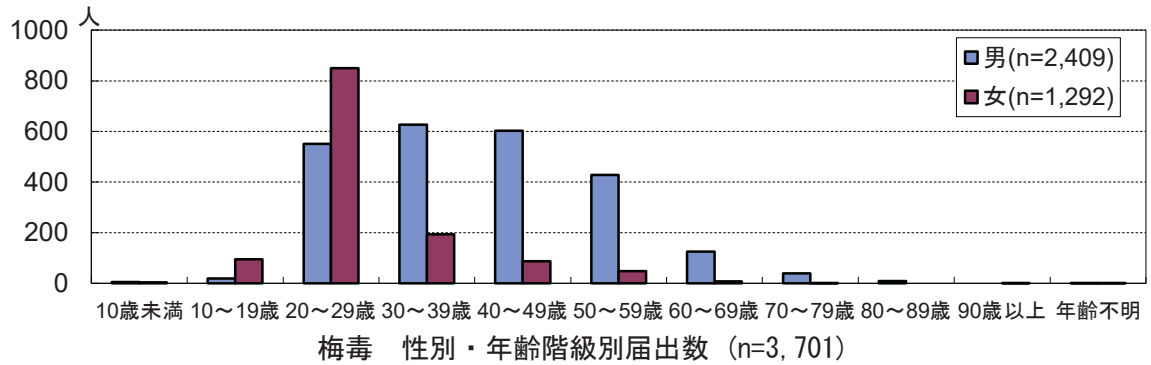
推定感染地は国内3,334件、国外19件(タイ4件、中国2件、カンボジア2件、フィリピン、インドネシア各1件、その他の東南アジア2件、ネパール、オーストラリア、米国又はカナダ、米国(ハワイ)、米国(グアム)、ドイツ又はオランダ、フィンランド各1件)、不明348件であった。

推定感染経路は性的接触3,511件(同性間636件、異性間2,507件、両性間24件、性別不明344件)、母子感染9件、静注薬物使用1件、異性間性的接触又は静注薬物使用1件、性別不明性的接触又は静注薬物使用1件、針刺し事故1件、不明177件であった。

HIV感染症合併の有無は258件(男性257件、女性1件)が合併ありで、推定感染経路は、男性は性的接触251件(同性間228件、異性間7件、両性間5件、性別不明11件)、静注薬物使用1件、不明5件で、女性は異性間性的接触1件であった。

梅毒治療歴ありは482件(男性368件、女性114件)であった。妊娠中は62件であった。直近6か月の性風俗産業の従事者は612件(男性47件、女性565件)で、利用者は671件(男性628件、女性43件)であった。





⑯ 播種性クリプトコックス症

2023年は17件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性10人、女性7人で、年齢階級別では40～49歳1人、50～59歳3人、60～69歳2人、70～79歳7人、80～89歳4人であった。死亡例は2人（40～49歳、70～79歳各1人）報告された。推定感染地は国内16件、国外（タイ）1件であった。

推定感染経路は、免疫不全10件、鳥類の糞1件、その他1件、不明5件であった。免疫不全10件のうち、基礎疾患のあるものは6件（多発性骨髄腫、肺炎、末梢性T細胞リンパ腫、リウマチ性多発筋痛症、前立腺癌及び間質性肺炎、糖尿病及び慢性腎臓病各1件）であった。免疫不全10件のうち5件はステロイド等を投与中であった。

⑰ 破傷風

2023年は7件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性5人、女性2人で、年齢階級別では60～69歳2人、70～79歳4人、80～89歳1人であった。

推定感染地は全て国内（東京都 6 件、都道府県不明 1 件）で、推定感染経路は全て創傷感染であった。破傷風含有ワクチン接種歴は不明 4 件、なし 2 件、あり 1 件であった。

⑱ バンコマイシン耐性腸球菌感染症

2023 年は 9 件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性 7 人、女性 2 人で、年齢階級別では 50～59 歳 1 人、60～69 歳 1 人、70～79 歳 2 人、80～89 歳 5 人であった。推定感染地は国内 6 件、国外（韓国）1 件、不明 2 件であった。推定感染経路は接触感染 3 件、不明 6 件であった。菌種は *Enterococcus faecium* 6 件、*Enterococcus gallinarum* 2 件、*Enterococcus faecalis* 1 件、耐性遺伝子は *vanB* 5 件、*vanC* 1 件、検査未実施 3 件であった。

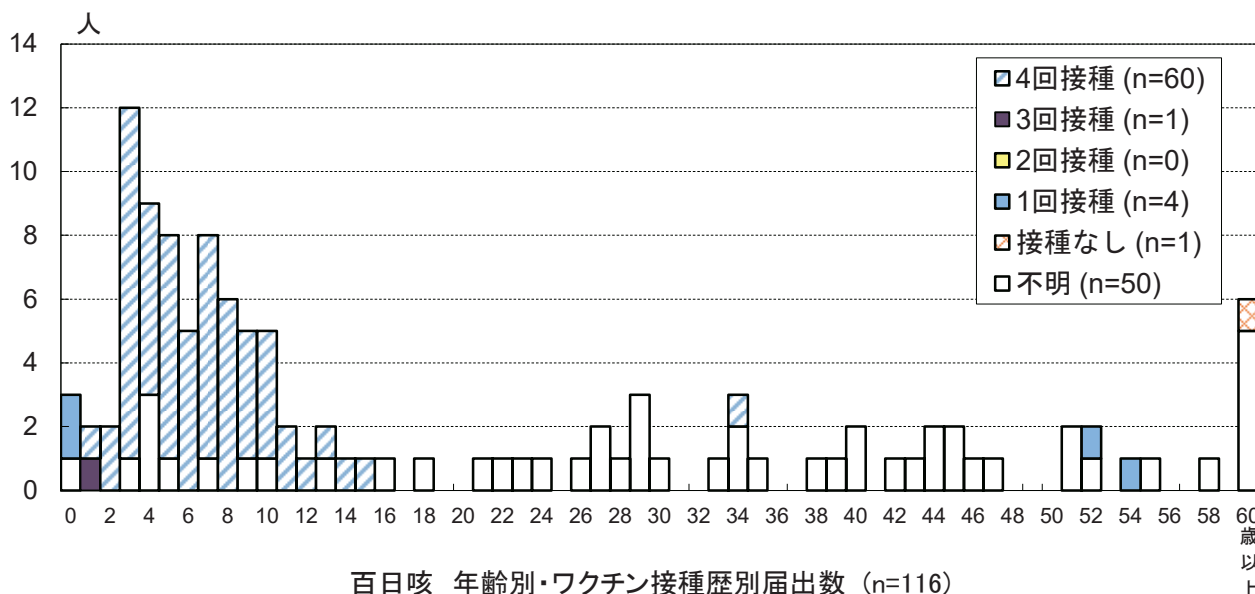
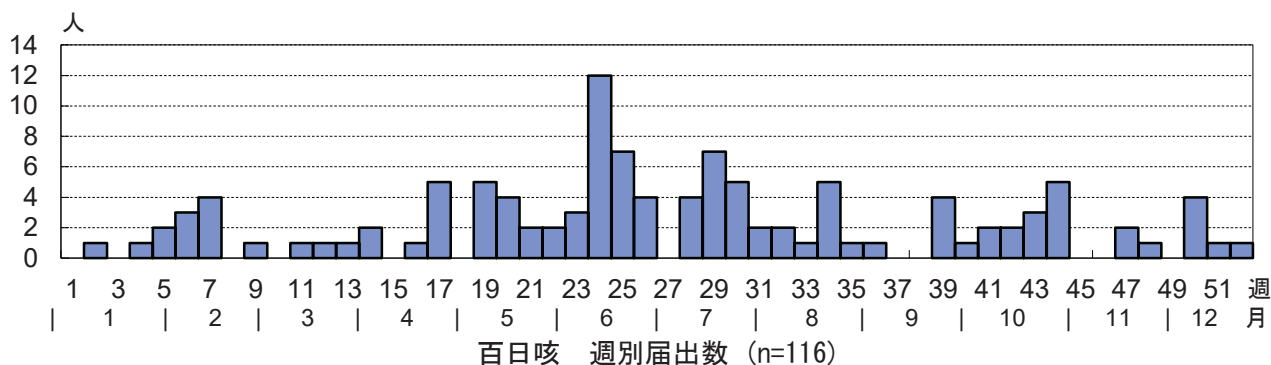
⑲ 百日咳

2023 年は 116 件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性 46 人、女性 70 人で、年齢階級別では 10 歳未満 60 人（うち 5 歳未満 28 人）、10～19 歳 14 人、20～29 歳 11 人、30～39 歳 8 人、40～49 歳 10 人、50～59 歳 7 人、60～69 歳 2 人、70～79 歳 1 人、80～89 歳 2 人、90 歳以上 1 人であった。

推定感染地は国内 65 件、国外（ジョージア）1 件、不明 50 件であった。

百日咳含有ワクチン接種歴は、4 回 60 件、3 回 1 件、1 回 4 件、なし 1 件、不明 50 件であった。

診断方法は、抗体検査 61 件、抗原検査 54 件、遺伝子検査 5 件であった（重複あり）。



⑳ 風しん

2023 年は 4 件の届出があり、検査診断例は 3 件（全て IgM 抗体の検出）、臨床診断例は 1 件であった。

届出の内訳は、性別では男性 2 人、女性 2 人で、年齢階級別では 10 歳未満 1 人（うち 5 歳未満なし）、40～49 歳 2 人、80～89 歳 1 人であった。推定感染地は国内 3 件、不明 1 件で、推定感染経路は不明 4 件であった。

風しん含有ワクチン接種歴は全て不明であった。

風しん届出例 (n=4)

受理週	性別	年齢階級	推定感染地	ワクチン接種歴
13	女	40～49 歳	国内	不明
14	男	40～49 歳	不明	不明
22	男	10 歳未満	国内	不明
24	女	80～89 歳	国内	不明

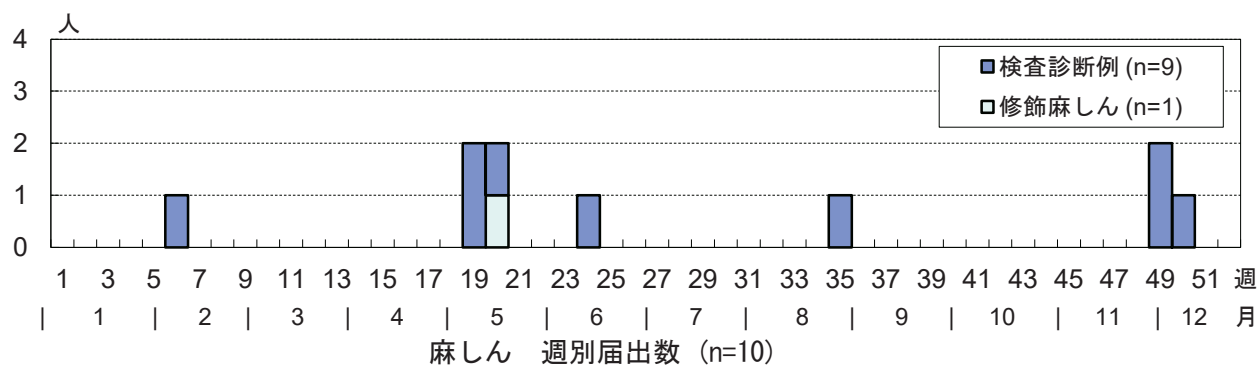
㉑ 麻しん

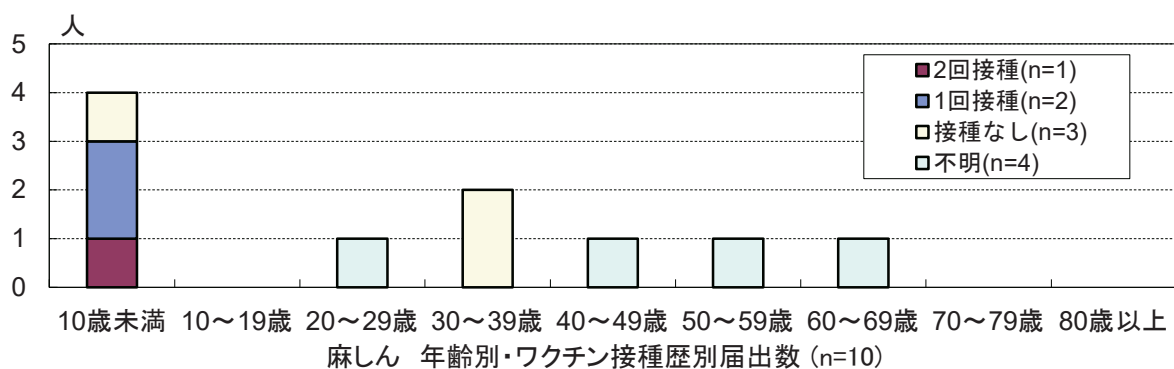
2023 年は 10 件の届出があり、検査診断例は 9 件（PCR 検査による病原体遺伝子の検出 8 件、IgM 抗体の検出 4 件、重複あり）、修飾麻しん例は 1 件であった。肺炎の合併が 1 件あった。

届出の内訳は、性別では男性 6 人、女性 4 人で、年齢階級別では 10 歳未満 4 人（全て 5 歳未満）、20～29 歳 1 人、30～39 歳 2 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 1 人、60～69 歳 1 人であった。推定感染地は国内 8 件、国外（インドネシア、シンガポール各 1 件）2 件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染が 5 件、接触感染が 2 件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染が 1 件、不明が 2 件であった。

麻しん含有ワクチン接種歴（暴露後の緊急対応としての接種も含む）は 2 回 1 件、1 回 2 件、なし 3 件、不明 4 件であった。

PCR 検査で麻しんウイルス陽性が確認された 9 件（修飾麻しん 1 例含む）の遺伝子型は全て D8 型であった。





㉒ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2023年は3件の届出があった。届出の内訳は、性別では男性1人、女性2人で、年齢階級別では50～59歳1人、70～79歳2人であった。死亡例は2人（50～59歳1人、70～79歳1人）の報告があった。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は医療器具関連感染2件、院内感染1件であった。菌種は全て *Acinetobacter baumannii* であった。

㉓ その他の五類感染症

先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の届出はなかった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

- ① 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)

2023年5月8日から五類感染症(定点把握対象)となった。

それ以前のデータは「データからわかるー新型コロナウイルス感染症情報ー(厚生労働省)」

<https://covid19.mhlw.go.jp/> または「東京都新型コロナウイルス感染症新規陽性者数(東京都)」

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/corona_portal/info/covid19_opendata.html を参照のこと。

(URLは2024年6月4日時点)

表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2023年第1週～第52週

週	期 間	一 類							二 類					三 類					
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス
1	1. 2～1. 8																4		
2	1. 9～1.15																1		
3	1.16～1.22																		
4	1.23～1.29																6		
5	1.30～2. 5																1		
6	2. 6～2.12																1	1	
7	2.13～2.19																3		
8	2.20～2.26																1	1	1
9	2.27～3. 5													1	1	2			
10	3. 6～3.12															3			
11	3.13～3.19														1	3			
12	3.20～3.26															1			
13	3.27～4. 2															2			
14	4. 3～4. 9															3			
15	4.10～4.16															7			
16	4.17～4.23															3			
17	4.24～4.30															6			
18	5. 1～5. 7															1			
19	5. 8～5.14															2			
20	5.15～5.21															2			
21	5.22～5.28															9			
22	5.29～6. 4														1	13			
23	6. 5～6.11															16			
24	6.12～6.18														1	20			
25	6.19～6.25															14	2		
26	6.26～7. 2															11			
27	7. 3～7. 9															1	10		
28	7.10～7.16															16			
29	7.17～7.23															8			
30	7.24～7.30															15			
31	7.31～8. 6															20			
32	8. 7～8.13															16			
33	8.14～8.20															21			
34	8.21～8.27															19			
35	8.28～9. 3														1	17			
36	9. 4～9.10													1		15			
37	9.11～9.17															15	1	1	
38	9.18～9.24															5			
39	9.25～10. 1														1	10	1	1	
40	10. 2～10. 8															16	1		
41	10. 9～10.15															17	1		
42	10.16～10.22															15			
43	10.23～10.29														1	10			
44	10.30～11. 5															5			
45	11. 6～11.12															6			
46	11.13～11.19														1	8			
47	11.20～11.26															5			
48	11.27～12. 3															8			
49	12. 4～12.10															8			
50	12.11～12.17															10			
51	12.18～12.24															6			
52	12.25～12.31															6			
	合 計													2	9	442	8	3	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2023年第1週～第52週

週	期 間	四 類											
		E型 肝炎	A型 肝炎	エム ポック クス	チク ング ニア 熱	つ つが 虫 病	デ ン グ 熱	日 本 紅 斑 熱	ブ ル セ ラ 症	マ ラ リ ア	ラ イ ム 病	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
1	1. 2～ 1. 8	4				2				1			
2	1. 9～ 1.15	6										3	
3	1.16～ 1.22	4		1					1			3	
4	1.23～ 1.29	4	1	5								2	
5	1.30～ 2. 5	1	1	2								3	
6	2. 6～ 2.12	2		2		1						2	
7	2.13～ 2.19	5	1	2		1	2					1	
8	2.20～ 2.26	9		5					1			5	
9	2.27～ 3. 5	5		4								3	
10	3. 6～ 3.12	3		14			1					3	
11	3.13～ 3.19	8		10								2	
12	3.20～ 3.26	5		13								2	
13	3.27～ 4. 2	7		14			2					4	
14	4. 3～ 4. 9	3		8								3	
15	4.10～ 4.16	2		2			1					8	
16	4.17～ 4.23	2		6									
17	4.24～ 4.30	5	1	6								2	
18	5. 1～ 5. 7	2		7								1	
19	5. 8～ 5.14	8		10									
20	5.15～ 5.21	4		10								5	
21	5.22～ 5.28			5			2					5	
22	5.29～ 6. 4	5	1	2								3	
23	6. 5～ 6.11	1		3			3	1		1	1		
24	6.12～ 6.18	5		4			1					4	
25	6.19～ 6.25	2		1								3	
26	6.26～ 7. 2	5		2								3	
27	7. 3～ 7. 9	2		1			2					4	
28	7.10～ 7.16	5	1	1			1					4	
29	7.17～ 7.23	2					1					3	
30	7.24～ 7.30					1						4	
31	7.31～ 8. 6	3										2	
32	8. 7～ 8.13	2		1			4					8	
33	8.14～ 8.20	1					1					2	
34	8.21～ 8.27	1					2					4	
35	8.28～ 9. 3	2		1			5					6	
36	9. 4～ 9.10	2					1					3	
37	9.11～ 9.17	3		4					2			5	
38	9.18～ 9.24	1	1	2			3					8	
39	9.25～10. 1		1	2	1		3		1			5	
40	10. 2～10. 8	3	1	2			1					6	
41	10. 9～10.15			1					2			1	
42	10.16～10.22	5		1			1					1	
43	10.23～10.29	1	1	3			2		1			6	
44	10.30～11. 5	2	2				2					3	
45	11. 6～11.12	1		2			1		1			1	
46	11.13～11.19	2		1		2	1					4	
47	11.20～11.26	1		1		1	1		1			4	
48	11.27～12. 3	4		2								1	
49	12. 4～12.10	3		1		1			2			4	
50	12.11～12.17	5	1	3		1			1			3	
51	12.18～12.24	1										6	
52	12.25～12.31	7		1									
合 計		166	13	168	1	10	44	1	1	14	1	168	5

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2023年第1週～第52週

	一類							二類							三類			
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス
千代田															1	6		
中央区																7	1	
みなの																26	1	
新宿区															2	21	1	1
文京															1	11		
台東															1	2		
墨田区																3	1	
江東区																18	1	
品川区															2	11		
目黒区														1		6		
大田区																38		
世田谷																29		
渋谷区																11	1	
中野区																6		
杉並																14		1
池袋														1		7		
北区																14		
荒川区																4		
板橋区																11	1	1
練馬区																19		
足立																21		
葛飾区																8		
江戸川																17	1	
八王子市																10		
町田市																14		
西多摩															1	6		
南多摩																9		
多摩立川																42		
多摩府中																32		
多摩小平															1	17		
島しょ																2		
合計														2	9	442	8	3

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2023年第1週～第52週

	四 類											
	E型肝炎	A型肝炎	エムボックス	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
千代田	11		1								6	1
中央区	1		3			3					3	
みなと	14		14			1			3		10	
新宿区	19	1	124	1		16		1	9		8	2
文京	9	2	9			2	1				10	1
台東	2					1					3	
墨田区	3	1	1			2					1	
江東区	8										2	
品川区	11		3			1					4	
目黒区	1	1							1		1	
大田区	9	2				7					10	
世田谷	2		2			4					4	
渋谷区	10		1		1	1					7	
中野区	5		1								4	
杉並	2		1								1	
池袋	2	1									2	
北区	5										5	
荒川区	1										1	
板橋区	9		4								9	
練馬区	3										4	1
足立	3	1									5	
葛飾区	1				1						6	
江戸川	5	2	1								5	
八王子市	2	1	1		1	3					5	
町田市	3										3	
西多摩	1					1					6	
南多摩	5				1						5	
多摩立川	7		2								15	
多摩府中	5	1				2			1	1	13	
多摩小平	7										10	
島しょ					6							
	166	13	168	1	10	44	1	1	14	1	168	5

表3-2(3) 全数把握対象の五類感染症 保健所別患者報告数

2023年第1週～第52週

	五 類																					
	ア メー バ 赤 痢	ウ イ ル ス 性 肝 炎 (A 型 ・ E 型 を 除 く)	カ ル バ ペ ネ ム 耐 性 腸 内 細 菌 目 細 菌 感 染 症	急 性 弛 緩 性 麻 痺 (急 性 灰 白 髄 炎 を 除 く)	急 性 脳 炎	ク リ プ ト ス ポ リ ジ ウ ム 症	ク ロ イ ツ フ ェ ル ト ・ ヤ コ ブ 病	劇 症 型 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 感 染 症	後 天 性 免 疫 不 全 症 候 群	ジ ア ル ジ ア 症	侵 襲 性 イ ン フ ル エ ン ザ 菌 感 染 症	侵 襲 性 髄 膜 炎 菌 感 染 症	侵 襲 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	水 痘 (入 院 例)	梅 毒	播 種 性 ク リ プ ト コ ク ス 症	破 傷 風	パ ン コ マ イ シ ン 耐 性 腸 球 菌 感 染 症	百 日 咳	風 し ん	麻 し ん	薬 剤 耐 性 ア シ ネ ト バ ク タ ー 感 染 症
千代田	7		5		1			6		1	1		6	1	38							
中央区	4	1	9					6	13	1	1	1	4		247				1			1
みなと	10	2	24	1	1			3	18	2	4		8	8	233	1		2	2	1	2	
新宿区	9	10	8			1	1	17	155	3	7	1	11	2	1274	4	1		1			2
文京	7	1	24	1	1			3	13	27		3	1	24	2	162	1	2	2	2	1	
台東	2	1	1						4			1		2		146	1					
墨田区	1		2		2			4	5			2		8	5	40		1				
江東区	1	2	15	1						1	3		4		26	2		1	8			
品川区		1	17					1	15	13			5	2	165	1						
目黒区	1		4		1			1	7	5			1		29	1			24			
大田区	2	3	7		4			1	4	6		2	1	7	6	49			2	1		
世田谷	3	2	8		13			1	2	2		4		12	4	53	1			33		2
渋谷区	2		6	1	1			1	3	7		4		8	2	321						
中野区	1		1						2	12	1			1		14				2		2
杉並	3	3	5						1	2				2	2	33	1			4		
池袋	1		2					1		1	1			1	362							
北区	2	3	2		1					2			1	3	1	38						3
荒川区	1	1	1						1						16				1			
板橋区	4	3	24						19	5	1	1		12	3	50	1			1		
練馬区	2	1	3		3			2	1			2		15	1	27						
足立	3	1	5		3				2	3		1		7		28		2		2		
葛飾区	2	1	1											6		19			1	4		
江戸川	1	1			1								4	3	52							
八王子市	6	3	3					1	4	3	1			4	2	42	1	1	1	5		
町田市	3		1									1		3	2	9				1		1
西多摩	1		1											1	2	11				4		
南多摩	1		4						6	1				4	1	36				12		
多摩立川	2	1	14					1	11	4				13	4	82	1			7		
多摩府中	2	2	19	2	9			4	5	12			8	26	1	50	1					
多摩小平	4		12		4			2	9	2			4	12	3	49				1	2	
島しょ																						
合 計	88	43	228	6	45	1	20	141	302	12	53	4	218	59	3,701	17	7	9	116	4	10	3

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2023年第1週～第52週

	一 類							二 類					三 類						
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳																			
1～4歳																	24		
5～9歳																	26		
10～14歳																	23	1	
15～19歳																	31		1
20～24歳															3	61	2	1	
25～29歳														1		63	1		
30～34歳															2	36	1		
35～39歳															1	33			
40～44歳															1	23	1		
45～49歳														1		20			
50～54歳															1	21	1	1	
55～59歳																24	1		
60～64歳																19			
65～69歳																11			
70～74歳																9			
75～79歳																8			
80～84歳															1	4			
85～89歳																5			
90歳以上																1			
合 計														2	9	442	8	3	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2023年第1週～第52週

	四 類											
	E型肝炎	A型肝炎	エムポックス	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
0歳												
1～4歳												
5～9歳		1			1	1						1
10～14歳		1			1	2						
15～19歳	1	1	1			4			1			
20～24歳	2	4	5		1	5			2	1		1
25～29歳	5	1	20			5			4			
30～34歳	6		31	1		6					1	
35～39歳	12		31			6		1	1		2	
40～44歳	11		36			7			1		3	
45～49歳	15		30		1	2			1		9	1
50～54歳	26	1	8		1	5			2		18	
55～59歳	20		3		1	1			2		14	
60～64歳	19		2		1						18	
65～69歳	16	1									19	1
70～74歳	15		1		1		1				18	
75～79歳	7				2						27	
80～84歳	6	2									17	1
85～89歳	4										12	
90歳以上	1	1									10	
合 計	166	13	168	1	10	44	1	1	14	1	168	5

表3-3(3) 全数把握対象の五類感染症 年齢階級別患者報告数

2023年第1週～第52週

	五 類																					
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
0歳			7		4			2			6		4		9				3			
1～4歳			8	2	14						6		27	2					25			4
5～9歳				3	14			1			1		8	3					32	1		
10～14歳			1	1	8							1		2	2				11			
15～19歳		1	2		1				1		1			2	113				3			
20～24歳		9	4					1	31	1		1	2	6	767				4			
25～29歳	1	4	1					1	64	3		1		3	634				7			1
30～34歳	1	6	1						71	3	1		1	1	436				5			1
35～39歳	11	6	2					6	58	1	1		5	2	385				3			1
40～44歳	13	9	4		2			1	9	24		1	4	9	388				6	2		
45～49歳	7	2	6					14	16	2	1		6	4	303	1			4			1
50～54歳	12	1	7			1		8	18		2		12	3	290	1			5			1
55～59歳	14	2	12					1	7	12		3	1	16	1	187	2		1	2		1
60～64歳	13	1	15					9	7	1			10	3	90	1	1	1	1			1
65～69歳	7	2	17		1			2	13			3		23	1	43	1	1		1		
70～74歳	2		32		1			5	21			3		22		23	1	3		1		
75～79歳	4		33					5	15			5		28	4	17	6	1	2			2
80～84歳	1		30					4	11		1	6		27	6	4	1		3	2		
85～89歳	2		27					2	18			9		11	5	5	3	1	2		1	
90歳以上			19					5				4		12	2	2				1		
不明															3							
合 計	88	43	228	6	45	1	20	141	302	12	53	4	218	59	3,701	17	7	9	116	4	10	3

(2) 小児科・内科疾患

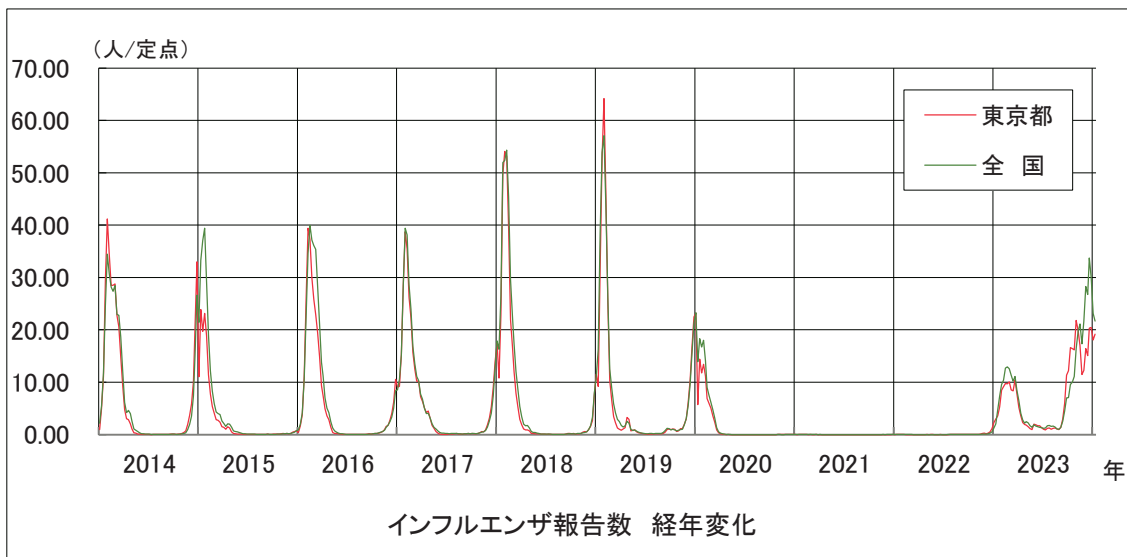
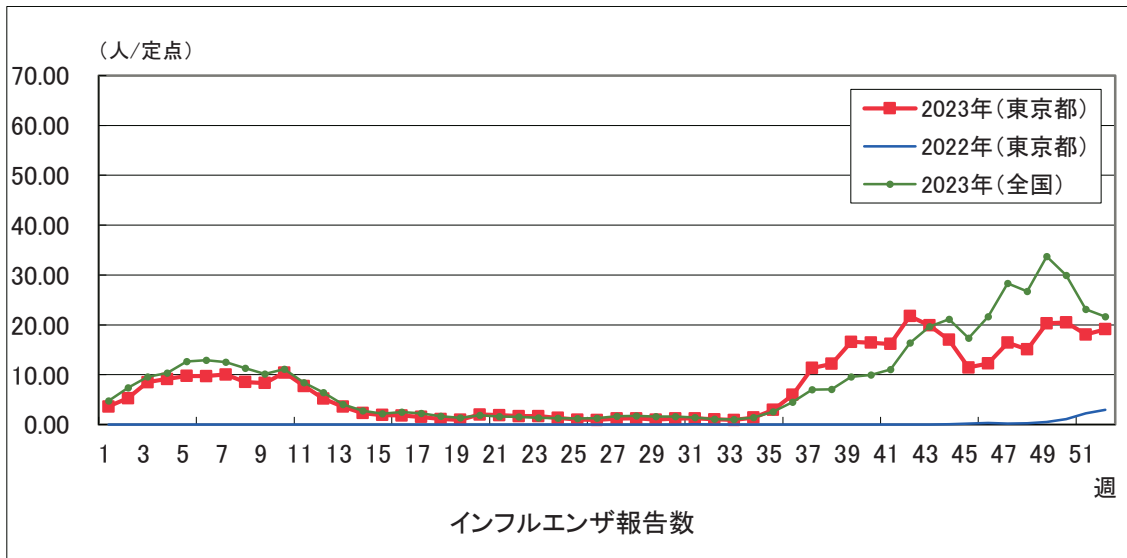
ア インフルエンザ

2023年の報告数は166,792人、定点当たり402.93人で、報告数が少なかった2020年、2021年、2022年に比べ大きく増加した。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は231.49人であり、過去10年で最高の報告数となった。

2022/23シーズンは、週別定点当たりの報告数が2022年50週(12.12～12.18)に1.12人と1.0人を超えて流行期に入ったと判断された。2023年7週(2.13～2.19)には10.04人と流行注意報発令基準(定点当たり10.0人)を超え、その後も10.0人前後を推移して、11週(3.13～3.19)には7.74人と10.00人以下となり、15週(4.10～4.16)には1.92人と2.00人以下となった。流行警報発令基準(定点当たり30.0人)に達しておらず、例年並みの流行は見られなかった。その後は1.0人～2.0人前後で推移したが、35週(8.28～9.3)に2.95人、36週(9.4～9.10)に5.95人と増加し、37週(9.11～9.17)には11.37人と流行注意報発令基準(定点当たり10.0人)を超えた。その後も10.0人から20.0人前後を推移しており、本稿執筆時点でも流行警報発令基準(定点当たり30.0人)に達していないものの、2023年中の流行期が長く持続したこともあって、2023年の報告数は過去10年で最高となった。

2023年の保健所別定点当たり患者報告数で最も多かったのは八王子市の676.33人、次いで荒川区の630.57人であった。

年齢階級別に患者報告数をみると1歳未満1,215人(0.7%)、1歳～10歳未満77,586人(46.5%)、10歳～20歳未満49,023人(29.4%)、20歳～60歳未満35,404人(21.2%)、60歳以上3,564人(2.1%)であった。



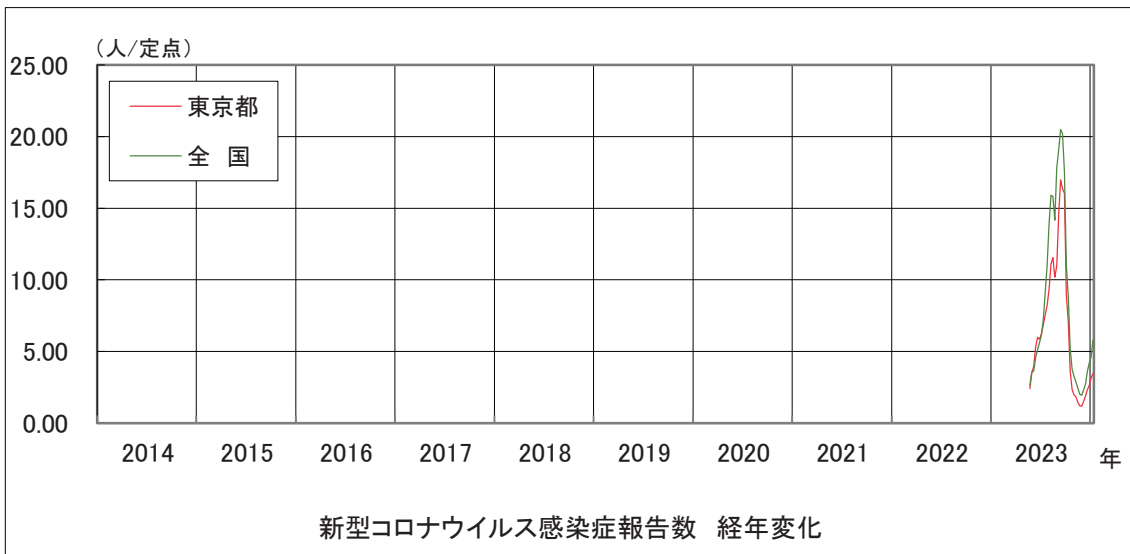
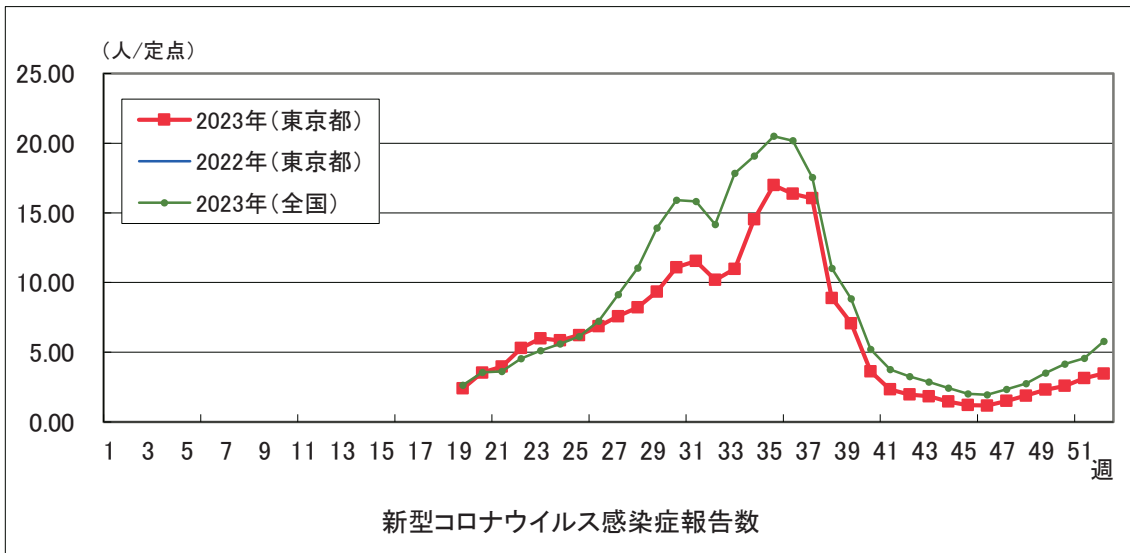
イ 新型コロナウイルス感染症

2023年5月8日から感染症法上の取扱いが五類感染症に変更され、2023年19週から対象疾患となった。2023年の報告数は89,884人、定点当たりの報告数は217.41人であった。

週別定点当たりの報告数では30週（7.24～7.30）に11.09人と10.0人を超え、35週（8.28～9.3）に16.98人とピークを迎えたが、38週（9.18～9.24）には8.89人と10.0人を下回った。46週（11.13～11.19）には1.17人と2023年で最も少ない報告数であったが、その後、やや増加傾向を示し、2024年4週（1.22～1.28）には11.27人と10.0人を超えた。本稿執筆時点では、10.0人前後で推移している。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは墨田区の440.96人であった。

年齢階級別に患者報告数をみると1歳未満1,627（1.8%）、1歳～10歳未満10,990人（12.2%）、10歳～20歳未満人17,039（19.0%）、20歳～60歳未満45,688人（50.8%）、60歳以上14,540人（16.2%）であった。



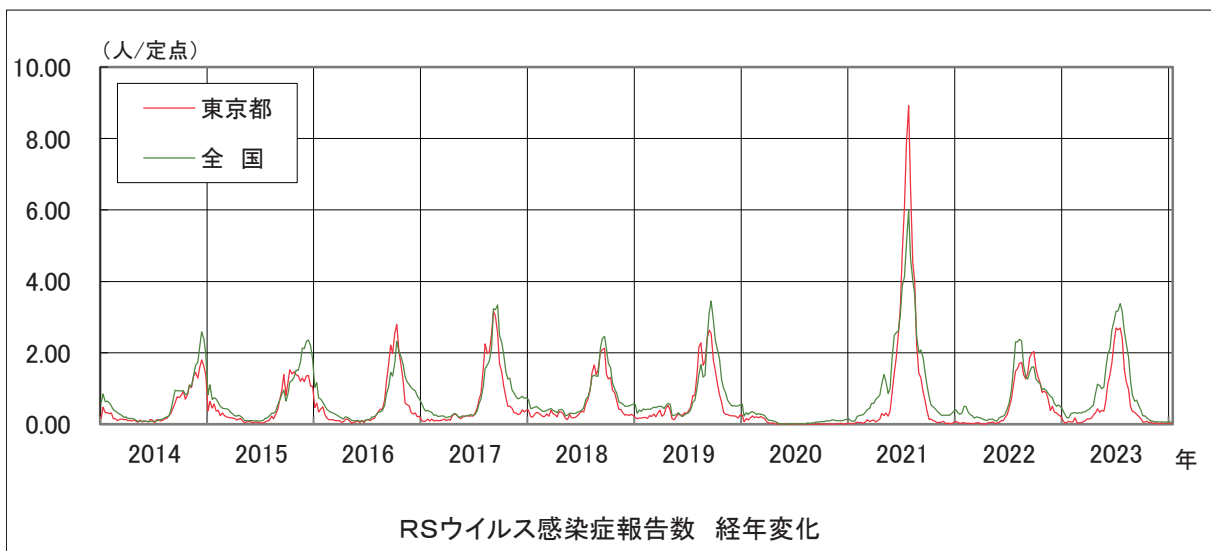
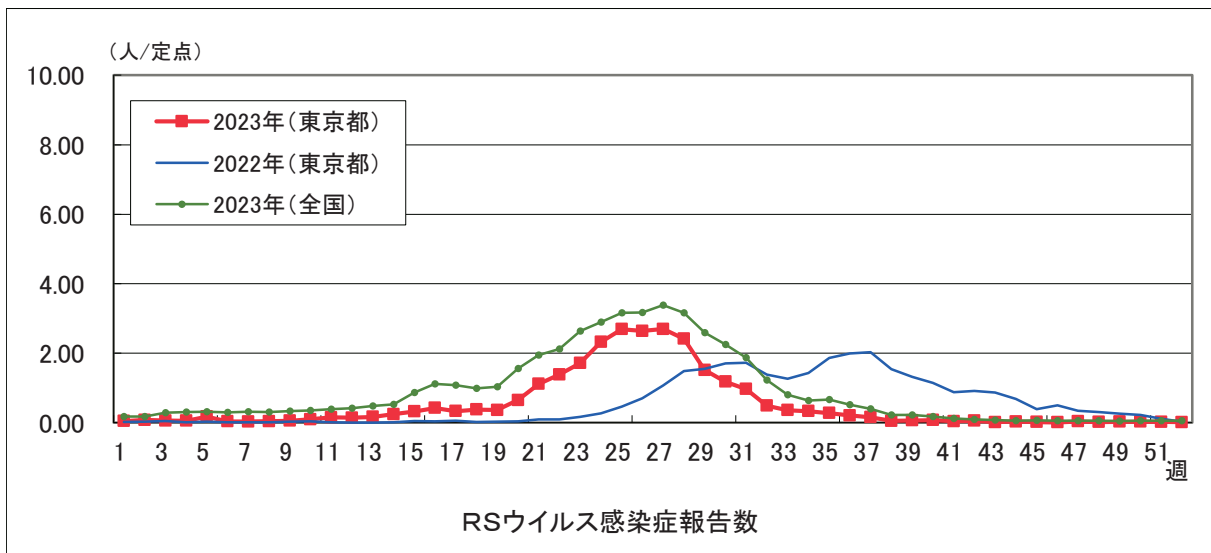
ウ RSウイルス感染症

2023年の報告数は7,000人、定点当たり26.90人であった。2023年の報告数は、2003年の調査開始以降最も多い報告数であった前々年（2021年）より大きく減少した前年（2022年）をやや下回った。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は29.90人であり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の例年並みの報告数に近づいた。

週別定点当たりの報告数では21週（5.22～5.28）に1.12人と1.0人を超え、27週（7.3～7.9）には2.70人とピークを迎え、31週（7.31～8.6）には0.97人と1.0人を下回った。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは荒川区の105.75人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が633人(9.0%)、6か月～12か月未満が1,117人(16.0%)、1歳代が2,274人(32.5%)、2歳代が1,330人(19.0%)と2歳以下で76.5%を占めている。



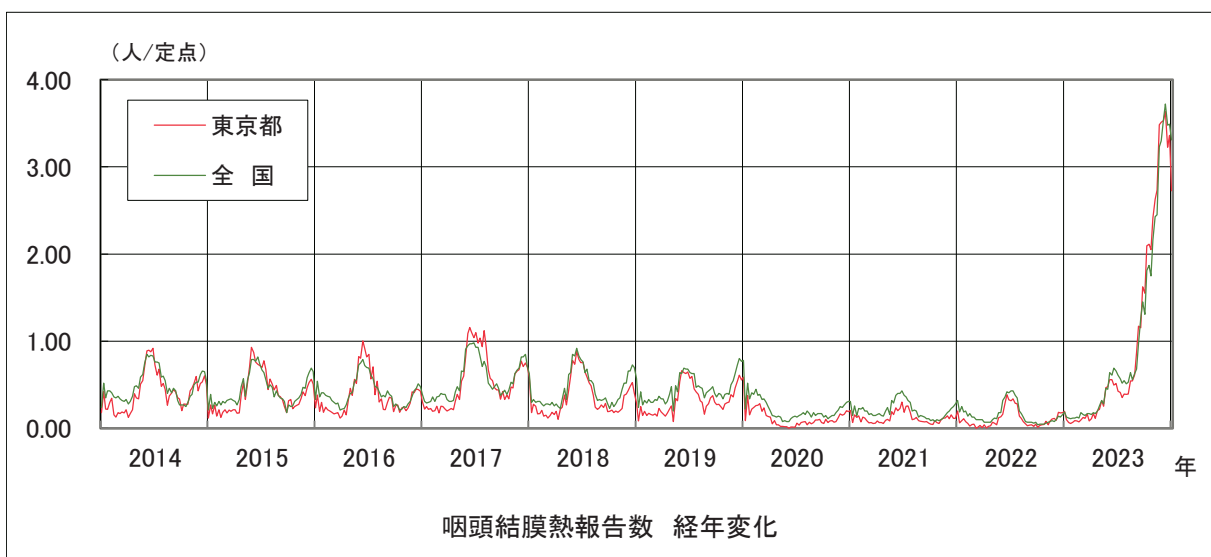
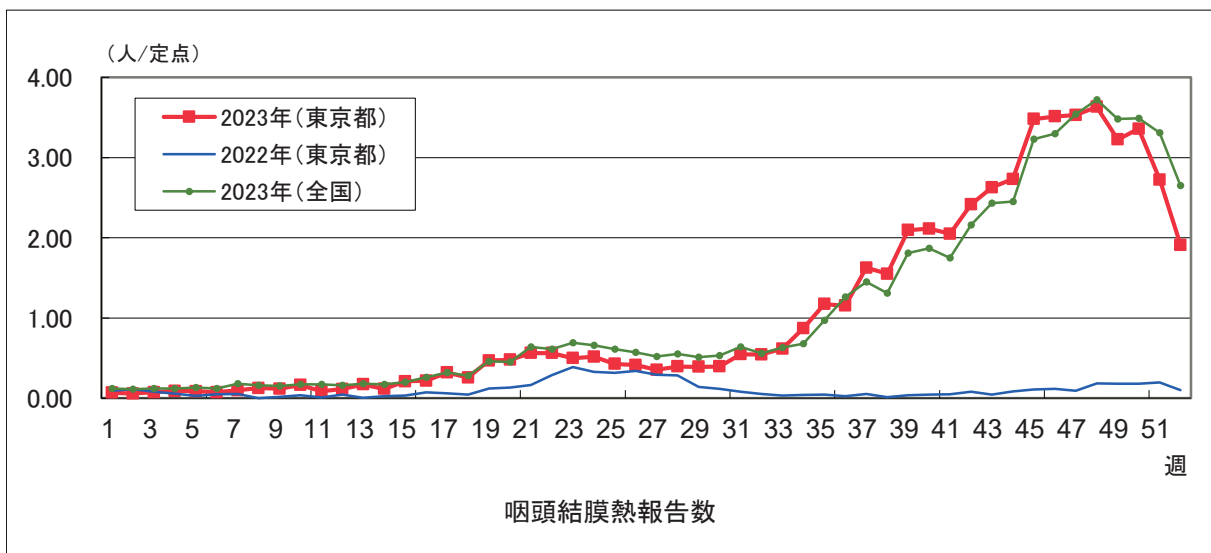
エ 咽頭結膜熱

2023年の報告数は14,418人、定点当たり55.36人と、前年（2022年）の報告数1,420人、定点当たり5.52人を大きく上回った。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は19.78人であり、2023年の報告数はここ10年で最も多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では35週（8.28～9.3）に1.17人と1.0人を超え、48週（11.27～12.3）には3.63人とピークを迎え、年内は1.0人以上で推移したが、2024年1週（1.1～1.7）に0.70人と1.0人を下回った。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは江戸川の139.82人、次いで荒川区の106.50人、多摩小平の99.81人であった。

年齢階級別報告数では3歳代が2,230人（15.5%）と最も多く、6歳代以下で85.4%を占めている。



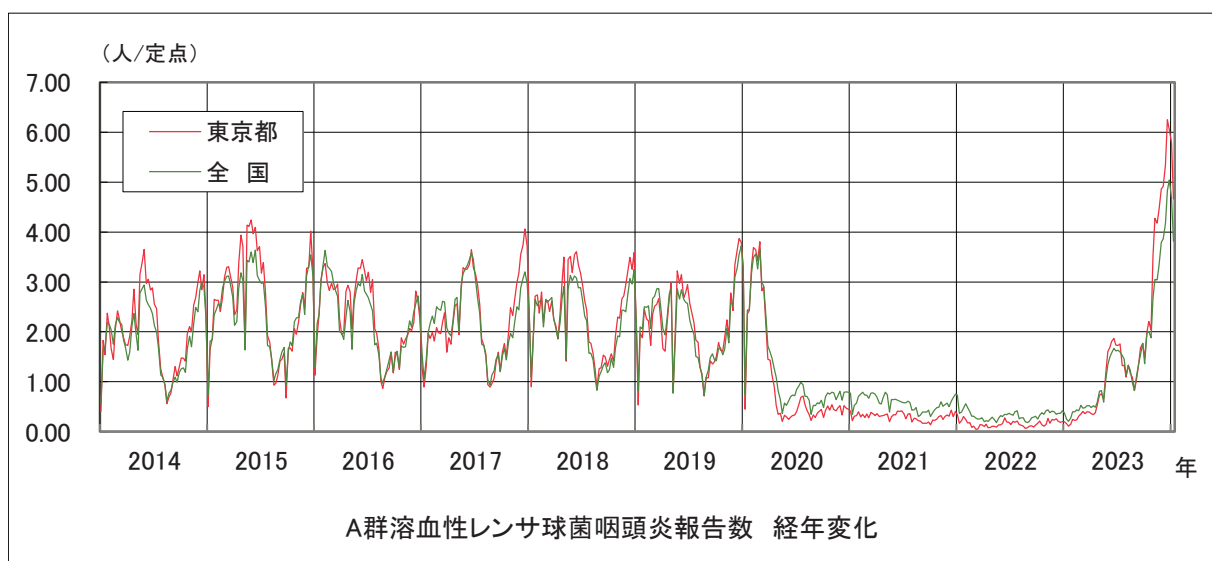
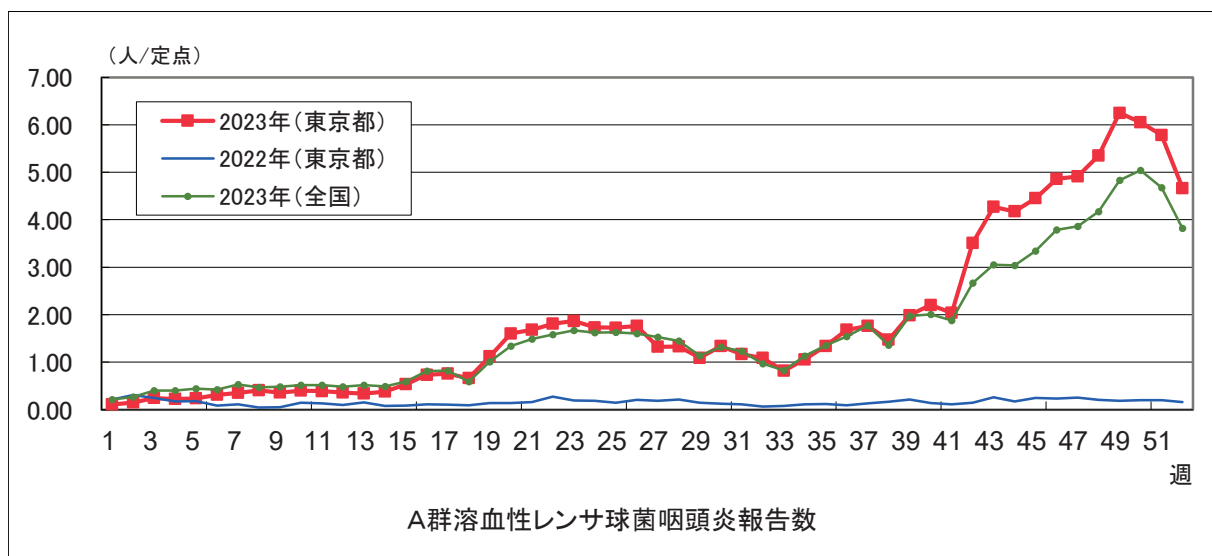
オ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2023年の報告数は25,052人、定点当たり96.27人と、前年（2022年）の報告数2,094人、定点当たり8.14人を大きく上回った。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は88.55人であり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の報告数に近づいた。

週別定点当たりの報告数では、前年（2022年）は、特にピークは見られず、年間を通じて0.05人～0.31人の間で推移したが、2023年前半も同じような傾向であった。19週（5.8～5.14）に1.12人と1.0人を超えた後、2.0人未満で推移していたが、40週（10.2～10.8）に、2.21人と2.0人を超え、49週（12.4～12.10）に6.25人とピークを迎えた。その後は4.05人～6.05人で推移し、2024年1週（1.1～1.7）に1.49人と低下したが、本稿執筆時点では、4.0人前後で推移している。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは中野区の209.00人、次いで多摩小平の177.58人であった。

年齢階級別報告数では、2歳代から9歳代の合計が19,934人で、79.6%を占めている。



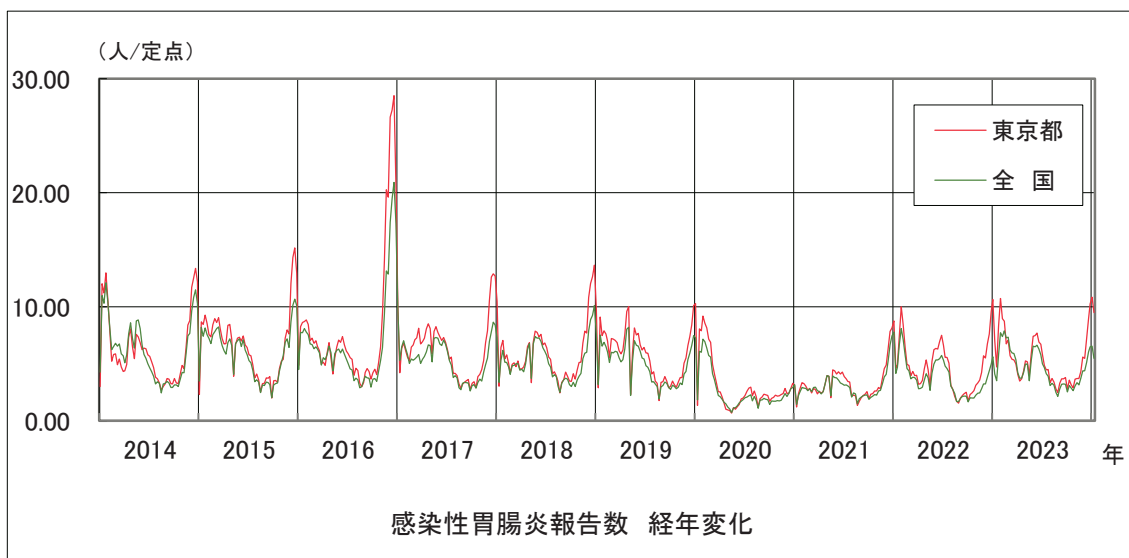
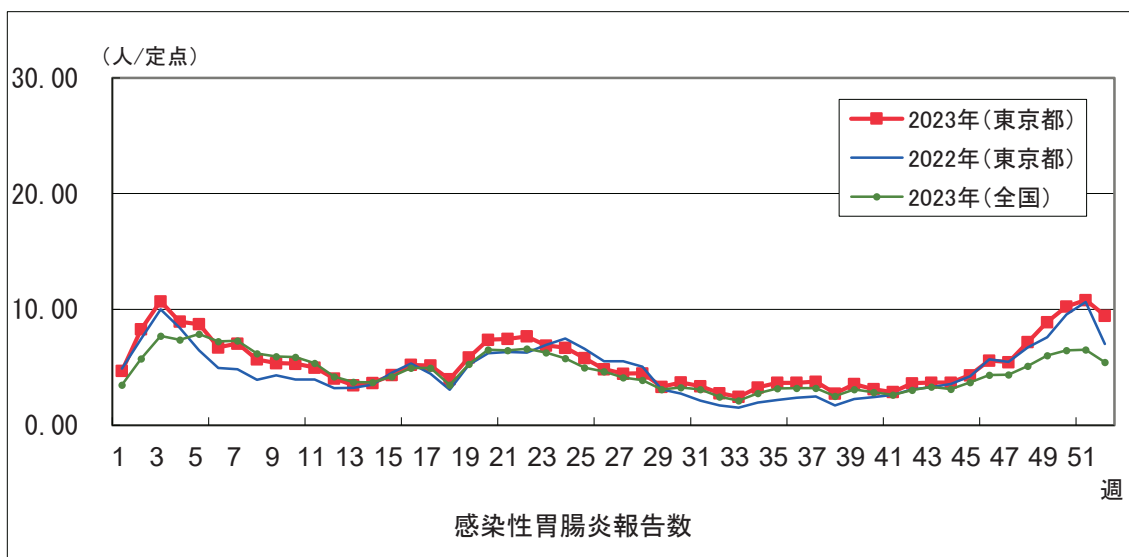
カ 感染性胃腸炎

2023年の報告数は73,680人、定点当たり283.49人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均288.99人であり、コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の報告数に近づいた。

週別定点当たりの報告では、2週（1.9～1.15）から7週（2.13～2.19）にかけて、20週（5.15～5.21）から24週（6.12～6.18）にかけて、49週（12.4～12.10）から52週（12.25～12.31）にかけて、6.0人を超える3つの山があり、ピークは51週（12.18～12.24）の10.82人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の571.18人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が9,770人（13.3%）、2歳代が8,156人（11.1%）、3歳代が7,697人（10.4%）、4歳代が7,418人（10.1%）と、1歳代から4歳代で44.8%を占めている。



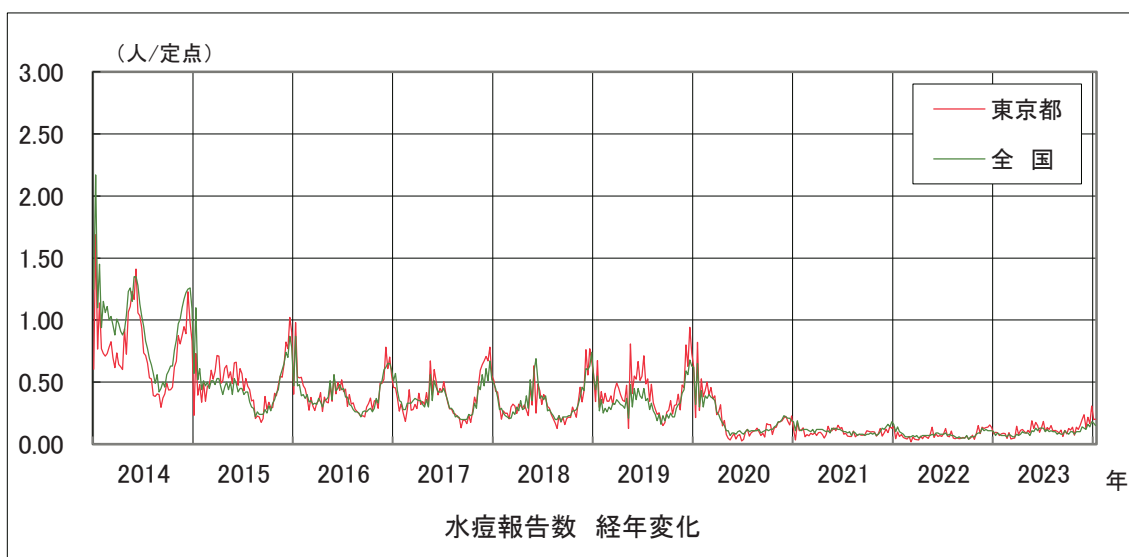
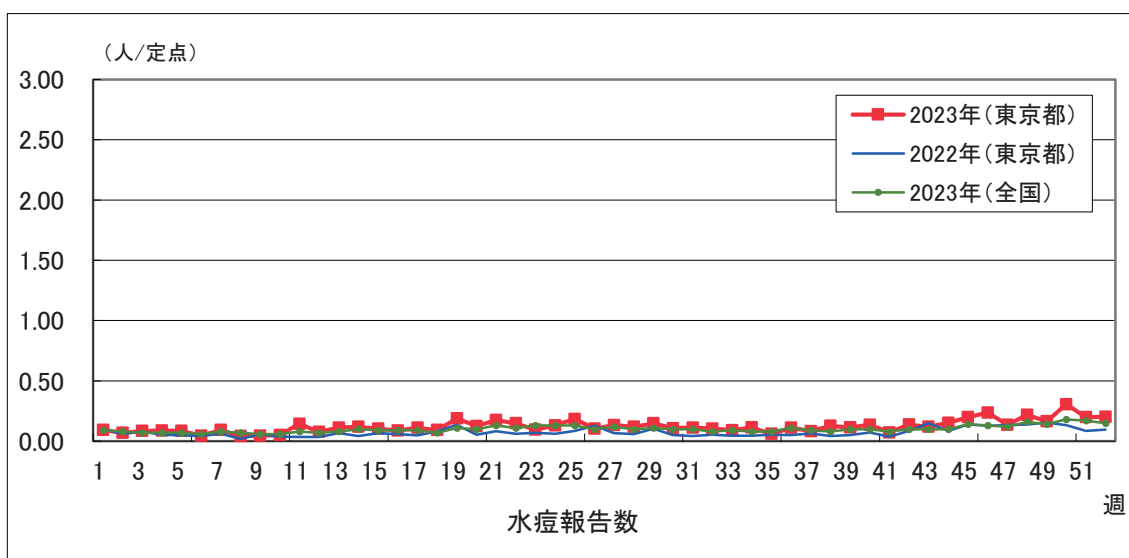
キ 水痘

2023年の報告数は1,666人、定点当たり6.41人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は17.17人であり、2023年の報告数はこの10年では2022年、2021年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は、年間を通じて0.31人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのはみなとの15.50人であった。

年齢階級別報告数では、10歳未満で1,306人（78.4%）だったが、10歳代～14歳代も312人（18.7%）の報告があった。



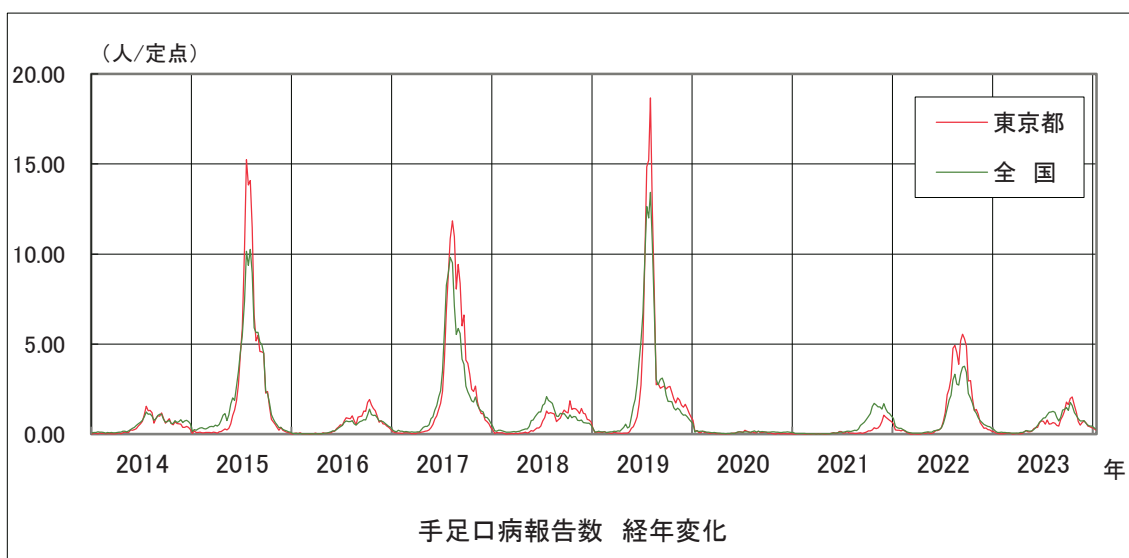
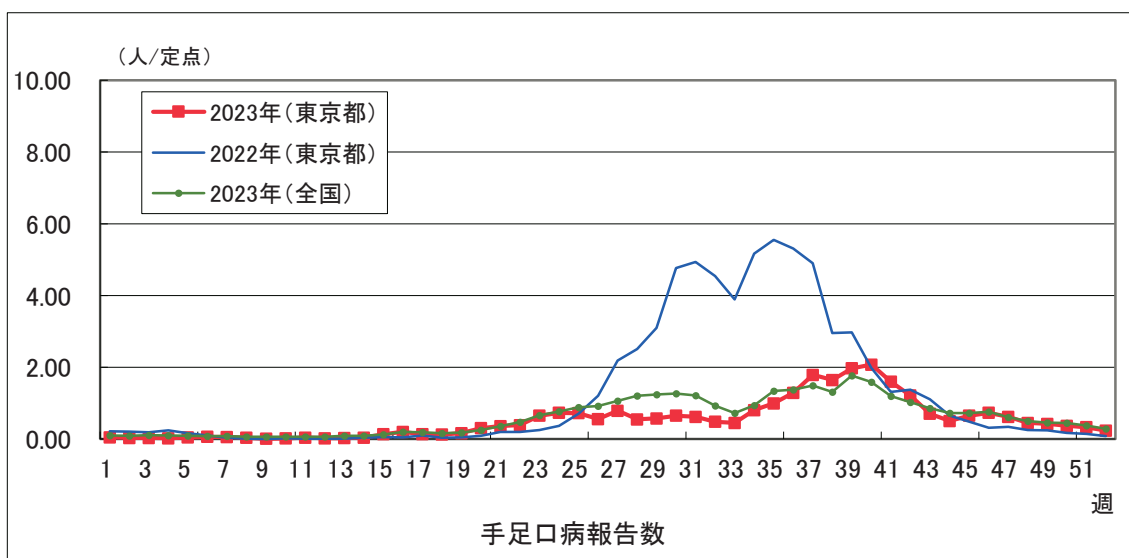
ク 手足口病

2023年の報告数は7,183人、定点当たり27.58人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は57.83人であった。近年では2010年以降1年ごとに報告の多い年と少ない年を繰り返しており、2020年は報告数が少ない年に、2021年は報告数が多い年にあたっていたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染予防対策の影響もあってか、定点当たりの報告数は圧倒的に少ない報告数であった。この順番で行けば2022年は報告数が少ない年にあたるが、報告数が少なかった2021年の反動や、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する予防行動の変化の影響もあってか、大きく報告数が増加した。2022年が報告数の多い年と考えれば、2023年は少ない年に当たると考えられる。2023年は前年（2022年）に比較して報告数は低下し、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の、報告数が少ない年並みの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、年初から1.0人未満で推移していたが、35週（8.28～9.3）に1.00人となり、40週（10.2～10.8）に2.08人とピークを迎え、以後減少して43週（10.23～10.29）に0.70人と1.0人未満となった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、八王子市の64.09人で、次いで台東の59.00人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が1,712人(23.8%)と最も多かった。



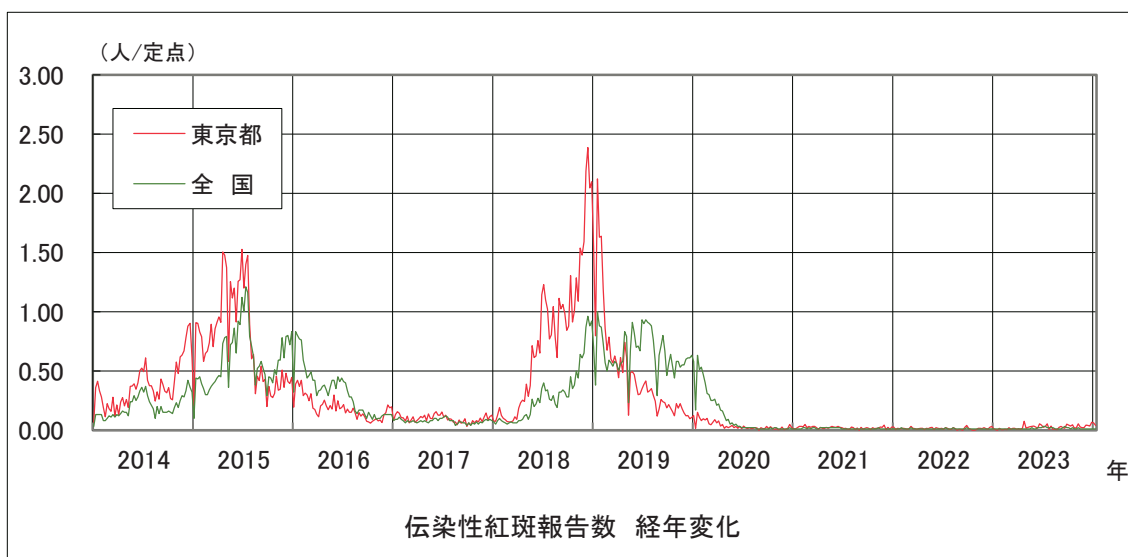
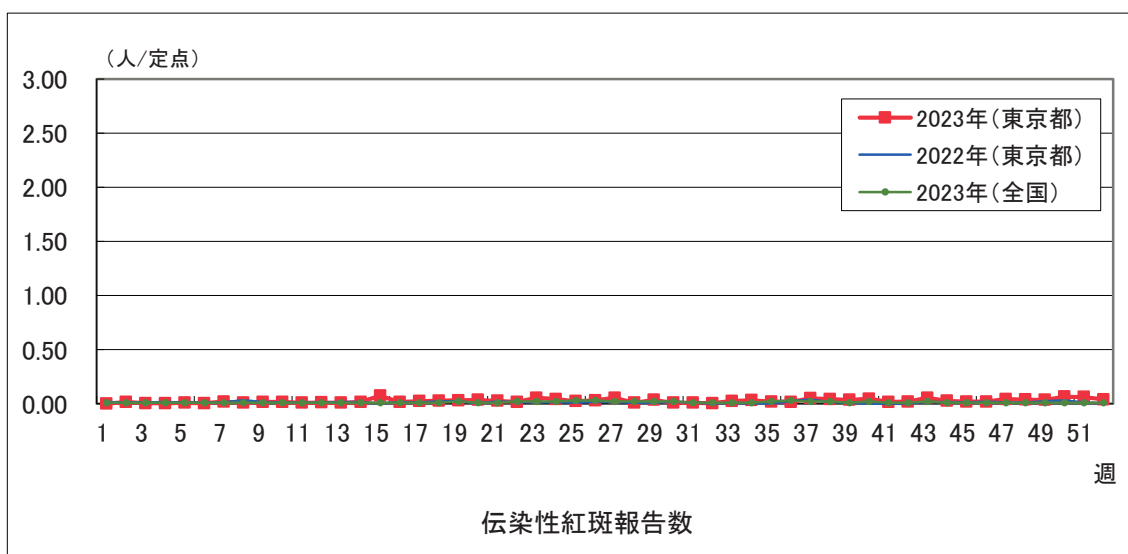
ケ 伝染性紅斑

2023年の報告数は349人、定点当たり1.34人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は14.29人であり、2023年の報告数はこの10年では2022年、2021年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は、年間を通して0.07人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは板橋区の2.90人、次いで町田市が2.75人であった。

年齢階級別報告数では3歳代が51人（14.6%）、4歳代が44人（12.6%）、1歳代が43人（12.3%）と多かった。



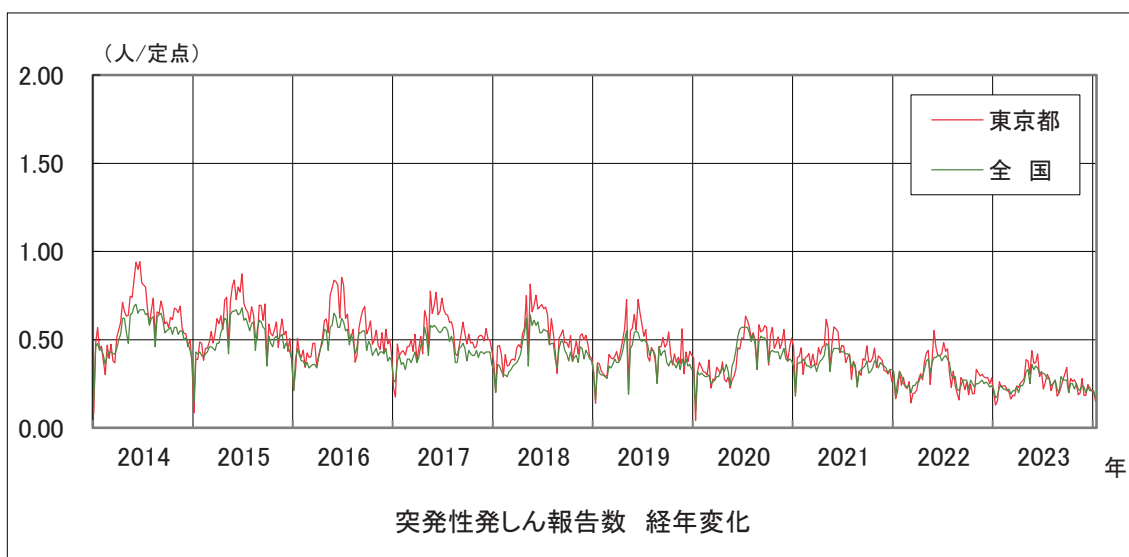
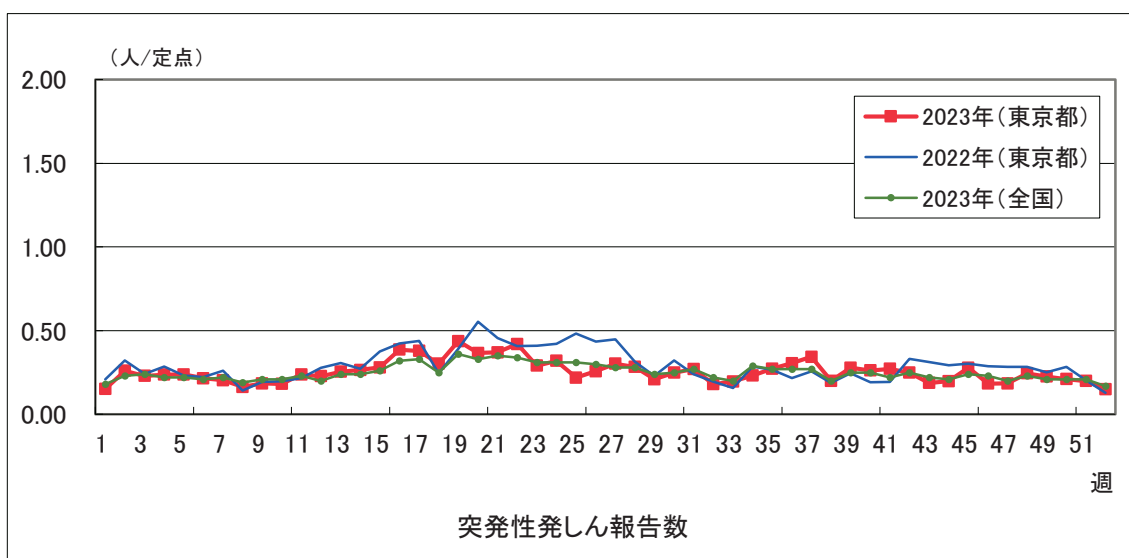
コ 突発性発しん

2023年の報告数は3,447人、定点当たり13.26人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は23.58人であり、2023年の定点当たりの報告数はここ10年では最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、春から夏にかけて多い傾向も見られるが、季節変動は少なかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは荒川区の27.00人で、次いで多摩小平の25.67人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が1,830人（53.1%）と最も多かった。



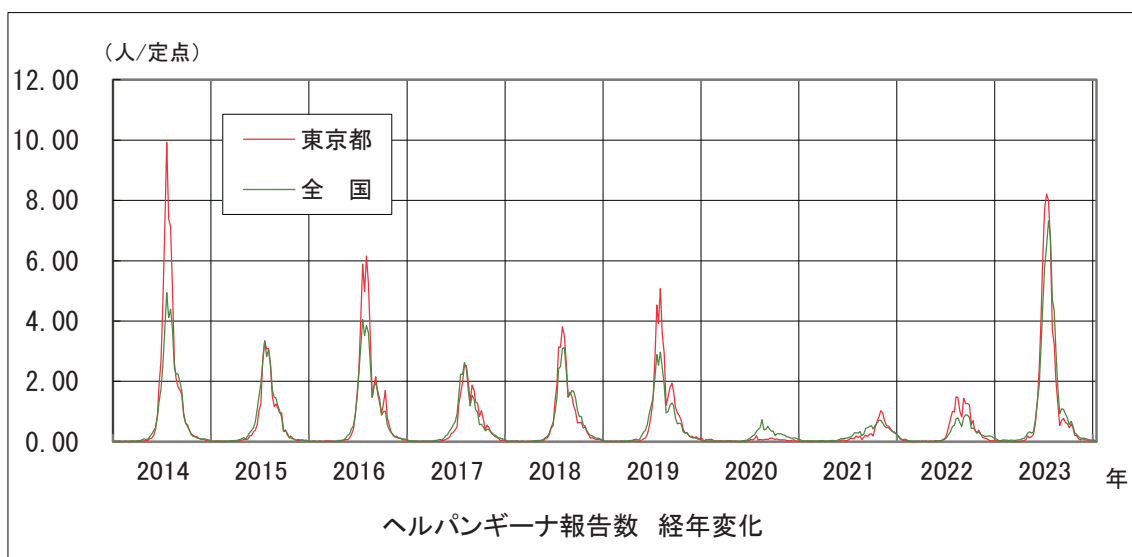
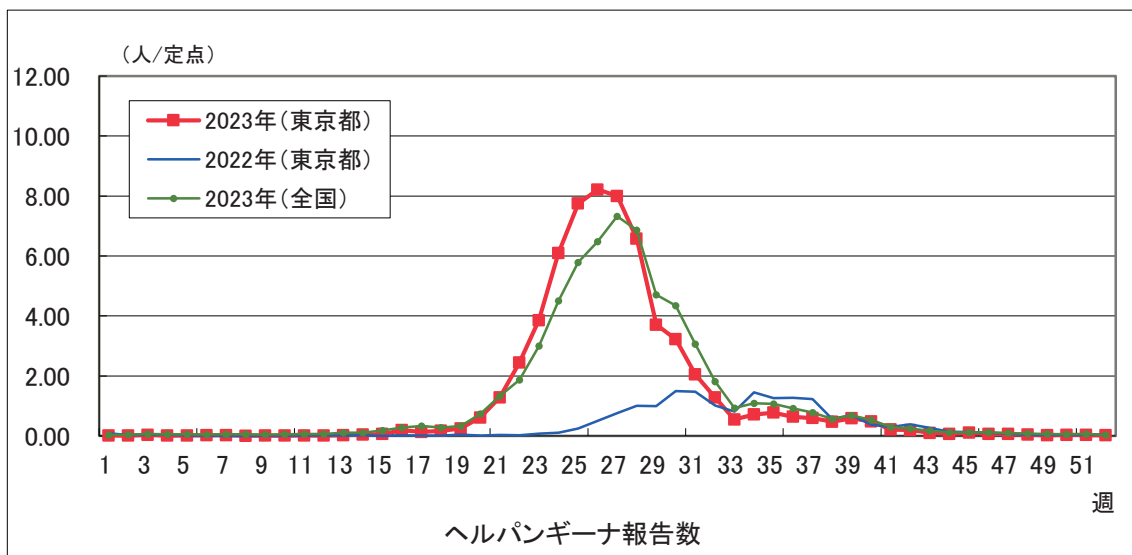
サ ヘルパンギーナ

2023年の報告数は16,077人、定点当たり61.77人であった。ここ10年の定点当たりの平均は33.03人であるが、2023年の定点当たりの報告数は、前年(2022年)を大きく上回って新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行以前の水準に戻り、ここ10年では最も多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、年初から0.10人未満で推移していたが、16週(4.17~4.23)に0.19人とやや増えたあと増加傾向を示し、21週(5.22~5.28)に1.28人と1.0人を超えた。ピークは26週(6.26~7.2)の8.22人であった。33週(8.14~8.20)には0.54人と1.0人未満となり、43週(10.23~10.29)以降は、0.10人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の113.27人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が3,284人(20.4%)と最も多く、次いで2歳代が2,896人(18.0%)であった。



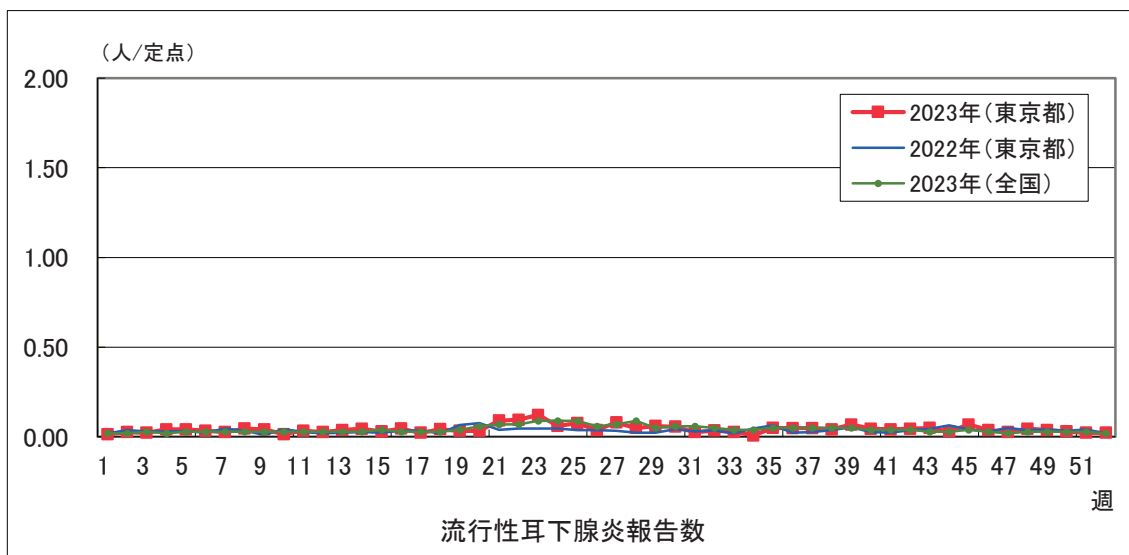
シ 流行性耳下腺炎

2023年の報告数は593人、定点当たり2.28人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は9.24人であり、2023年の報告数はここ10年で2022年に次いで少ない報告数であった。ここ10年では2016年に大きな流行があった。

週別定点当たりの報告数では季節変動は明らかではない。年間を通して0.12人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは中央区の6.00人、次いで町田市の5.13人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が94人（15.9%）と最も多かった。



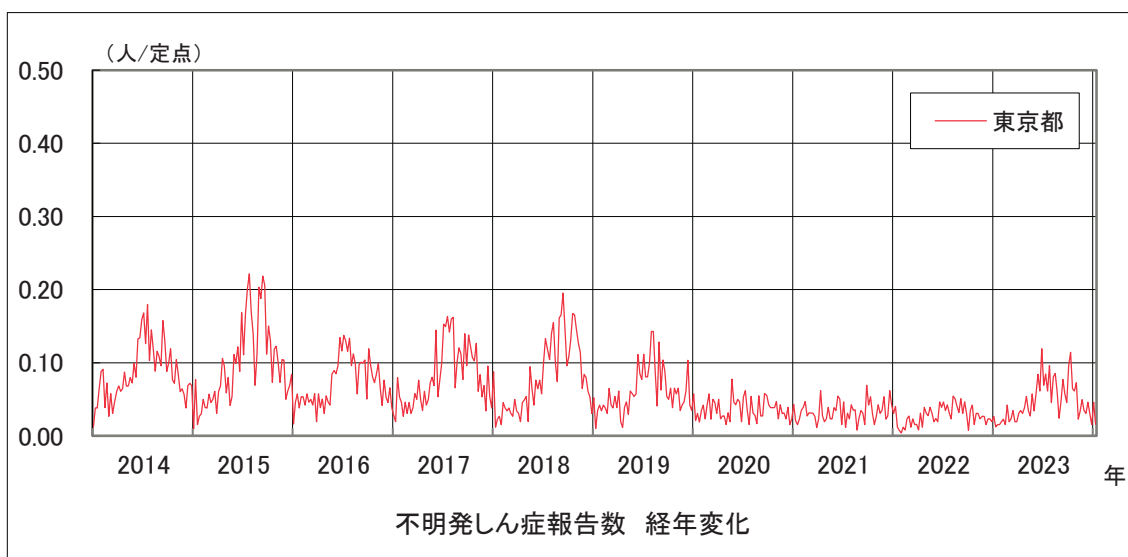
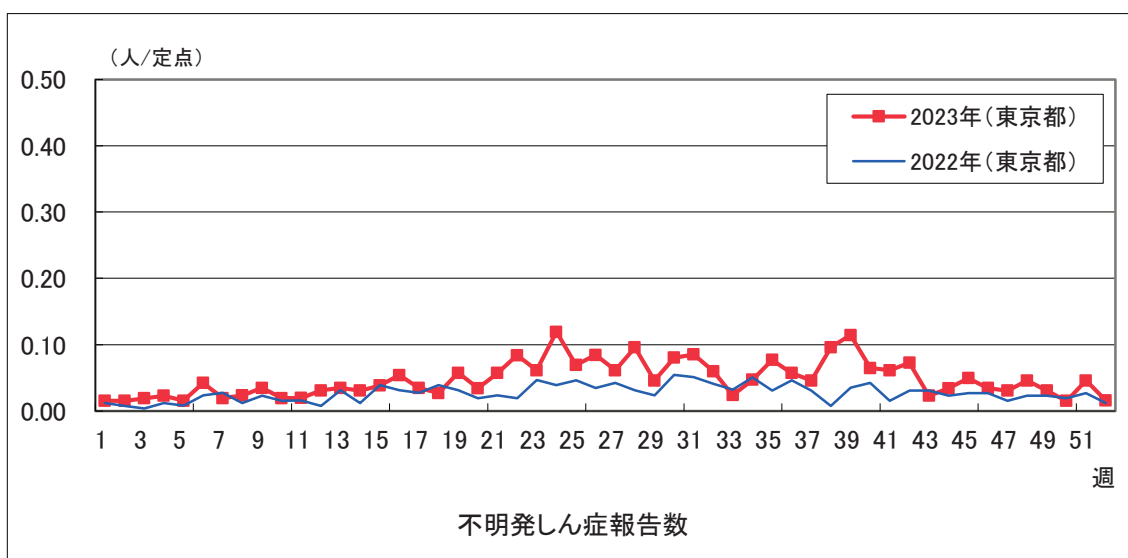
ス 不明発しん症

2023年の報告数は645人、定点当たり2.48人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は3.24人であり、2023年の報告数はここ10年で4番目に少ない報告数であったが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の報告数に近づきつつある。

週別定点当たりの報告数では、2023年は初夏から秋口にかけてやや多い傾向も見られるが、季節変動は顕著ではなかった。年間を通して0.12人以下で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩府中の6.59人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が181人（28.1%）と最も多かった。



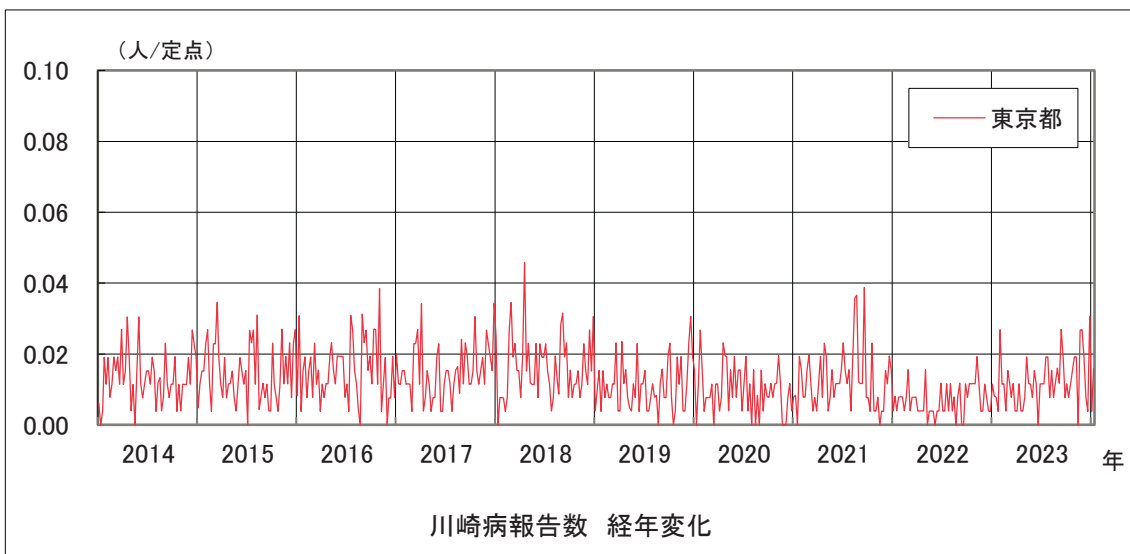
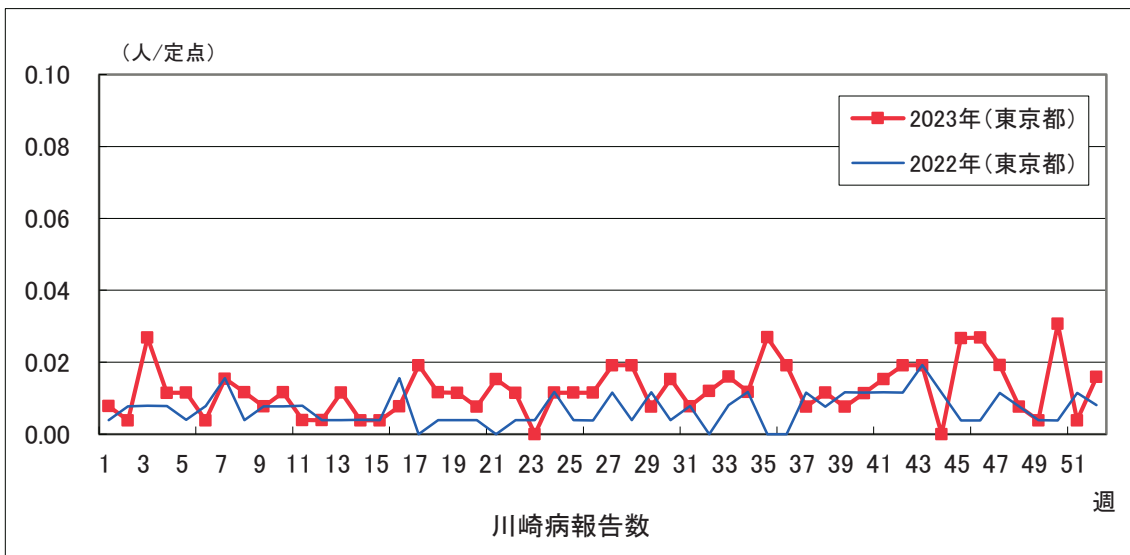
セ 川崎病

2023年の報告数は166人、定点当たり0.64人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.66人であり、2023年は、ここ10年でみると例年並みの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年と同様に季節変動は明確でない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは杉並の2.67人であった。

年齢階級別報告数では2歳代が36人（21.7%）と最も多く、次いで1歳代が32人（19.3%）だった。

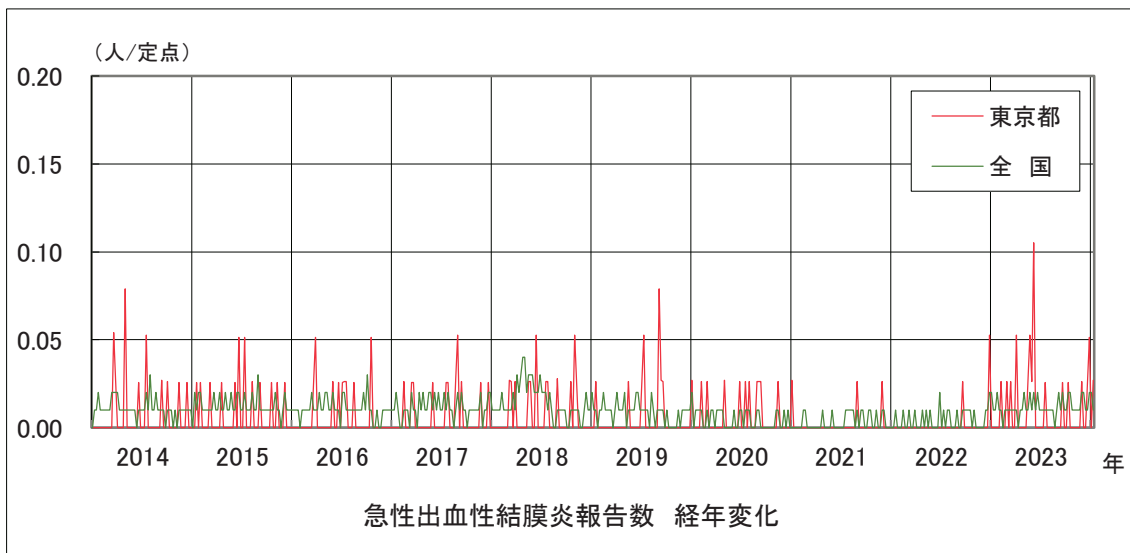
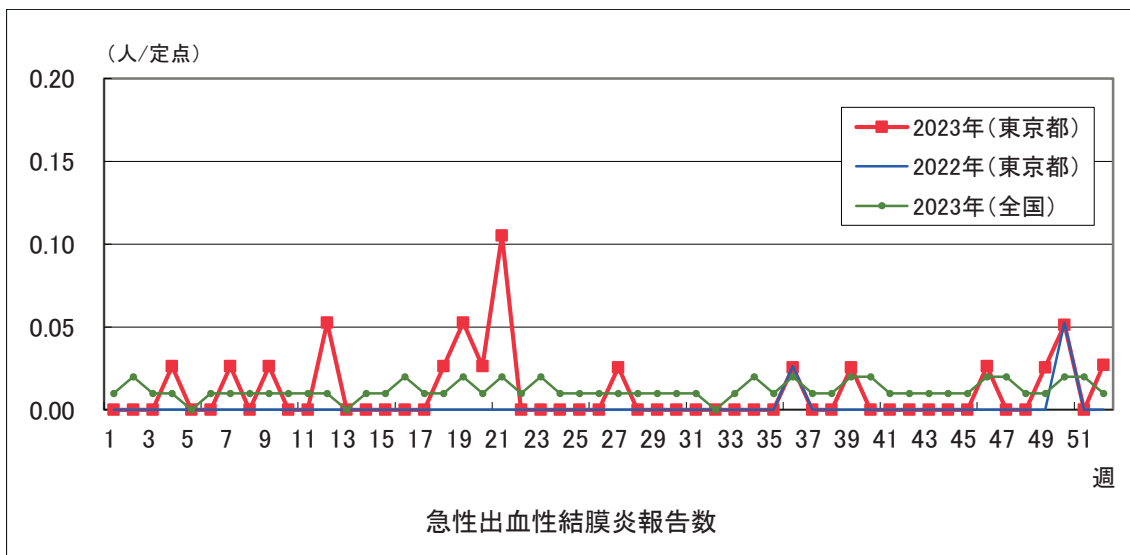


(3) 眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2023年の報告数は21人、定点当たり0.55人であった。これは、過去10年間で最も多い報告数で、過去10年平均の約2倍であった。

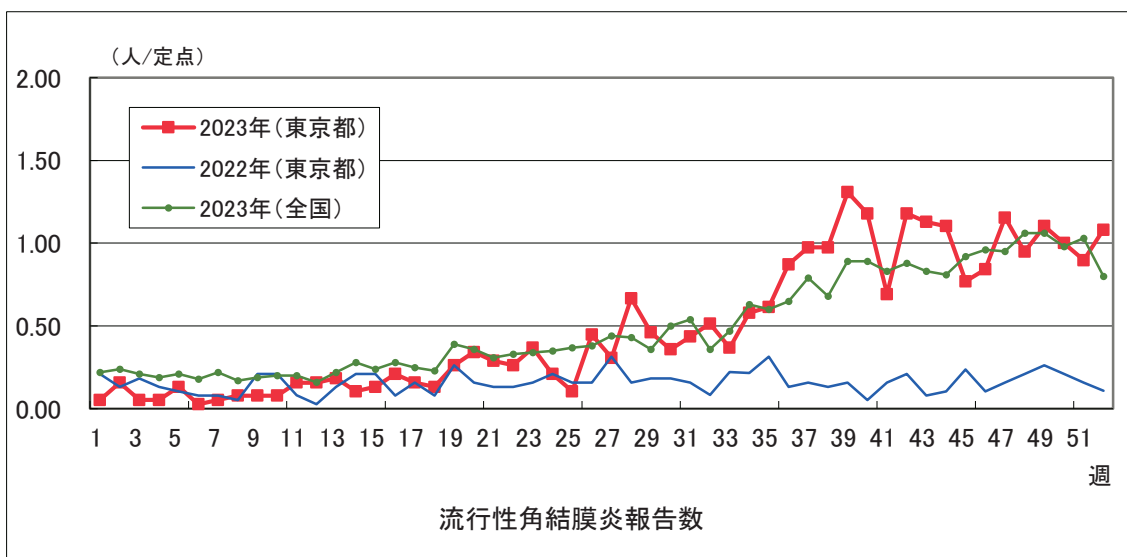
全国的にも高いレベルの発生が続いており、東京も同様の傾向となっている。



イ 流行性角結膜炎

2023年の報告数は996人、定点当たり25.8人で、昨年の3倍以上の報告数であった。

報告年齢は、20～49歳が498人で50.0%、20歳以上の成人だけで726人、72.9%を占めているが、10歳未満でも231人、23.2%報告されており、患者は各年齢層に分布していると言える。



(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

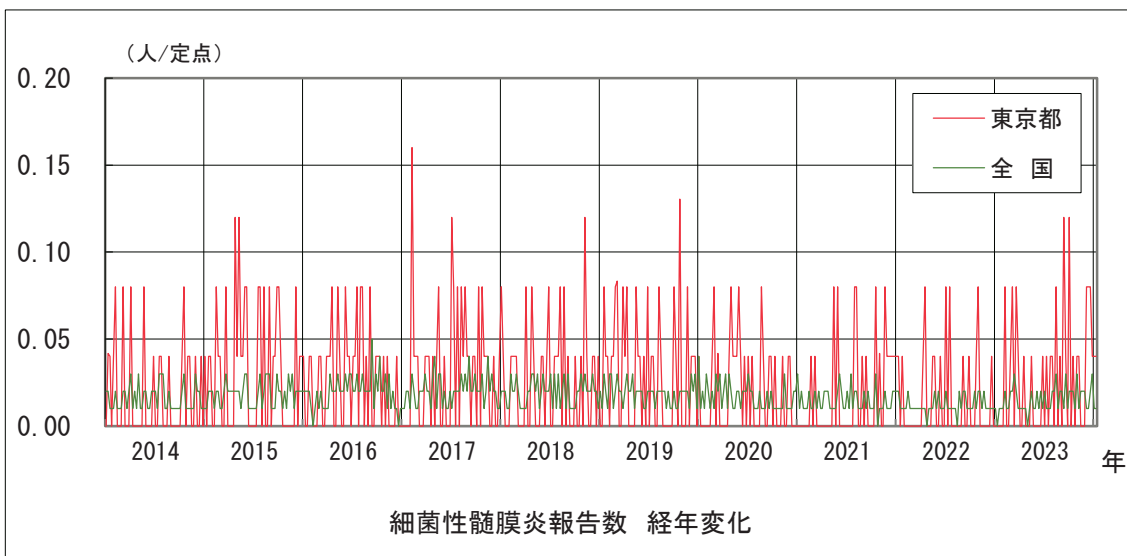
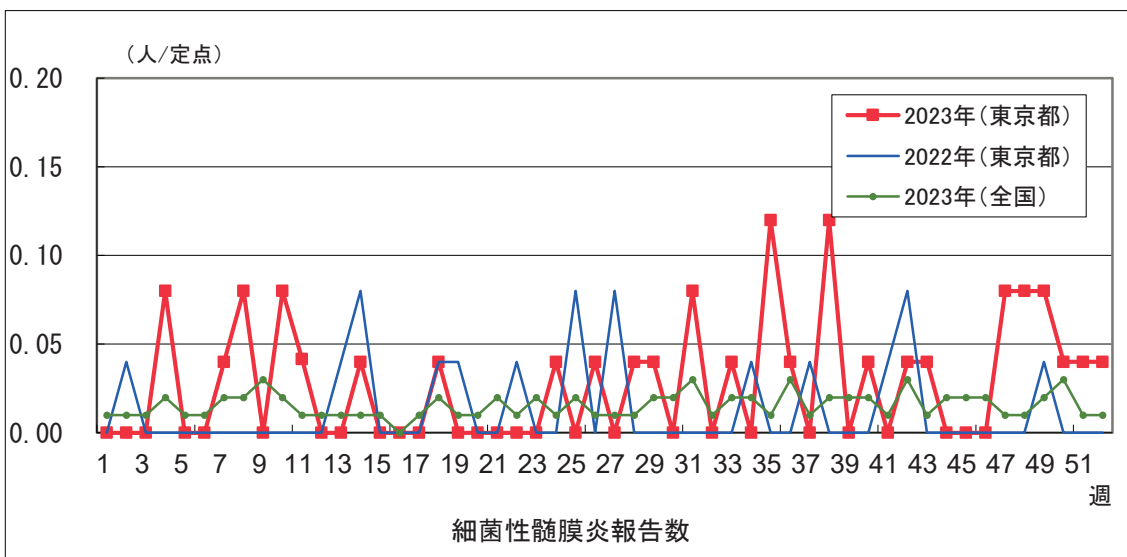
ア 細菌性髄膜炎

2023年の報告数は36人、定点当たり報告数は1.44人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.23人であり、2023年は、ここ10年でみると例年よりやや多めの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは墨田区の12.00人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が9人(25.0%)であった。

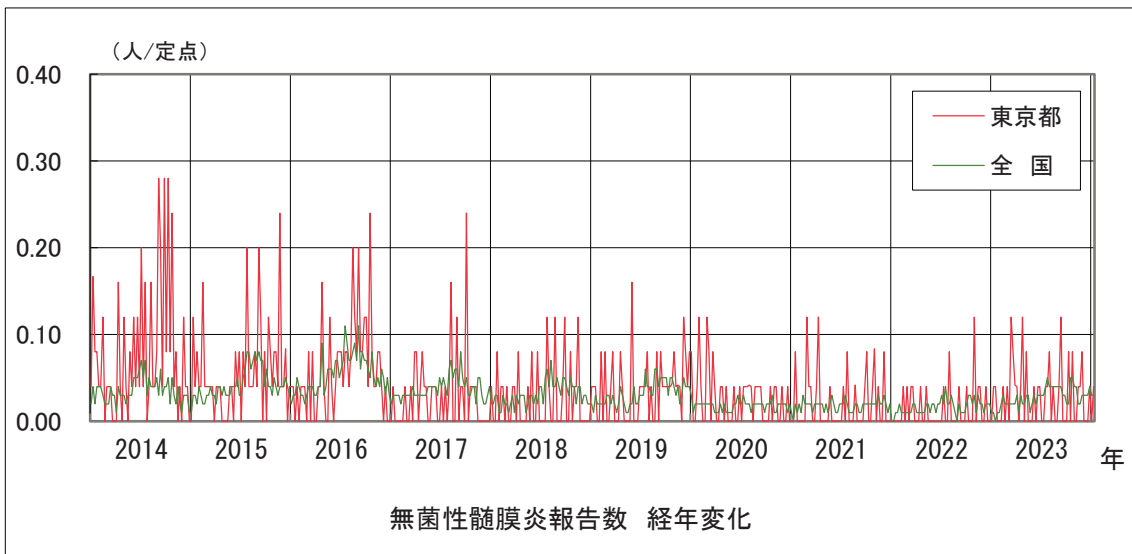
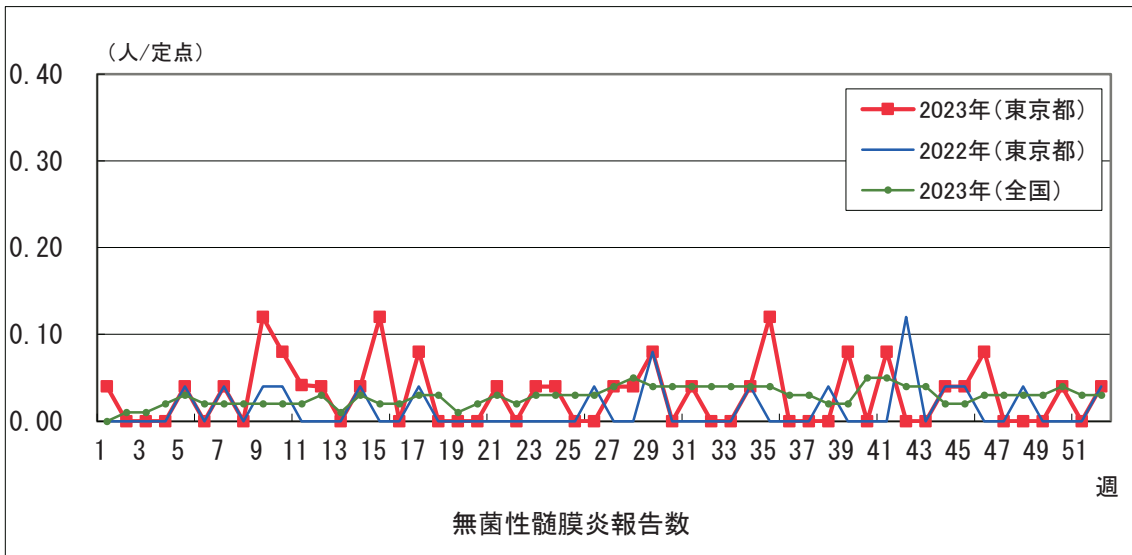


イ 無菌性髄膜炎

2023年の報告数は38人、定点当たり1.52人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.94人であり、2023年は、ここ10年ではやや少なめの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは千代田の7.00人であった。

年齢階級別報告数では、6か月未満が12人（31.6%）、60歳以上が7人（18.4%）であった。



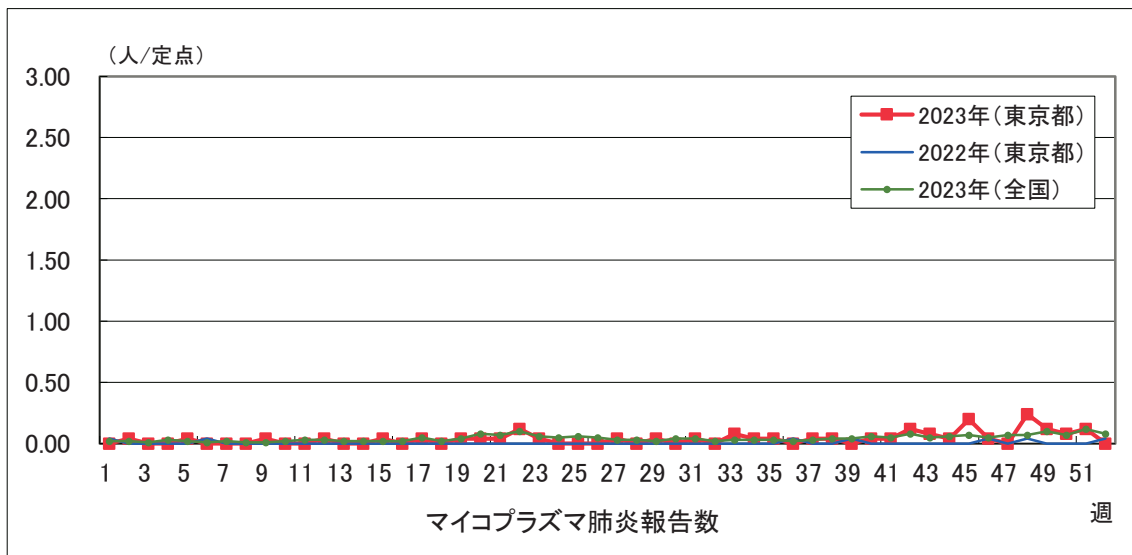
ウ マイコプラズマ肺炎

2023年の報告数は50人、定点当たりの報告数は2.00人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は12.46人であり、2023年はここ10年では2022年、2021年に次いで少ない報告数であった。近年では2015年と2016年に大きな流行が見られた。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの11.00人であった。

年齢階級別報告数では10歳未満が24人（48.0%）、60歳代以上が8人（16.0%）であった。



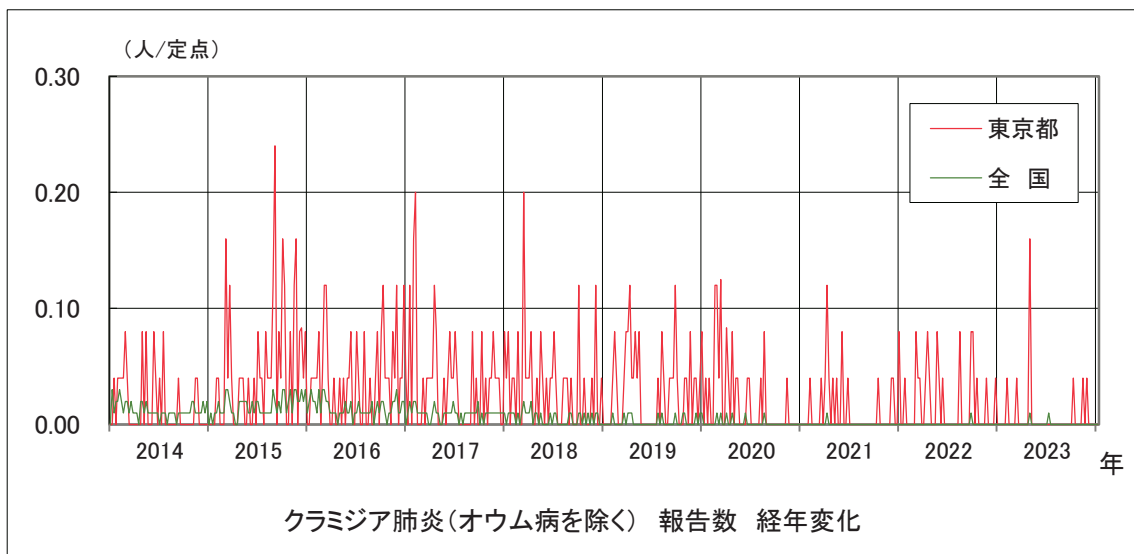
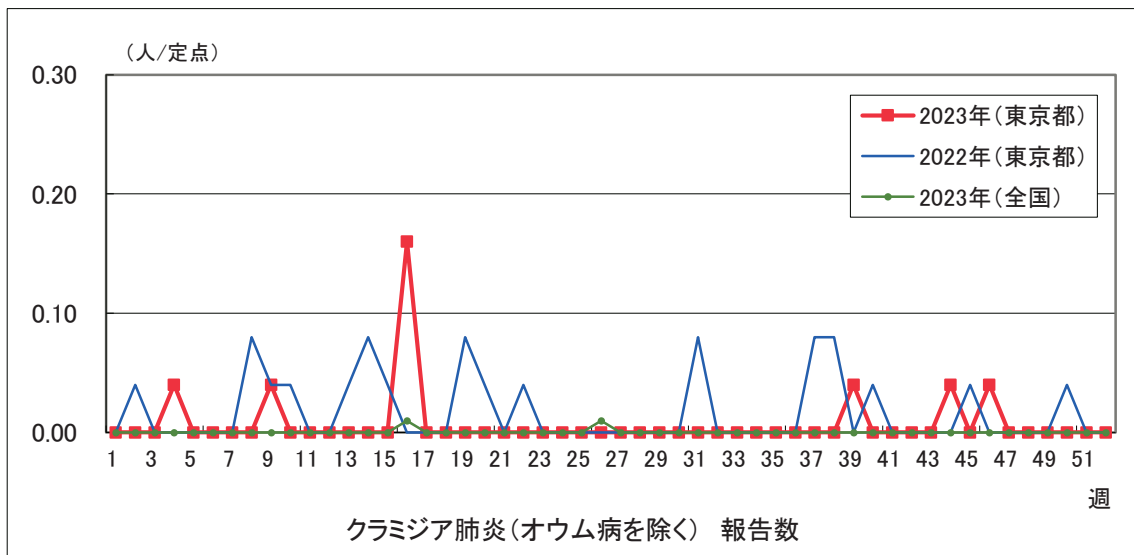
エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2023年の報告数は9人であり、定点当たりの報告数は0.36人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.31人であり、2023年の報告数は、ここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発的に発生しており明らかな季節性は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの5.00人であった。

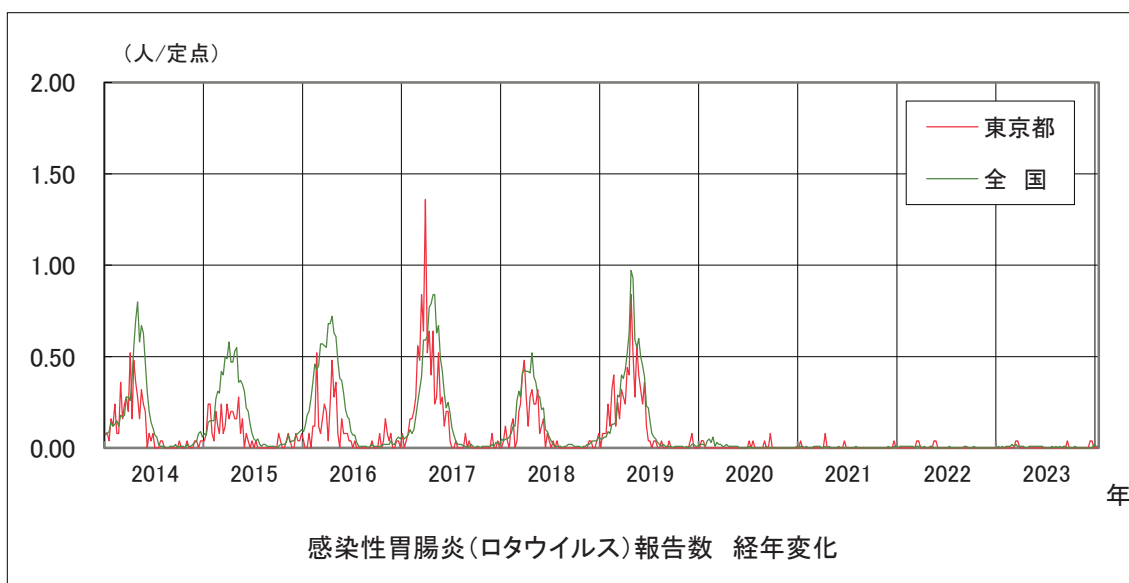
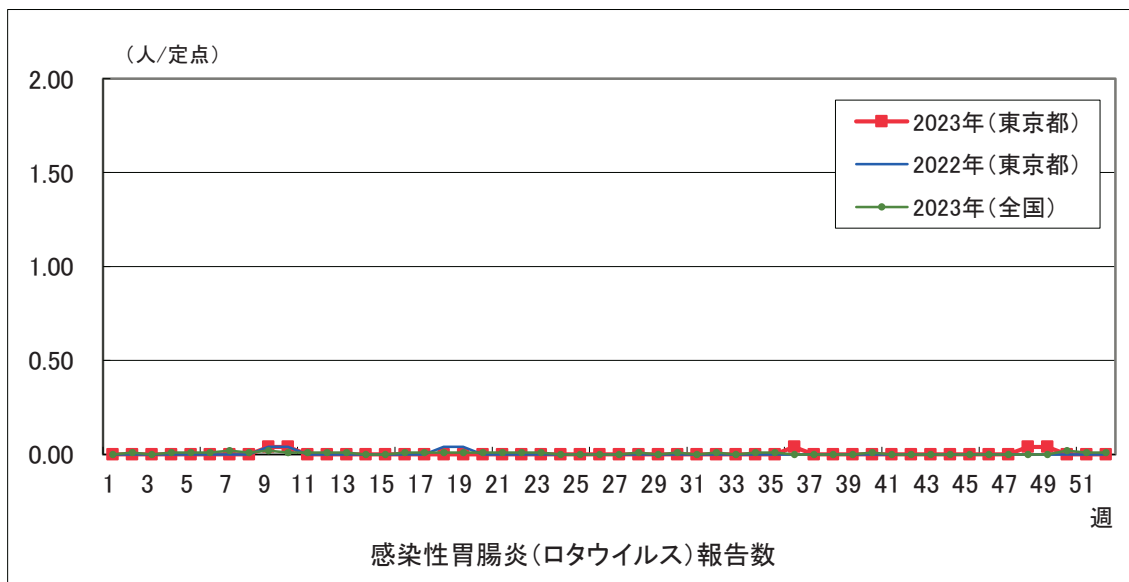
年齢階級別報告数では40歳代が3人（33.3%）、50歳代が2人（22.2%）であった。



オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

2023年の報告数は5人であり、定点当たりの報告数は0.20人であった。報告は2013年42週より開始されているが、2021年、2022年（ともに4人）に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、明らかな季節性は見られなかった。



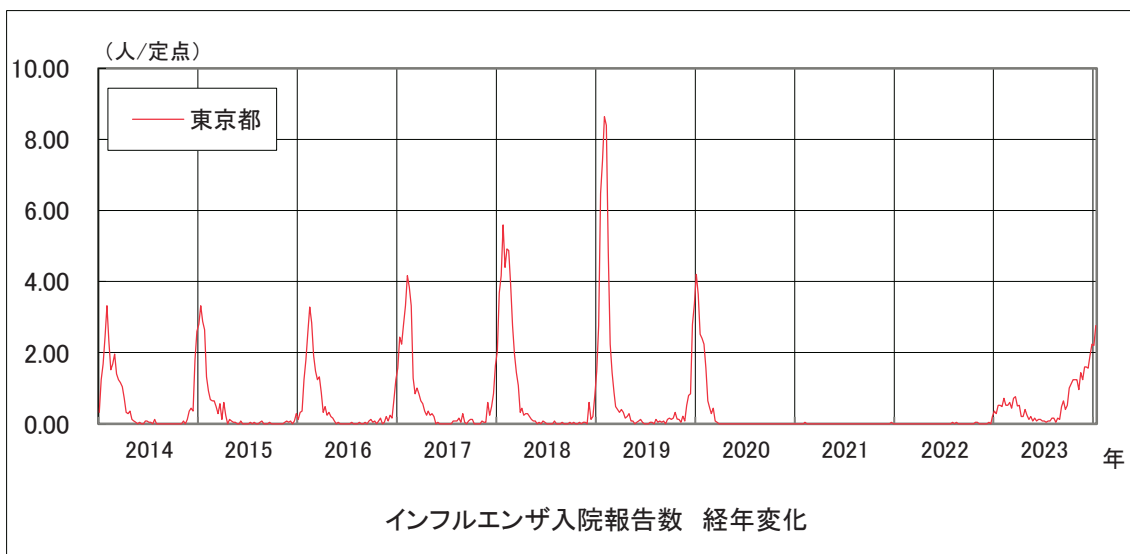
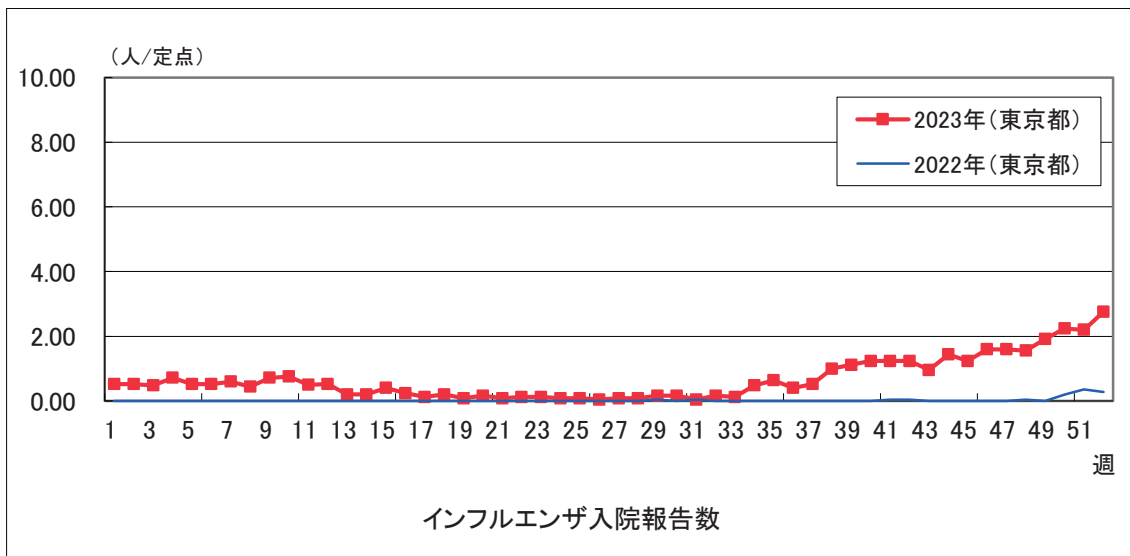
カ インフルエンザ入院

2023年の報告数は878人で、定点当たりの報告数は35.14人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は26.64人であり、2023年の報告数は、2021年、2022年を大きく上回って新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行以前の水準に戻り、ここ10年では4番目に多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、年初から1.0人未満で推移していたが、38週（9.18～9.24）に1.00人となり、52週（12.25～12.31）には2.76人と2023年のピークとなった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、多摩府中の66.17人であった。

年齢階級別報告数では10歳未満が396人（45.1%）、60歳以上が260人（29.6%）であった。



キ 新型コロナウイルス感染症入院

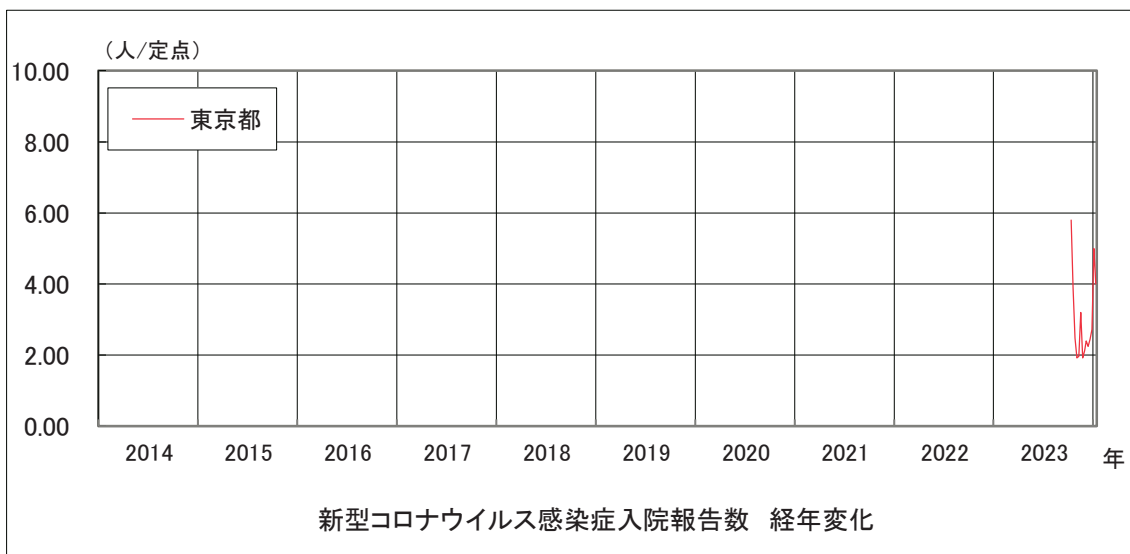
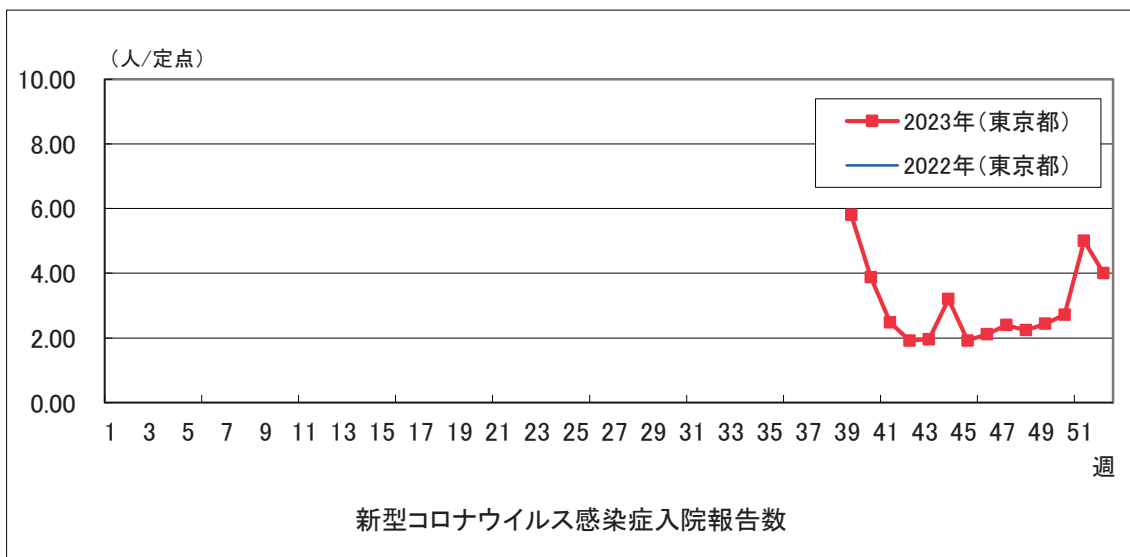
2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取扱いが五類感染症に変更されたことを受けて、当該疾患の入院患者数等の発生動向を把握することを目的として、39週（9.25～10.1）から基幹定点において新型コロナウイルス感染症の入院患者が報告対象となった。

2023年の報告数は1,052人、定点当たりの報告数は42.08人であった。

週別定点当たりの報告数では39週（9.25～10.1）に5.80人と報告され、2023年のピークの報告数となった。以降、1.92人～5.00人で推移した。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは八王子市の78.00人、次いでみなとの74.00人であった。

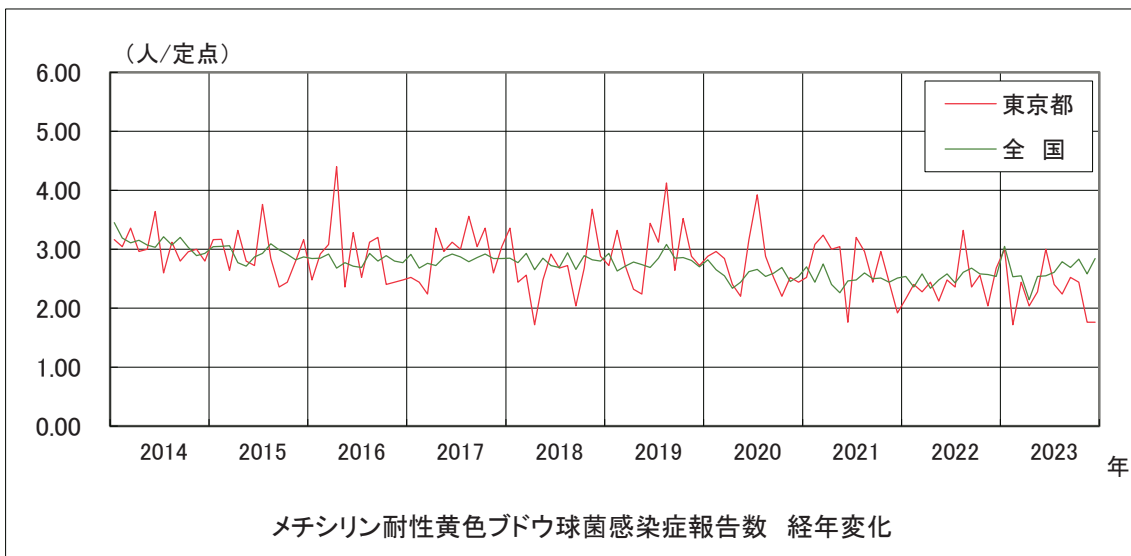
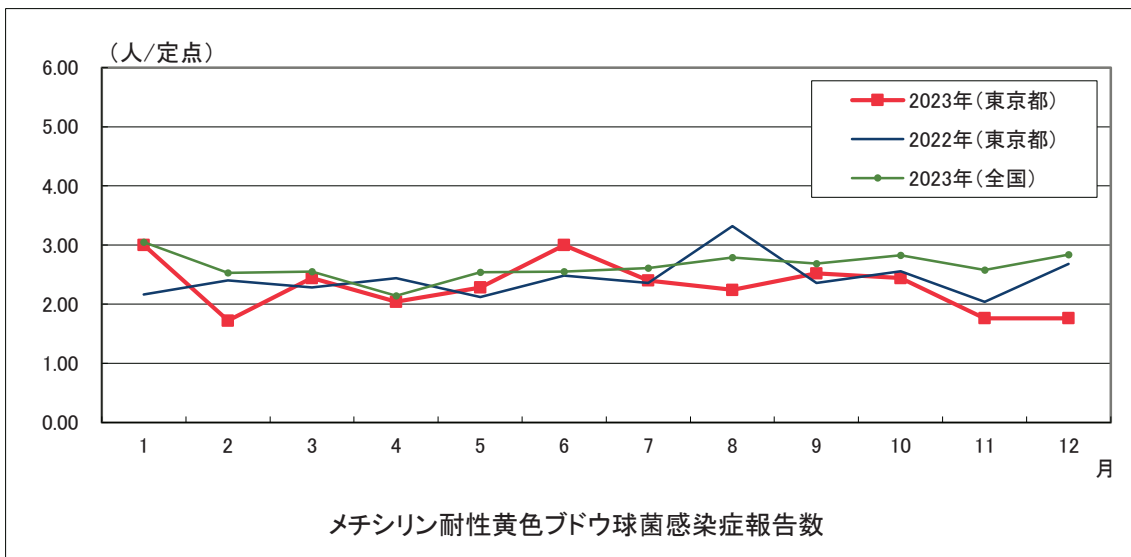
年齢階級別に患者報告数をみると、60歳以上が786人（74.7%）であった。



(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患

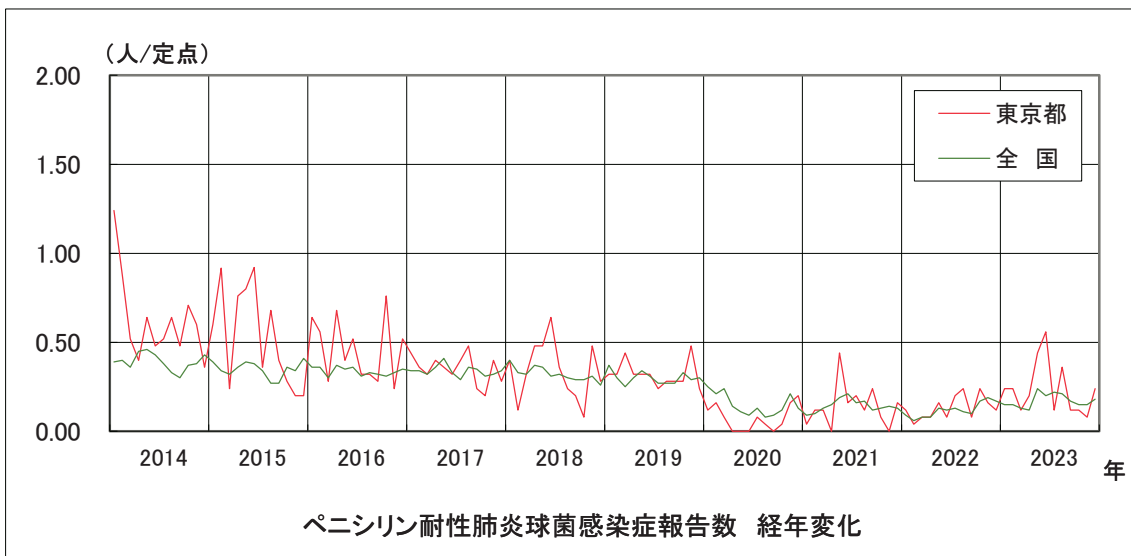
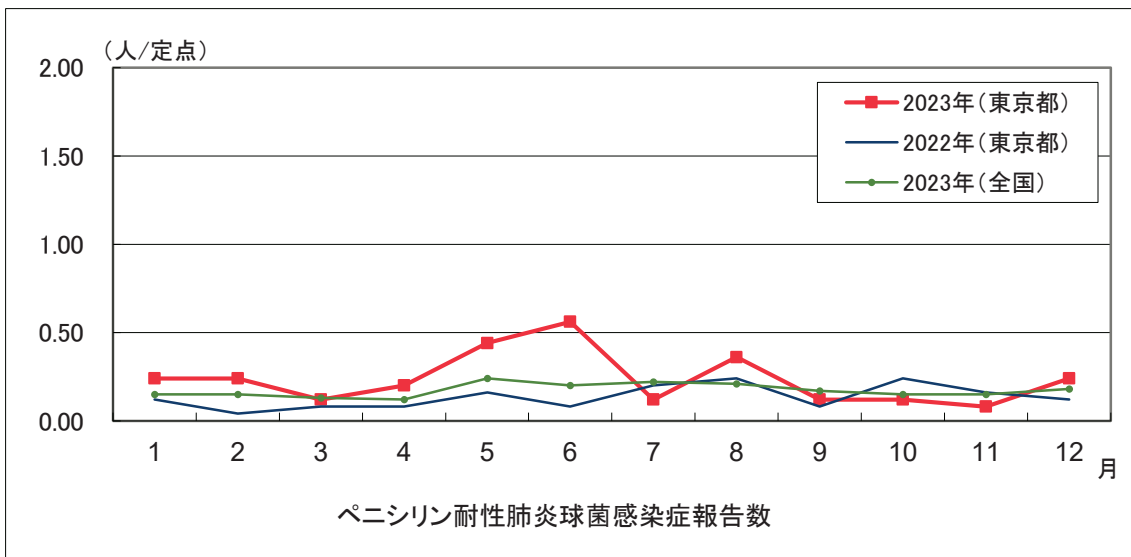
ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

2023年の報告数は693人、定点当たりの報告数は27.72人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は33.19人であり、2023年はここ10年でみると最も少ない報告数であった。



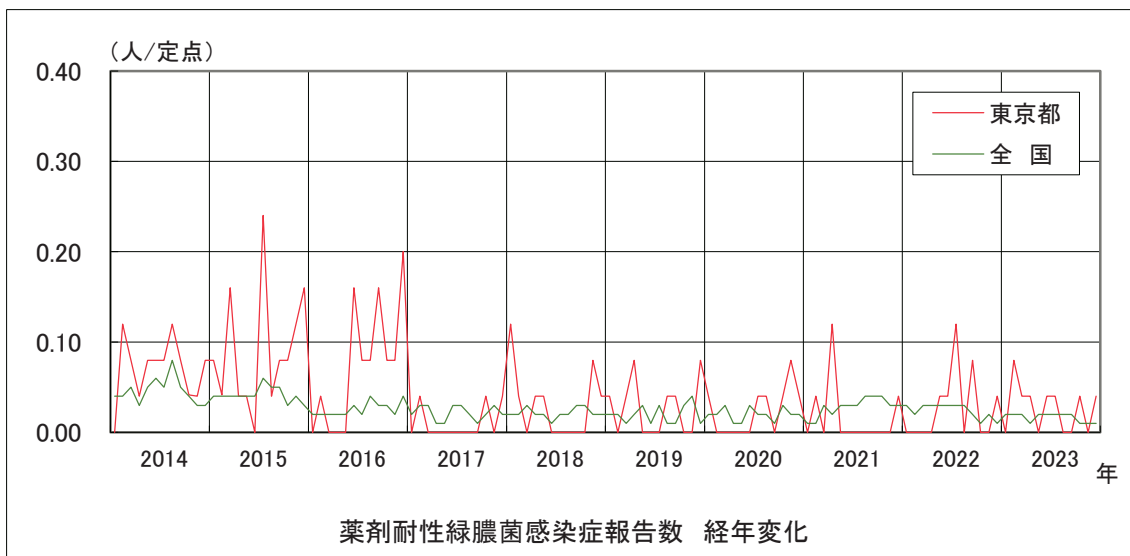
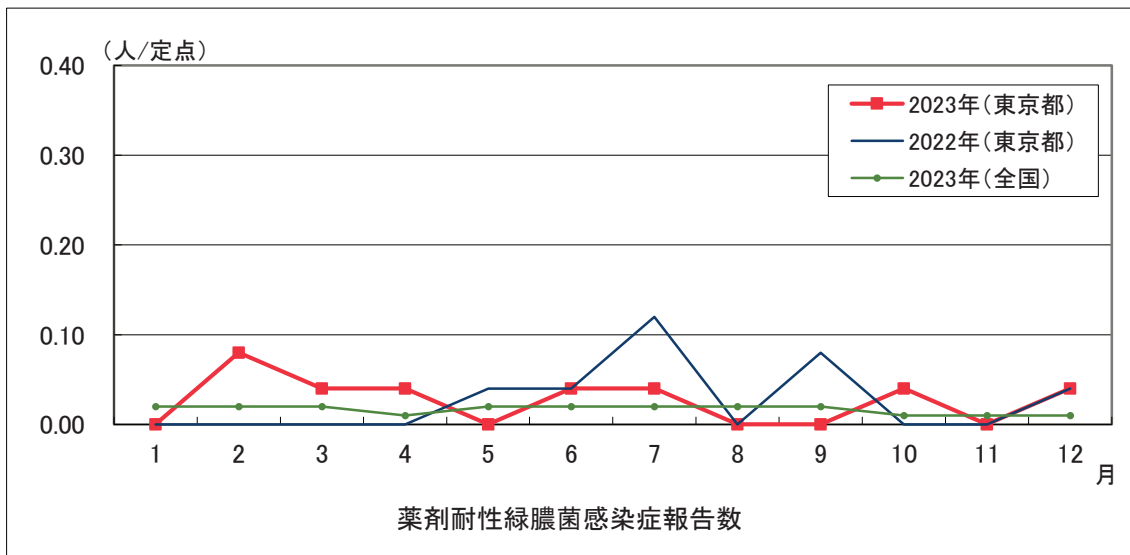
イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2023年の報告数は71人、定点当たりの報告数は2.84人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は3.85人であり、2023年は過去10年で4番目に少ない報告数であった。



ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年の報告数は8人、定点当たりの報告数は0.32人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.48人であり、2023年はここ10年では少なめの報告数であった。



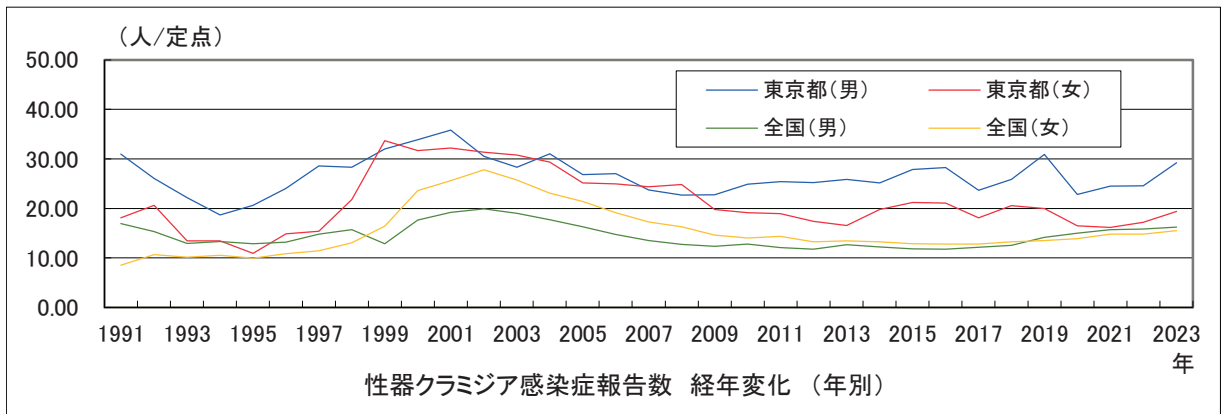
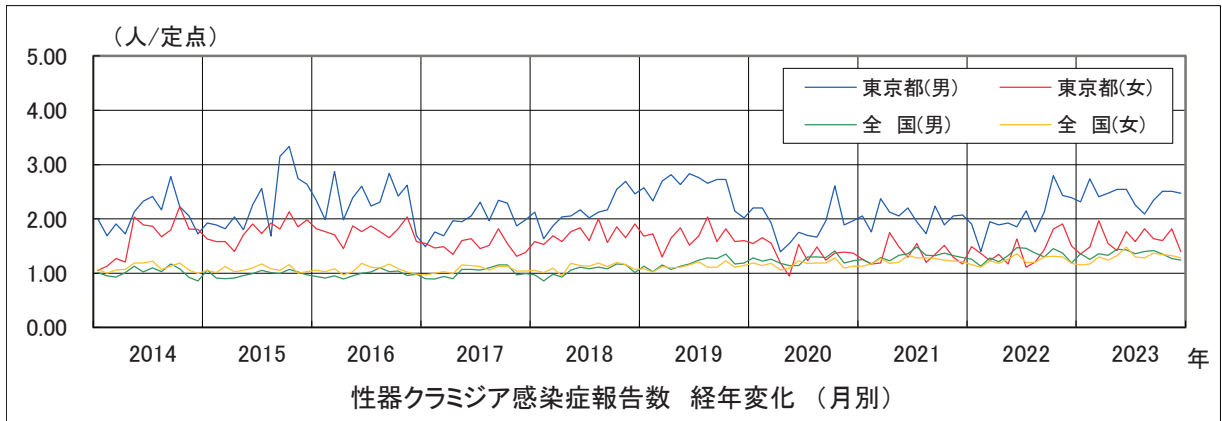
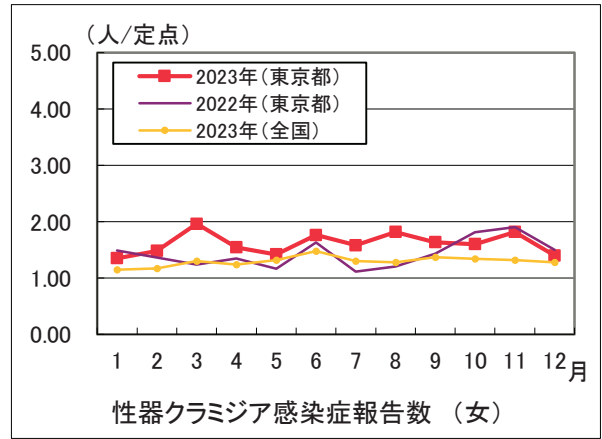
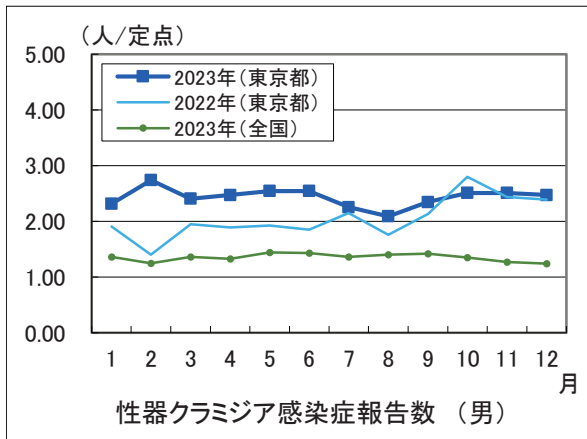
(6) 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

年間患者報告数は 2,660 人、定点当たり 48.59 人で、前年比 1.16 と増加した。男性の報告数は 1,599 人、定点当たり 29.21 人（前年比 1.19）、女性の報告数 1,061 人、定点当たり 19.38 人（前年比 1.13）であった。

月別報告数では、男性は 2 月が最多で 148 人、8 月が最少で 115 人、女性では 3 月が最多で 106 人、1 月が最少で 73 人だった。

性別年齢階級別では、男性は 25～29 歳の 393 人（24.6%）が最多で、20 歳代と 30 歳代で男性全体の 70.7% を占めた。女性は 20～24 歳の 354 人（33.4%）が最多で、20 歳代と 30 歳代で女性全体の 78.7% を占めた。10～14 歳の女性が 4 名報告された。

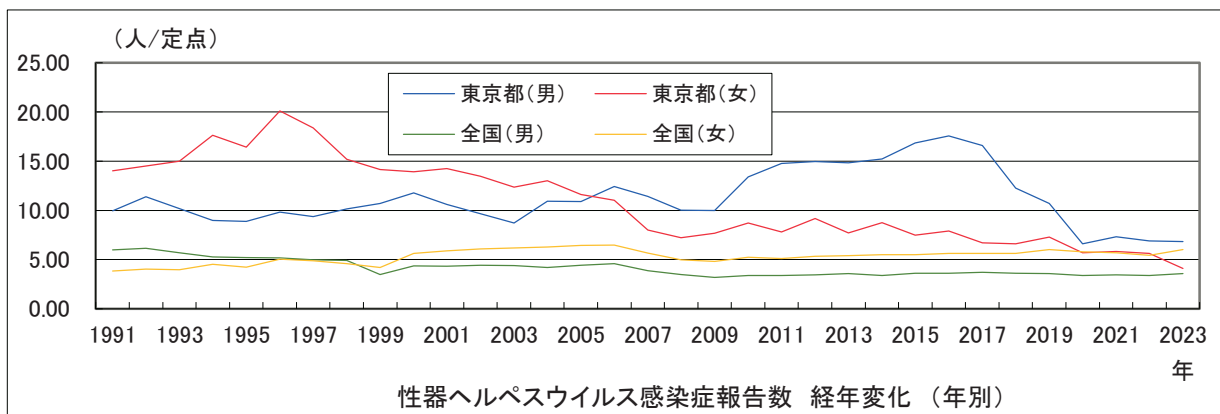
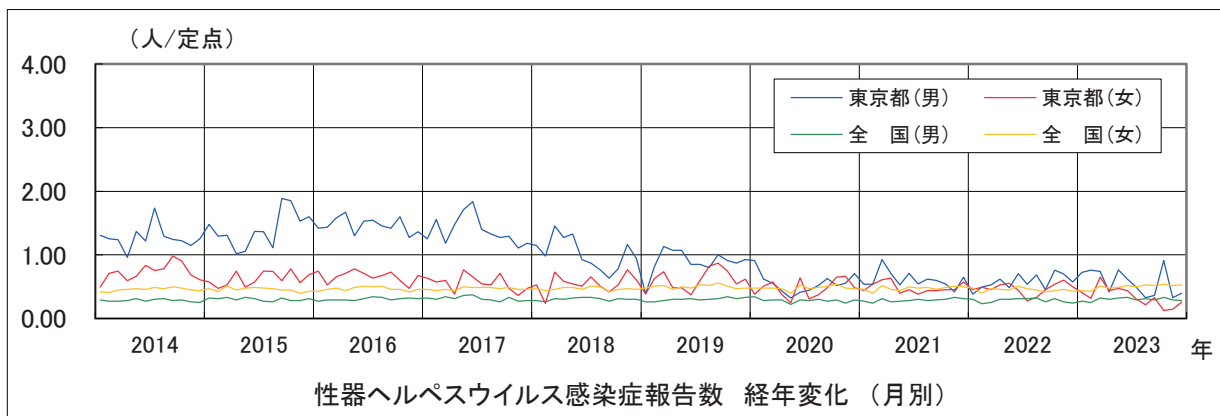
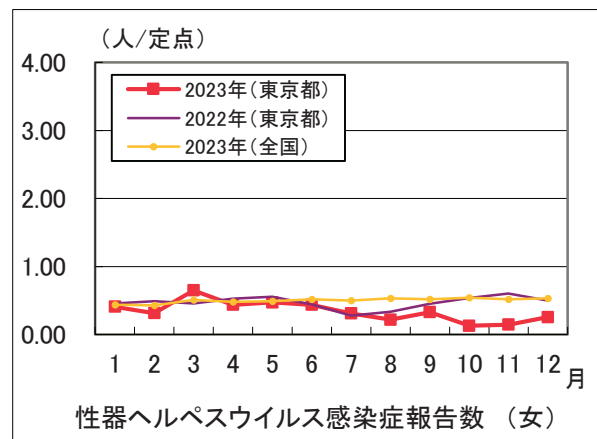
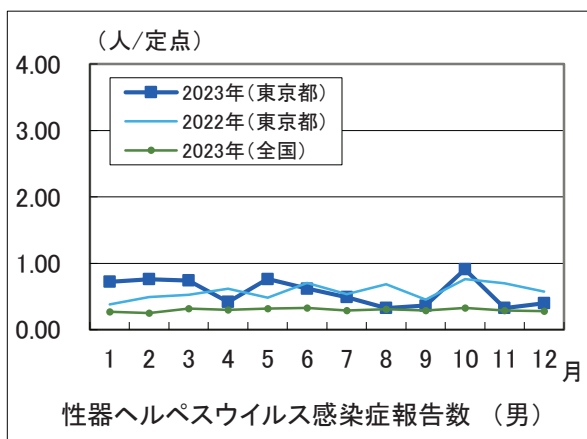


イ 性器ヘルペスウイルス感染症

年間患者報告数は598人、定点当たり10.94人で、前年比0.87と減少した。男性の報告数は374人、定点当たり6.84（前年比0.99）、女性の報告数224人、定点当たり4.10人（前年比0.73）であった。

月別報告数では、男性は10月が最多で50人、8月、11月が最少で18人、女性では3月が最多で35人、10月が最少で7人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の60人（16.0%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の51.6%を占めた。10～14歳の男性が1名報告された。女性は30～34歳の41人（18.3%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の67.0%を占めた。

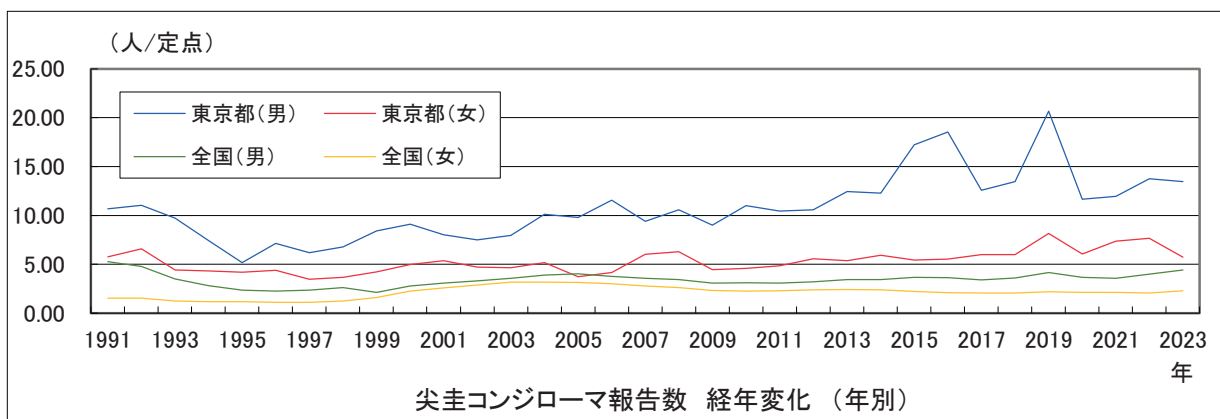
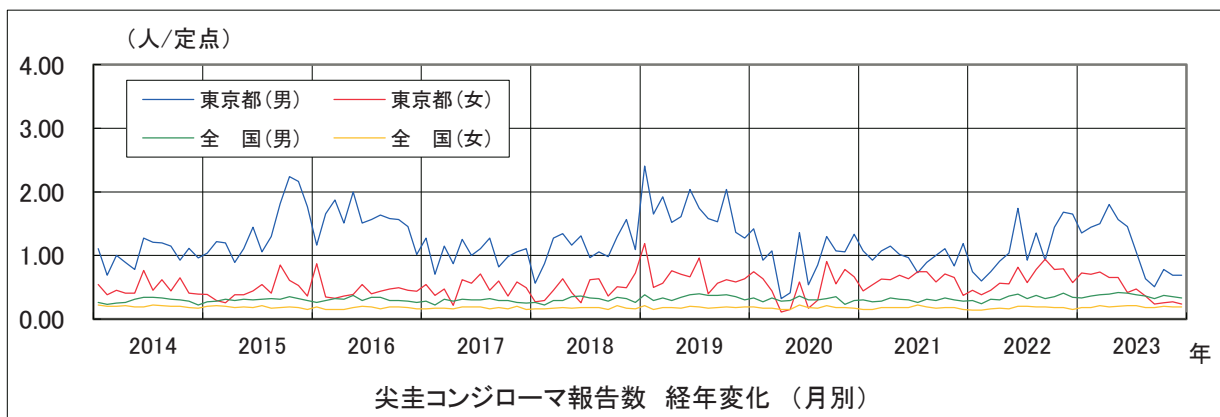
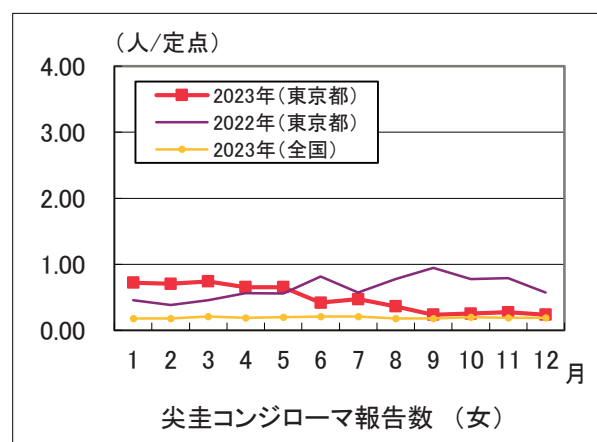
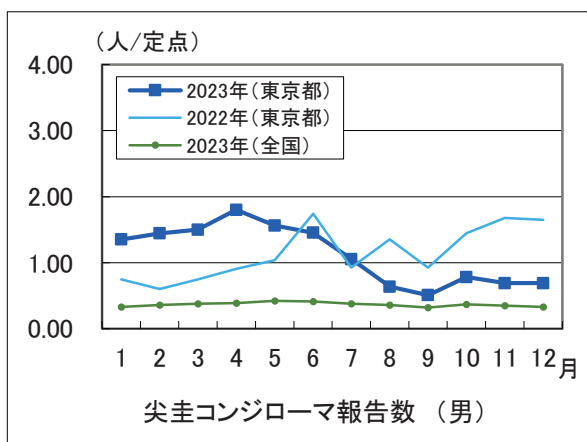


ウ 尖圭コンジローマ

年間患者報告数は1,050人、定点当たり19.21人で、前年比0.90とわずかに減少した。男性の報告数は737人、定点当たり13.48（前年比0.98）、女性の報告数313人、定点当たり5.73人（前年比0.75）であった。

月別報告数では、男性は4月が最多で99人、9月が最少で28人、女性では3月が最多で40人、9月、12月が最少で13人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の149人（20.2%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の59.3%を占めた。女性は20～24歳の100人（31.9%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の81.8%を占めた。

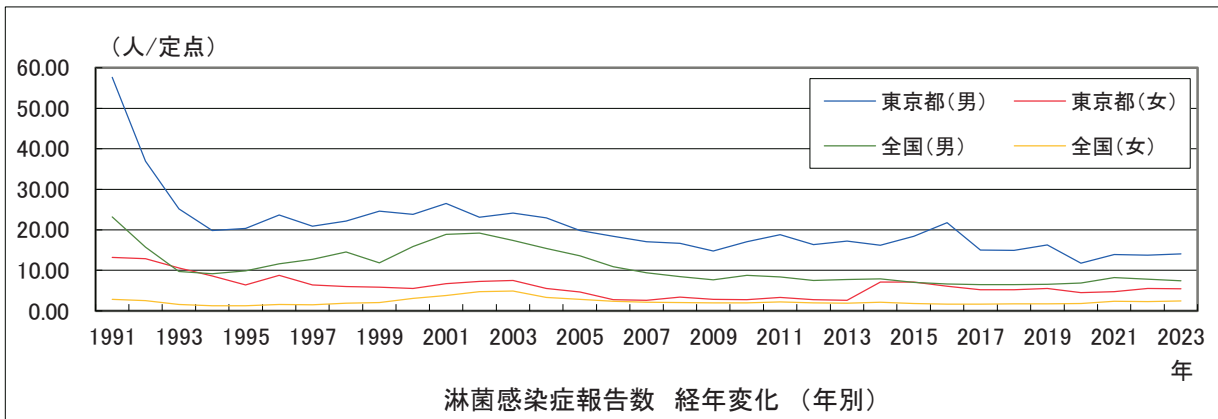
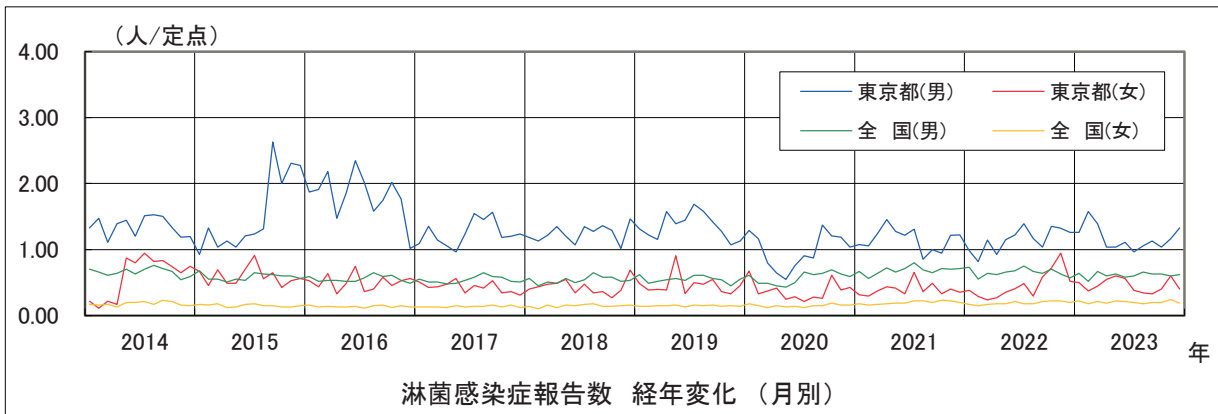
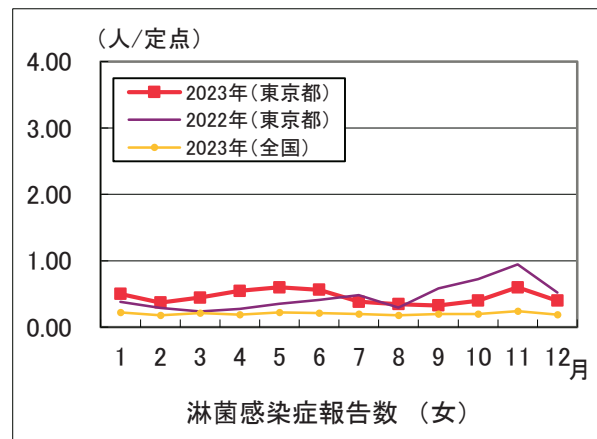
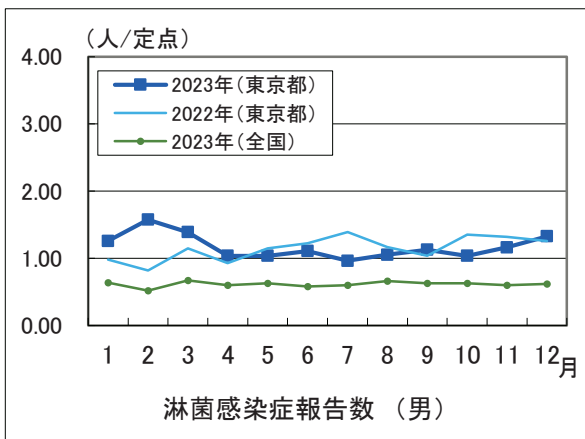


エ 淋菌感染症

年間患者報告数は1,070人、定点当たり19.56人で、前年比1.02とわずかに増加した。男性の報告数は770人、定点当たり14.08（前年比1.02）、女性の報告数300人、定点当たり5.48人（前年比1.00）であった。

月別報告数では、男性は2月が最多で85人、7月が最少で53人、女性では5月、11月が最多で33人、9月が最少で18人だった。

性別年齢階級別では、男性は25～29歳の167人（21.7%）が最多で、20歳代と30歳代が男性全体の65.1%を占めた。女性は20～24歳の89人（29.7%）が最多で、20歳代と30歳代で女性全体の66.0%を占めた。10～14歳の女性が2名報告された。



オ 臍トリコモナス症

臍トリコモナス症は、東京都が独自に定点把握疾患に定めている。年間患者報告数は79人、定点当たり1.44人で、前年比0.76と減少した。男性の報告数は5人、定点当たり0.09人（前年比4.50）、女性の報告数は74人、定点当たり1.35人（前年比0.72）であった。

男性は届出数が少なく、年齢階級や季節による特徴は評価できなかった。

女性の月別報告数は、3月が最多で13人、1月、12月が最少で3人だった。女性は20～24歳の22人（29.7%）が最多で、20歳代、30歳代で女性全体の71.6%を占めた。

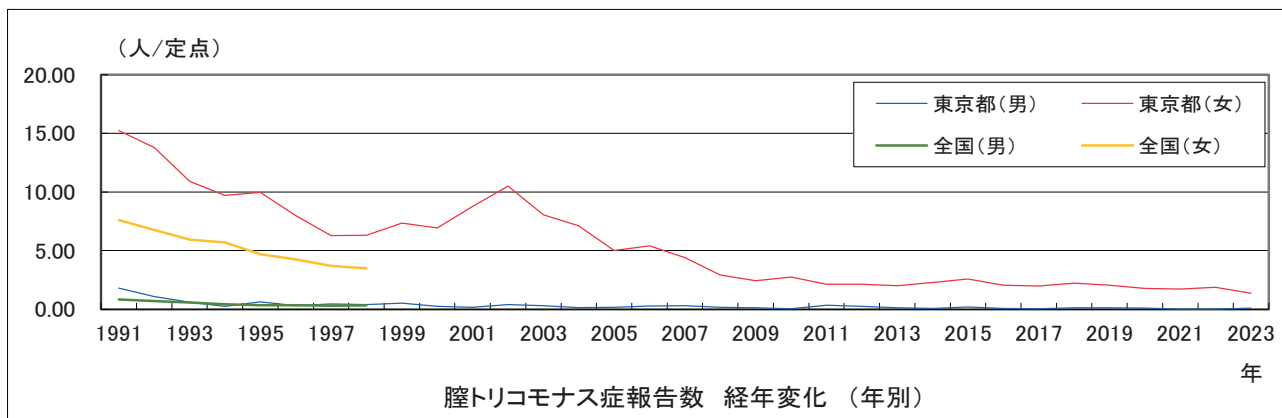
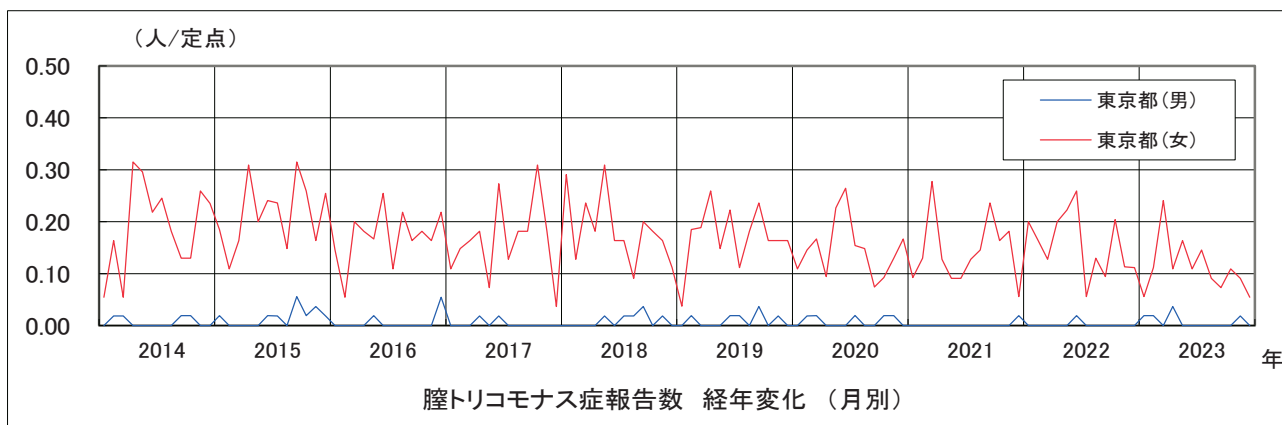
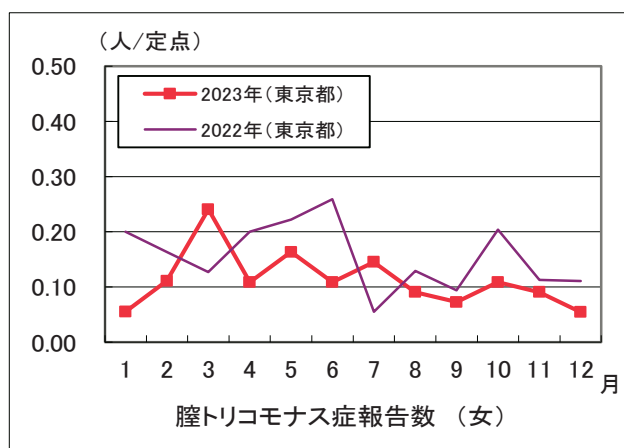
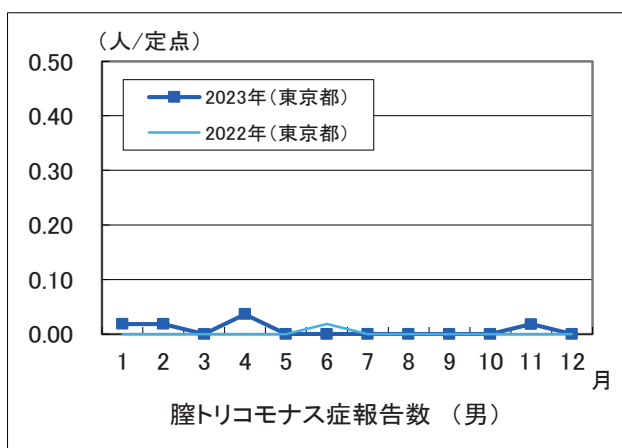


表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2023年第1週～第52週

週	期 間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院	新型 感染症入院 コロナウイルス
1	1. 2～ 1. 8	257	4	2	38		2	25		1				25	13
2	1. 9～ 1.15	261	4	1	38		6	25			1			25	13
3	1.16～ 1.22	261	5	7	38		2	25						25	12
4	1.23～ 1.29	261	6	3	38	1	2	25	2			1		25	18
5	1.30～ 2. 5	260	4	3	38		5	25		1	1			25	13
6	2. 6～ 2.12	260	11	1	38		1	25						25	13
7	2.13～ 2.19	260	5	4	38	1	2	25	1	1				25	15
8	2.20～ 2.26	257	6	3	38		3	25	2					25	11
9	2.27～ 3. 5	259	9	2	38	1	3	25		3	1	1	1	25	18
10	3. 6～ 3.12	258	5	3	38		3	25	2	2			1	25	19
11	3.13～ 3.19	256	5	1	38		6	24	1	1				24	12
12	3.20～ 3.26	259	8	1	38	2	6	25		1	1			25	13
13	3.27～ 4. 2	259	9	3	38		7	25						25	5
14	4. 3～ 4. 9	260	8	1	38		4	25	1	1				25	5
15	4.10～ 4.16	260	10	1	38		5	25		3	1			25	10
16	4.17～ 4.23	259	14	2	38		8	25				4		25	6
17	4.24～ 4.30	261	9	5	38		6	25		2	1			25	3
18	5. 1～ 5. 7	258	7	3	38	1	5	25	1					25	5
19	5. 8～ 5.14	261	15	3	38	2	10	25			1			25	2
20	5.15～ 5.21	262	9	2	38	1	13	25			1			25	4
21	5.22～ 5.28	262	15	4	38	4	11	25		1	1			25	2
22	5.29～ 6. 4	262	22	3	38		10	25			3			25	3
23	6. 5～ 6.11	261	16		38		14	25		1	1			25	3
24	6.12～ 6.18	260	31	3	38		8	25	1	1				25	2
25	6.19～ 6.25	260	18	3	38		4	25						25	2
26	6.26～ 7. 2	260	22	3	38		17	25	1					25	1
27	7. 3～ 7. 9	261	16	5	39	1	12	25		1	1			25	2
28	7.10～ 7.16	261	25	5	39		26	25	1	1				25	2
29	7.17～ 7.23	262	12	2	39		18	25	1	2	1			25	4
30	7.24～ 7.30	261	21	4	39		14	25						25	4
31	7.31～ 8. 6	258	22	2	39		17	25	2	1	1			25	1
32	8. 7～ 8.13	250	15	3	35		18	25						25	4
33	8.14～ 8.20	250	6	4	38		14	25	1		2			25	3
34	8.21～ 8.27	255	12	3	38		22	25		1	1			25	12
35	8.28～ 9. 3	260	20	7	39		24	25	3	3	1			25	16
36	9. 4～ 9.10	262	15	5	39	1	34	25	1				1	25	10
37	9.11～ 9.17	262	12	2	39		38	25			1			25	13
38	9.18～ 9.24	260	25	3	39		38	25	3		1			25	25
39	9.25～10. 1	262	30	2	39	1	51	25		2		1		25	28
40	10. 2～10. 8	263	17	3	39		46	25	1		1			25	31
41	10. 9～10.15	261	16	4	39		27	25		2	1			25	31
42	10.16～10.22	261	19	5	39		46	25	1		3			25	31
43	10.23～10.29	261	6	5	39		44	25	1		2			25	24
44	10.30～11. 5	262	9		39		43	25		1	1	1		25	36
45	11. 6～11.12	262	13	7	39		30	25		1	5			25	31
46	11.13～11.19	261	9	7	38	1	32	25		2	1	1		25	40
47	11.20～11.26	260	8	5	39		45	25	2					25	40
48	11.27～12. 3	261	12	2	39		37	25	2		6		1	25	39
49	12. 4～12.10	261	8	1	39	1	43	25	2		3		1	25	48
50	12.11～12.17	261	4	8	39	2	39	25	1	1	2			25	56
51	12.18～12.24	261	12	1	39		35	25	1		3			25	55
52	12.25～12.31	252	4	4	37	1	40	25	1	1				25	69
合 計			645	166		21	996		36	38	50	9	5	878	1,052

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2023年第1週~第52週

週	期間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	眼科			基幹					感染症入院				
					報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院	新型コロナウイルス	
1	1. 2~ 1. 8	257	0.02	0.01	38		0.05	25		0.04					25	0.52	/
2	1. 9~ 1.15	261	0.02	0.00	38		0.16	25			0.04				25	0.52	/
3	1.16~ 1.22	261	0.02	0.03	38		0.05	25							25	0.48	/
4	1.23~ 1.29	261	0.02	0.01	38	0.03	0.05	25	0.08			0.04			25	0.72	/
5	1.30~ 2. 5	260	0.02	0.01	38		0.13	25		0.04	0.04				25	0.52	/
6	2. 6~ 2.12	260	0.04	0.00	38		0.03	25							25	0.52	/
7	2.13~ 2.19	260	0.02	0.02	38	0.03	0.05	25	0.04	0.04					25	0.60	/
8	2.20~ 2.26	257	0.02	0.01	38		0.08	25	0.08						25	0.44	/
9	2.27~ 3. 5	259	0.03	0.01	38	0.03	0.08	25		0.12	0.04	0.04	0.04		25	0.72	/
10	3. 6~ 3.12	258	0.02	0.01	38		0.08	25	0.08	0.08			0.04		25	0.76	/
11	3.13~ 3.19	256	0.02	0.00	38		0.16	24	0.04	0.04					24	0.50	/
12	3.20~ 3.26	259	0.03	0.00	38	0.05	0.16	25		0.04	0.04				25	0.52	/
13	3.27~ 4. 2	259	0.03	0.01	38		0.18	25							25	0.20	/
14	4. 3~ 4. 9	260	0.03	0.00	38		0.11	25	0.04	0.04					25	0.20	/
15	4.10~ 4.16	260	0.04	0.00	38		0.13	25		0.12	0.04				25	0.40	/
16	4.17~ 4.23	259	0.05	0.01	38		0.21	25				0.16			25	0.24	/
17	4.24~ 4.30	261	0.03	0.02	38		0.16	25		0.08	0.04				25	0.12	/
18	5. 1~ 5. 7	258	0.03	0.01	38	0.03	0.13	25	0.04						25	0.20	/
19	5. 8~ 5.14	261	0.06	0.01	38	0.05	0.26	25			0.04				25	0.08	/
20	5.15~ 5.21	262	0.03	0.01	38	0.03	0.34	25			0.04				25	0.16	/
21	5.22~ 5.28	262	0.06	0.02	38	0.11	0.29	25		0.04	0.04				25	0.08	/
22	5.29~ 6. 4	262	0.08	0.01	38		0.26	25			0.12				25	0.12	/
23	6. 5~ 6.11	261	0.06		38		0.37	25		0.04	0.04				25	0.12	/
24	6.12~ 6.18	260	0.12	0.01	38		0.21	25	0.04	0.04					25	0.08	/
25	6.19~ 6.25	260	0.07	0.01	38		0.11	25							25	0.08	/
26	6.26~ 7. 2	260	0.08	0.01	38		0.45	25	0.04						25	0.04	/
27	7. 3~ 7. 9	261	0.06	0.02	39	0.03	0.31	25		0.04	0.04				25	0.08	/
28	7.10~ 7.16	261	0.10	0.02	39		0.67	25	0.04	0.04					25	0.08	/
29	7.17~ 7.23	262	0.05	0.01	39		0.46	25	0.04	0.08	0.04				25	0.16	/
30	7.24~ 7.30	261	0.08	0.02	39		0.36	25							25	0.16	/
31	7.31~ 8. 6	258	0.09	0.01	39		0.44	25	0.08	0.04	0.04				25	0.04	/
32	8. 7~ 8.13	250	0.06	0.01	35		0.51	25							25	0.16	/
33	8.14~ 8.20	250	0.02	0.02	38		0.37	25	0.04		0.08				25	0.12	/
34	8.21~ 8.27	255	0.05	0.01	38		0.58	25		0.04	0.04				25	0.48	/
35	8.28~ 9. 3	260	0.08	0.03	39		0.62	25	0.12	0.12	0.04				25	0.64	/
36	9. 4~ 9.10	262	0.06	0.02	39	0.03	0.87	25	0.04				0.04		25	0.40	/
37	9.11~ 9.17	262	0.05	0.01	39		0.97	25			0.04				25	0.52	/
38	9.18~ 9.24	260	0.10	0.01	39		0.97	25	0.12		0.04				25	1.00	/
39	9.25~10. 1	262	0.11	0.01	39	0.03	1.31	25		0.08		0.04			25	1.12	5.80
40	10. 2~10. 8	263	0.06	0.01	39		1.18	25	0.04		0.04				25	1.24	3.88
41	10. 9~10.15	261	0.06	0.02	39		0.69	25		0.08	0.04				25	1.24	2.48
42	10.16~10.22	261	0.07	0.02	39		1.18	25	0.04		0.12				25	1.24	1.92
43	10.23~10.29	261	0.02	0.02	39		1.13	25	0.04		0.08				25	0.96	1.96
44	10.30~11. 5	262	0.03		39		1.10	25		0.04	0.04	0.04			25	1.44	3.20
45	11. 6~11.12	262	0.05	0.03	39		0.77	25		0.04	0.20				25	1.24	1.92
46	11.13~11.19	261	0.03	0.03	38	0.03	0.84	25		0.08	0.04	0.04			25	1.60	2.12
47	11.20~11.26	260	0.03	0.02	39		1.15	25	0.08						25	1.60	2.40
48	11.27~12. 3	261	0.05	0.01	39		0.95	25	0.08		0.24		0.04		25	1.56	2.24
49	12. 4~12.10	261	0.03	0.00	39	0.03	1.10	25	0.08		0.12		0.04		25	1.92	2.44
50	12.11~12.17	261	0.02	0.03	39	0.05	1.00	25	0.04	0.04	0.08				25	2.24	2.72
51	12.18~12.24	261	0.05	0.00	39		0.90	25	0.04		0.12				25	2.20	5.00
52	12.25~12.31	252	0.02	0.02	37	0.03	1.08	25	0.04	0.04					25	2.76	4.00
平均			0.05	0.01			0.50		0.03	0.03	0.04	0.01	0.00			0.68	3.01

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ/COVID-19・小児科)

2023年第1週～第52週

	設置 定点数 (インフル エンザ) / COVID-19)	イン フル エン ザ	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症	設置 定点数 (小児科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
千代田	4	867	1,108	3	93	60	100	314	5	38	1	11	50	2
中央区	5	1,230	695	3	11	106	155	971	12	105	7	37	72	18
みなど	9	2,653	1,570	6	224	359	579	902	93	185	7	90	360	17
新宿区	12	2,444	2,193	8	265	345	413	1,261	15	39	16	35	176	6
文京	7	2,882	1,478	4	45	285	309	767	27	70	2	50	196	11
台東	7	2,837	1,065	4	130	389	393	1,969	19	236	1	69	387	15
墨田区	8	3,167	3,498	5	131	143	255	693	8	63	2	60	236	1
江東区	14	5,036	2,604	9	214	521	787	2,934	41	195	21	89	339	13
品川区	12	3,396	1,550	8	98	341	593	1,432	35	198	4	69	471	9
目黒区	8	2,801	1,381	5	116	239	472	1,253	19	133	10	57	243	7
大田区	21	7,768	3,935	13	623	976	1,363	5,339	70	374	14	201	948	44
世田谷	25	9,165	5,463	16	516	980	1,766	4,714	122	387	31	130	1,095	56
渋谷区	7	1,580	1,123	4	81	100	78	861	17	32	5	37	114	4
中野区	10	5,502	2,697	6	96	223	1,254	2,390	63	232	5	138	437	22
杉並	17	5,624	3,339	11	150	368	568	2,739	60	183	5	117	189	10
池袋	8	2,605	2,448	5	120	176	153	548	10	78	4	13	144	3
北区	11	5,130	3,231	7	114	538	768	1,746	77	389	5	144	390	13
荒川区	7	4,377	1,763	4	423	426	574	1,774	31	178	6	108	332	5
板橋区	16	5,628	3,421	10	192	290	537	2,155	46	145	29	70	349	9
練馬区	21	8,471	4,401	13	353	585	1,033	3,550	103	298	22	205	1,093	38
足立	20	6,525	4,051	13	299	856	651	3,557	35	270	17	191	771	22
葛飾区	13	4,951	2,588	8	82	280	537	1,966	26	236	5	80	403	6
江戸川	19	8,479	4,632	12	509	1,616	1,719	3,724	68	285	9	124	835	21
八王子市	18	12,174	4,458	11	381	830	1,526	6,283	73	705	15	207	1,246	37
町田市	13	5,376	2,431	8	69	202	763	2,493	64	251	22	90	536	41
西多摩	14	4,019	2,108	8	34	128	297	1,000	29	177	1	62	262	12
南多摩	14	4,555	2,580	9	238	354	428	1,730	37	164	4	104	511	25
多摩立川	21	8,353	3,907	14	329	265	1,606	2,713	82	386	15	142	929	26
多摩府中	33	16,773	8,115	21	456	1,038	2,847	5,353	197	523	48	355	1,477	76
多摩小平	23	11,795	5,263	15	595	1,397	2,486	6,548	182	589	16	359	1,424	24
島しょ	2	629	788	1	13	2	42	1		39		3	62	
合 計	419	166,792	89,884	264	7,000	14,418	25,052	73,680	1,666	7,183	349	3,447	16,077	593
定点当たり報告数		402.93	217.41		26.90	55.36	96.27	283.49	6.41	27.58	1.34	13.26	61.77	2.28
前年定点当たり報告数		8.25			29.40	5.52	8.14	248.04	3.85	65.92	0.68	15.13	17.23	1.89
当年/前年		48.84			0.91	10.03	11.83	1.14	1.66	0.42	1.97	0.88	3.59	1.21

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2023年第1週～第52週

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院	新型感染症入院 新型コロナウイルス
千代田	3	4	1				2	2	14	3			17	73
中央区	3	6		1		47								
みなの	6	2	6				1			11	5		58	74
新宿区	8	9	12	2	2	97	2	2	1	5			32	63
文京	4	6		1	1	37	1						7	49
台東	4	12												
墨田区	5	23	2	1		3	1	12	5	4		2	71	53
江東区	9	6	1	1		12								
品川区	8	2		1		16								
目黒区	5	16	1	1		18								
大田区	13	34	22	2	1	44	1						14	24
世田谷	16	70	8	2	1	127	2	11	10	4			132	70
渋谷区	4			1	1	59	1	1	1				24	61
中野区	6	1	4	1	1	36								
杉並	11	25	29	1		23	2			3		1	65	65
池袋	5	1	3	1		50	1				4			
北区	7	9	2	1	1	16								
荒川区	4	12	5	1		14								
板橋区	10	23	2	2	4	35	1						38	38
練馬区	13	74	2	2	2	24								
足立	13	21	15	2	1	25								
葛飾区	8	18	1	1	1	27	1	1	1	4		1	52	30
江戸川	12	10	4	2	1	17								
八王子市	11	46	4	2	2	129	1						31	78
町田市	8	30	6	1		18								
西多摩	8	7		1		2	1	1					11	40
南多摩	9	2		1		11								
多摩立川	14	18	3	2		21	1			1			14	40
多摩府中	21	137	25	3	2	42	3	6	6	14			197	161
多摩小平	15	21	8	2		46	2			1		1	115	131
島しょ	1						1							2
合計	264	645	166	39	21	996	25	36	38	50	9	5	878	1,052
定点当たり報告数		2.48	0.64		0.55	25.80		1.44	1.52	2.00	0.36	0.20	35.14	42.08
前年定点当たり報告数		1.40	0.36		0.08	8.21		0.68	0.72	0.28	0.88	0.16	1.04	
当年/前年		1.77	1.78		6.88	3.14		2.12	2.11	7.14	0.41	1.25	33.79	

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ/COVID-19・小児科)

2023年1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	216.75	277.00	3	31.00	20.00	33.33	104.67	1.67	12.67	0.33	3.67	16.67	0.67
中央区	5	246.30	139.95	3	3.67	35.33	51.67	323.67	4.00	35.00	2.33	12.33	24.00	6.00
みなと	9	294.78	174.44	6	37.33	59.83	96.50	150.33	15.50	30.83	1.17	15.00	60.00	2.83
新宿区	12	217.31	201.95	8	38.73	48.46	57.20	179.17	2.14	5.54	2.20	5.13	25.57	0.89
文京	7	411.71	211.14	4	11.25	71.25	77.25	191.75	6.75	17.50	0.50	12.50	49.00	2.75
台東	7	405.29	152.14	4	32.50	97.25	98.25	492.25	4.75	59.00	0.25	17.25	96.75	3.75
墨田区	8	396.18	440.96	5	26.35	28.65	51.10	138.65	1.60	12.80	0.40	12.00	47.40	0.20
江東区	14	359.71	186.00	9	23.78	57.89	87.44	326.00	4.56	21.67	2.33	9.89	37.67	1.44
品川区	12	287.47	132.20	8	12.36	43.20	75.43	181.61	4.41	25.20	0.50	8.73	59.64	1.16
目黒区	8	350.32	173.79	5	23.35	48.25	94.85	251.35	3.80	26.70	2.00	11.40	49.00	1.40
大田区	21	370.91	190.84	13	48.51	75.38	105.28	412.20	5.44	29.05	1.09	15.54	73.67	3.40
世田谷	25	382.54	225.75	16	32.80	63.78	114.56	301.44	7.91	24.93	2.00	8.29	69.17	3.57
渋谷区	7	225.30	160.43	4	20.25	25.00	19.50	215.25	4.25	8.00	1.25	9.25	28.50	1.00
中野区	10	550.20	269.70	6	16.00	37.17	209.00	398.33	10.50	38.67	0.83	23.00	72.83	3.67
杉並	17	330.97	197.29	11	13.74	33.55	51.90	249.72	5.49	16.68	0.45	10.66	17.25	0.91
池袋	8	325.63	306.00	5	24.00	35.20	30.60	109.60	2.00	15.60	0.80	2.60	28.80	0.60
北区	11	466.36	293.73	7	16.29	76.86	109.71	249.43	11.00	55.57	0.71	20.57	55.71	1.86
荒川区	7	630.57	253.81	4	105.75	106.50	143.50	443.50	7.75	44.50	1.50	27.00	83.00	1.25
板橋区	16	351.61	213.81	10	19.20	29.00	53.70	215.50	4.60	14.50	2.90	7.00	34.90	0.90
練馬区	21	406.64	215.18	13	28.34	45.39	80.51	276.27	7.99	23.23	1.76	15.88	88.67	2.95
足立	20	333.63	206.12	13	23.81	66.79	50.61	276.90	2.71	20.96	1.31	14.81	60.94	1.71
葛飾区	13	385.75	199.79	8	10.24	35.45	68.52	247.98	3.25	29.50	0.63	9.99	50.38	0.74
江戸川	19	454.65	249.08	12	42.54	139.82	148.82	319.56	5.76	24.12	0.75	10.54	69.74	1.81
八王子市	18	676.33	247.67	11	34.64	75.45	138.73	571.18	6.64	64.09	1.36	18.82	113.27	3.36
町田市	13	413.54	187.00	8	8.63	25.25	95.38	311.63	8.00	31.38	2.75	11.25	67.00	5.13
西多摩	14	287.53	151.57	8	4.29	16.02	37.21	125.82	3.66	22.38	0.13	7.75	32.91	1.50
南多摩	14	325.65	188.63	9	26.64	39.46	47.70	193.74	4.14	18.39	0.44	11.71	57.39	2.78
多摩立川	21	398.65	186.02	14	23.50	19.03	115.29	194.23	5.87	27.58	1.07	10.16	66.36	1.87
多摩府中	33	516.87	245.98	21	21.83	49.60	136.33	265.09	9.57	24.93	2.32	17.53	70.40	3.77
多摩小平	23	536.79	239.44	15	42.52	99.81	177.58	468.33	13.05	42.08	1.14	25.67	101.71	1.71
島しょ	2	314.50	394.00	1	13.00	2.00	42.00	1.00		39.00		3.00	62.00	
定点当たり報告数		402.93	217.41	264	26.90	55.36	96.27	283.49	6.41	27.58	1.34	13.26	61.77	2.28
前年定点当たり報告数		8.25			29.40	5.52	8.14	248.04	3.85	65.92	0.68	15.13	17.23	1.89
当年/前年		48.84			0.91	10.03	11.83	1.14	1.66	0.42	1.97	0.88	3.59	1.21

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2023年第1週～第52週

	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院	感染症入院 新型コロナウイルス
千代田	3	1.33	0.33				2	1.00	7.00	1.50			8.50	36.50
中央区	3	2.00		1		47.00								
みなと	6	0.33	1.00				1			11.00	5.00		58.00	74.00
新宿区	8	1.27	1.76	2	2.00	53.50	2	1.00	0.50	2.50			16.00	31.50
文京	4	1.50		1	1.00	37.00	1						7.00	49.00
台東	4	3.00												
墨田区	5	4.65	0.40	1		3.00	1	12.00	5.00	4.00		2.00	71.00	53.00
江東区	9	0.67	0.11	1		12.00								
品川区	8	0.25		1		16.00								
目黒区	5	3.25	0.20	1		18.00								
大田区	13	2.67	1.71	2	0.50	22.00	1						14.00	24.00
世田谷	16	4.50	0.53	2	0.50	63.50	2	5.50	5.00	2.00			66.00	35.00
渋谷区	4			1	1.00	59.00	1	1.00	1.00				24.00	61.00
中野区	6	0.17	0.67	1	1.00	36.00								
杉並	11	2.29	2.67	1		23.00	2			1.50		0.50	32.50	32.50
池袋	5	0.20	0.60	1		50.00	1				4.00			
北区	7	1.29	0.29	1	1.00	16.00								
荒川区	4	3.00	1.25	1		14.00								
板橋区	10	2.30	0.20	2	2.00	17.50	1						38.00	38.00
練馬区	13	5.85	0.15	2	1.00	12.00								
足立	13	1.63	1.16	2	0.50	12.50								
葛飾区	8	2.25	0.13	1	1.00	27.00	1	1.00	1.00	4.00		1.00	52.00	30.00
江戸川	12	0.87	0.33	2	0.50	8.50								
八王子市	11	4.18	0.36	2	1.00	64.50	1						31.00	78.00
町田市	8	3.75	0.75	1		18.00								
西多摩	8	0.88		1		2.00	1	1.00					11.00	40.00
南多摩	9	0.22		1		11.00								
多摩立川	14	1.29	0.21	2		10.50	1			1.00			14.00	40.00
多摩府中	21	6.59	1.22	3	0.67	14.00	3	2.00	2.00	4.67			66.17	53.67
多摩小平	15	1.50	0.57	2		23.00	2			0.50		0.50	57.50	65.50
島しょ	1						1							2.00
定点当たり報告数		2.48	0.64		0.55	25.80		1.44	1.52	2.00	0.36	0.20	35.14	42.08
前年定点当たり報告数		1.40	0.36		0.08	8.21		0.68	0.72	0.28	0.88	0.16	1.04	
当年/前年		1.77	1.78		6.88	3.14		2.12	2.11	7.14	0.41	1.25	33.79	

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表6(1) 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ/COVID-19・小児科)

2023年第1週～第52週

	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満	310	531	633	80	15	558	21	39		48	88	
12か月未満	905	1,096	1,117	469	73	4,181	44	380	12	713	962	9
1歳	3,316	1,609	2,274	2,122	493	9,770	94	1,712	43	1,830	3,284	21
2歳	4,472	1,111	1,330	2,102	1,007	8,156	62	1,442	32	500	2,896	30
3歳	6,193	968	774	2,230	1,870	7,697	89	1,200	51	181	2,591	46
4歳	8,679	969	389	2,143	2,868	7,418	133	890	44	94	2,360	71
5歳	10,643	948	204	1,861	3,400	6,760	163	591	37	45	1,783	94
6歳	11,159	1,101	88	1,303	3,497	5,604	177	384	41	19	853	67
7歳	11,738	1,241	45	770	3,064	4,455	192	194	34	8	459	75
8歳	11,236	1,443	36	428	2,465	3,537	176	116	23	5	269	53
9歳	10,150	1,600	19	232	1,763	2,629	155	77	10	3	164	36
10～14歳	36,171	9,474	46	322	2,970	5,939	312	92	17		235	77
15～19歳	12,852	7,565	14	20	287	1,254	16	10	2		26	12
20～29歳	9,052	10,964	31	336	1,280	5,722	32	56	3	1	107	2
30～39歳	9,569	10,501										
40～49歳	11,405	12,010										
50～59歳	5,378	12,213										
60～69歳	2,112	6,786										
70～79歳	1,032	4,752										
80歳以上	420	3,002										
合計	166,792	89,884	7,000	14,418	25,052	73,680	1,666	7,183	349	3,447	16,077	593

注：小児科定点把握対象疾病の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

表6(2) 年齢階級別患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2023年第1週～第52週

	不明発しん症	川崎病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院	感染症入院 新型コロナウイルス
12か月未満	58	18		5		1	1			21	7
1歳	181	32		35	2					37	18
2歳	93	36		40	4		2		1	31	7
3歳	67	23		35			4	1	2	35	6
4歳	52	20	2	28	1		2			40	5
5歳	45	15		27			3			49	5
6歳	27	6		21			3			58	9
7歳	20	3	1	11			1			42	5
8歳	22	2		15			1	3		34	7
9歳	17	2		8			5		1	28	1
10～14歳	32	1		19			3	1	7	104	16
15～19歳	4	1		20			1	2	2	29	5
20～29歳	14		1	109				3	1	17	20
30～39歳			8	233				2	6	17	33
40～49歳			5	156			4	6		20	30
50～59歳			1	90			4	3	2	35	75
60～69歳			2	65			1	2	2	49	106
70～79歳			1	73			4	3	5	83	223
80歳以上							3	2	1	128	457
合計	645	166	21	996	36	38	50	9	5	878	1,052

※ 小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

※ 眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹)

2023年第1週～第52週

	インフルエンザ/COVID-19 設置定点数(インフルエ ンザ)	インフルエンザ	新型コロナウイルス 感染症	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	10,469	5,916	20	503	1,199	1,536	4,923	156	634	18	257	1,065	63
2 区南部圏	33	11,164	5,485	21	721	1,317	1,956	6,771	105	572	18	270	1,419	53
3 区西南部圏	40	13,546	7,967	25	713	1,319	2,316	6,828	158	552	46	224	1,452	67
4 区西部圏	39	13,570	8,229	25	511	936	2,235	6,390	138	454	26	290	802	38
5 区西北部圏	56	21,834	13,501	35	779	1,589	2,491	7,999	236	910	60	432	1,976	63
6 区東北部圏	40	15,853	8,402	25	804	1,562	1,762	7,297	92	684	28	379	1,506	33
7 区東部圏	41	16,682	10,734	26	854	2,280	2,761	7,351	117	543	32	273	1,410	35
8 西多摩圏	14	4,019	2,108	8	34	128	297	1,000	29	177	1	62	262	12
9 南多摩圏	45	22,105	9,469	28	688	1,386	2,717	10,506	174	1,120	41	401	2,293	103
10 北多摩西部圏	21	8,353	3,907	14	329	265	1,606	2,713	82	386	15	142	929	26
11 北多摩南部圏	33	16,773	8,115	21	456	1,038	2,847	5,353	197	523	48	355	1,477	76
12 北多摩北部圏	23	11,795	5,263	15	595	1,397	2,486	6,548	182	589	16	359	1,424	24
13 島しょ圏	2	629	788	1	13	2	42	1		39		3	62	
合計	419	166,792	89,884	264	7,000	14,418	25,052	73,680	1,666	7,183	349	3,447	16,077	593

	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病
1 区中央部圏	20	30	7
2 区南部圏	21	36	22
3 区西南部圏	25	86	9
4 区西部圏	25	35	45
5 区西北部圏	35	107	9
6 区東北部圏	25	51	21
7 区東部圏	26	39	7
8 西多摩圏	8	7	
9 南多摩圏	28	78	10
10 北多摩西部圏	14	18	3
11 北多摩南部圏	21	137	25
12 北多摩北部圏	15	21	8
13 島しょ圏	1		
合計	264	645	166

	設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
2	1	84	
3	1	60	
4	2	204	
4	3	156	
6	7	125	
4	2	66	
4	1	32	
1		2	
4	2	158	
2		21	
3	2	42	
2		46	
39	21	996	

	設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院	感染症入院 新型コロナウイルス
4	2	14	14	5		82	196	
1						14	24	
3	12	11	4			156	131	
4	2	1	8		1	97	128	
2				4		38	38	
1	1	1	4		1	52	30	
1	12	5	4		2	71	53	
1	1					11	40	
1						31	78	
1			1			14	40	
3	6	6	14			197	161	
2			1		1	115	131	
1							2	
25	36	38	50	9	5	878	1,052	

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ/COVID-19・小児科・眼科・基幹)

2023年第1週～第52週

	インザ/COVID-19 設置定点数(インフルエ)	インフルエンザ	新型コロナウイルス 感染症	設置定点数(小児科)										
				RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	327.20	185.17	20	25.15	59.95	76.80	246.15	7.80	31.70	0.90	12.85	53.25	3.15
2 区南部圏	33	340.40	169.67	21	34.73	63.18	93.92	324.83	5.06	27.63	0.87	12.96	68.28	2.55
3 区西南部圏	40	347.27	203.36	25	28.86	54.17	94.98	277.35	6.45	22.49	1.88	9.07	58.55	2.72
4 区西部圏	39	355.32	217.85	25	21.43	38.68	92.46	266.03	5.72	18.88	1.08	12.14	33.68	1.60
5 区西北部圏	56	390.96	243.24	35	22.62	45.53	71.53	229.41	6.78	26.24	1.73	12.41	57.54	1.81
6 区東北部圏	40	402.78	212.42	25	32.62	63.26	71.38	295.14	3.72	27.47	1.13	15.25	61.10	1.32
7 区東部圏	41	410.40	264.76	26	32.90	89.13	107.99	286.14	4.54	21.05	1.23	10.58	54.34	1.36
8 西多摩圏	14	287.53	151.57	8	4.29	16.02	37.21	125.82	3.66	22.38	0.13	7.75	32.91	1.50
9 南多摩圏	45	491.34	211.86	28	24.65	49.58	97.19	375.94	6.23	40.11	1.46	14.37	82.13	3.68
10 北多摩西部圏	21	398.65	186.02	14	23.50	19.03	115.29	194.23	5.87	27.58	1.07	10.16	66.36	1.87
11 北多摩南部圏	33	516.87	245.98	21	21.83	49.60	136.33	265.09	9.57	24.93	2.32	17.53	70.40	3.77
12 北多摩北部圏	23	536.79	239.44	15	42.52	99.81	177.58	468.33	13.05	42.08	1.14	25.67	101.71	1.71
13 島しょ圏	2	314.50	394.00	1	13.00	2.00	42.00	1.00		39.00		3.00	62.00	

	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病
1 区中央部圏	20	1.50	0.35
2 区南部圏	21	1.75	1.06
3 区西南部圏	25	3.51	0.37
4 区西部圏	25	1.46	1.89
5 区西北部圏	35	3.08	0.26
6 区東北部圏	25	2.06	0.84
7 区東部圏	26	1.51	0.27
8 西多摩圏	8	0.88	
9 南多摩圏	28	2.79	0.36
10 北多摩西部圏	14	1.29	0.21
11 北多摩南部圏	21	6.59	1.22
12 北多摩北部圏	15	1.50	0.57
13 島しょ圏	1		

	設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
2	0.50	42.00	
3	0.33	20.00	
4	0.50	51.83	
4	1.00	40.58	
6	1.17	20.83	
4	0.50	16.75	
4	0.25	8.25	
1		2.00	
4	0.50	39.50	
2		10.50	
3	0.67	14.00	
2		23.00	

	設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く) クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる) 感染性胃腸炎	インフルエンザ入院	感染症入院 新型コロナウイルス
4	0.50	3.50	3.50	1.25			20.50	49.00
1							14.00	24.00
3	4.00	3.67	1.33				52.00	43.67
4	0.50	0.25	2.00		0.25		24.25	32.00
2				2.00			19.00	19.00
1	1.00	1.00	4.00		1.00		52.00	30.00
1	12.00	5.00	4.00		2.00		71.00	53.00
1	1.00						11.00	40.00
1							31.00	78.00
1			1.00				14.00	40.00
3	2.00	2.00	4.67				66.17	53.67
2			0.50		0.50		57.50	65.50
1								2.00

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2023年1月~12月

	報告 定点 数	メ チ シ リ ン 耐 性 黄 色 ブ ド ウ 球 菌 感 染 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症
1月	25	75	6	
2月	25	43	6	2
3月	25	61	3	1
4月	25	51	5	1
5月	25	57	11	
6月	25	75	14	1
7月	25	60	3	1
8月	25	56	9	
9月	25	63	3	
10月	25	61	3	1
11月	25	44	2	
12月	25	47	6	1
合 計		693	71	8

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2023年1月~12月

	報告 定点 数	メ チ シ リ ン 耐 性 黄 色 ブ ド ウ 球 菌 感 染 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症
1月	25	3.00	0.24	
2月	25	1.72	0.24	0.08
3月	25	2.44	0.12	0.04
4月	25	2.04	0.20	0.04
5月	25	2.28	0.44	
6月	25	3.00	0.56	0.04
7月	25	2.40	0.12	0.04
8月	25	2.24	0.36	
9月	25	2.52	0.12	
10月	25	2.44	0.12	0.04
11月	25	1.76	0.08	
12月	25	1.88	0.24	0.04
平 均		2.31	0.24	0.03
合 計		27.72	2.84	0.32
前年合計		29.24	1.60	0.32
当年/前年		0.95	1.78	1.00

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2023年1月~12月

	メ チ シ リ ン 耐 性 黄 色 ブ ド ウ 球 菌 感 染 症		ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症		薬 剤 耐 性 緑 膿 菌 感 染 症	
	男	女	男	女	男	女
1月	44	31	4	2		
2月	31	12	2	4	1	1
3月	35	26	3			1
4月	33	18	4	1		1
5月	31	26	6	5		
6月	51	24	6	8	1	
7月	44	16	1	2	1	
8月	35	21	3	6		
9月	40	23	3			
10月	36	25	2	1		1
11月	20	24		2		
12月	26	21	3	3	1	
合 計	426	267	37	34	4	4

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2023年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	13	14	1			
1~4歳	13	17	8	7		2
5~9歳	16	7	2	5		
10~14歳	5	5		4		
15~19歳	2					
20~24歳	4					
25~29歳	3	1	1			
30~34歳	1	4		2		
35~39歳	9	1	2	1		
40~44歳	12	3	3			
45~49歳	9	3	1	1	1	
50~54歳	19	12	3		1	
55~59歳	15	6	2			
60~64歳	26	5	1	2		
65~69歳	33	15		3	1	
70歳以上	246	174	13	9	1	2
合計	426	267	37	34	4	4
定点当たり報告数	17.04	10.68	1.48	1.36	0.16	0.16
前年定点当たり報告数	18.32	10.92	0.84	0.76	0.16	0.16
当年/前年	0.93	0.98	1.76	1.79	1.00	1.00

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-1 月別患者報告数(性感染症)

2023年1月~12月

報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	
1月	54	198	61	112	95	4
2月	54	228	58	116	105	7
3月	54	236	75	121	99	13
4月	55	221	47	135	87	8
5月	55	218	68	122	90	9
6月	55	237	58	103	92	6
7月	55	211	44	84	74	8
8月	55	215	30	55	77	5
9月	55	219	38	41	80	4
10月	55	226	57	57	79	6
11月	55	238	26	53	97	6
12月	55	213	36	51	95	3
合計	2,660	598	1,050	1,070	79	

表9-2 月別定点当たり患者報告数(性感染症)

2023年1月~12月

報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	
1月	54	3.67	1.13	2.07	1.76	0.07
2月	54	4.22	1.07	2.15	1.94	0.13
3月	54	4.37	1.39	2.24	1.83	0.24
4月	55	4.02	0.85	2.45	1.58	0.15
5月	55	3.96	1.24	2.22	1.64	0.16
6月	55	4.31	1.05	1.87	1.67	0.11
7月	55	3.84	0.80	1.53	1.35	0.15
8月	55	3.91	0.55	1.00	1.40	0.09
9月	55	3.98	0.69	0.75	1.45	0.07
10月	55	4.11	1.04	1.04	1.44	0.11
11月	55	4.33	0.47	0.96	1.76	0.11
12月	55	3.87	0.65	0.93	1.73	0.05
平均		4.05	0.91	1.60	1.63	0.12
合計		48.59	10.94	19.21	19.56	1.44
前年合計		41.78	12.54	21.42	19.26	1.90
当年/前年		1.16	0.87	0.90	1.02	0.76

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2023年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	54	125	73	39	22	73	39	68	27	1	3
2月	54	148	80	41	17	78	38	85	20	1	6
3月	54	130	106	40	35	81	40	75	24		13
4月	55	136	85	23	24	99	36	57	30	2	6
5月	55	140	78	42	26	86	36	57	33		9
6月	55	140	97	34	24	80	23	61	31		6
7月	55	124	87	27	17	58	26	53	21		8
8月	55	115	100	18	12	35	20	58	19		5
9月	55	129	90	20	18	28	13	62	18		4
10月	55	138	88	50	7	43	14	57	22		6
11月	55	138	100	18	8	38	15	64	33	1	5
12月	55	136	77	22	14	38	13	73	22		3
合計		1,599	1,061	374	224	737	313	770	300	5	74

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2023年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	54	2.31	1.35	0.72	0.41	1.35	0.72	1.26	0.50	0.02	0.06
2月	54	2.74	1.48	0.76	0.31	1.44	0.70	1.57	0.37	0.02	0.11
3月	54	2.41	1.96	0.74	0.65	1.50	0.74	1.39	0.44		0.24
4月	55	2.47	1.55	0.42	0.44	1.80	0.65	1.04	0.55	0.04	0.11
5月	55	2.55	1.42	0.76	0.47	1.56	0.65	1.04	0.60		0.16
6月	55	2.55	1.76	0.62	0.44	1.45	0.42	1.11	0.56		0.11
7月	55	2.25	1.58	0.49	0.31	1.05	0.47	0.96	0.38		0.15
8月	55	2.09	1.82	0.33	0.22	0.64	0.36	1.05	0.35		0.09
9月	55	2.35	1.64	0.36	0.33	0.51	0.24	1.13	0.33		0.07
10月	55	2.51	1.60	0.91	0.13	0.78	0.25	1.04	0.40		0.11
11月	55	2.51	1.82	0.33	0.15	0.69	0.27	1.16	0.60	0.02	0.09
12月	55	2.47	1.40	0.40	0.25	0.69	0.24	1.33	0.40		0.05

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2023年1月~12月

	設置 定点数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	29	4	10	8	16	4	20			
中央区	3	49	19	44	15	11	2	12	3	2	1
みなと	2	82	50	52	12	160	1	40	6	1	1
新宿区	7	164	72	113	60	307	127	106	18		8
文京	1	40		9		13		9	1		
台東	2	6	76		12	17	37	6	96		17
墨田区	2	49	2	10		14	3	16	1		
江東区	2	135	4	41	1	25		44	2		
品川区	1	485	264	21	4	85	12	227	94	1	3
大田区	2	4	18		1		2	3	1		4
渋谷区	5	194	106	36	21	30	63	82	9	1	2
中野区	2	112	4	3	1	2	1	60	3		2
杉並	2	41	13	2		7	2	13	1		
池袋	3	135	43	19	28	31	15	86	11		10
北区	1	7				3		4			
荒川区	1		13				1		2		1
板橋区	2	9	32	1	5	8	2	10	3		
足立	2	3	55		4	1	6	2	6		5
江戸川	2	49	89	11	4	7	11	29	15		8
八王子市	4		61		18		9		8		4
町田市	1		15	2	19		1		1		
多摩立川	2	2	108		7		11	1	17		8
多摩府中	3	4	13		4		3		2		
多摩小平	1										
合計	55	1,599	1,061	374	224	737	313	770	300	5	74
定点当たり報告数		29.21	19.38	6.84	4.10	13.48	5.73	14.08	5.48	0.09	1.35
前年定点当たり報告数		24.58	17.20	6.91	5.63	13.75	7.66	13.77	5.49	0.02	1.88
当年/前年		1.19	1.13	0.99	0.73	0.98	0.75	1.02	1.00	4.50	0.72

区中央部圏	10	206	149	115	47	217	44	87	106	3	19
区南部圏	3	489	282	21	5	85	14	230	95	1	7
区西南部圏	5	194	106	36	21	30	63	82	9	1	2
区西部圏	11	317	89	118	61	316	130	179	22		10
区西北部圏	6	151	75	20	33	42	17	100	14		10
区東北部圏	3	3	68		4	1	7	2	8		6
区東部圏	6	233	95	62	5	46	14	89	18		8
南多摩圏	5		76	2	37		10		9		4
北多摩西部圏	2	2	108		7		11	1	17		8
北多摩南部圏	3	4	13		4		3		2		
北多摩北部圏	1										

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2023年1月~12月

	設置 定点数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	14.50	2.00	5.00	4.00	8.00	2.00	10.00			
中央区	3	16.33	6.33	14.67	5.00	3.67	0.67	4.00	1.00	0.67	0.33
みなと	2	41.00	25.00	26.00	6.00	80.00	0.50	20.00	3.00	0.50	0.50
新宿区	7	24.79	10.83	17.19	9.26	47.12	19.71	16.07	2.71		1.26
文京	1	40.00		9.00		13.00		9.00	1.00		
台東	2	3.00	38.00		6.00	8.50	18.50	3.00	48.00		8.50
墨田区	2	24.50	1.00	5.00		7.00	1.50	8.00	0.50		
江東区	2	67.50	2.00	20.50	0.50	12.50		22.00	1.00		
品川区	1	485.00	264.00	21.00	4.00	85.00	12.00	227.00	94.00	1.00	3.00
大田区	2	2.00	9.00		0.50		1.00	1.50	0.50		2.00
渋谷区	5	38.80	21.20	7.20	4.20	6.00	12.60	16.40	1.80	0.20	0.40
中野区	2	56.00	2.00	1.50	0.50	1.00	0.50	30.00	1.50		1.00
杉並	2	20.50	6.50	1.00		3.50	1.00	6.50	0.50		
池袋	3	45.00	14.33	6.33	9.33	10.33	5.00	28.67	3.67		3.33
北区	1	7.00				3.00		4.00			
荒川区	1		13.00				1.00		2.00		1.00
板橋区	2	4.50	16.00	0.50	2.50	4.00	1.00	5.00	1.50		
足立	2	1.50	27.50		2.00	0.50	3.00	1.00	3.00		2.50
江戸川	2	24.50	44.50	5.50	2.00	3.50	5.50	14.50	7.50		4.00
八王子市	4		15.25		4.50		2.25		2.00		1.00
町田市	1		15.00	2.00	19.00		1.00		1.00		
多摩立川	2	1.00	54.00		3.50		5.50	0.50	8.50		4.00
多摩府中	3	1.33	4.33		1.33		1.00		0.67		
多摩小平	1										
合計	55	1,599	1,061	374	224	737	313	770	300	5	74
定点当たり報告数		29.21	19.38	6.84	4.10	13.48	5.73	14.08	5.48	0.09	1.35

区中央部圏	10	20.60	14.90	11.50	4.70	21.70	4.40	8.70	10.60	0.30	1.90
区南部圏	3	163.00	94.00	7.00	1.67	28.33	4.67	76.67	31.67	0.33	2.33
区西南部圏	5	38.80	21.20	7.20	4.20	6.00	12.60	16.40	1.80	0.20	0.40
区西部圏	11	29.65	8.35	11.16	5.81	29.99	12.43	16.77	2.06		0.95
区西北部圏	6	25.17	12.50	3.33	5.50	7.00	2.83	16.67	2.33		1.67
区東北部圏	3	1.00	22.67		1.33	0.33	2.33	0.67	2.67		2.00
区東部圏	6	38.83	15.83	10.33	0.83	7.67	2.33	14.83	3.00		1.33
南多摩圏	5		15.20	0.40	7.40		2.00		1.80		0.80
北多摩西部圏	2	1.00	54.00		3.50		5.50	0.50	8.50		4.00
北多摩南部圏	3	1.33	4.33		1.33		1.00		0.67		
北多摩北部	1										

※定点当たり報告数は、小数点第3位を四捨五入

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2023年1月~12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳										
1~4歳										
5~9歳										
10~14歳		4	1					2		
15~19歳	36	82	3	3	3	26	21	33		2
20~24歳	280	354	31	40	82	100	162	89		22
25~29歳	393	286	60	38	149	87	167	51	1	14
30~34歳	259	138	47	41	121	45	91	40	1	9
35~39歳	199	57	55	31	85	24	81	18		8
40~44歳	175	60	53	20	78	4	93	19	1	4
45~49歳	131	40	34	15	74	14	62	14	1	5
50~54歳	53	20	30	13	47	6	36	19	1	6
55~59歳	39	9	20	7	45	5	37	8		2
60~64歳	18	6	22	6	24	2	10	7		1
65~69歳	10	3	7	4	12		7			1
70歳以上	6	2	11	6	17		3			
合計	1,599	1,061	374	224	737	313	770	300	5	74

表10 検査結果別報告数(基幹) 2023年1週~52週

	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	合計
<i>Acinetobacter</i> sp.	1					1
<i>Escherichia coli</i>	1					1
<i>Staphylococcus aureus</i>	1					1
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	4					4
<i>Streptococcus agalactiae</i>	2					2
Group G Streptococcus	1					1
<i>Streptococcus</i> sp.	1					1
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	2					2
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	2					2
other bacteria	1	1				2
<i>Cryptococcus neoformans</i>			1			1
Herpes simplex virus 2			1			1
Human herpes virus 7			1			1
Varicella-zoster virus			4			4
Enterovirus NT			6			6
rickettsia sp.			1			1
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>				47		47
<i>Chlamydia pneumoniae</i>					5	5
Rotavirus						5
合計	16	15	47	5	5	88

表11 入院サーベイランス 入院時の状況 2023年1週～52週

	インフルエンザ入院							新型コロナウイルス感染症入院		
	ICU入室	人工呼吸器の利用	頭部CT検査	頭部MRI検査	脳波検査	いずれにも該当せず	頭部検査	ICU入室	人工呼吸器の利用	いずれにも該当せず
6か月未満						21		1		16
12か月未満			2			19	2	1		6
1歳	3	1	7	3	1	27	8	4	1	13
2歳	1		8	1		23	8	1	1	5
3歳	2	1	5			29	5			6
4歳	5	1	12		2	26	12	1		4
5歳	4		7	3		39	8	1		4
6歳	8	2	8	1	2	44	10			9
7歳	1	1	4	1		37	4	1	1	4
8歳	4	1	7	3	1	23	9			7
9歳	3	1	2	1	1	24	2			1
10～14歳	12	5	20	4	7	77	22	1	1	14
15～19歳	5	4	2	3		20	4	3	1	2
20～29歳			1			16	1	1		19
30～39歳	4	2	1			13	1	3	1	30
40～49歳	2		1			17	1	4	1	26
50～59歳	5	1	3	1		27	3	4	2	70
60～69歳	6	2	6	2		41	6	6	1	100
70～79歳	6	4	8	3		66	10	18	3	204
80歳以上	4	4	14	2		110	15	35	15	415
合計	75	30	118	28	14	699	131	85	28	955

第 2 章

東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

1 ウイルス検査結果

(1) 小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体

ア インフルエンザ

① 2022/2023 年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザウイルスの流行シーズンは、毎年 9 月（第 36 週）を境にシーズン分けがされている。2023 年は第 1 週～第 35 週が 2022/2023 年シーズン、2023 年第 36 週～第 52 週は 2023/2024 年シーズンとなる。2022/2023 年シーズン（2022 年第 36 週～2023 年第 35 週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関より 208 検体が搬入された。前回のインフルエンザ流行シーズンである 2019/2020 年シーズンの同期間（519 件）に比べると検体数は減少していたが、3 シーズンぶりに都内でインフルエンザが流行した。遺伝子検査では AH1pdm09 11 件（7.4%）、AH3 亜型 133 件（89.9%）、B 型 4 件（Victoria 系統 4 件：2.7%、Yamagata 系統 0 件：0%）の計 148 件が検出され、流行の約 9 割を AH3 亜型が占めていた（図 1a、図 2a）。ウイルス分離検査では、AH1pdm09 11 株、AH3 亜型 79 株、B 型 2 株（Victoria 系統 2 株、Yamagata 系統 0 株）の計 92 株が分離された。2022/2023 年シーズンは、2022 年第 50 週から 2023 年第 35 週まで流行が続いた。当センターに搬入された検体においては、2022 年第 50 週からインフルエンザウイルスの検出数が増加し、2023 年第 4 週に検出のピークを迎え、その後は数を減らしつつも断続的に検出された。

② 2023/2024 年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

2023/2024 年シーズン（2023 年第 36 週～2024 年第 9 週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関より 428 検体が搬入された。遺伝子検査では AH1pdm09 105 件（28.6%）、AH3 亜型 176 件（48.0%）、B 型 86 件（Victoria 系統 86 件：23.4%、Yamagata 系統 0 件：0%）の計 367 件が検出された（図 1b、図 2b）。ウイルス分離検査では、AH1pdm09 91 株、AH3 亜型 138 株、B 型 76 株（Victoria 系統 76 株、Yamagata 系統 0 株）の計 305 株が分離された。2023/2024 年シーズンは、例年とは異なり 2022/2023 年シーズンから流行が引き続いた状況でシーズンが開始した。そのため、第 36 週からインフルエンザウイルスが検出され、その後も数を増やしながらか検出され続けた。また、2024 年第 3 週までは AH3 亜型の検出割合が高かったが、2024 年第 4 週以降は B 型 Victoria 系統の検出割合が増加していた。

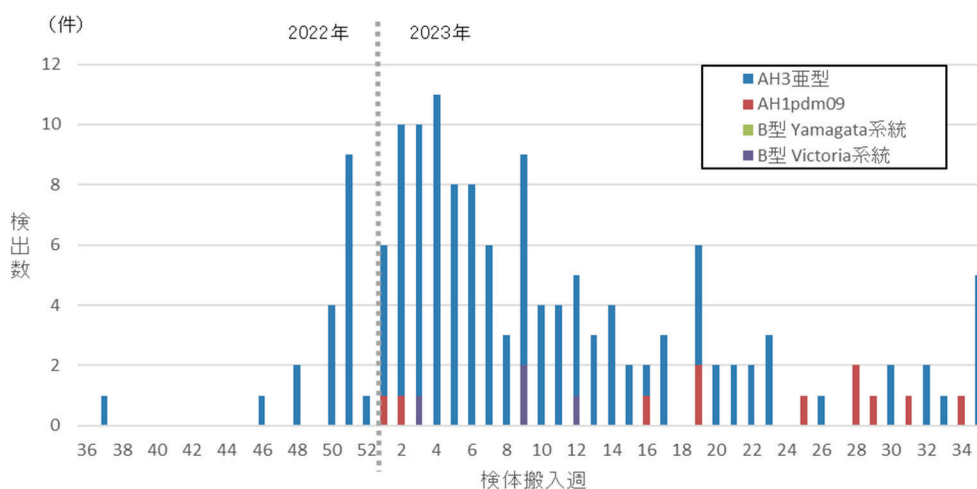


図 1a. 2022/2023 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出数

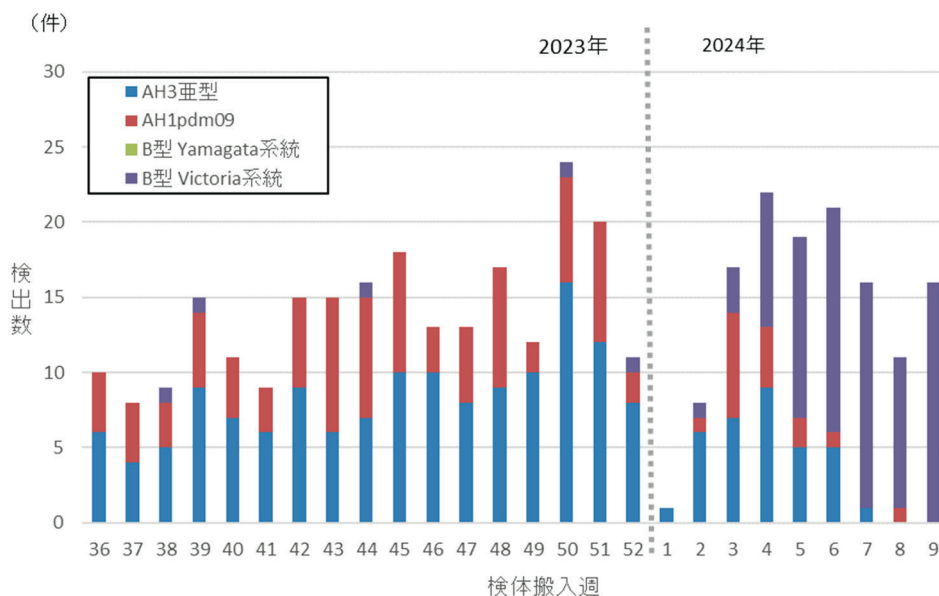


図 1b. 2023/2024 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出数 (2024 年 2 月末現在)

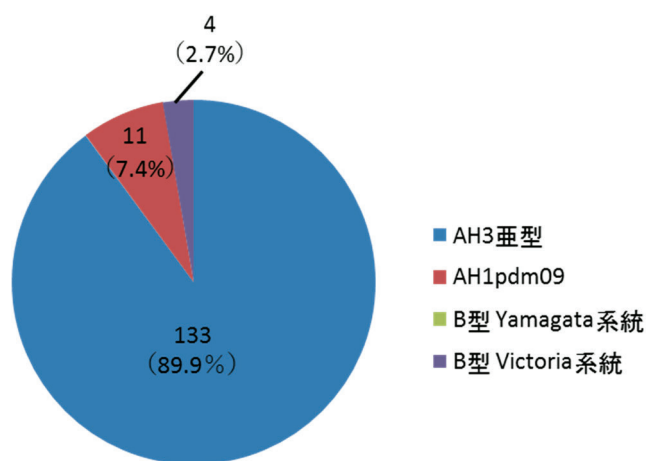


図 2a. 2022/2023 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出状況

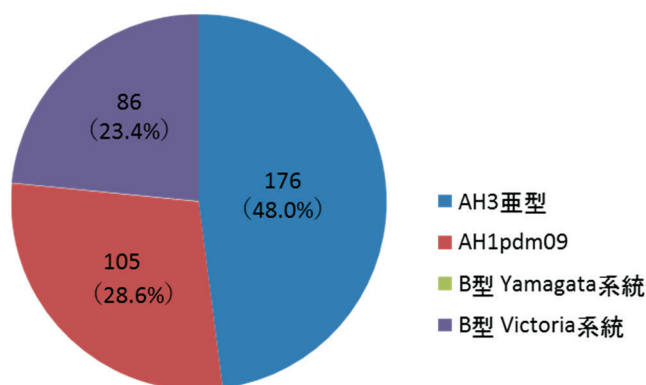


図 2b. 2023/2024 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出状況 (2024 年 2 月末現在)

③ インフルエンザウイルスの抗原解析

遺伝子解析及びワクチン株抗血清を用いた HI 試験により、インフルエンザウイルスの抗原性状を比較した。遺伝子解析は、RT-nested-PCR 検査によって得られた HA (ヘマグルチニン) 遺伝子の一部断片を用いてダイレクトシーケンスにより塩基配列を決定し、ワクチン株と分子系統樹上で比較した。分離株の性状解析は、国立感染症研究所配布のインフルエンザサーベイランスキット抗血清を用いた HI 試験 (1.0%モルモット赤血球浮遊液を使用) により行った。

AH1pdm09 は、2022/2023 年シーズンの流行株とワクチン株 (A/Victoria/1/2020) を比較したところ、解析範囲 (566 塩基) の遺伝子変異は 9~14 塩基 (塩基一致率: 97.5%~98.4%) であった。これらの株は系統樹上ではワクチン株と同じクレードに属していた (図 3)。HA 価が 8 倍以上あり HI 試験が実施できた 9 株は、ワクチン株と同等の反応性が見られ、抗原性に大きな変異はないと推察された。2023/2024 年シーズンはワクチン株が A/Victoria/1/2020 から A/Victoria/4897/2022 に変更された。2023/2024 年シーズンの流行株とワクチン株を比較すると、解析範囲の遺伝子変異は 6~13 塩基 (塩基一致率: 97.7%~98.9%) であった。系統樹上では、流行株の多くはワクチン株と同じクレードに属した (図 3)。HA 価が 8 倍以上あり HI 試験が実施できた 86 株は、84 株 (97.7%) でワクチン株と同等の反応性が見られ、2 株 (2.3%) でワクチン株抗体との反応性の低下が見られた。

AH3 亜型は、2022/2023 年シーズンの流行株とワクチン株 (A/Darwin/9/2021) を比較すると、解析範囲 (329 塩基) の遺伝子変異は 3~12 塩基 (塩基一致率: 96.4%~99.1%) であった。系統樹上では、流行株の多くはワクチン株と同じクレードに属していた (図 4)。HA 価が 8 倍以上あり HI 試験が実施できた 66 株は、60 株 (90.9%) でワクチン株と同等の反応性が見られ、6 株 (9.1%) でワクチン株抗体との反応性の低下が見られた。2023/2024 年シーズンの流行株とワクチン株を比較すると、解析範囲の遺伝子変異は 8~11 塩基 (塩基一致率: 96.7%~97.6%) であった。系統樹上では、流行株はワクチン株と同じクレードに属し (図 4)、HA 価が 8 倍以上あり HI 試験が実施できた 131 株は、ワクチン株と同等の反応性が見られた。

B 型 Victoria 系統では、2022/2023 年シーズンの検出株とワクチン株 (B/Austria/1359417/2021) では、解析範囲 (243 塩基) での遺伝子変異は 4~6 塩基 (塩基一致率: 97.5%~98.4%) であった。系統樹上ではワクチン株と同じクレードに属し、HI 試験による抗原性状ではワクチン株と同等の反応性がみられた (図 5)。2023/2024 年シーズンの流行株とワクチン株を比較すると、解析範囲の遺伝子変異は 4~6 塩基 (塩基一致率: 97.5%~98.4%) であった。系統樹上では、流行株はワクチン株と同じクレードに属し、HI 試験による抗原性状ではワクチン株と同等の反応性がみられた。

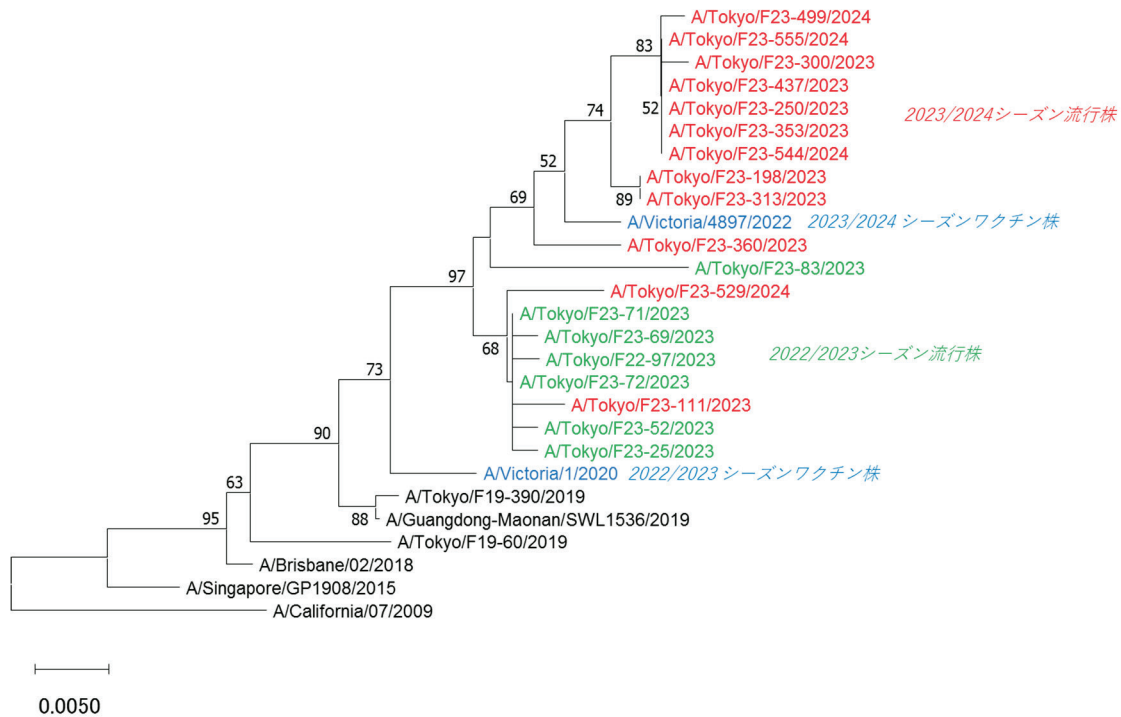


図 3. 東京都における AH1pdm09 インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

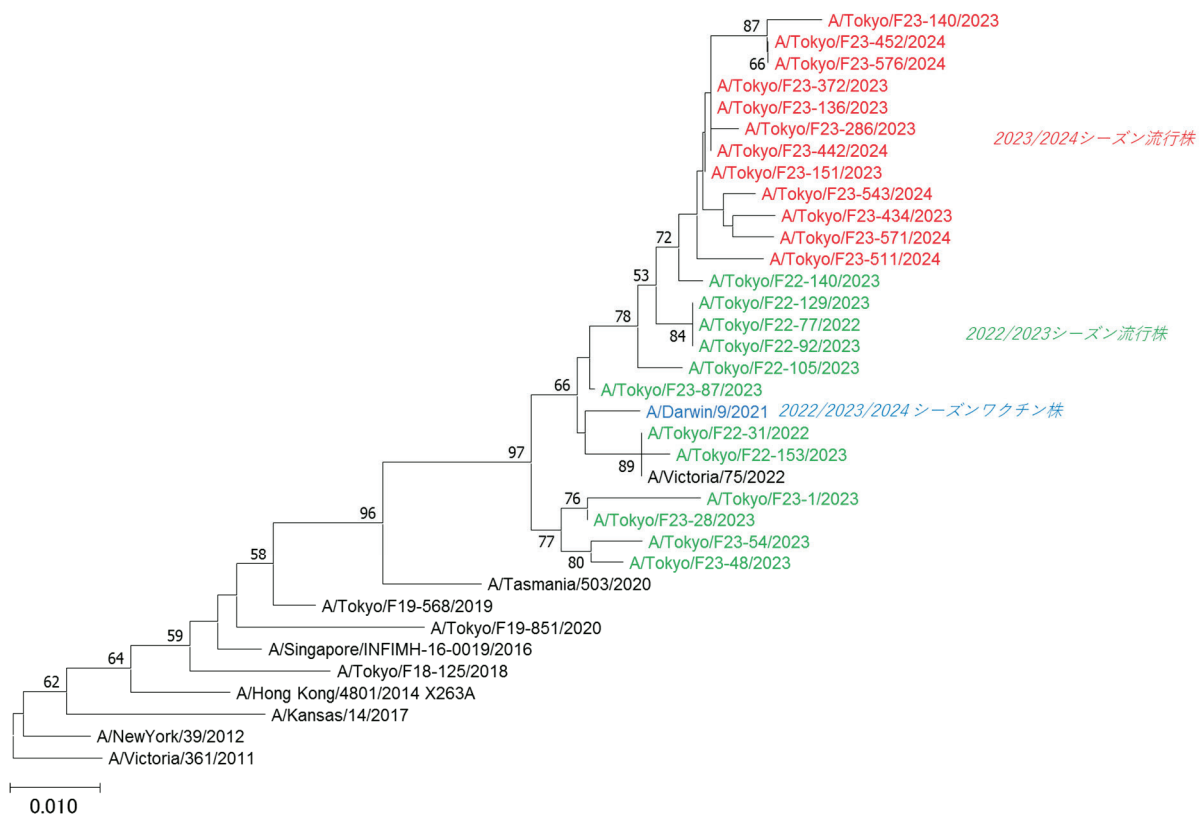


図 4. 東京都における AH3 亜型インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

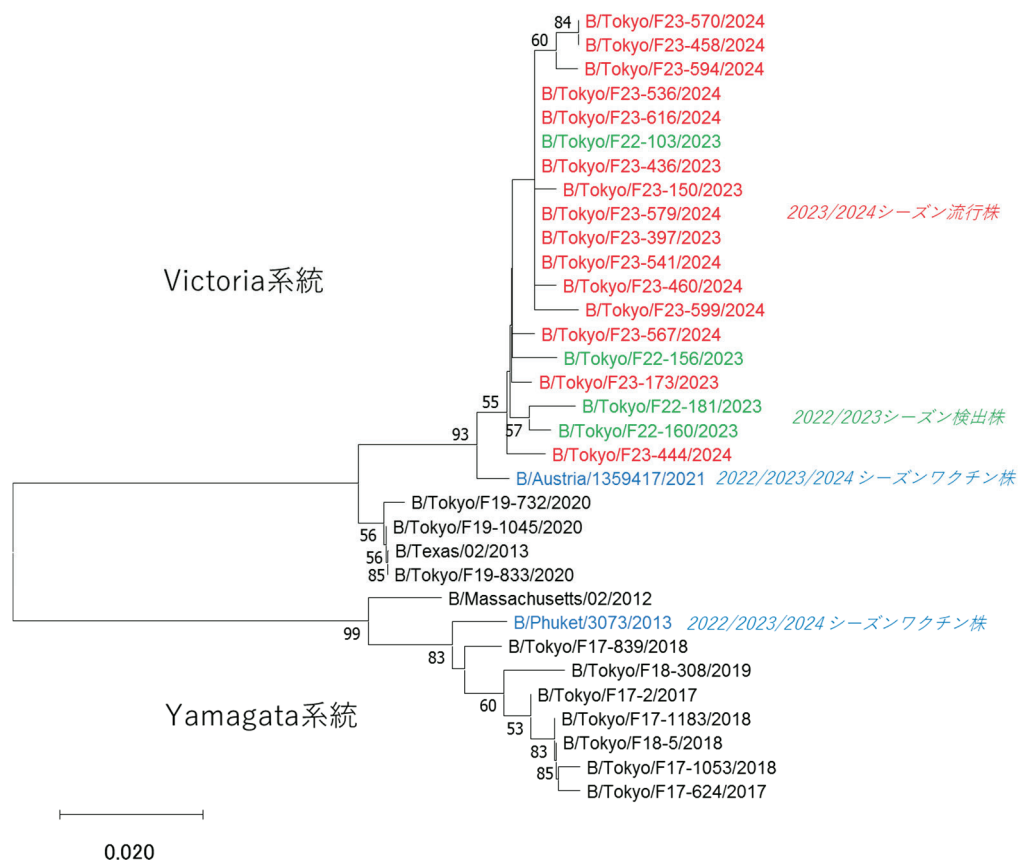


図 5. 東京都における B 型インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

④ その他のウイルスの検出状況

インフルエンザウイルスの検査と同時にエンテロウイルス、アデノウイルスの遺伝子検査を行った。さらに、2022 年第 45 週より、新型コロナウイルスの遺伝子検査も同時に行った。また、2023 年第 20 週から第 41 週については、呼吸器感染症起因ウイルスを対象に網羅的解析を行った。その結果、2022/2023 年シーズンは 208 検体が搬入され、エンテロウイルス 1 件、ライノウイルス 18 件、アデノウイルス 2 件、新型コロナウイルス 23 件、RS ウイルス 2 件、ヒトメタニューモウイルス 4 件、ヒトコロナウイルス 2 件、パラインフルエンザウイルス 5 件が検出された (図 6a)。2023/2024 年シーズンでは 428 検体が搬入され、エンテロウイルス 3 件、ライノウイルス 28 件、アデノウイルス 13 件、新型コロナウイルス 30 件、パラインフルエンザウイルス 2 件が検出された (図 6b)。

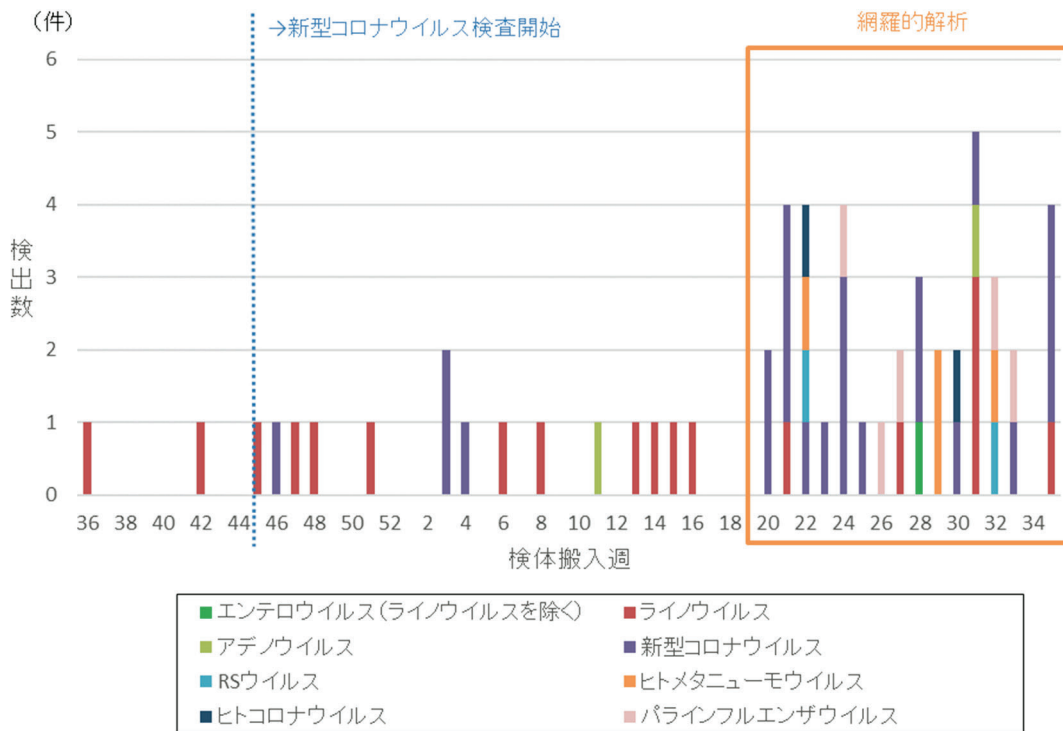


図 6a. 2022/2023 年シーズンのその他のウイルスの遺伝子検出数

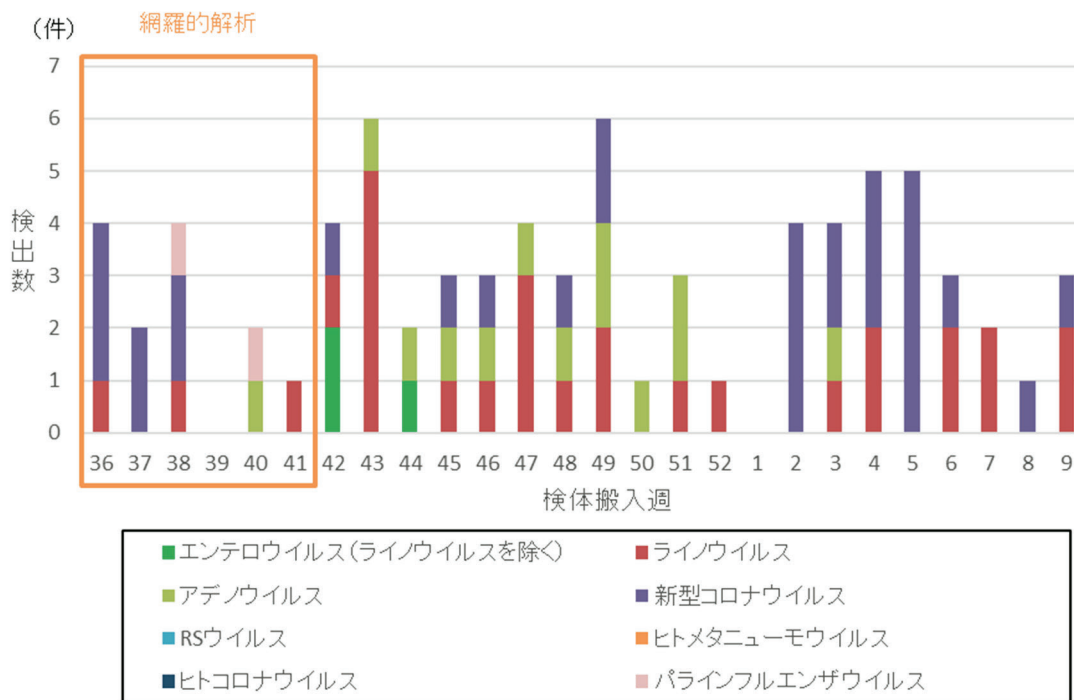


図 6b. 2023/2024 年シーズンのその他のウイルスの遺伝子検出数 (2024 年 2 月末現在)

イ RS ウイルス感染症

小児科定点医療機関でRS ウイルス感染症と診断され、当センターに搬入された患者検体 11 件についてRS ウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。11 件中 7 件からRS ウイルス遺伝子（B 型 7 件）が検出された。本年はRS ウイルス A 型の検出はなかった。また、新型コロナウイルスが 1 件、エンテロウイルス 71 型が 1 件、ライノウイルスが 1 件検出された。分離試験では、RS ウイルス B 型 3 株、エンテロウイルス 71 型が 1 株分離された（表 1、図 7）。

表 1. RS ウイルス感染症患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出件数	分離株数
RSウイルスB型	7	3
新型コロナウイルス	1	
エンテロウイルス71型	1	1
ライノウイルス	1	
陰性	3	6

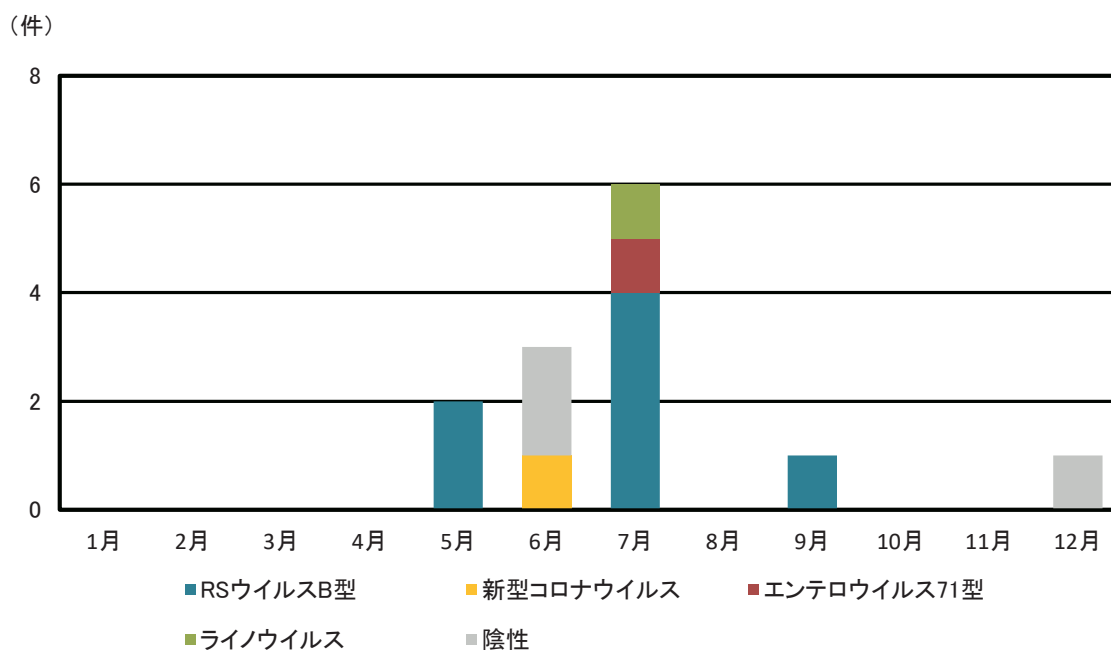


図 7. RS ウイルス感染症患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

ウ 咽頭結膜熱

小児科定点医療機関で咽頭結膜熱と診断され、当センターに搬入された患者検体 33 件についてアデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、33 件中 25 件からアデノウイルス遺伝子（1 型：3 件、2 型：2 件、3 型：17 件、5 型：2 件、C 種：1 件）が検出された。また、ライノウイルスが 10 件、コクサッキーウイルス A 群 4 型が 2 件、コクサッキーウイルス A 群 10 型が 1 件、コクサッキーウイルス A 群 16 型が 2 件、コクサッキーウイルス B 群 5 型が 1 件、新型コロ

ナウイルスが1件検出された（重複検出を含む）（表2）。月別にみると4月～7月にかけてはアデノウイルス1型、2型、5型等が検出されたが、9月以降はアデノウイルス3型が多く検出された（図8）。分離試験では、アデノウイルス1型が3株、2型が2株、3型が17株、5型が2株、C種が1株のほか、コクサッキーウイルスA群10型とB群5型がそれぞれ1株ずつ分離された。

表2. 咽頭結膜熱患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出件数	分離件数
アデノウイルス1型	3	3
アデノウイルス2型	2	2
アデノウイルス3型	17	17
アデノウイルス5型	2	2
アデノウイルスC種	1	1
ライノウイルス	10	
コクサッキーウイルスA群4型	2	
コクサッキーウイルスA群10型	1	1
コクサッキーウイルスA群16型	2	
コクサッキーウイルスB群5型	1	1
新型コロナウイルス	1	
陰性	1	5

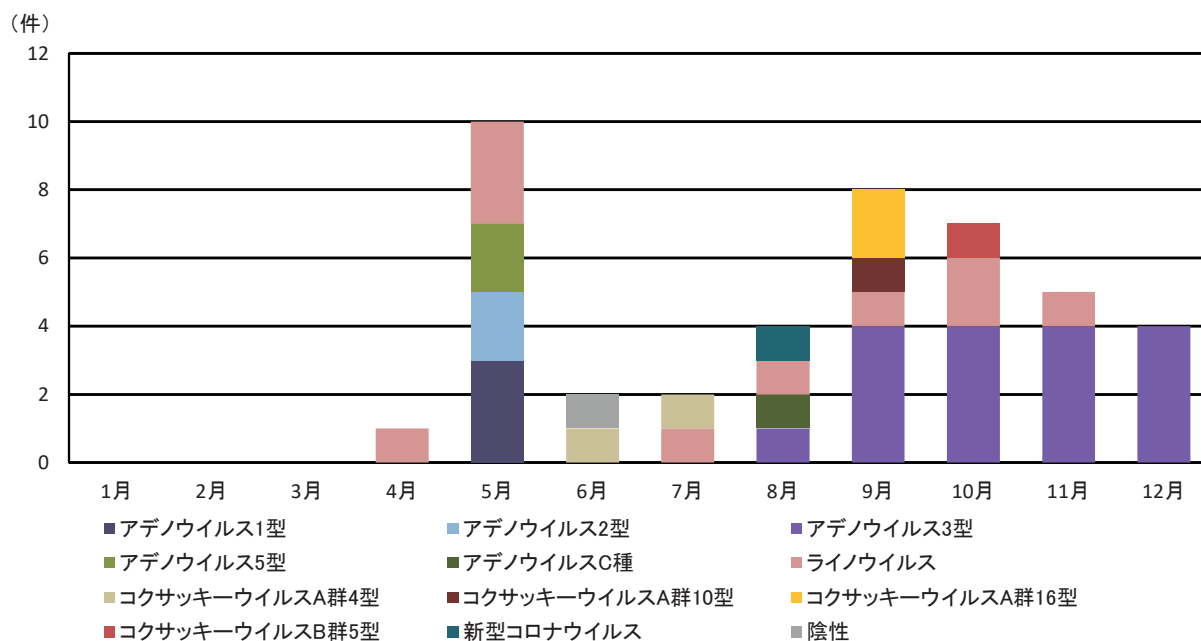


図8. 咽頭結膜熱患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

エ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は流行時期に合わせ、毎年第36週から翌年の第35週までの1年間を流行シーズンとしているため、2023年第1週～第35週は2022/2023年シーズン、第36週～第53週は2023/2024年シーズンとなる。

小児科定点医療機関及び基幹定点医療機関において感染性胃腸炎と診断され、当センターに搬入された患者検体について、小児科定点の検体についてはノロウイルス、サポウイルス、A群ロタウイルス、アデノウイルス及びアストロウイルス、基幹定点の検体ではA群ロタウイルス及びC群ロタウイルスの遺伝子検査を実施している。

小児科定点医療機関から搬入された34件について検査を実施した結果、19件からウイルスが検出された。内訳は、ノロウイルスが最も多く12件、サポウイルスが5件、アデノウイルスが1件、アストロウイルスが1件であった(表3、図4)。ノロウイルスの遺伝子型については、GII.2が2件、GII.4が8件、GII.7が1件、GII.17が1件であった。

基幹定点医療機関から当センターに搬入された1検体の検査を実施した結果、A群ロタウイルスが検出され、遺伝子型はG1P[8]であった。

表3. 感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス遺伝子の内訳 (小児科定点)

検出遺伝子	検出数
ノロウイルス	12
サポウイルス	5
アデノウイルス	1
アストロウイルス	1
計	19

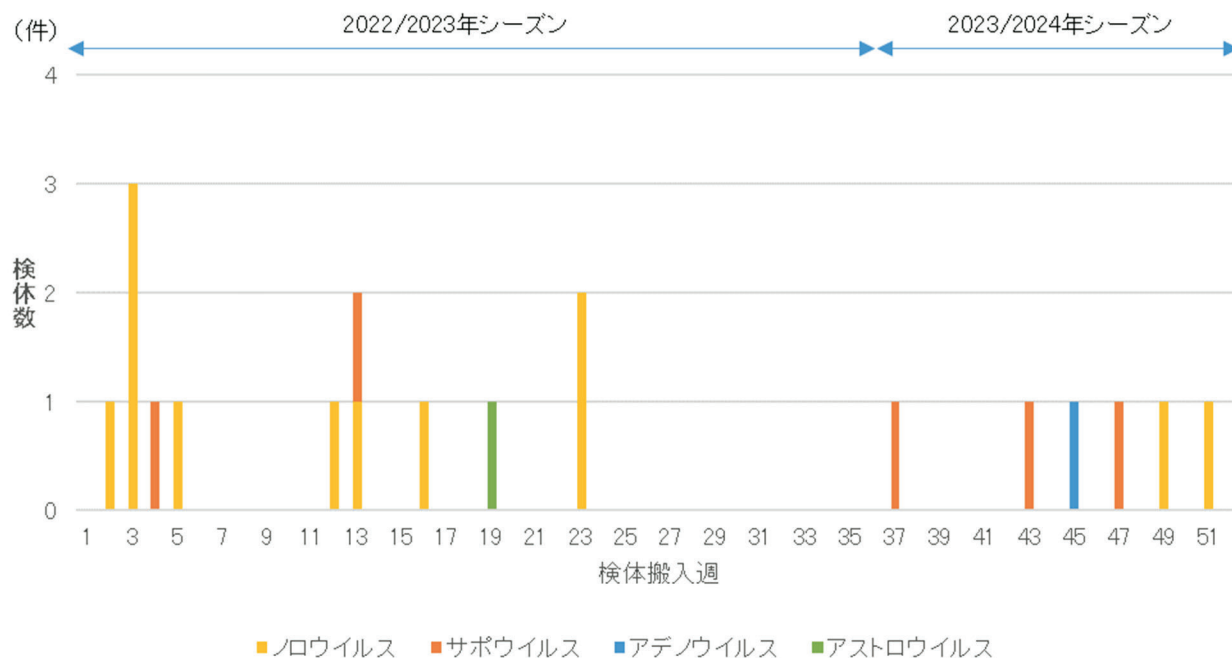


図9. 感染性胃腸炎患者検体からのウイルス遺伝子検出状況 (小児科定点)

オ 水痘

小児科定点医療機関で水痘と診断され当センターに搬入された患者検体2件について、遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。遺伝子検査及び分離試験の結果、水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）は検出されなかった。

カ 手足口病

小児科定点医療機関で手足口病と診断され、当センターに搬入された患者検体24件について、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。遺伝子検査において検出されたエンテロウイルスはコクサッキーウイルスA群6型が1件、A群16型が10件、B群5型が1件、エンテロウイルス71型が5件であった。またライノウイルスが6件、アデノウイルス1型が1件、3型が1件、パラインフルエンザウイルス2型が1件検出された。分離試験ではコクサッキーウイルスA群16型が6株、エンテロウイルス71型が5株、アデノウイルス1型が1株、3型が1株、パラインフルエンザウイルス2型が1株分離された（表4、図10）。また、コクサッキーウイルスA群16型は2月から10月の間検出されたが、エンテロウイルス71型の検出時期は6月と7月のみであった。

表4. 手足口病患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出件数	分離株数
コクサッキーウイルスA群6型	1	
コクサッキーウイルスA群16型	10	6
コクサッキーウイルスB群5型	1	
エンテロウイルス71型	5	5
ライノウイルス	6	
アデノウイルス1型	1	1
アデノウイルス3型	1	1
パラインフルエンザウイルス2型	1	1
陰性	2	11

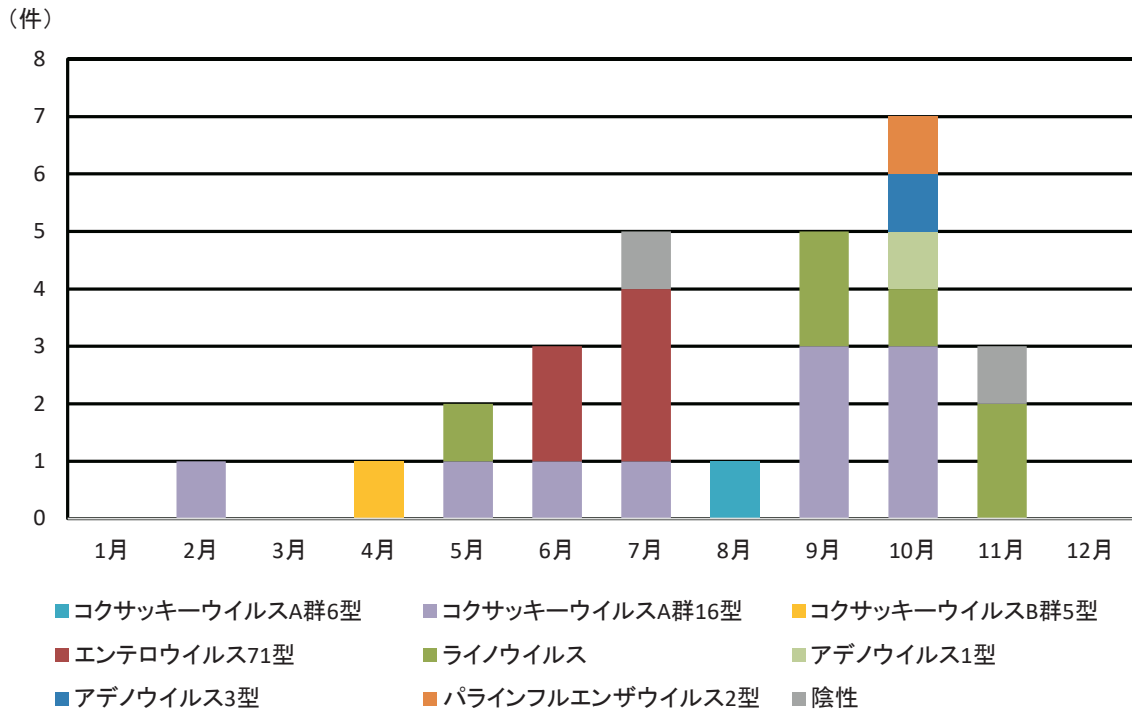


図 10. 手足口病患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

キ 伝染性紅斑

小児科定点医療機関で伝染性紅斑と診断され当センターに搬入された患者検体 1 件について遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施したが、ヒトパルボウイルス B19 は検出されなかった。

ク 突発性発しん

小児科定点医療機関で突発性発しんと診断され、当センターに搬入された患者検体 17 件についてヒトヘルペスウイルス 6 型・7 型等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。17 件中 8 件からヒトヘルペスウイルス 6 型遺伝子が検出された。また、コクサッキーウイルス A 群 9 型が 1 件、エコーウイルス 18 型が 1 件、ライノウイルスが 1 件、パラインフルエンザウイルス 4 型が 1 件検出された。分離試験では、コクサッキーウイルス A 群 9 型が 1 株、エコーウイルス 18 型が 1 株分離された。（表 5、図 11）。

表 5. 突発性発しんの患者から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出件数	分離株数
ヒトヘルペスウイルス6型	8	
コクサッキーウイルスA群9型	1	1
エコーウイルス18型	1	1
ライノウイルス	1	
パラインフルエンザウイルス4型	1	
陰性	6	15

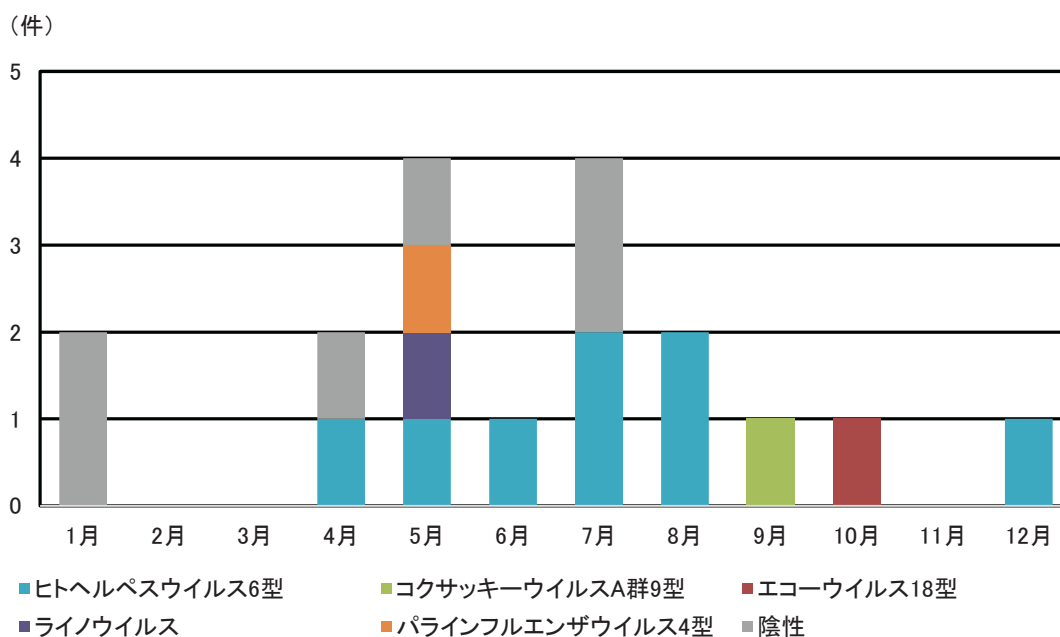


図 11. 突発性発しん患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

ケ ヘルパンギーナ

小児科定点医療機関でヘルパンギーナと診断され、当センターに搬入された患者検体 17 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。遺伝子検査において検出されたエンテロウイルスは、コクサッキーウイルス A 群 2 型が 9 件、同 4 型が 2 件、同 5 型が 1 件、型別不能のエンテロウイルスが 1 件であった。また、ライノウイルスが 1 件、新型コロナウイルスが 1 件、パラインフルエンザウイルス 3 型が 2 件検出された。分離試験では、パラインフルエンザウイルス 3 型が 2 株分離された（表 6、図 12）。

表 6. ヘルパンギーナ患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出件数	分離株数
コクサッキーウイルスA群2型	9	
コクサッキーウイルスA群4型	2	
コクサッキーウイルスA群5型	1	
エンテロウイルス型別不能	1	
ライノウイルス	1	
新型コロナウイルス	1	
パラインフルエンザウイルス3型	2	2
陰性	2	14

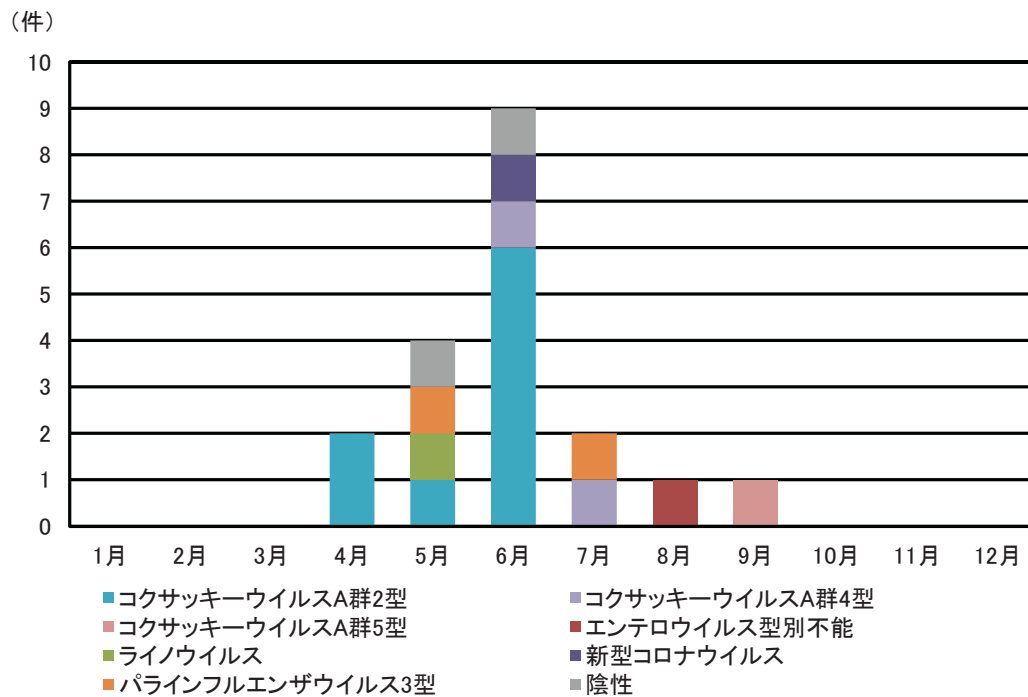


図 12. ヘルパンギーナ患者検体からのウイルス検出状況

コ 流行性耳下腺炎

小児科定点医療機関で流行性耳下腺炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 12 件についてムンプスウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、ムンプスウイルスが 1 件、EB ウイルスが 2 件、コクサッキーウイルス A 群 2 型が 1 件、パラインフルエンザウイルス 2 型が 1 件検出された。分離試験では、ムンプスウイルスとパラインフルエンザウイルス 2 型がそれぞれ 1 件分離された（表 7、図 13）。なお、検出されたムンプスウイルスは遺伝子解析の結果ワクチン株・類似株であった。

表 7. 流行性耳下腺炎の患者から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出件数	分離株数
ムンプスウイルス	1	1
EBウイルス	2	
コクサッキーウイルスA群2型	1	
パラインフルエンザウイルス2型	1	1
陰性	7	10

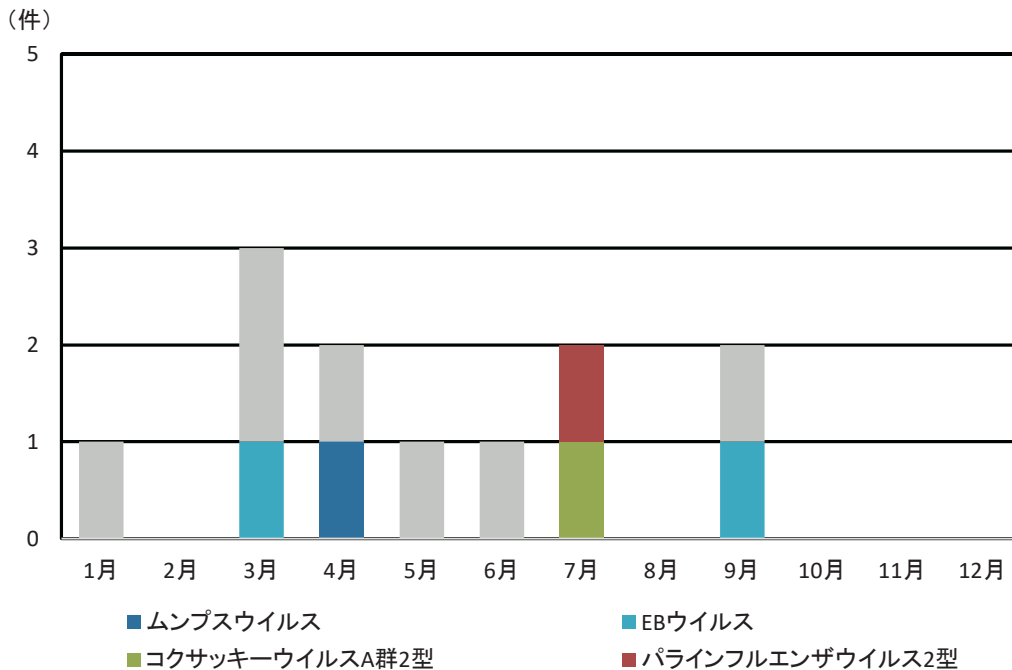


図 13. 流行性耳下腺炎患者検体からのウイルス検出状況

サ 不明発しん症

小児科定点医療機関で不明発しん症と診断され、当センターに搬入された患者検体 55 件について麻しんウイルス、風しんウイルス、ヒトパルボウイルス B19、ヒトヘルペスウイルス 6 型・7 型、エンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。遺伝子検査では、37 件のウイルス遺伝子が検出された。最も多く検出されたのはライノウイルスの 15 件で、次いでヒトヘルペスウイルスが 8 件（6 型：5 件、7 型：3 件）、麻しんウイルス A 型（ワクチン類似株）が 3 件、加えてエコーウイルス 18 型とアデノウイルスの 1 型と 5 型がそれぞれ 1 件検出された。また、コクサッキーウイルス A 群については 2 型が 2 件、4 型が 1 件、9 型が 3 件、10 型が 1 件検出された。分離試験では、コクサッキーウイルス A 群 9 型が 3 株、パレコウイルス A3 型が 2 株、エコーウイルス 18 型が 1 株、アデノウイルス 1 型が 1 株、アデノウイルス 5 型が 1 株分離された（表 8、図 14）。

表 8. 不明発しん症患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出件数	分離株数
ライノウイルス	15	
コクサッキーウイルスA群2型	2	
コクサッキーウイルスA群4型	1	
コクサッキーウイルスA群9型	3	3
コクサッキーウイルスA群10型	1	
エコーウイルス18型	1	1
パレコウイルスA3型	2	2
麻しんウイルスA型（ワクチン類似株）	3	
ヒトヘルペスウイルス6型	5	
ヒトヘルペスウイルス7型	3	
アデノウイルス1型	1	1
アデノウイルス5型	1	1
陰性	25	47

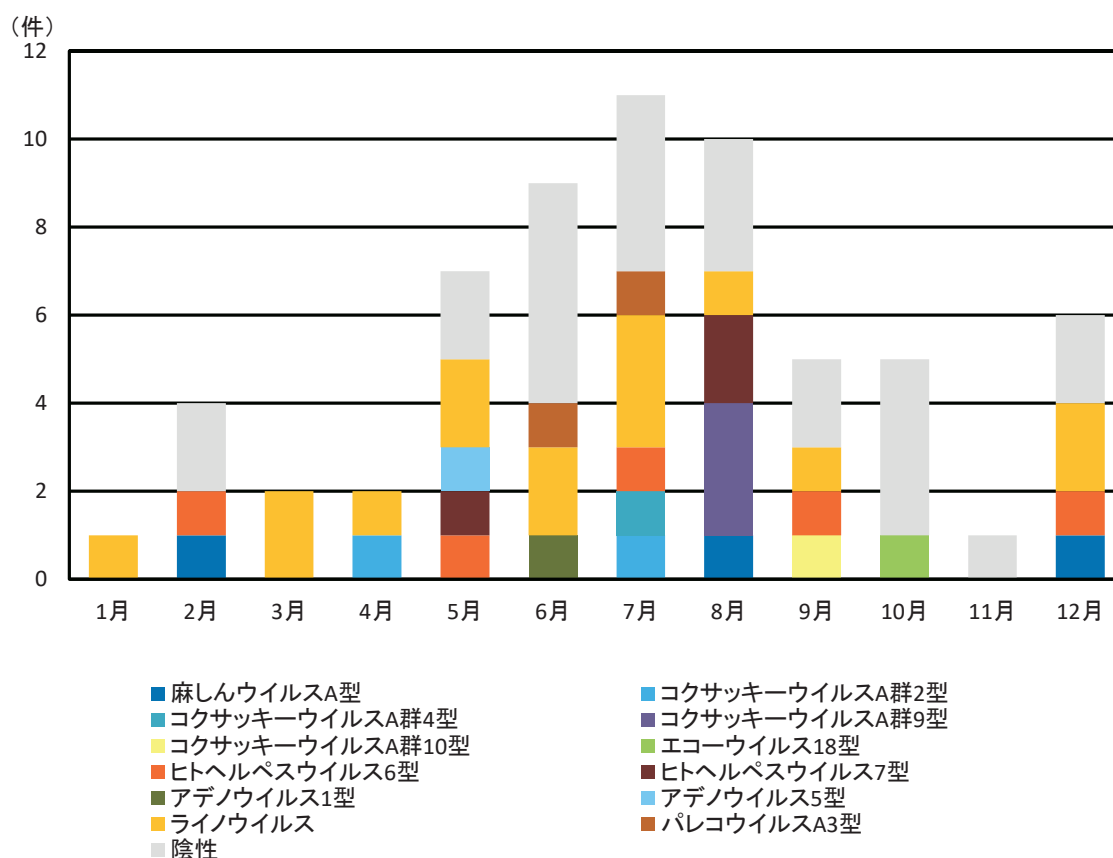


図 14. 不明発しん症患者検体からの月別ウイルス検出状況（重複検出を含む）

シ 川崎病

小児科定点医療機関で川崎病と診断され、当センターに搬入された患者検体2件についてアデノウイルス、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、遺伝子検査でライノウイルスが1件検出された。分離試験ではウイルスは検出されなかった。

ス 無菌性髄膜炎

基幹定点医療機関で無菌性髄膜炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 9 件についてエンテロウイルス、パレコウイルス A 型、ムンプスウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、遺伝子検査でパレコウイルス A3 型が 1 件検出された。分離試験では、パレコウイルス A3 型が 1 株分離された。

(2) 眼科病原体定点医療機関からの搬入検体

ア 流行性角結膜炎

定点医療機関で流行性角結膜炎と診断され当センターに搬入された患者検体 37 件についてアデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。37 件中 29 件からアデノウイルス遺伝子（3 型：12 件、8 型：2 件、54 型：7 型、64 型：6 件、D 種：2 件）が、1 件からヒト単純ヘルペスウイルス 1 型が検出された（表 9）。アデノウイルスの検出は 8 月から増加し、今年は特にアデノウイルス 3 型、54 型、64 型が多く検出された（図 15）。分離試験では、アデノウイルス 3 型が 9 株、8 型が 1 株、64 型が 5 株、D 種が 1 株のほか、ヒト単純ヘルペスウイルス 1 型が 1 株分離された。

表 9. 流行性角結膜炎患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出件数	分離株数
アデノウイルス3型	12	9
アデノウイルス8型	2	1
アデノウイルス54型	7	
アデノウイルス64型	6	5
アデノウイルスD種	2	1
ヒト単純ヘルペスウイルス1型	1	1
陰性	7	20

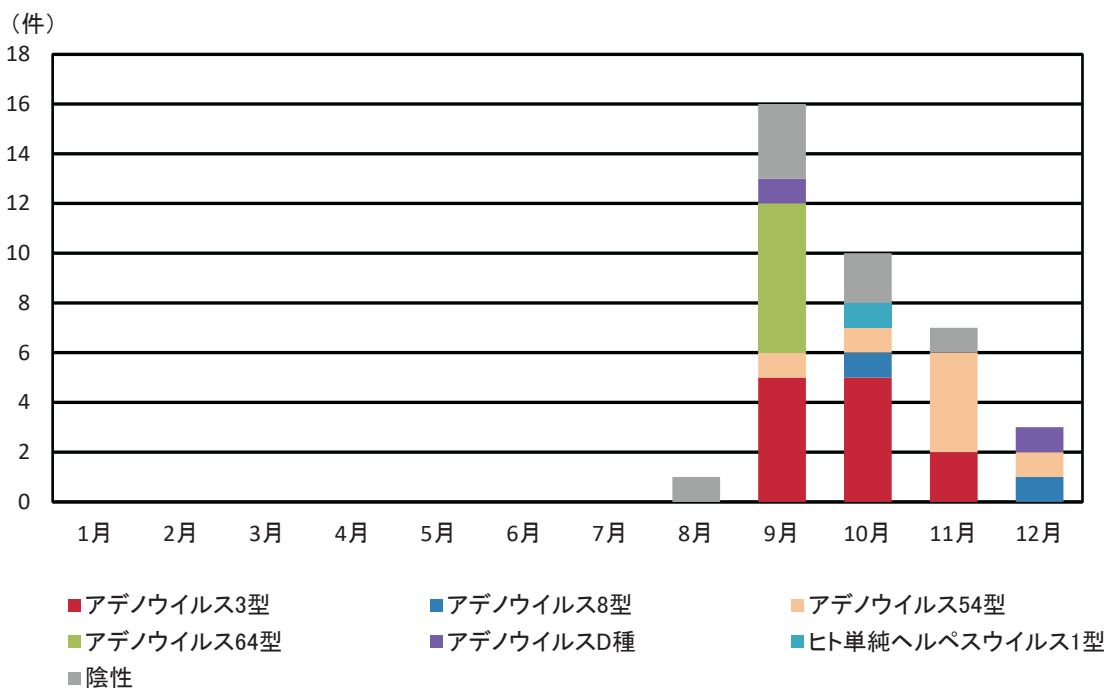


図 15. 流行性角結膜炎患者検体からのウイルス検出状況

(3) 性感染症 (STI) 病原体定点医療機関からの搬入検体

ア 性器ヘルペスウイルス感染症

STI 病原体定点医療機関から 1 件が搬入されたが、HSV (HSV-1 型及び HSV-2 型) 遺伝子は検出されなかった。

イ 尖圭コンジローマ

STI 病原体定点医療機関から 1 件が搬入され、HPV 遺伝子が検出された。子宮頸がん等のリスク評価分類で Low リスクに分類される 6 型であった。

(4) 積極的疫学調査による搬入検体

ア 二類感染症

① 中東呼吸器症候群 (MERS コロナウイルス)

都内医療機関で MERS コロナウイルス感染疑いと診断され、当センターに搬入された 1 件について遺伝子検査を実施した。その結果、MERS コロナウイルスについては陰性、類似疾患の鑑別のために行った季節性インフルエンザ検査も陰性であった。

② 鳥インフルエンザ (A/H5N1 亜型、A/H7N9 亜型)

都内医療機関で鳥インフルエンザウイルス感染疑いと診断され、当センターに搬入された患者検体はなかった。

イ 四類感染症

① A 型肝炎

医療機関で A 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 13 件について遺伝子検査を実施した。8 件から A 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、遺伝子解析を行った結果、遺伝子型は IA 型が 3 件、IB 型が 2 件、IIA 型が 1 件、IIIA 型が 2 件であった。

② E 型肝炎

医療機関で E 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 122 件について遺伝子検査を実施した。63 件から E 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、これらについて遺伝子解析を行った結果、遺伝子型は 3 型が 60 件、4 型が 3 件であった。

③ 蚊媒介感染症 (デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症)

都内の医療機関でデング熱と診断、またはデング熱等の蚊媒介感染症疑いと診断され、当センターに搬入された患者 35 例 43 検体について検査を実施した。その結果、海外感染疑い例のうち 26 例からデングウイルス遺伝子 (1 型 6 例、2 型 14 例、3 型 6 例) が検出された。なお、チクングニアウイルス遺伝子、ジカウイルス遺伝子およびウエストナイルウイルス遺伝子は検出されなかった。また、国内感染を疑う検体は全て検査で陰性であった。

④ リケッチア等関連疾患 (Q 熱、つつが虫病、日本紅斑熱、発しんチフス、ライム病)

都内の医療機関でリケッチア等関連疾患と診断され当センターに搬入された患者検体 21 例 (つつが

虫病9例13検体、日本紅斑熱5例6検体、ライム病6例11検体、ロッキー山紅斑熱1例1検体) について検査を実施した。つつが虫病患者9例について遺伝子検査を行ったところ5例から*Orientia tsutsugamushi* の遺伝子が検出された (Kawasaki株様遺伝子3件、Kuroki株様遺伝子2件)。また、日本紅斑熱疑いの患者5例について遺伝子検査を行った結果*Rickettsia japonica*遺伝子は検出されなかったが、1例から紅斑熱群リケッチア遺伝子が検出された。その他、ライム病を疑う6例について抗体検査を実施したところ、ライム病ボレリアに対するIgG抗体の上昇は認められず、血清中からボレリア属遺伝子も検出されなかった。また、ロッキー山紅斑熱疑いの1例について、リケッチア属共通PCRを実施したが、*Rickettsia rickettsii*遺伝子は検出されなかった。

⑤ エムポックス

都内の医療機関でエムポックス疑いと診断され、当センターに搬入された患者253例542検体についてエムポックスウイルス (MPXV) 及びVZVの遺伝子検査を行った。その結果、MPXV遺伝子が169例から、VZV遺伝子が8例から検出された。

ウ 五類感染症 (全数把握疾患)

① 急性脳炎

都内の医療機関で急性脳炎と診断され、当センターに搬入された患者 1 例 3 検体 (髄液 1 件、咽頭ぬぐい 2 件) についてエンテロウイルス、ヒトヘルペスウイルス等の遺伝子検査を実施したところ、髄液からエンテロウイルス遺伝子等は検出されず、咽頭ぬぐい検体 2 件からヒトヘルペスウイルス 7 型遺伝子および EB ウイルス遺伝子が検出された。

② 水痘 (入院を要するもの)

都内の医療機関で水痘と診断され入院に至った事例で、当センターに搬入された患者検体 10 例について VZV の遺伝子検査を行ったところ、VZV 遺伝子が 8 例から検出された。

③ 急性弛緩性麻痺

都内の医療機関で急性弛緩性麻痺と診断され、当センターに搬入された患者 6 例 26 検体 (咽頭ぬぐい検体、糞便等) についてエンテロウイルスの遺伝子検査を実施した。その結果、コクサッキーウイルス A 群 2 型遺伝子が 1 例、ライノウイルス遺伝子が 2 例から検出された。

④ 麻しん及び風しん

都内医療機関で麻しん、あるいは風しん (疑い含む) と診断され、当センターに搬入された患者 123 例 141 検体について麻しんウイルス及び風しんウイルスの遺伝子検査を実施した。その結果、麻しんウイルス遺伝子が 10 例 (D8 型 : 9 例、A 型ワクチン類似株 : 1 例)、風しんウイルス遺伝子は 1 例 (1a 型ワクチン類似株 : 1 例) 検出された。

また、麻しん及び風しんウイルスが陰性となった検体については、病原体レファレンス事業によりヒトパルボウイルス B19 及びヒトヘルペスウイルスの遺伝子検索を実施した。その結果、ヒトパルボウイルス B19 が 4 例、ヒトヘルペスウイルス 6 型が 3 例、ヒトヘルペスウイルス 7 型が 1 例検出された。

エ 指定感染症等

2019年に中国武漢において発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界的な流行となった。日本国内においては、2021年2月3日の感染症法改正により、「新型インフルエンザ等感染症」に分類されていたが、2023年5月8日から感染症法上の位置づけが五類感染症に変更された。当センターでは、2020年1月より検査を開始し、2023年1月1日から同年5月7日までに1,962件の検査を実施した。また、五類感染症へ移行後の2023年5月8日から同年12月31日までに積極的疫学調査として49件の検査を実施した。

2 細菌検査結果

(1) 二類感染症の病原体検索

ア ジフテリア

ジフテリア疑い患者 2 症例より、菌株 2 株、臨床検体 3 件（喀痰 1 件、皮膚ぬぐい 1 件、および咽頭ぬぐい 1 件）が搬入された。菌株について同定試験を実施した結果、2 株ともジフテリア菌であった。また、臨床検体からジフテリア菌の分離培養を実施した結果、培養陽性が 1 件、培養陰性が 2 件であった。菌株および臨床検体について、ジフテリア毒素遺伝子の検出を PCR 法により実施したところ、すべての検体でジフテリア毒素遺伝子は陰性であった。

(2) 四類感染症の病原体検索

ア レジオネラ症

患者由来株 14 株（13 事例）が搬入され、血清型別試験を実施した結果、*Legionella pneumophila* の 1 群が 8 株、5 群が 3 株、6 群が 1 株、8 群が 1 株、および *Legionella anisa* が 1 株であった。また、患者喀痰 7 件が搬入され、分離培養と遺伝子検査を実施した結果、培養陽性、遺伝子陽性が 5 件、培養陰性、遺伝子陽性が 1 件、培養、遺伝子ともに陰性が 1 件であった。分離培養陽性であった 5 件の血清型はすべて 1 群であった。

(3) 五類感染症（全数把握対象）の病原体検索

ア カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

患者由来株 88 株（84 事例）が搬入された。菌株の内訳は、*Klebsiella pneumoniae* が最も多く 24 株、次いで *Klebsiella aerogenes* が 14 株、*Escherichia coli* が 11 株、*Serratia marcescens* が 7 株であった。その他、*Enterobacter cloacae*、*Citrobacter freundii* など 32 株が搬入された。

PCR 法による β -ラクタマーゼ遺伝子の検出を実施した結果、NDM 遺伝子保有株が 5 株であった。また、IMP-1 遺伝子保有株が 12 株、KPC 遺伝子保有株が 3 株、OXA-48 遺伝子保有株が 2 株、CTX-M-1 group 遺伝子保有株が 20 株、CTX-M-2 group 遺伝子保有株が 4 株、CTX-M-9 group 遺伝子保有株が 6 株、EBC 遺伝子保有株が 7 株、CIT 遺伝子保有株が 2 株、DHA 遺伝子保有株が 5 株であった。また、検査したいずれの耐性遺伝子も保有していなかった株は 32 株であった。

イ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

患者由来株 133 株（119 事例）が搬入され、Lancefield 分類による群別の結果、A 群が 78 株、B 群が 25 株、F 群が 1 株、G 群が 28 株、群別不能が 1 株であった。

A 群のうち 76 株が *Streptococcus pyogenes* であり、残り 2 株は *Streptococcus dysgalactiae* ssp. *equisimilis* (SDSE) であった。B 群レンサ球菌 25 株はすべて *Streptococcus agalactiae* であり、F 群レンサ球菌は *Streptococcus constelatus* であった。G 群レンサ球菌のうち 27 株は SDSE であり、1 株は *Streptococcus anginosus* であった（表 10）。また、群別不能株は SDSE であった。

S. pyogenes と *S. agalactiae* について型別用免疫血清を用いた血清型別を実施した。*S. pyogenes* では T 血清型別の結果、1 型が 25 株で最も多く、次いで 12 型が 13 株、B3264 型が各 12 株、22 型が 6 株、3 型が 2 株、9 型、11 型、13 型、14/49 型が各 1 株ずつであり、型別不能が 14 株であった（表 11）。*S. agalactiae* 25 株の血清型は、Ib 型が 7 株と最も多く、次いで Ia 型：6 株、V 型：5 株、III 型：3 株、II 型及び VI 型が各 1 株であり、型別不能が 2 株であった（表 12）。

S. pyogenes 及び SDSE については、M タンパク又は M 様タンパクをコードする遺伝子により型別を行う *emm* 型別を実施した。その結果、*S. pyogenes* では、1 型が 26 株と最も多く、次いで 12 型及び 89 型が各 13 株、49 型が 10 株、81 型が 9 株などであった（表 12）。SDSE 30 株では、stG245 型及び stG485 が各 7 株、stG840 型が 3 株、stG653 型、stG6792 型及び stG4974 型が各 2 株などであった（表 13）。

表 10 劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来株の群別及び菌種名

菌種名	Lancefield 分類 群別					計
	A	B	F	G	—	
<i>S. pyogenes</i>	76					76
<i>S. agalactiae</i>		25				25
<i>S. dysgalactiae</i> ssp. <i>equismilis</i>	2			27	1	30
<i>S. anginosus</i>				1		1
<i>S. constelatus</i>			1			1
計	78	25	1	28	1	133

表 11. *Streptococcus pyogenes* の T 血清型及び *emm* 型

<i>emm</i> 型	T 型										計
	1	3	9	11	12	13	22	14/49	B3264	型別不能	
1	25									1	26
12					13						13
49								1		9	10
58										1	1
77				1							1
81		2					6			1	9
87										1	1
89									12	1	13
106			1								1
114						1					1
計	25	2	1	1	13	1	6	1	12	14	76

表 12. B 群レンサ球菌 (*Streptococcus agalactiae*) の血清型

血清型							計
Ia	Ib	II	III	V	VI	型別不能	
6	7	1	3	5	1	2	25

表 13. *Streptococcus dysgalactiae* ssp. *equismilis* の emm 型

emm 型							計
stG245	stG485	stG653	stG6792	stG840	stG4974	その他*	
7	7	2	2	3	2	7	30

*その他（各 1 株）：stG10, stG74a, stG116b, stG4545, stG2574, stG643, stC46, 型別不能

ウ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

患者由来のインフルエンザ菌 49 株（46 事例）が搬入され、免疫血清及び PCR 法による血清型別試験を実施した結果、f 型が 3 株、無莢膜型が 46 株であった。

エ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

搬入された本疾患患者由来株は *Acinetobacter baumannii* 3 株（3 事例）であり、PCR 法による耐性遺伝子の検出を実施した結果、OXA-51-like β -ラクタマーゼをコードする遺伝子とプロモーター活性を有する挿入遺伝子領域（IS*Aba1*）保有株が 1 株、OXA-51-like β -ラクタマーゼと OXA-23-like β -ラクタマーゼをコードする遺伝子保有株が 2 株であった。

オ 侵襲性肺炎球菌感染症

患者由来の肺炎球菌 86 株（82 事例）が搬入され、莢膜膨化法による血清型別試験を実施した結果は表 14 の通りであった。

表 14. 肺炎球菌の血清型別結果

血清型	事例数	血清型	事例数	血清型	事例数
3	12	6C	4	14	1
10A	10	15B	3	20	1
23A	8	24F	3	28F	1
24B	6	19A	2	31	1
35B	6	21	2	33F	1
15A	5	35B	2	35F	1
15C	5	6B	1	37	1
22F	5	11A	1		

カ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

搬入された菌株は患者由来 14 株（12 事例）であり、*Enterococcus faecium* が 7 株、*Enterococcus casseliflavus* が 3 株、*Enterococcus gallinarum* が 3 株、*Enterococcus faecalis* が 1 株であった。

PCR 法によるバンコマイシン耐性遺伝子の検出を実施した結果、*vanB* 遺伝子保有株が 8 株、*vanC1* 遺伝子保有株が 3 株、*vanC2* 遺伝子保有株が 3 株であった。

キ 侵襲性髄膜炎菌感染症

搬入された患者由来の髄膜炎菌は2株(2事例)であり、PCR法による血清型別を実施した結果、B群が1株、菌死滅による検査不能が1株となった。

ク 百日咳

搬入された患者由来菌株は1株で、菌種同定検査を実施したところ、パラ百日咳菌であった。

(4) 五類感染症（定点把握対象）の病原体検索

ア A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

小児科定点医療機関からA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者由来咽頭スワブが60件搬入され、58株のA群溶血性レンサ球菌が分離された。T血清型別試験を実施した結果、12型が22株と最も多く、次いでB3264型：16株、1型：11株、4型：5株、6型：2株、9型1株であり、型別不能が1株であった。

イ 感染性胃腸炎

小児科病原体定点から搬入された感染性胃腸炎疑いの患者糞便5件について腸管系の細菌検査を実施した。その結果、全て陰性であった。

ウ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

基幹定点医療機関のMRSA感染症患者由来検体から分離されたMRSA37株について、コアグラージェ型別試験を実施した。その結果、II型：1株、III型：11株、IV型：1株、V型：1株、VII型：18株であり、型別不能は5株であった。

エ マイコプラズマ肺炎

基幹定点医療機関からマイコプラズマ肺炎患者由来咽頭スワブが2件搬入され、遺伝子検査及び分離培養を実施した。その結果、遺伝子が検出された1検体から *Mycoplasma. pneumoniae* が分離された。

(5) 性感染症（STI）病原体定点医療機関のからの搬入検体

2023年1月から12月に都内4ヶ所の性感染症病原体定点医療機関（STI定点）より140検体が搬入された。搬入検体の内訳は、男性：尿125例、女性：スワブ5例、尿1例、性別不明：尿9例であった（表15、16）。それらについて、クラミジア・トラコマチス、淋菌等の検査を実施した。

ア クラミジア・トラコマチスおよび淋菌

尿およびスワブ139検体についてクラミジア・トラコマチスおよび淋菌の遺伝子検査を実施した。性別および年齢階級別の病原体検査成績を表15に示した。クラミジア・トラコマチスについては、男性44例（35.2%）、女性3例（60.0%）が陽性を示した。淋菌は男性33例（26.4%）が陽性を示し、女性では陽性例は見られなかった。クラミジアと淋菌の遺伝子が共に検出されたのは、男性125名中10例（8.0%）、女性0例であった。淋菌遺伝子が検出された35例のうち7例（20.0%）から淋菌が分離された。

性別および臨床診断別の病原体検査結果を表16に示した。男性では、性器クラミジア感染症と診断された119例中44例（37.0%）からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、32例（26.9%）

から淋菌遺伝子が検出され、うち 7 例から淋菌が分離された。性器クラミジア感染症＋淋菌感染症と診断された 1 例からはクラミジア・トラコマチス遺伝子、淋菌遺伝子のいずれも検出されなかった。また、淋菌感染症と診断された 1 例からはクラミジア・トラコマチス遺伝子は検出されず、淋菌遺伝子が検出され、さらに淋菌が分離された。女性では、性器クラミジア感染症と診断された 5 例中 3 例（60.0%）からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された。

イ 膣トリコモナス

膣トリコモナスが疑われた女性のスワブ 1 例について遺伝子検査を行った結果、膣トリコモナス遺伝子が検出された。

表 15. 性別および年齢階級別の病原体検査結果

性別	年齢階級	検体数	遺伝子検査陽性			分離培養陽性
			クラミジア ・トラコマチ ス	淋菌	膣トリコモナス	淋菌
男性	10 歳代	5	2	4		2
	20 歳代	44	21	11		1
	30 歳代	35	14	7		1
	40 歳代	23	6	7		1
	50 歳代	11	1	4		1
	60 歳代	4				
	70 歳代	2				
	不明	1				
	計	125	44	33	0	6
女性	20 歳代	2	1			
	30 歳代	1				
	40 歳代	1	1			
	50 歳代	2	1		1	
	計	6	3	0	1	0
不明	20 歳代	3	1			
	30 歳代	3	2	1		
	40 歳代	1				
	50 歳代	1		1		1
	不明	1	1			
計	9	4	2	0	1	
合計		140	51	35	1	7

表 16. 性別および臨床診断別の病原体検査結果

	臨床診断 (疑い例含む)	検体数	遺伝子検査陽性			分離培養陽性
			クラミジア・ トラコマチス	淋菌	膣トリコモナス	淋菌
男性	性器クラミジア感染症	119	44	32		5
	性器クラミジア感染症 + 淋菌感染症	1				
	淋菌感染症	1		1		1
	不明	4				
	計	125	44	33	0	6
女性	性器クラミジア感染症	5	3			
	膣トリコモナス症	1			1	
	計	6	3	0	1	0
不明	性器クラミジア感染症	8	4	1		
	淋菌感染症	1		1		1
	計	9	4	2	0	1
合計		140	51	35	1	7

第 3 章

資 料

1 東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿

小児科（264定点）

2023年12月31日において、小児科264定点のうち1医療機関が未選定である。

2023年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	滝医院	滝 正彦	102-0074	千代田区九段南4-3-1	03-3264-3101	
千代田	千代田加賀クリニック	加賀 文彩	101-0051	千代田区神田神保町1-35	03-3291-9952	
千代田	東京通信病院	小野 正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○*
中央区	小坂こども元気クリニック	小坂 和輝	104-0051	中央区佃1-9-3	03-5547-1191	
中央区	わたなべこどもクリニック	渡邊 浩志	104-0052	中央区月島1-8-1 アイ・マークタワー202	03-5548-2511	
中央区	塙小児科医院	塙 佳生	103-0007	中央区日本橋浜町2-20-2	03-3666-6035	
みなと	ぼれぼれクリニック	三浦 麻子	108-0074	港区高輪1-5-21 ルート高輪ビル4F	03-5422-7626	○
みなと	とよら小児科	豊浦 多喜雄	108-0023	港区芝浦3-11-5 第三協栄ビル2階	03-5442-8872	
みなと	サニーガーデンこどもクリニック	首里 京子	106-0045	港区麻布十番2-16-4 プラスワンビル3F	03-6722-6623	
みなと	白金タワークリニック	小出 浩史	108-0072	港区白金1-17-1-106	03-5789-3882	
みなと	南青山おおつかクリニック	大塚 伸行	107-0062	港区南青山4-9-17	03-5786-3288	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○*
新宿区	岡田小児科クリニック	岡田 和子	169-0072	新宿区大久保1-5-15	03-3200-1236	
新宿区	村橋医院	村橋 眞	162-0042	新宿区早稲田町73	03-3203-3538	
新宿区	若松皮ふ科こどもクリニック	津田 晃男	162-0055	新宿区余丁町10-8 第2浜崎ビル2階	03-3225-5780	2023年4月1日から
新宿区	オリエンタル診療所	近 裕	161-0031	新宿区西落合2-20-1 哲学堂公園ハイツ1-1	03-3565-3411	
新宿区	牛山医院	牛山 允	169-0075	新宿区高田馬場4-11-5	03-5386-3167	2023年10月31日まで
	早稲田たけのこクリニック	松下 竹次	162-0041	新宿区早稲田鶴巻町518番地 第一石川ビル3階	03-3232-8155	2023年12月1日から
新宿区	(社)聖母会 聖母病院 小児科	猪野 雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○*
新宿区	星野こどもクリニック	星野 洋	161-0032	新宿区中落合2-16-26	03-5988-7133	
新宿区	国立国際医療研究センター病院	七野 浩之	162-8655	新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	
文京	保坂こどもクリニック	保坂 篤人	112-0001	文京区白山5-27-12	03-3946-0641	
文京	石原医院	藤原 陽子	112-0006	文京区小日向1-6-6	03-3941-8526	
文京	大塚診療所	大塚 宜一	113-0034	文京区湯島3-31-6	03-3831-2294	
文京	吉村小児科	内海 裕美	112-0012	文京区大塚2-18-6	03-3943-3806	
台東	いりやキッズクリニック	浅野 由美子	110-0004	台東区下谷3-11-12	03-5808-0415	
台東	柴田小児科医院	柴田 雄介	111-0036	台東区松ヶ谷3-16-4	03-3841-2291	
台東	クローバーこどもクリニック	眞々田 容子	111-0051	台東区蔵前4-20-4 蔵前4ビル1F	03-5825-9608	
台東	小川こどもクリニック	小川 淳子	111-0053	台東区浅草橋1-25-5 小川ハイム201	03-3861-2429	
墨田区	増田小児科	増田 理枝子	130-0005	墨田区東駒形1-19-8	03-3622-9641	
墨田区	鈴木こどもクリニック	鈴木 洋	131-0031	墨田区墨田4-45-1	03-3619-4970	○
墨田区	平野医院	平野 圭	131-0043	墨田区立花6-1-14-1F	03-3611-2947	
墨田区	唐澤医院	唐澤 賢祐	130-0023	墨田区立川1-12-13	03-3631-2336	
墨田区	にしじま小児科	西島 由美	131-0046	墨田区京島1-23-16	03-3619-9585	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
江東区	竹内小児科医院	竹内 透	135-0011	江東区扇橋2-1-3 ET21ビル2F	03-5606-0303	
江東区	笠井小児クリニック	笠井 秀明	136-0072	江東区大島9-5-1 コアシティ東大島103	03-3636-2577	
江東区	のずえ小児科	野末 富男	135-0062	江東区東雲1-9-11-102	03-5560-6071	
江東区	までのこうじクリニック	萬里小路 直樹	135-0016	江東区東陽3-27-32 玉河ビル2階	03-5683-5519	
江東区	たけうちこどもクリニック	竹内 敏雄	135-0061	江東区豊洲4-9-13 東京フロントコート132号	03-3533-2415	
江東区	城田小児科医院	城田 和彦	135-0048	江東区門前仲町1-6-9	03-3641-4056	
江東区	亀戸キッズクリニック	杉本 佳乃	136-0071	江東区亀戸2-42-5 くらまえ三洋ビル2F	03-5875-3387	
江東区	正木医院	正木 忠明	136-0073	江東区北砂7-1-25	03-3644-5794	○
江東区	なおやこどもクリニック	坂口 直哉	136-0074	江東区東砂7-19-13 ベルコモン南砂2F	03-5653-0708	
品川区	医療法人社団縁 のぞみクリニック	筋野 恵介	140-0001	品川区北品川2-9-12	03-5769-0355	
品川区	宮平医院	宮平 寛	141-0031	品川区西五反田4-22-3	03-3491-0366	
品川区	林小児科内科医院	林 真理子	140-0014	品川区大井3-6-12 NAビル2F	03-3777-7127	
品川区	村井こどもクリニック	村井 孝安	142-0053	品川区中延5-8-19	03-3782-3415	
品川区	鈴木の木こどもクリニック	鈴木 博	142-0041	品川区戸越1-3-1 夢のこども館	03-3786-0318	
品川区	田辺小児科医院	田辺 充子	142-0064	品川区旗の台6-30-1	03-3785-9003	2023年10月31日まで
	旗の台アレルギー ・こどもクリニック	北林 耐	142-0064	品川区旗の台2-1-22 もとまる2号館2階	03-5749-1937	2023年11月1日から
品川区	藤川医院	藤川 敏	140-0014	品川区大井7-29-2	03-3771-1764	
品川区	吉原医院	吉原 幸子	142-0041	品川区戸越5-8-5	03-3781-4030	
目黒区	自由が丘メディカルプラザ	高嶋 能文	152-0035	目黒区自由が丘2-11-16 日能研自由が丘ビル2F	03-5731-3565	
目黒区	目黒通りこどもクリニック	藤田 秀樹	153-0064	目黒区下目黒6-1-27 アメニティハウス 2F	03-6303-1091	
目黒区	田口医院	田口 豊	152-0003	目黒区碑文谷6-7-4 KYレジデンス	03-3714-0188	
目黒区	井手小児科	井手 郁	152-0002	目黒区目黒本町6-17-27	03-5704-3819	
目黒区	仲村医院	仲村 和子	153-0053	目黒区五本木1-8-9	03-3712-7776	
大田区	かげ山小児科	景山 敦	146-0082	大田区池上7-14-11	03-3752-8182	
大田区	井上小児科医院	井上 清文	143-0023	大田区山王3-30-2	03-3771-2514	
大田区	宮下クリニック	宮下 守	143-0014	大田区大森中3-35-9	03-5764-1003	
大田区	田園小児科クリニック	高橋 茂	145-0071	大田区田園調布5-36-3	03-3722-0765	
大田区	鶴の木さくらクリニック	菊池 麻沙美	146-0091	大田区鶴の木1-16-19	03-3758-3387	
大田区	原口小児科クリニック	原口 道夫	144-0032	大田区北糀谷1-11-8	03-3742-1517	
大田区	森岡小児科医院	森岡 新	144-0056	大田区西六郷1-19-15	03-3738-5918	
大田区	加藤内科小児科医院	加藤 瑞規	146-0093	大田区矢口1-19-25	03-3759-6169	2023年3月31日まで
	医療法人社団 多摩おやこクリニック	川口 邦彦	146-0092	大田区下丸子3-8-8 2F	03-6715-2223	2023年4月1日から
大田区	神川小児科クリニック	神川 晃	144-0044	大田区本羽田1-6-22	03-3741-5005	
大田区	斎藤医院	斎藤 洋子	143-0025	大田区南馬込5-26-7	03-3772-2791	
大田区	どうどうクリニック	小柳 英樹	146-0081	大田区仲池上1-31-13	03-5747-2333	○
大田区	うちやまこどもクリニック	野尻 裕貴	146-0085	大田区久が原3-36-13-3F	03-3753-7172	
大田区	城南チャイルド ゼネラルクリニック	大石 悟	144-0052	大田区蒲田1-7-14	03-3733-1188	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
世田谷	いなみ小児科	稲見 誠	154-0002	世田谷区下馬3-10-7	03-3421-4885	
世田谷	吉川小児科	吉川 弘二	156-0043	世田谷区松原3-28-8-2階	03-5329-4153	
世田谷	橋本小児科医院	橋本 倫太郎	157-0072	世田谷区祖師谷3-37-5	03-3482-4668	○
世田谷	かねみつ小児クリニック	金光 岳文	157-0062	世田谷区南烏山4-7-14	03-5384-3355	
世田谷	小林クリニック	小林 俊夫	157-0067	世田谷区喜多見2-10-3-101	03-3416-7119	
世田谷	山口小児科内科	山口 義哉	158-0091	世田谷区中町4-35-6	03-3702-6180	
世田谷	永井小児科内科医院	永井 雄一	158-0081	世田谷区深沢6-20-14	03-5707-0624	
世田谷	田宮小児科アレルギー科医院	田宮 貞和	156-0052	世田谷区経堂5-21-3	03-3427-7974	2023年3月31日まで
	矢野こどもクリニック	矢野 一郎	156-0051	世田谷区宮坂3-13-6 経堂すずらん会館1F	03-5426-2877	2023年4月1日から
世田谷	うめはらこどもクリニック	梅原 実	154-0004	世田谷区太子堂3-38-18	03-6809-7878	
世田谷	つだ小児科クリニック	津田 正彦	154-0017	世田谷区世田谷4-5-8 アルス世田谷ネクステージ1F	03-5477-7736	
世田谷	えんどう小児科クリニック	遠藤 大一	156-0045	世田谷区桜上水1-7-10 クールゼリシエ1F	03-6379-7127	
世田谷	三宅小児科	三宅 健	156-0057	世田谷区上北沢4-21-13	03-3302-2771	
世田谷	直宮医院	直宮 晃一	155-0031	世田谷区北沢3-11-14	03-3468-2867	
世田谷	臼井医院	臼井 弘人	157-0066	世田谷区成城5-7-12	03-3482-2253	
世田谷	用賀クリニック	川崎 浩司	158-0096	世田谷区玉川台2-22-16 パークヒル用賀Ⅲ 1F	03-3709-6255	
世田谷	藤井医院	藤井 秀樹	158-0083	世田谷区奥沢1-38-19	03-3728-0383	
渋谷区	医療法人社団澤池会 坂本クリニック	坂本 純一	151-0073	渋谷区笹塚1-31-11 ピラージュ笹塚 1-101	03-3469-3926	
渋谷区	医療法人社団 育心会 稲垣クリニック	稲垣 稔	151-0053	渋谷区代々木5-7-17-1F	03-5453-1399	
渋谷区	かずえキッズクリニック	川上 一恵	151-0072	渋谷区幡ヶ谷3-81-7	03-3376-1662	
渋谷区	医療法人社団文昭会 内藤小児科内科医院	内藤 章文	150-0022	渋谷区恵比寿南2-5-9	03-3713-2526	
中野区	やよい町こども医院	春原 大介	164-0013	中野区弥生町1-8-11	03-6300-4790	
中野区	江原町小児科耳鼻科	金 慶彰	165-0023	中野区江原町3-35-8	03-5988-7705	
中野区	田沼内科・小児科医院	田沼 美昭	164-0012	中野区本町6-23-3	03-3380-2622	
中野区	小池小児科医院	小池 林太郎	165-0033	中野区若宮1-43-11	03-3330-0743	
中野区	宇野医院	宇野 真二	164-0001	中野区中野1-6-2	03-3369-2090	
中野区	しばたこども&アレルギー クリニック	柴田 淳	164-0003	中野区東中野5-1-1 ユニオンタワー3F	03-3360-5569	
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○*
杉並	柿田医院	柿田 豊	167-0022	杉並区下井草2-23-5	03-3395-3602	
杉並	長沼内科	長沼 裕一郎	166-0015	杉並区成田東3-36-8	03-3311-1803	
杉並	中里医院	中里 恵美子	167-0043	杉並区上荻4-14-14	03-3390-5258	
杉並	かなやファミリークリニック	金谷 翼	168-0062	杉並区方南2-28-3	03-3317-0380	
杉並	松野医院	松野 哲彦	166-0001	杉並区阿佐谷北3-42-10	03-3330-4656	
杉並	宮下小児科医院	佐々木 礼子	166-0016	杉並区成田西3-20-3	03-3392-3855	
杉並	くめかわ小児科クリニック	糸川 好男	168-0063	杉並区和泉4-51-14 エクセレント和泉2F	03-3317-7701	
杉並	岩崎小児科医院	岩崎 由紀夫	166-0012	杉並区和田3-49-7	03-5377-0015	
杉並	セキこどもクリニック	関 兼英	166-0004	杉並区阿佐谷南2-1-27	03-3318-1625	
杉並	高井戸こどもクリニック	柳垣 繁	168-0071	杉並区高井戸西1-27-22	03-3331-6644	
池袋	金澤医院	金澤 義之	170-0003	豊島区駒込3-5-7	03-3910-4952	
池袋	みなと小児科	湊 通嘉	171-0043	豊島区要町 3-22-10-301	03-3973-5080	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
池袋	田村医院	田村 仁	170-0011	豊島区池袋本町1-45-16	03-3971-4922	
池袋	平井医院	平井 貴志	171-0032	豊島区雑司が谷1-26-10	03-3971-8064	
池袋	南長崎こみ山医院	込山 賢次	171-0052	豊島区南長崎3-14-17	03-3953-0086	
北区	すこやかこどもクリニック浮間	金井 慎一	115-0051	北区浮間3-1-40 藤原ビル1階	03-5918-9421	
北区	ほくとクリニック	金子 清志	115-0045	北区赤羽2-9-6	03-3901-4926	
北区	富士見診療所	越田 利弘	114-0031	北区十条仲原3-1-5	03-3900-5354	
北区	かとうクリニック	加藤 隆司	115-0043	北区神谷1-12-9	03-3913-1103	○
北区	中山医院	伊藤 佳子	114-0016	北区上中里1-17-8	03-3910-6805	2023年3月31日まで
	霜降橋こどもクリニック	柳澤 敦広	114-0024	北区西ヶ原1-6-5 アフニ駒込2F	03-3576-2525	2023年4月1日から
北区	桑畑医院	桑畑 圭子	114-0003	北区豊島2-6-1	03-3919-0700	
北区	はんだこどもクリニック	繁田 龍雄	115-0045	北区赤羽2-69-4 クリニックプラザ21 2F	03-3901-7433	
荒川区	鈴木こどもクリニック	北爪 勉	116-0011	荒川区西尾久3-21-5 AYビル1F	03-5855-3030	
荒川区	まつおかこどもクリニック	松岡 郁美	116-0002	荒川区荒川2-4-1 荒川メディカルビル1F・2F	03-5604-1567	
荒川区	いなばキッズクリニック	稲葉 八興	116-0003	荒川区南千住4-7-1 BIVi南千住3D	03-5604-1710	
荒川区	加藤小児科内科医院	加藤 薫	116-0014	荒川区東日暮里5-44-1-1F	03-3803-3377	
板橋区	共助会医院	堀内 敏行	174-0051	板橋区小豆沢2-26-8	03-3966-2577	
板橋区	上原内科医院	上原 章	173-0004	板橋区板橋3-6-11	03-5375-9981	
板橋区	石川医院	宮川 美知子	174-0071	板橋区常盤台1-61-3	03-3960-3940	
板橋区	井上医院	井上 文正	175-0092	板橋区赤塚4-17-11	03-5968-5777	
板橋区	杉内医院	杉内 孝謙	175-0094	板橋区成増3-17-16	03-3930-2331	
板橋区	こうのファミリーケア・クリニック	河野 嘉英	174-0056	板橋区志村3-20-26-1F	03-3965-1649	
板橋区	あべこどもクリニック	阿部 和子	175-0082	板橋区高島平1-28-5 KAZZビル2F	03-3559-8115	
板橋区	えがおこどもクリニック	渡部 浩平	174-0063	板橋区前野町3-31-3	03-5994-7250	
板橋区	鈴木医院	鈴木 育夫	173-0023	板橋区大山町10-10	03-3956-1788	
板橋区	よりふじ医院	依藤 壽	173-0031	板橋区大谷口北町27-4	03-3956-1255	
練馬区	岩崎小児科医院	岩崎 章宣	178-0061	練馬区大泉学園町8-7-17	03-3867-5501	
練馬区	秋田医院	秋田 博伸	176-0013	練馬区豊玉中4-10-3	03-3991-1151	
練馬区	医療法人社団健志会 飯島医院	飯島 健志	179-0072	練馬区光が丘7-3-6-102	03-3976-6087	
練馬区	医療法人社団松生会 うすきクリニック	白杵 一	178-0064	練馬区南大泉4-47-9 コンフォート南大泉1F	03-3924-0443	
練馬区	医療法人社団郁翠会 牧田医院	牧田 郁夫	176-0002	練馬区桜台1-45-15 プランエノワール1階2階	03-3948-0600	○
練馬区	沼口整形外科・小児科	沼口 俊平	179-0072	練馬区光が丘5-2-5-102	03-3976-0131	○
練馬区	医療法人社団友健会 浅村こどもクリニック	浅村 信二	177-0041	練馬区石神井町2-8-21 星ビル2F	03-5372-6686	
練馬区	医療法人社団 上石神井サン・クリニック	小西 佐知子	177-0044	練馬区上石神井3-6-34	03-5910-3888	
練馬区	医療法人社団徳枝会 佐藤皮膚科小児科クリニック	佐藤 徳枝	177-0045	練馬区関町北1-22-10 SATO 1st building 2階	03-3928-2767	
練馬区	医療法人 のと小児科クリニック	能登 信孝	179-0083	練馬区平和台4-12-6	03-5945-9855	
練馬区	医療法人社団駿栄会 レーヴこどもクリニック	中山 栄一	178-0062	練馬区大泉町2-12-1	03-5947-6050	
練馬区	医療法人社団留梨明会 わたなべこどもクリニック	渡辺 克也	176-0023	練馬区中村北4-5-2	03-3990-9998	
練馬区	医療法人社団育慈会 わたなべこどもクリニック	渡邊 久幸	178-0063	練馬区東大泉1-26-16 オガワビル1階	03-5947-3577	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
足立	和田小児科医院	和田 紀之	121-0812	足立区西保木間2-15-23	03-3884-2301	○
足立	曙町クリニック	泉田 京子	120-0023	足立区千住曙町41-2-107	03-3879-9116	
足立	日比谷医院	日比谷 一郎	121-0011	足立区中央本町5-5-27	03-3889-4601	
足立	ちばこどもクリニック	千葉 康之	121-0801	足立区東伊興1-12-16	03-3857-0222	
足立	三原小児科医院	三原 章	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0205	
足立	勝楽堂病院	芦田 光則	120-0032	足立区千住柳町5-1	03-3881-0137	2023年6月30日まで
	一般社団法人博慈会 博慈会記念総合病院	田島 剛	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	03-3899-1311	2023年7月1日から
足立	梅津クリニック	梅津 亮二	120-0005	足立区綾瀬3-15-20 遠藤ビル2F	03-5616-8214	
足立	中島小児科	中島 正樹	120-0015	足立区足立4-41-6	03-3852-5241	
足立	中西医院	中西 隆	123-0852	足立区関原3-44-7	03-3852-1122	
足立	千葉小児科内科医院	千葉 昭典	121-0061	足立区花畑7-14-9	03-3850-8523	2023年6月30日まで
	すずきこどもクリニック	鈴木 里香	120-0032	足立区千住柳町18-7 リコビル1F	03-5284-3770	2023年7月1日から
足立	しみず医院	清水 博史	121-0823	足立区伊興3-18-21	03-5691-1212	
足立	師田こども内科クリニック	師田 基	121-0801	足立区東伊興3-2-7	03-3897-7320	
足立	木村小児科クリニック	木村 康子	121-0816	足立区梅島3-32-24 第一矢野新ビル2階	03-3889-1187	
葛飾区	お花茶屋こどもクリニック	永友 祥子	124-0005	葛飾区宝町2-34-13-115	03-5654-9462	2023年3月1日から
葛飾区	高橋小児科医院	高橋 紀久雄	124-0023	葛飾区東新小岩5-17-1	03-3692-3021	
葛飾区	菊島小児科医院	菊島 秀丸	124-0013	葛飾区東立石3-24-16	03-3697-1556	
葛飾区	的場医院	伊藤 隆一	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0517	
葛飾区	永寿堂医院	松永 貞一	125-0061	葛飾区亀有3-43-5	03-3604-2101	○ 2023年3月31日まで
	医療法人社団双樹敬仁会 青戸キッズクリニック	穴倉 章浩	125-0062	葛飾区青戸3-41-11 中山ビル1階	03-5650-6500	2023年4月1日から
葛飾区	白井医院	白井 泰生	124-0024	葛飾区新小岩1-37-11	03-3653-5774	
葛飾区	三尾医院	三尾 仁	125-0041	葛飾区東金町3-16-12	03-3607-2917	○ 2023年4月1日から 病原体定点の追加指定
葛飾区	かめありこどもクリニック	角田 由里	125-0061	葛飾区亀有3-14-9 プリムロウズ島田2階	03-3602-3206	
江戸川	医療法人社団愛児会 南小岩クリニック	渡邊 直哉	133-0056	江戸川区南小岩7-5-18	03-3657-2982	
江戸川	小松川医院	田崎 ゆき	132-0025	江戸川区松江3-12-13	03-3651-0057	
江戸川	久田医院	久田 和子	132-0035	江戸川区平井1-27-7	03-3681-0081	
江戸川	医療法人社団結草会 みやのこどもクリニック	宮野 孝一	134-0085	江戸川区南葛西2-18-27	03-3869-4133	
江戸川	医療法人社団 なかにし小児科クリニック	中西 茂則	134-0088	江戸川区西葛西5-1-8 トーショービル1F	03-3675-6678	○ 2023年11月1日から 病原体定点の追加指定
江戸川	医療法人社団向日葵会 まつしま病院	山脇 真智	132-0031	江戸川区松島1-41-29	03-3653-5541	
江戸川	医療法人社団多仁会 はるやま小児科	春山 次男	133-0065	江戸川区南篠崎町2-10-1 カームコート1F	03-3679-1188	
江戸川	千葉クリニック	千葉 友幸	132-0024	江戸川区一之江8-19-6 彦新ビル1階	03-3651-8833	○ 2023年10月31日まで
	医療法人社団慶智会 なかぞのクリニック	中園 宏紀	132-0024	江戸川区一之江7-49-5 IMSクレイドル1F	03-5661-9855	2023年11月1日から
江戸川	星田小児クリニック	星田 宏	134-0083	江戸川区中葛西2-3-10	03-3680-2028	
江戸川	医療法人社団晶和会 本橋医院	本橋 俊和	132-0024	江戸川区一之江8-15-1 エクセルイチノエ1A	03-5662-8755	
江戸川	医療法人社団永幸会 ながきこどもクリニック	永木 幸子	133-0051	江戸川区北小岩6-15-5 小岩メディカルセンター新館3F	03-5612-0661	
江戸川	医療法人社団志越会 アンヌ小児科	布上 孝志	133-0071	江戸川区東松本1-14-9	03-3672-1071	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
八王子市	加地医院	加地 はるみ	193-0816	八王子市大楽寺町137	042-651-5341	○
八王子市	まつもと小児・アレルギークリニック	松本 勉	192-0364	八王子市南大沢2-2 パオレ5F	042-679-6051	
八王子市	のま小児科	野間 清司	192-0916	八王子市みなみ野3-1-8	042-632-7327	
八王子市	京王八王子クリニック	末松 隆二	192-0046	八王子市明神町4-7-14 八王子ONビル2F	042-645-7878	
八王子市	北野小児科	畑岸 達也	192-0906	八王子市北野町545-3 きたのタウン6F	042-645-8715	
八王子市	加藤醫院	加藤 直樹	192-0919	八王子市七国4-9-3	042-632-7950	
八王子市	なかよしこどもクリニック	朝長 香	192-0355	八王子市堀之内2-6-5 森本ビル201	042-679-6778	
八王子市	こどもクリニック南大沢	保坂 暁子	192-0364	八王子市南大沢2-27 フレスコ南大沢4F	042-670-8700	
八王子市	はしもと小児科	橋本 政樹	193-0942	八王子市桐田町557-3	042-668-8555	
八王子市	ノアこどもクリニック	森脇 弘隆	192-0903	八王子市万町175-1	042-624-8888	
八王子市	スマイルこどもクリニック	三輪 久美子	193-0832	八王子市散田町5-4-20	042-661-5529	
町田市	風の子こどもクリニック	風張 眞由美	194-0015	町田市金森東1-25-29 金森メディカルプラザA-2	042-851-8630	
町田市	はやしクリニック	林 泉彦	194-0035	町田市忠生2-28-7	042-793-3055	○
町田市	やもりこどもクリニック	矢守 利次	195-0057	町田市真光寺2-37-11 鶴川台メディカルヴィレッジ 総合棟1F-A	042-737-3675	
町田市	しのはら小児クリニック	石黒 寛之	194-0003	町田市小川1-2-8	042-795-3003	
町田市	キッズクリニック智	渡邊 智子	194-0211	町田市相原町1652-1	042-700-6315	
町田市	豊川小児科内科医院	豊川 達記	194-0001	町田市つくし野2-18-18	042-795-4465	
町田市	村野小児科アレルギー科	村野 浩太郎	196-0063	町田市野津田町1083	042-735-5777	
町田市	やすだこどもクリニック	保田 由喜治	194-0032	町田市本町田920-1	042-725-9056	
西多摩	笹本医院	笹本 光信	198-0084	青梅市住江町58	0428-24-3955	
西多摩	わかくさ医院	道佛 雅克	205-0001	羽村市小作台2-7-16	042-579-0311	
西多摩	星野小児科内科クリニック	星野 誠	197-0822	あきる野市小川東1-19-20-1	042-559-7332	○
西多摩	鈴木内科	鈴木 道彦	190-0163	あきる野市館谷156	042-596-2307	
西多摩	ばば子どもクリニック	馬場 一徳	205-0011	羽村市五ノ神352-22	042-555-3788	
西多摩	ナルケンキッズクリニック	成井 研治	198-0036	青梅市河辺町4-20-4	0428-21-0252	
西多摩	大堀医院	大堀 洋一	198-0023	青梅市今井5-2440-159	0428-31-9098	
西多摩	東福生むさしの台クリニック	川島 雅之	197-0013	福生市武蔵野台1-1-7 センチュリー武蔵野台1F	042-539-1223	
南多摩	須賀小児科	須賀 康正	191-0031	日野市高幡328	042-593-7888	
南多摩	佐々木クリニック多摩平	進藤 朝子	191-0062	日野市多摩平1-8-10	042-585-2591	
南多摩	こどもクリニックしみず	清水 伸泰	206-0034	多摩市鶴牧1-24-1 新都心センタービル3F	042-373-0512	○
南多摩	桜井医院	桜井 健彦	206-0811	稲城市押立1254-1	042-378-3224	
南多摩	牛尾医院	牛尾 方信	191-0043	日野市平山6-5-13	042-591-2001	
南多摩	おおしろクリニック	大城 清彦	191-0016	日野市神明3-6-16 アメニティ明和館1F-1	042-589-6780	
南多摩	唐木田こどもクリニック	飛田 正俊	206-0035	多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル2C	042-355-8505	
南多摩	まえはら小児科	前原 幸治	206-0011	多摩市関戸4-72 聖蹟桜ヶ丘オーバ5F	042-374-5028	
南多摩	平尾内科クリニック	竹田 有為子	206-0823	稲城市平尾3-7-26	042-331-8221	
多摩立川	野上医院	五十嵐 弥生	190-0021	立川市羽衣町2-42-7	042-522-6010	○
多摩立川	内野産婦人科外科小児科	内野 孝子	186-0002	国立市東1-8-6 メディカルセンター	042-580-0112	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩立川	藤田医院	藤田 仁	208-0031	武蔵村山市岸1-25-1	042-560-0363	○ 2023年6月30日まで
	北條医院	横山 淳一	208-0034	武蔵村山市残堀4-113-1	042-560-3541	2023年7月1日から
多摩立川	太陽こども病院	木内 巻男	196-0003	昭島市松原町1-2-1	042-544-7511	
多摩立川	医療法人社団瑞涼会 くぼしまこどもクリニック	久保嶋 慎二	185-0024	国分寺市泉町2-9-3 ハートフルビル西詰3F	042-300-1801	
多摩立川	まつなかクリニック	目黒 隆毅	190-0034	立川市西砂町6-6-16	042-520-1234	
多摩立川	さいわいこどもクリニック	平野 静香	190-0002	立川市幸町1-11-3	042-536-7280	○
多摩立川	大田医院	大田 眞也	196-0022	昭島市中神町1237	042-541-0311	
多摩立川	マシュマロこどもクリニック	富士川 善直	185-0003	国分寺市戸倉4-45-5	042-320-1155	
多摩立川	くろさわ子ども&内科クリニック	黒澤 サト子	180-0011	国分寺市本多3-7-25	042-323-9630	○
多摩立川	ヒバリこどもクリニック	青木 菜穂	186-0003	国立市富士見台3-1-15 2F	042-505-6017	
多摩立川	有村クリニック	有村 章	207-0014	東大和市南街4-10-6	042-590-0377	
多摩立川	さくらこどもクリニック	野口 幸男	207-0023	東大和市上台北台3-393-1	042-566-8177	
多摩立川	伊奈南南クリニック	田中 こずえ	208-0023	武蔵村山市伊奈平4-4-1	042-560-1311	○ 2023年7月1日から 病原体定点の追加指定
多摩府中	ささもとこどもクリニック	笹本 和広	182-0036	調布市飛田給1-41-5 T・Oビル2F	042-498-4153	
多摩府中	いしいこどもクリニック	石井 敏夫	182-0021	調布市調布ヶ丘3-19-12	042-483-0101	
多摩府中	松本医院	三室 知子	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町1-23-3	0422-22-5755	
多摩府中	おぎわらこどもクリニック	荻原 篤	180-0006	武蔵野市中町3-3-2	0422-60-5177	
多摩府中	きたのこどもクリニック	内藤 英紀	181-0003	三鷹市北野4-12-17 きたのメディカルパーク1階	0422-70-4150	
多摩府中	若林医院	若林 研司	181-0001	三鷹市井の頭4-16-10	0422-43-0526	
多摩府中	まつおか小児クリニック	松岡 典子	183-0034	府中市寿町2-4-42 キューブ府中3F	042-319-1020	○
多摩府中	東小金井駅前こどもクリニック	道下 崇史	184-0002	小金井市梶野町5-3-25-209 クリオ東小金井パークフロント	042-387-1030	
多摩府中	石戸谷小児科	石戸谷 尚子	201-0012	狛江市中和泉1-1-1 狛江YSビル4F	03-3430-1070	
多摩府中	長谷川小児科医院	長谷川 慶	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町2-8-5	0422-22-6804	
多摩府中	渡辺こどもクリニック	渡邊 直幸	181-0013	三鷹市下連雀9-5-1 泰成マンション1F	0422-41-1550	
多摩府中	つちや小児科	土屋 正己	181-0013	三鷹市下連雀4-16-11	0422-40-1488	
多摩府中	さくらんぼこどもクリニック	三日市 薫	183-0026	府中市南町4-43-1	042-340-8288	
多摩府中	おき医院	隠岐 直紀	183-0011	府中市白糸台5-24-1	042-354-1277	
多摩府中	日野クリニック	日野 佳昭	183-0034	府中市住吉町2-15-9	042-330-3600	
多摩府中	すみれクリニック	繁友 律子	183-0021	府中市片町3-26-14	042-401-8461	
多摩府中	野々田小児科内科	野々田 真	183-0013	府中市小柳町3-32-26	042-369-2561	
多摩府中	佐々木こどもクリニック	佐々木 伸彦	182-0006	調布市西つつじヶ丘3-37-2 横田ファイブ107	042-487-2433	
多摩府中	麻生こどもクリニック	麻生 泰二	182-0026	調布市小島町1-5-6 アールアンドエスビル3F	042-480-7810	
多摩府中	三枝耳鼻咽喉科・小児科医院	三枝 歌子	184-0004	小金井市本町5-19-32 三枝ビル2F	042-381-8221	
多摩府中	神保クリニック小児科	神保 修	201-0003	狛江市和泉本町1-2-13	03-3430-2818	2023年8月31日まで
	コドモハっぱクリニック	丸山 友紀	201-0012	狛江市中和泉5-33-2 ヒルズ蘇月1F	03-5761-5312	2023年9月1日から
多摩小平	清水小児科内科医院	清水 達也	187-0001	小平市大沼町4-43-32	042-343-2255	
多摩小平	わかばこどもクリニック	渡邊 孫衛	189-0024	東村山市富士見町3-13-14	042-390-2700	
多摩小平	大塚小児科アレルギー科 クリニック	大塚 武	203-0053	東久留米市本町3-1-23	042-479-7300	
多摩小平	すぎはらこどもクリニック	杉原 聡	188-0004	西東京市西原町5-1-17	042-451-8680	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩小平	斉藤小児科内科クリニック	斉藤 喜親	202-0004	西東京市下保谷4-2-21	042-421-7201	
多摩小平	鈴木小児科内科医院	鈴木 昌和	187-0045	小平市学園西町2-11-28	042-341-0353	○
多摩小平	はなこキッズクリニック	吉田 知広	187-0011	小平市鈴木町2-865-97	042-401-1230	
多摩小平	ちあきこどもクリニック	辻 千秋	187-0034	小平市栄町2-3-7	042-349-2012	
多摩小平	武こどもクリニック	深堀 俊彦	189-0013	東村山市栄町2-32-20-201	042-397-3374	○
多摩小平	あきつこどもクリニック	村上 綾子	189-0001	東村山市秋津町4-31-16	042-390-1150	
多摩小平	いくせ医院	木村 憲人	203-0013	東久留米市新川町1-4-18 わかさとビル1F	042-471-2304	
多摩小平	ひばりが丘やまね 小児科アレルギー科	山根 慎治	188-0001	西東京市谷戸町2-1-41 ひばりが丘南メディカルスクエア1F	042-469-3636	
多摩小平	すくすくkidsクリニック	高田 佳宜	188-0012	西東京市南町5-9-17	042-451-3027	
多摩小平	武蔵野総合クリニック	守山 典宏	204-0021	清瀬市元町1-8-30	042-496-7015	2023年1月1日から
島しょ	大島医療センター	清水 忠典	100-0101	大島町元町3-2-9	04992-2-2345	

2024年変更医療機関

2024年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
江東区	亀戸キッズクリニック	杉本 佳乃	136-0071	江東区亀戸2-42-5 くらまえ三洋ビル2F	03-5875-3387	2024年3月31日まで
	あかちゃんこどものクリニック カメイドクック	山崎 幸太	136-0071	江東区亀戸6-31-6 カメイドクック4階	03-5875-2667	2024年4月1日から
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○ 2024年4月1日 * 医療機関名称変更
	杏林大学医学部付属杉並病院					
池袋	平井医院	平井 貴志	171-0032	豊島区雑司が谷1-26-10	03-3971-8064	2024年3月31日まで
	雑司が谷赤ちゃん・こどもクリ ニック	青柳 裕之	171-0032	豊島区雑司が谷3-1-20 S.Z.ビル 201	03-6907-0037	2024年4月1日から
池袋	金澤医院	金澤 義之	170-0003	豊島区駒込3-5-7	03-3910-4952	2024年3月31日まで
	新大塚こどもクリニック	杉田 依里	171-0005	豊島区南大塚2-15-7 アルカディア新大塚1F	03-3944-0808	2024年4月1日から
多摩小平	武蔵野総合クリニック	守山 典宏	204-0021	清瀬市元町1-8-30	042-496-7015	2023年12月31日まで
	宇都宮小児科内科クリニック	宇都宮 正司	204-0021	清瀬市元町1-8-2 清水ビル3階	042-491-5556	2024年1月1日から
多摩府中	おぎわらこどもクリニック	荻原 篤	180-0006	武蔵野市中町3-3-2	0422-60-5177	2024年3月31日まで
	武蔵境駅前こどもクリニック	清水 希和子	180-0023	武蔵野市境南町2-8-17	0422-26-1031	2024年4月1日から
多摩小平	いつもジェネラルクリニック 秋津院	藤川 秀爾	204-0004	清瀬市野塩5丁目299-4	042-497-8608	2024年4月1日から

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

内科 (155定点)

2023年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	神田診療所	高橋 泰人	101-0047	千代田区内神田2-8-14	03-3256-0086	
中央区	松本内科院	松本 章一	104-0031	中央区京橋2-11-5-5F	03-4405-7480	
中央区	中央内科クリニック	村松 弘康	103-0013	中央区日本橋人形町2-7-8	03-3668-0088	
みなと	馬場クリニック	馬場 繁二	106-0045	港区麻布十番2-13-2	03-3454-7788	
みなと	もとやまクリニック	元山 幹雄	108-0072	港区白金1-8-9	03-3473-2866	
みなと	新田町ビル診療所	坪田 淳	108-0014	港区芝5-34-6 新田町ビル2F	03-3451-2619	
新宿区	高橋医院	高橋 秀和	169-0074	新宿区北新宿3-21-8	03-3371-8064	
新宿区	早稲田クリニック	小西 洋之	162-0045	新宿区馬場下町10 早稲田レストハイツ2F	03-3208-2007	
新宿区	石井外科	石井 正彌	162-0065	新宿区住吉町8-2	03-3351-9338	
新宿区	磯貝クリニック	磯貝 祐貴子	169-0051	新宿区西早稲田2-4-8	03-3232-1776	
文京	八千代診療所	井上 博和	113-0001	文京区白山1-5-8	03-3811-4519	
文京	森谷医院	森谷 茂樹	113-0022	文京区千駄木5-43-11	03-3821-0128	
文京	大橋内科クリニック	大橋 誠	113-0024	文京区西片2-15-11	03-5842-8670	
台東	関戸クリニック	関戸 俊樹	111-0035	台東区西浅草2-14-3	03-3844-8666	
台東	城所医院	城所 功文	110-0014	台東区北上野2-26-5	03-3844-0510	○
台東	かとう医院	加藤 元浩	110-0003	台東区根岸3-12-14	03-5603-7161	
墨田区	大室医院	大室 博之	130-0012	墨田区太平3-2-7	03-3622-0629	2023年5月31日まで
	隅田川診療所	山室 学	131-0033	墨田区向島1-24-6	03-3626-5100	2023年6月1日から
墨田区	東京曳舟病院	古城 資久	131-0032	墨田区東向島2-27-1	03-5655-1120	
墨田区	さとう内科クリニック	佐藤 和子	130-0004	墨田区本所4-13-3-1F	03-5819-6505	○
江東区	小林クリニック	小林 功	136-0072	江東区大島4-1-6-105	03-3684-0481	
江東区	みやたけクリニック	宮武 俊秀	136-0074	江東区東砂4-23-6	03-5677-3232	
江東区	大陽ビルクリニック	中木 基江	135-0016	江東区東陽3-23-6 大陽ビル102	03-5635-5715	
江東区	望月内科クリニック	望月 俊男	135-0005	江東区高橋13-2 ヴィラロイヤル森下1F	03-5669-1531	
江東区	辰巳中央診療所	鳴海 章人	135-0053	江東区辰巳1-9-49-102	03-3521-0163	
品川区	白井クリニック	白井 寛	140-0014	品川区大井2-4-1	03-3771-7265	
品川区	さとうクリニック	佐藤 慶一	140-0004	品川区南品川2-17-25 菱倉ビル2F	03-3450-0010	
品川区	遠藤医院	遠藤 紀雄	141-0021	品川区上大崎2-24-13-305	03-3492-6422	2023年9月30日まで
	医療法人社団雄喜会 大崎広小路内科	大山 剛史	141-0031	品川区西五反田8-4-15 グリンデル広小路4階	03-6420-0228	2023年10月1日から
品川区	青柳医院	青柳 豊	142-0042	品川区豊町1-4-15	03-3788-0801	
目黒区	駒場クリニック	下津浦 末博	153-0041	目黒区駒場2-4-5	03-6279-7557	
目黒区	清水クリニック	清水 泰樹	153-0051	目黒区上目黒5-19-40	03-3715-3290	
目黒区	阿部医院	清水 恵一郎	152-0032	目黒区平町2-5-7	03-3717-2288	
大田区	テクノポートクリニック	宮島 良征	144-0035	大田区南蒲田2-16-1 テクノポートカマタセンタービル 別館2F	03-5703-5522	
大田区	馬込中央診療所	寺門 節雄	143-0027	大田区中馬込1-5-8	03-3775-5631	
大田区	北條医院	北條 稔	143-0016	大田区大森北3-4-5	03-3768-0066	○
大田区	井出内科クリニック	井出 雅生	146-0092	大田区下丸子3-13-11	03-3757-2484	
大田区	松坂医院	松坂 聡	144-0047	大田区萩中1-6-28	03-3741-0985	
大田区	溝谷医院	溝谷 弘成	143-0012	大田区大森東2-1-4	03-3763-7371	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
大田区	並木医院	並木 敦也	145-0065	大田区東雪谷5-27-13	03-3720-8041	
大田区	せせらぎクリニック多摩川	富塚 太郎	145-0071	大田区田園調布1-33-3	03-5755-5207	
世田谷	菅澤医院	菅澤 正明	158-0091	世田谷区中町4-31-13	03-3701-1650	
世田谷	世田谷北部病院	下田 重人	157-0062	世田谷区南烏山2-9-17	03-3308-5221	○
世田谷	幸野メディカルクリニック	幸野 敬子	157-0072	世田谷区祖師谷3-30-28	03-3483-1808	
世田谷	竹川内科医院	竹川 享	156-0051	世田谷区宮坂1-41-20	03-3706-2341	
世田谷	医療法人社団 シンセリディ いなみ内科クリニック	稲見 真木子	154-0024	世田谷区三軒茶屋1-13-7 三茶JOYビル2F	03-3413-1730	
世田谷	こうらクリニック	兒浦 利哉	154-0021	世田谷区豪徳寺1-23-22	03-3425-2333	
世田谷	高橋医院	高橋 由光	158-0094	世田谷区玉川3-23-22	03-3700-0232	
世田谷	荏原医院	荏原 包臣	158-0097	世田谷区用賀4-13-11	03-3700-0135	
世田谷	西島内科クリニック	西島 敬之郎	157-0068	世田谷区宇奈根3-1-21	03-5494-2020	
渋谷区	医療法人社団晴梢会 小林医院	小林 晴二郎	151-0064	渋谷区上原1-23-1	03-3467-3577	2023年3月31日まで
	医療法人社団恵比寿会 淳クリニック	内藤 淳	150-0021	渋谷区恵比寿西1-14-2 201	03-5489-0463	2023年4月1日から
渋谷区	医療法人社団 しおぎき内科	塩崎 正英	150-0002	渋谷区渋谷1-7-5 青山セブンハイツ2F	03-5485-3123	○
渋谷区	渡辺クリニック	渡辺 豊	151-0071	渋谷区本町3-10-3-202	03-3375-7361	2023年3月31日まで
	医療法人社団慶照会 幡ヶ谷内科クリニック	蜂谷 朗彦	151-0072	渋谷区幡ヶ谷2-16-8	03-3373-4810	2023年4月1日から
中野区	大場診療所	渡辺 茂	165-0034	中野区大和町3-40-6	03-3330-0073	
中野区	山田クリニック	山田 千津子	165-0026	中野区新井2-6-10	03-3386-0415	
中野区	東中野クリニック	飯国 紀一郎	164-0003	中野区東中野1-58-12	03-3361-2732	
中野区	溝口医院	溝口 雅康	164-0013	中野区弥生町2-12-9	03-3372-0035	
杉並	藤多クリニック	藤多 和義	167-0043	杉並区上荻1-9-1	03-3392-8811	
杉並	富士見丘医院	加茂 隆	168-0082	杉並区久我山5-20-1	03-3332-2401	○
杉並	河合内科クリニック	河合 章	167-0043	杉並区上荻3-1-11	03-3399-8563	
杉並	内山クリニック	内山 克己	168-0063	杉並区和泉3-6-2	03-5355-3535	
杉並	石井こども・内科循環器科 クリニック	石井 哲哉	166-0014	杉並区松ノ木1-6-21	03-3314-5677	
杉並	清水内科クリニック	清水 聡	166-0003	杉並区高円寺南1-7-4	03-3318-2431	
池袋	武藤クリニック	武藤 敬	171-0051	豊島区長崎1-22-11	03-3957-7065	
池袋	山下診療所大塚	山下 巖	170-0004	豊島区北大塚2-13-1 ba07 5F	03-3910-6711	
池袋	目白おかの内科	岡野 晃	171-0031	豊島区目白3-16-15 茜ビル1F	03-5988-3363	
北区	青木内科クリニック	青木 薫	114-0024	北区西ヶ原1-46-17 旭レヂデンス1F	03-5961-1855	
北区	共和堂医院	増田 幹生	114-0001	北区東十条2-5-1	03-3911-0665	
北区	王子神谷齋藤クリニック	齋藤 広重	114-0003	北区豊島8-24-4	03-3911-5433	
北区	医療法人社団景星会赤羽 赤羽東口病院	河 一京	115-0045	北区赤羽1-38-5	03-3902-2131	
荒川区	水野クリニック	稲富 由香	116-0002	荒川区荒川1-49-2 サクラハイツ2F	03-3891-0219	
荒川区	南千住つのだ医院	角田 太郎	116-0003	荒川区南千住6-65-12	03-3802-0023	
荒川区	東京リバーサイド病院	坂井 暢子	116-0003	荒川区南千住8-4-4	03-5850-0311	
板橋区	平山医院	平山 貴度	174-0064	板橋区中台1-46-3	03-3932-3598	
板橋区	岡部医院	岡部 洋太郎	173-0004	板橋区板橋3-37-1	03-3961-0416	
板橋区	天木診療所	天木 聡	174-0053	板橋区清水町47-7	03-3961-3913	○
板橋区	高島平東口クリニック	梅原 有弘	175-0082	板橋区高島平8-5-10 MAビル3F	03-3933-1213	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
板橋区	伊藤内科小児科クリニック	伊藤 景樹	175-0094	板橋区成増1-17-10	03-3930-5114	2023年3月31日まで
	赤塚新町クリニック	塩原 康正	175-0093	板橋区赤塚新町2-5-16 ヴィルヌーヴ赤塚1F	03-6915-6617	2023年4月1日から
板橋区	多比良医院	多比良 清	175-0094	板橋区成増4-13-2	03-3975-8139	
練馬区	川邊内科	川邊 敏之	177-0044	練馬区上石神井2-26-15	03-3920-6810	○
練馬区	医療法人社団健康文化会 練馬第一診療所	芹沢 憲一	179-0083	練馬区平和台4-20-16	03-3933-8957	
練馬区	すずしろ医療生活協同組合 すずしろ診療所	泉 智子	176-0001	練馬区練馬1-15-1 堀越ビル2階	03-3557-1131	
練馬区	医療法人社団 金谷クリニック	金谷 斎	179-0072	練馬区光が丘2-4-11-102	03-3979-2331	
練馬区	豊島医院	豊島 良一	177-0041	練馬区石神井町1-22-8	03-3996-0014	2023年2月28日まで
	じんの内科医院	神野 悟	179-8884	練馬区氷川台3-24-21	03-5922-6171	2023年3月1日から
練馬区	医療法人社団安和会 若井内科・呼吸器科	若井 安理	178-0061	練馬区大泉学園町7-15-16 ハナブサ第一ビル3階	03-5933-2011	
練馬区	医療法人社団昌泉会 やすひさ内科クリニック	安久 昌吾	170-0063	練馬区東大泉5-40-24 サンダリオンビル1F	03-3922-8922	2023年3月1日から
練馬区	水谷内科呼吸器科クリニック	水谷 清二	178-0063	練馬区東大泉6-51-4 TKマンション1F	03-3867-8141	
足立	城北診療所	山村 彰義	123-0852	足立区関原2-38-21	03-3840-5474	2022年10月31日まで
	江北ファミリークリニック	杉村 久理	123-0872	足立区江北5-1-1	03-3897-3030	2023年7月1日から
足立	久勝医院	久勝 章司	120-0013	足立区弘道2-1-3	03-3889-4714	
足立	健愛クリニック	眞鍋 光	120-0023	足立区千住曙町37-8	03-5813-1805	
足立	山一ビル内科クリニック	有野 亨	121-0815	足立区島根3-8-1 山一ビル島根Ⅱ1F	03-3884-8888	
足立	天沼医院	天沼 満	121-0812	足立区西保木間4-5-14-2	03-3883-8855	
足立	佐々木医院	佐々木 照	120-0005	足立区綾瀬2-26-17	03-5680-0566	
足立	旭医院	青木 哲	120-0026	足立区千住旭町9-15	03-3888-3508	
葛飾区	吉川内科医院	吉川 昌一	125-0063	葛飾区白鳥3-31-2-101	03-3602-8723	
葛飾区	遠藤医院	遠藤 啓一郎	125-0052	葛飾区柴又3-12-18	03-3607-1636	
葛飾区	富田医院	富田 秀人	124-0022	葛飾区奥戸5-1-18	03-3692-3026	
葛飾区	久保島医院	久保嶋 康仁	124-0001	葛飾区小菅2-25-10	03-3602-2746	
葛飾区	猪口医院	猪口 幸子	125-0052	葛飾区柴又4-6-14	03-5693-1511	
江戸川	医療法人社団 同愛会病院	椿 浩司	132-0031	江戸川区松島1-42-21	03-3654-3311	
江戸川	医療法人社団美友梨会 福田クリニック	福田 徹	133-0065	江戸川区南篠崎町2-38-13	03-3679-2011	
江戸川	医療法人社団黄耆会 京谷医院	京谷 淳	133-0051	江戸川区北小岩6-17-7	03-3671-8103	
江戸川	医療法人社団孝仁会 小暮医院	小暮 仁	133-0042	江戸川区興宮町16-13	03-3653-5347	
江戸川	中川医院	中川 陽之	132-0034	江戸川区小松川3-75-3	03-3684-2534	
江戸川	医療法人社団 葛西中央病院	土谷 明男	134-0091	江戸川区船堀7-10-3	03-3680-8121	
江戸川	恵仁堂医院	山上 実千子	133-0052	江戸川区東小岩4-10-5	03-3657-4416	○
八王子市	秋山内科医院	秋山 幸久	192-0904	八王子市子安町1-32-7	042-643-0212	
八王子市	京王八王子駅前診療所	田中 光彦	192-0046	八王子市明神町4-7-1 京王駅前ビル5F	042-645-8228	○
八王子市	近藤内科医院	近藤 一英	193-0824	八王子市長房町1502-30	042-661-6035	
八王子市	遠山内科・循環器クリニック	遠山 博	192-0916	八王子市みなみ野2-16-3 モンバルテ1F	042-632-8033	
八王子市	伊藤内科消化器医院	伊藤 均	192-0045	八王子市大和田町4-15-14	042-642-6734	
八王子市	南大沢クリニック	佐々木 容三	192-0364	八王子市南大沢5-14-4-1	042-674-7766	
八王子市	横川内科クリニック	島村 嘉一	192-0823	八王子市横川町550-23 矢野ビル1F	042-625-7711	2023年9月30日まで
	わかばやし内科クリニック	若林 徹	192-0051	八王子市元本郷町2-5-1	042-622-0550	2023年10月1日から

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
町田市	こばやし医院	小林 信正	194-0012	町田市金森1-26-15	042-726-3431	
町田市	中村クリニック	中村 豊	194-0036	町田市木曽東3-20-28	042-792-0033	○ 2023年8月1日から 病原体定点の追加指定
町田市	泰生医院	金沢 健雅	194-0212	町田市小山町2470-5	042-797-7423	
町田市	成田クリニック	成田 雅弘	194-0011	町田市成瀬ヶ丘2-23-16	042-795-1281	○ 2023年7月31日まで
	医療法人社団泰大会 薬師台おはなぼっぼクリニック	野口 泰芳	195-0073	町田市薬師台1-25-12 薬師台メディカルテラス	042-737-7373	2023年8月1日から
町田市	はやし内科クリニック	林 淳弘	195-0057	町田市真光寺2-37-11	042-736-5501	
西多摩	福生クリニック	玉木 一弘	197-0012	福生市加美平3-35-13	042-551-2312	
西多摩	日の出ヶ丘病院	河原 和夫	190-0181	日の出町大久野310	042-597-0811	
西多摩	片平医院	片平 潤一	198-0036	青梅市河辺町10-16-20	0428-21-1741	○
西多摩	近藤医院	近藤 之暢	197-0827	あきる野市油平35	042-558-0506	
西多摩	双葉クリニック	松崎 潤	205-0022	羽村市双葉町1-1-15	042-570-1588	
西多摩	石畑診療所	小林 康弘	190-1211	瑞穂町石畑207	042-557-0072	
南多摩	斉藤内科呼吸器科	斉藤 宣照	206-0025	多摩市永山4-2-6-202	042-373-2522	
南多摩	土方クリニック	土方 英史	191-0024	日野市万願寺1-13-1	042-587-7171	
南多摩	中川クリニック	中川 均	191-0041	日野市南平7-18-11	042-594-0313	
南多摩	やはの内科・胃腸科クリニック	矢羽野 壮光	206-0011	多摩市関戸1-11-9 桜ヶ丘富沢ビル6F	042-356-3761	
南多摩	長峰クリニック	武井 滋	206-0821	稲城市長峰2-2-2	042-350-7171	
多摩立川	唯善クリニック 内科・呼吸器内科	竹口 甲三	190-0013	立川市富士見町1-34-9-1F	042-527-6711	
多摩立川	藤井医院	藤井 恵太	190-0003	立川市栄町5-22-6	042-536-1702	○
多摩立川	まことクリニック	腰塚 誠二	196-0003	昭島市松原町2-9-1	042-546-2800	
多摩立川	国分寺内科中央病院	松本 めぐみ	185-0022	国分寺市東元町2-3-19	042-322-0131	
多摩立川	新田クリニック	新田 國夫	186-0005	国立市西2-26-29	042-574-3355	
多摩立川	半田医院	半田 宏一	208-0013	武蔵村山市大南3-54-16	042-564-8649	2023年6月30日まで
	向日葵クリニック	水野 真理	208-0011	武蔵村山市学園3-88-2	042-562-1983	2023年7月1日から
多摩立川	高橋医院	高橋 英樹	207-0021	東大和市立野2-3-17	042-565-7001	2023年5月31日まで
	浅香医院	井上 さやか	207-0002	東大和市湖畔1-1043-39	042-563-4397	2023年6月1日から
多摩府中	赤須内科クリニック	赤須 文彰	183-0006	府中市緑町2-17-9	042-334-0780	
多摩府中	小林内科	小林 肇	182-0035	調布市上石原2-30-22	042-482-8623	
多摩府中	田原医院	田原 順雄	180-0014	武蔵野市関前3-3-9	0422-51-8458	
多摩府中	渡辺医院	渡辺 滋	180-0004	武蔵野市吉祥寺本町4-7-9	0422-22-8937	
多摩府中	岡庭医院	岡庭 孝	181-0001	三鷹市井の頭3-21-16	0422-43-8367	
多摩府中	いりえ内科クリニック	入江 哲也	181-0003	三鷹市北野4-5-30 キューブコート烏山101号	03-5314-3577	
多摩府中	府中よつやクリニック	市川 雅	183-0035	府中市四谷3-37-14	042-336-7222	
多摩府中	仙川さとうクリニック	佐藤 正邦	182-0002	調布市仙川町2-18-15 メゾン仙川1F	03-5315-7373	
多摩府中	武蔵小金井クリニック	金光 寛承	184-0004	小金井市本町5-19-33	042-384-0080	2023年3月31日まで
	小金井メディカルクリニック	三澤 多真子	184-0004	小金井市本町5-15-9 栄ハイツエクシード2階	042-401-2938	2023年4月1日から
多摩府中	柏田内科クリニック	柏田 和子	201-0001	狛江市西野川1-15-19	03-3430-0222	○ 2023年10月31日まで
	やまだ総合内科クリニック	山田 高広	201-0003	狛江市和泉本町3-27-10	03-5761-5801	○ 2023年11月1日から
多摩府中	中村内科クリニック	中村 公彦	183-0031	府中市西府町2-12-1	042-362-2112	
多摩府中	辻医院	荒井 敏	182-0034	調布市下石原3-60-4	042-482-2891	
多摩小平	松岡内科クリニック	松岡 緑郎	187-0002	小平市花小金井1-1-11 エメラルドビル3F	042-426-8080	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩小平	高橋内科クリニック	高橋 英二	189-0011	東村山市恩多町4-1-23	042-395-3553	2023年3月31日まで
	西都保健生活協同組合 北多摩生協診療所	徐 英哲	189-0014	東村山市本町4-2-32 ドルチェ久米川	042-393-5903	2023年4月1日から
多摩小平	水谷医院	水谷 良子	189-0013	東村山市栄町1-13-1	042-390-5522	2023年5月31日まで
	ワズタワーすこやかクリニック	仲吉 健	189-0022	東村山市野口町1-46 ワズタワー4階	042-399-0122	2023年6月1日から
多摩小平	宮本医院	宮本 兼吾	204-0022	清瀬市松山1-42-6	042-491-0547	
多摩小平	山口内科・呼吸器科クリニック	守 博昭	203-0053	東久留米市本町3-12-2	042-472-2386	○
多摩小平	廣川クリニック	廣川 豊	202-0012	西東京市東町4-8-28 JUN西東京市101	042-425-6476	
多摩小平	保谷内科・呼吸器科クリニック	保谷 功	202-0005	西東京市住吉町6-1-26	042-458-7870	2023年3月31日まで
	ますだ内科クリニック	益田 公彦	188-0014	西東京市芝久保町3-6-26	042-463-1159	2023年4月1日から
多摩小平	井上内科クリニック	井上 玄	187-0042	小平市仲町268-6 サライ仲町102	042-342-0056	
島しょ	小笠原村診療所	野沢 有二	100-2101	小笠原村父島清瀬	04998-2-3800	

2024年変更医療機関

2024年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
中央区	松本内科院	松本 章一	104-0031	中央区京橋2-11-5-5F	03-4405-7480	2024年2月29日まで
	医療法人社団健杏会 杉野内科クリニック	杉野 敬一	104-0054	中央区勝どき2-9-12 HBビル勝どき 3F	03-5547-0961	2024年3月1日から
目黒区	駒場クリニック	下津浦 末博	153-0041	目黒区駒場2-4-5	03-6279-7557	2024年2月29日まで
	目黒吉田内科クリニック	吉田 博史	153-0064	目黒区下目黒5-9-15 1F	03-3712-6575	2024年3月1日から
世田谷	竹川内科医院	竹川 享	156-0051	世田谷区宮坂1-41-20	03-3706-2341	2024年1月31日まで
	大坪医院	大坪 孝一	156-0043	世田谷区松原5-58-11	03-3328-2285	2024年4月1日から
世田谷	高橋医院	高橋 由光	158-0094	世田谷区玉川3-23-22	03-3700-0232	2024年3月31日まで
	森山医院	森山 義和	158-0091	世田谷区中町2-17-20	03-3701-6621	2024年4月1日から

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

眼科 (39定点)

2023年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
中央区	宮下眼科医院	宮下 公男	104-0031	中央区京橋2-5-18 3F	03-3564-0240	
新宿区	東京女子医科大学病院眼科	篠崎 和美	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○*
新宿区	東京医科大学病院眼科	森 秀樹	160-0023	新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111	
文京	順天堂大学医学部眼科	村上 晶	113-0033	文京区本郷3-1-3	03-3813-3111	
墨田区	毛塚眼科医院	毛塚 剛司	131-0033	墨田区向島1-5-7	03-3622-0941	
江東区	さとう眼科	佐藤 明	136-0076	江東区南砂6-1-11	03-3645-5441	
品川区	濱崎眼科医院	濱崎 陞	140-0014	品川区大井3-18-17	03-3776-4197	
目黒区	にっこのクリニック	入戸野 晋	152-0011	目黒区原町2-1-24	03-5704-4092	
大田区	朝広眼科	朝広 信彦	146-0085	大田区久が原5-17-9	03-3751-7757	
大田区	下丸子眼科クリニック	藤井 孝	146-0092	大田区下丸子1-6-24 グランドステラ下丸子1F	03-5741-2400	
世田谷	福地眼科	福地 郁子	156-0057	世田谷区上北沢3-20-22	03-3304-5586	
世田谷	喜多見眼科	熊川 美代子	157-0067	世田谷区喜多見8-18-10 小泉ビル3F	03-5494-7878	
渋谷区	医療法人社団千翠会 細川眼科クリニック	細川 可奈	150-0012	渋谷区広尾5-14-2 広尾KKビル4F	03-5423-7023	○ 2023年8月31日まで
	角谷眼科医院	茂田 今日子	150-0022	渋谷区恵比寿南1-3-6 C1ビル2F	03-3793-8940	○ 2023年9月1日から
中野区	福田眼科医院	福田 敏雅	165-0026	中野区新井2-33-1	03-3386-3700	
杉並	荒木眼科医院	荒木 博子	167-0042	杉並区西荻北2-9-10	03-3395-3091	○
池袋	大木眼科	大木 孝太郎	171-0014	豊島区池袋2-17-1	03-3971-2598	
北区	クリスタル眼科	野牛 千鶴	114-0004	北区堀船3-18-3	03-5902-5089	
荒川区	眼科アリモト	有本 啓三	116-0014	荒川区東日暮里5-51-7	03-3806-3720	
板橋区	フルヤ眼科クリニック	古谷 和正	173-0004	板橋区板橋1-22-8 古谷ビル2F	03-5375-4930	
板橋区	小暮眼科	小暮 慎二	175-0094	板橋区成増3-10-5	03-3979-3555	
練馬区	荻野眼科医院	荻野 公嗣	177-0041	練馬区石神井町1-25-10	03-3996-2021	
練馬区	医療法人社団静寿会 氷川台眼科	長松 淳一	179-0084	練馬区氷川台3-38-8 M&Rビル1階	03-5984-1900	
足立	三原眼科医院	三原 敬	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0785	
足立	こばやし眼科クリニック	小林 康彦	120-0043	足立区千住宮元町1-1 千住宮元ビル2F	03-5244-6080	
葛飾区	的場眼科クリニック	伊藤 景子	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0657	
江戸川	医療法人社団星明会 松江八木橋眼科	八木橋 修	132-0025	江戸川区松江2-1-5 目々沢ビル	03-5607-3505	
江戸川	安田医院	安田 尚美	132-0011	江戸川区瑞江1-43-12	03-5666-7038	
八王子市	きむら眼科	木村 隆	194-0904	八王子市子安町4-10-1	042-680-7430	
八王子市	大熊眼科医院	大熊 京子	193-0835	八王子市千人町2-19-15 長塚ビル3F	042-667-3477	
町田市	すずかけ台眼科クリニック	吉利 尚	194-0002	町田市南つくし野3-4-2 久保田ビル2階	042-788-5505	
西多摩	後藤眼科診療所	後藤 晋	198-0089	青梅市森下町508	0428-22-3202	
南多摩	小川眼科	小川 昭彦	206-0011	多摩市関戸2-40-1 ニッセイ聖蹟桜ヶ丘ビル3F	042-337-6660	
多摩立川	天佑眼科医院	岡本 晴彦	207-0014	東大和市南街1-27-5	042-561-2965	
多摩立川	曾根医院	曾根 隆一郎	185-0012	国分寺市本町4-19-8	042-322-0516	
多摩府中	こはら眼科	小原 真樹夫	180-0006	武蔵野市中町1-4-4 スクウェア三鷹1F	0422-52-8871	
多摩府中	武蔵境眼科医院	村松 隆次	180-0023	武蔵野市境南町1-8-1 武蔵野STビル2F	0422-34-2117	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩府中	平山眼科医院	平山 信隆	183-0023	府中市宮町1-20-19 大津ビル2F	042-364-0300	
多摩小平	徳島診療所	中川 尚	189-0024	東村山市富士見町1-2-14	042-391-2525	○
多摩小平	つしま眼科医院	對馬 一仁	204-0021	清瀬市元町1-8-19 アーク清瀬201	042-496-2240	

2024年変更医療機関

2024年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩立川	天佑眼科医院	岡本 晴彦	207-0014	東大和市南街1-27-5	042-561-2965	2024年3月31日まで
	(医社)晴山会 おしきり眼科	押切 勝	208-0011	武蔵村山市学園3-50-1	042-562-6688	2024年4月1日から

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

性感染症（55定点）

2023年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	スバル医院	中村 憲司	100-0006	千代田区有楽町1-2-6	03-3580-9559	
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	大野 俊一	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
中央区	医療法人社団賢仁会 銀座吉田医院	吉田 正平	104-0061	中央区銀座2-4-8 GINZA YUKI BLD 8・9F	03-3561-5537	
中央区	弓削医院	弓削 文一	103-0014	中央区日本橋蠣殻町1-28-7	03-3666-3979	
中央区	対馬ルリ子女性ライフクリニック 銀座	対馬 ルリ子	104-0061	中央区銀座2-6-5 銀座トレシヤビル7F	03-3538-0283	
みなと	大原皮膚泌尿器科	大原 正雄	107-0052	港区赤坂2-14-33 栄屋清水ビル5階	03-3584-4821	
みなと	赤枝六本木診療所	赤枝 恒雄	106-0046	港区元麻布3-1-30	03-3405-1388	
新宿区	新宿さくらクリニック	澤村 正之	169-0073	新宿区百人町2-11-22	03-3364-6333	2023年9月30日まで
	神楽坂泌尿器科クリニック	室宮 泰人	162-0804	新宿区中里町13 イーストハウス神楽坂1F	03-3267-6638	2023年10月1日から
新宿区	たつきクリニック	矢谷 達樹	160-0023	新宿区西新宿7-16-14 ミクラ西新宿ビル2F	03-5348-7074	
新宿区	植松医院	植松 幹雄	169-0075	新宿区高田馬場1-32-14 UKビル2F	03-3209-5608	
新宿区	医療法人社団川添記念会 四谷川添産婦人科	力武 義之	160-0017	新宿区左門町18	03-3351-2315	2023年4月1日から
新宿区	竹下医院	竹下 智史	169-0075	新宿区高田馬場2-14-22	03-3200-1281	
新宿区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立大久保病院	高田 淳子	160-8488	新宿区歌舞伎町2-44-1	03-5273-7711	
新宿区	しらかば診療所	井戸田 一朗	162-0065	新宿区住吉町8-28 B・STEPビル2階	03-5919-3127	
文京	細部医院	細部 高英	113-0031	文京区根津1-1-15	03-3822-6858	
台東	佐々木医院	佐々木 貴子	111-0032	台東区浅草5-33-12	03-3872-6776	
台東	永寿総合病院	高橋 峰夫	110-8645	台東区東上野2-23-16	03-3833-8381	
墨田区	南外科泌尿器科	南 孝明	131-0032	墨田区東向島5-38-14	03-3614-2511	
墨田区	賛育会病院	高本 眞一	130-0012	墨田区太平3-20-2	03-3622-9191	
江東区	西大島駅と亀戸駅の間のいわぶ ち内科と泌尿器科のクリニック	岩渕 敏久	136-0072	江東区大島3-4-3 タワーレジデンス西大島2階	03-3683-3137	○
江東区	江東病院	宮崎 亮一郎	136-0072	江東区大島6-8-5	03-3685-2166	
品川区	医療法人社団OURS KARADA内科クリニック	佐藤 昭裕	140-0031	品川区西五反田1-2-8 FPG links GOTANDA 10F	03-3495-0192	
大田区	前村医院	前村 由美	143-0014	大田区大森中2-19-17	03-3761-3955	
大田区	東京蒲田病院	小山 豊	144-0051	大田区西蒲田7-10-1	03-3733-0525	
渋谷区	医療法人社団三昭会 渋谷新南口クリニック	秋山 昭人	150-0002	渋谷区渋谷3-28-8 第三久我屋ビル2F	03-3406-6301	
渋谷区	赤阪医院	赤阪 雄一郎	150-0001	渋谷区神宮前3-31-9	03-3401-7506	
渋谷区	JR東京総合病院	奥山 伸彦	151-8528	渋谷区代々木2-1-3	03-3320-2204	
渋谷区	笹塚レディースクリニック	足立 匡	151-0073	渋谷区笹塚1-30-3 ピラージュ笹塚III4F	03-3481-0380	2023年1月1日から
渋谷区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立広尾病院	秋山 邦久	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	*
中野区	やなだクリニック	築田 周一	164-0013	中野区弥生町6-2-20	03-5342-9511	
中野区	新渡戸記念中野総合病院	後藤 智隆	164-8607	中野区中央4-59-16	03-3382-1231	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
杉並	荻窪駅前クリニック	吉田 正林	167-0051	杉並区荻窪5-27-8 FCビル4F	03-3220-9622	
杉並	荻窪病院	杉山 武	167-0035	杉並区今川3-1-24	03-3399-1101	
池袋	安康レディースクリニック	安康 善雄	171-0014	豊島区池袋2-42-3 オスカービル2F	03-3971-3544	
池袋	真和クリニック	森田 博人	171-0021	豊島区西池袋1-25-1	03-3971-3272	2023年3月31日まで
	要町駅前クリニック	堀 祐太郎	171-0043	豊島区要町1-1-11 要町KTビル7F	03-3955-0022	2023年4月1日から
池袋	渡辺胃腸科医院	渡辺 伸介	170-0005	豊島区南大塚1-53-1	03-3943-6371	○
北区	十条銀座診療所	平林 徹	114-0034	北区上十条2-30-4	03-3908-1826	
荒川	加藤産婦人科医院	加藤 寛彦	116-0001	荒川区町屋2-9-21	03-3895-3521	2023年5月31日まで
	医療法人社団静産会 あらかわレディースクリニック	楠木 総司	116-0001	荒川区町屋1-8-8	03-6807-8867	2023年6月1日から
板橋区	本多医院	本多 章乃	173-0023	板橋区大山町18-12	03-3959-0807	
板橋区	板橋中央総合病院	石田 友彦	174-8691	板橋区小豆沢2-12-7	03-3967-1181	
足立	長門クリニック	渡邊 秀樹	120-0002	足立区中川2-5-8	03-3605-3131	
足立区	博慈会記念総合病院	林 達郎	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	03-3899-1311	2023年6月30日まで
	医療法人社団成和会 西新井病院	谷本 修二	123-0845	足立区西新井本町1-12-12	03-5647-1700	2023年7月1日から
江戸川	医療法人社団理弘会 岩倉病院	岩倉 孝雄	133-0056	江戸川区南小岩7-28-4	03-3659-3215	○
江戸川	医療法人社団山紫会 とおるクリニック	田中 徹	132-0011	江戸川区瑞江2-3-1 瑞江駅前ビル3F	03-5664-8020	
八王子市	新クリニック	福嶺 紀隆	193-0931	八王子市台町2-16-8	042-621-6203	
八王子市	西島産婦人科	西島 重信	193-0835	八王子市千人町1-8-5	042-661-6642	○
八王子市	米山産婦人科クリニック	花岡 素美	192-0065	八王子市新町2-12	042-642-5225	
八王子市	はぎの医院	萩野 大輔	192-0066	八王子市本町11-6	042-622-2206	
町田市	ベルンの森クリニック	小木 三郎	194-0215	町田市小山ヶ丘4-3-1	042-775-3553	
多摩立川	泉医院	泉 康二	190-0012	立川市曙町2-14-16	042-522-2233	
多摩立川	こむかひ産婦人科	小武海 成之	190-0022	立川市錦町2-3-30	050-3588-0123	
多摩府中	武蔵野陽和会病院	長倉 和彦	180-0012	武蔵野市緑町2-1-33	0422-52-3212	
多摩府中	武蔵野赤十字病院	泌尿器科部長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	*
多摩府中	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立多摩総合 医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	*
多摩小平	真能クリニック	真能 純一	187-0045	小平市学園西町2-13-37 カミデビル2F	042-342-8280	

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる。

基幹（25定点）

2023年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	東京通信病院	小野 正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○*
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	総務課長	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○*
新宿区	(社)聖母会 聖母病院	猪野 雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○*
新宿区	東京女子医科大学病院	病院長	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○#
文京	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立駒込病院	医事課長	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	○
墨田区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立墨東病院	医事課長	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	○
大田区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立荏原病院	医事課長	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000	○
世田谷	国立成育医療研究センター	医事課長	157-8535	世田谷区大蔵2-10-1	03-3416-0181	
世田谷	公立学校共済組合 関東中央病院	医事課長	158-8531	世田谷区上用賀6-25-1	03-3429-1171	
渋谷区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立広尾病院	医事課長	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	○&
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○*
杉並	河北総合病院	岡井 隆広	166-8588	杉並区阿佐谷北1-7-3	03-3339-2121	
池袋	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立大塚病院	病歴係長	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211	○
板橋区	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立豊島病院	医事課長	173-0015	板橋区栄町33-1	03-5375-1234	○
葛飾	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立東部地域 病院	医事課長	125-8512	葛飾区亀有5-14-1	03-5682-5111	○
八王子市	東京医科大学 八王子医療センター	医事課長	193-0998	八王子市館町1163	042-665-5611	○
西多摩	青梅市立総合病院 市立青梅総合医療センター	医事課長	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191	2023年11月1日 ○医療機関名称変更
多摩立川	国家公務員共済組合連合会 立川病院	医事課長	190-8531	立川市錦町4-2-22	042-523-3131	○
多摩府中	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立多摩総合 医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	○&
多摩府中	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立小児総合 医療センター	医事課 医事管理係	183-8561	府中市武蔵台2-8-29	042-300-5111	○
多摩府中	武蔵野赤十字病院	総務課長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	○&
多摩小平	地方独立行政法人 東京都立 病院機構 東京都立多摩北部 医療センター	医事課長	189-8511	東村山市青葉町1-7-1	042-396-3811	○
多摩小平	公立昭和病院	医事課長	187-8510	小平市花小金井8-1-1	042-461-0052	○
島しょ	町立八丈病院	業務課長	100-1511	八丈島八丈町三根26-11	04996-2-1188	○

2024年変更医療機関

2024年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○ * 2024年4月1日 医療機関名称変更
	杏林大学医学部付属杉並病院					

備考欄に「○」の表示がある医療機関は、病原体定点を兼ねる。

備考欄に「*」、「#」、「&」の表示がある医療機関は、それぞれ小児科、眼科、性感染症定点を兼ねる。

疑似症 (36定点)

2023年12月31日 現在

保健所名	種別	医療機関名	郵便番号	所在地	備考
千代田		東京通信病院	102-0071	千代田区富士見2-14-23	
中央区		聖路加国際病院	104-8560	中央区明石町9-1	
みなと		虎の門病院	105-8470	港区虎ノ門2-2-2	
みなと		東京慈恵会医科大学附属病院	105-0003	港区西新橋3-19-18	
新宿区	特定	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	162-8655	新宿区戸山1-21-1	
新宿区		東京女子医科大学病院	162-8666	新宿区河田町8-1	
文京	一種	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立駒込病院	113-8677	文京区本駒込3-18-22	
台東		永寿総合病院	110-8645	台東区東上野2-23-16	
墨田区	一種	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立墨東病院	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	
江東区		昭和大学江東豊洲病院	135-8577	江東区豊洲5-1-38	
品川区		昭和大学病院	142-8666	品川区旗の台1-5-8	
大田区	一種	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立荏原病院	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	
大田区		東邦大学医療センター大森病院	143-8541	大田区大森西6-11-1	
目黒区		独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター	152-8902	目黒区東が丘2-5-1	
世田谷	一種	自衛隊中央病院	154-0001	世田谷区池尻1-2-24	
渋谷区		日本赤十字社医療センター	150-0012	渋谷区広尾4-1-22	
渋谷区		地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立広尾病院	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	
中野区		東京警察病院	164-8541	中野区中野4-22-1	
杉並		河北総合病院	166-0001	杉並区阿佐谷北1-7-3	
池袋		地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立大塚病院	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	
北区		公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センター	115-0053	北区赤羽台4-17-56	
板橋区	二種	地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立豊島病院	173-0015	板橋区栄町33-1	
練馬区		練馬光が丘病院	179-0072	練馬区光が丘2-11-1	
足立		東京女子医科大学 附属足立医療センター	123-8558	足立区江北4-33-1	
足立		博慈会記念総合病院	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	
葛飾区		東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター	125-8506	葛飾区青戸6-41-2	
江戸川		日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院	134-0086	江戸川区臨海町1-4-2	
八王子市	二種	東京医科大学八王子医療センター	193-0998	八王子市館町1163	
町田市		町田市民病院	194-0023	町田市旭町2-15-41	
西多摩	二種	青梅市立総合病院	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	
南多摩		地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院	206-0036	多摩市中沢2-1-2	
多摩立川	二種	国家公務員共済組合連合会 立川病院	190-8531	立川市錦町4-2-22	
多摩立川		社会医療法人 社団健生会 立川相互病院	190-8578	立川市緑町4-1	
多摩府中	二種	武蔵野赤十字病院	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	
多摩小平	二種	公立昭和病院	187-8510	小平市花小金井8-1-1	
島しょ	二種	町立八丈病院	100-1511	八丈島八丈町三根26-11	

2 東京都感染症予防検討委員会委員名簿

2023年12月31日現在 : 順不同

氏名	役職
◎ 櫻山 豊夫	東京都結核予防会理事
○ 岡部 信彦	川崎市健康安全研究所長
○ 萩原 温久	萩原医院 (東京小児科医会)
永井 英明	独立行政法人 国立病院機構東京病院感染症科部長
尾形 英雄	結核予防会複十字病院安全管理特任部長
尾本 光祥 *	北区保健所長
河合 江美	町田市保健所長
今村 顕史	地方独立行政法人 東京都立病院機構 がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科部長
丸山 玄	東京都保健医療局健康安全部食品危機管理担当課長
村田 ゆかり *	東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課疫学情報担当課長
高橋 琢理 *	国立感染症研究所感染症疫学センター第四室室長
カエベタ 亜矢	東京都保健医療局感染症対策部防疫課長
山本 史郎	山本医院 (東京泌尿器科医会)
武知 公博	公立昭和病院 産婦人科 (東京産婦人科医会)
時田 章史 *	クリニックばんびいに (東京小児科医会)
稲毛 佐知子 *	いなげ眼科 (東京都眼科医会)
美田 敏宏	順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座教授
山下 隆博	恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院副院長・産婦人科部長
池田 忠生	元日本大学医学部准教授

川上一 恵 東京都医師会理事 (疾病担当)

◎委員長 ○副委員長

* 2023年4月1日から

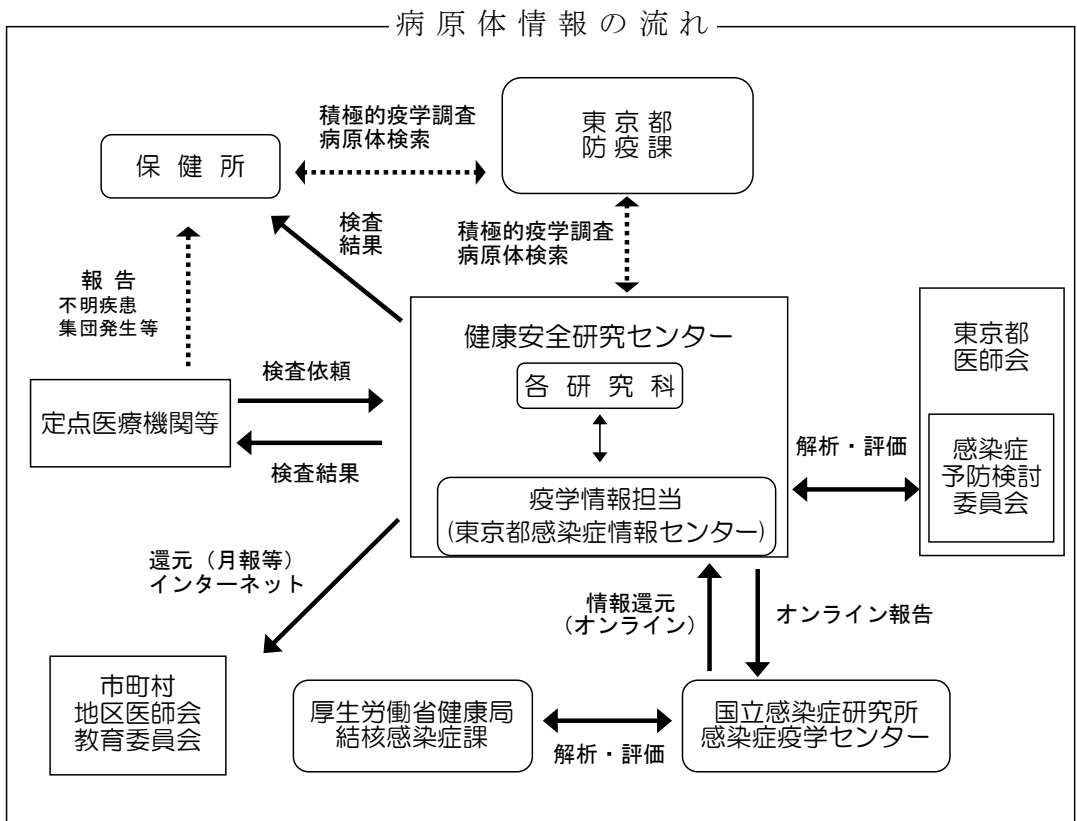
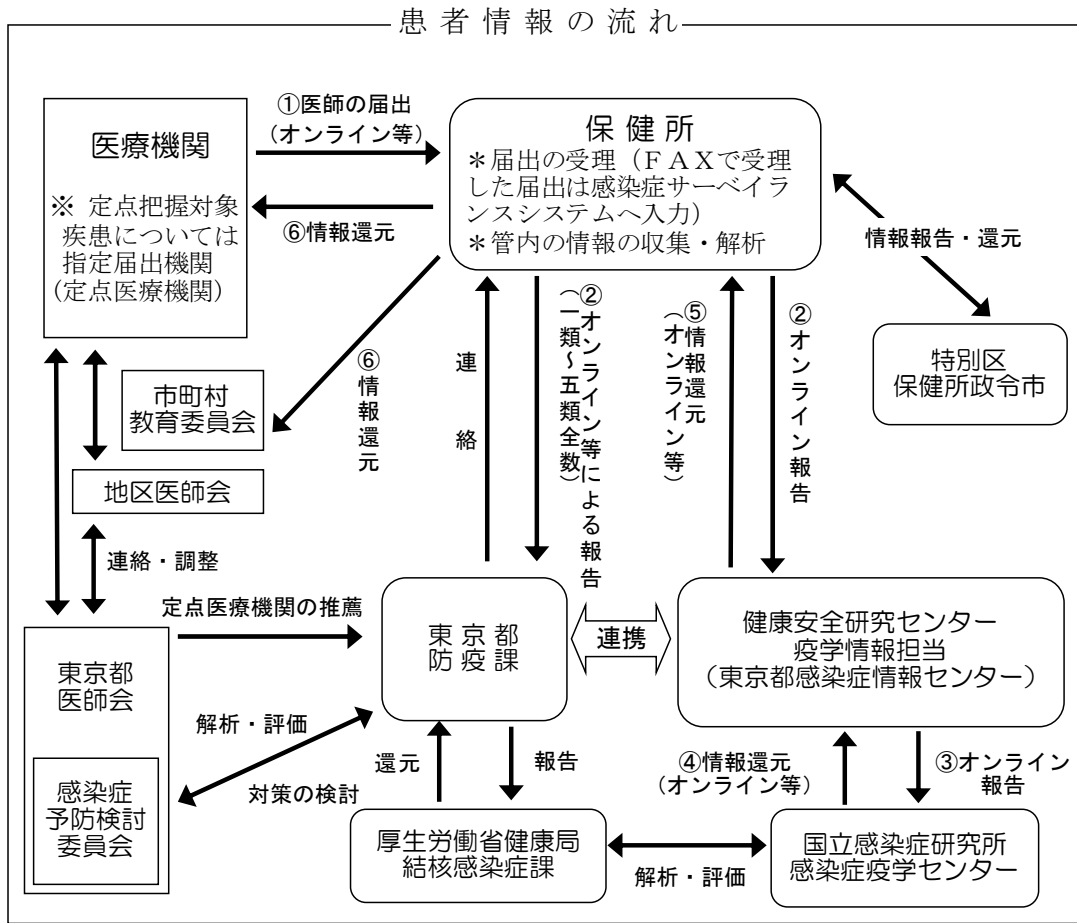
2023年3月31日まで

前田 秀雄	北区保健所長
吉田 敦	東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課疫学情報担当課長
黒澤 サト子	くろさわ子ども&内科クリニック (東京小児科医会)
倉本 慶子	小松眼科 (東京都眼科医会)

2023年8月31日まで

有馬 雄三	国立感染症研究所感染症疫学センター第四室室長
-------	------------------------

3 東京都感染症発生動向調査事業の流れ



東京都感染症発生動向調査事業実施要綱

11 衛福結第680号
平成12年3月30日
最終改正 6 保医感防第261号
令和6年5月31日

第1 趣旨及び目的

感染症発生動向調査事業については、昭和56年7月から18疾病を対象に開始され、昭和62年1月からは対象疾病を27に拡大するとともにコンピュータを用いたオンラインシステムを導入、以後、順次対象疾病の拡大を図りながら運用されてきたところである。

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）により、本事業が、事前対応型行政を重視した感染症対策の一つとして位置づけられることになった。

これを受け、本事業は、感染症の発生状況の正確な把握と分析、その結果の国民や医療関係者への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ確かな予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止するとともに、病原体情報を収集、分析することで、流行している病原体の検出状況及び特性を確認し、適切な感染症対策を立案することを目的として実施するものとする。

第2 根拠法令等

本事業の実施に当たっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱に基づくものとする。

第3 対象感染症

この事業の対象とする感染症は、別表1のとおりとする。

第4 実施体制

1 地方感染症情報センター及び基幹地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、東京都、特別区及び保健所政令市における患者情報、疑似症情報及び病原体情報（検査情報を含む。以下同じ。）を収集・分析し、東京都、特別区及び保健所政令市の本庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開するために、東京都及び各特別区内に1か所、地方衛生研究所等の中に設置されている。

基幹地方感染症情報センターである東京都健康安全研究センター（以下「健康安全研究センター」という。）は、東京都全域の患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、その結果を各地方感染症情報センターに送付する。

2 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

- (1) 東京都は、定点把握対象の感染症についての、患者及び当該感染症により死亡した者（感染症法第14条第1項の厚生労働省令で定める五類感染症に限る。）の情報及び疑似症情報

報を収集するため、感染症法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点をあらかじめ選定する。

- (2) 東京都は、定点把握対象の五類感染症についての、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ選定する。なお、感染症法施行規則第7条の2に規定する五類感染症については、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。
- (3) 東京都は、上記（1）及び（2）に係る指定届出機関及び指定提出機関との連絡調整及び推薦等に係る業務を、東京都医師会に委託することができる。

3 感染症予防検討委員会

- (1) 東京都内における情報の収集、分析の効果的・効率的な運用を図るため、小児科、内科、眼科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、微生物学、疫学、獣医学、昆虫学等の専門家、保健所及び地方衛生研究所の代表、地域の医師会の代表等（10名程度）からなる感染症予防検討委員会を置く。
- (2) 東京都は、上記（1）に係る事務を、東京都医師会へ委託することができる。

4 検査施設

東京都内における本事業に係る検体等の検査については、健康安全研究センターにおいて実施する。健康安全研究センターは、検査施設における病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

第5 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断又は検案した医師

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）」（令和5年9月25日付感感発0925第2号厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課長通知。以下「届出基準」という。）に基づき診断した場合及び当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体を検案した場合は、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により、本要綱の別記様式8から9、及び11から74を用いて、届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等を提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて保健医療局感染症対策部防疫課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあつては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、保健医療局感染症対策部防疫課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、患者が一類感染症と診断されている場合（疑いを含む。）又は東京都域を越えた感染症の集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から求められた場合にあつては、保健医療局感染症対策部防疫課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

オ 情報の報告等

(ア) 都道府県知事、保健所を設置する市又は特別区の長（以下「都道府県知事等」という。）は、その管轄する区域外に居住する者について法第12条第1項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事等に通報する。保健所を設置する市又は特別区の長（以下「保健所設置市等の長」という。）が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(イ) 保健所設置市等の長は、厚生労働大臣に対して、

- ・ 法第12条の規定による発生届出の一連の事務の中で、同条第2項の報告を行う場合
- ・ 法第15条の規定による積極的疫学調査の一連の事務の中で、同条第13項の報告を行う場合は、併せて都道府県知事に報告する。

(ウ) 都道府県知事等は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第15条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道

府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

(エ) (ア) から (ウ) の報告等について、感染症サーベイランスシステムにより相互に情報を閲覧できる措置を講じた場合は、当該報告をしたものとみなす。

2 全数把握対象の五類感染症（別表 1 の 7 5、8 5 及び 8 6 に掲げるものを除く。）

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断又は検案した医師

全数把握対象の五類感染症（別表 1 の 7 5、8 5 及び 8 6 に掲げるものを除く。）を届出基準に基づき診断した又は当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体を検案した医師は、7 日以内に最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により、国の定める届出基準の別記様式 5-1 から 5-1 1、5-1 3 から 5-1 5、5-1 7 から 5-2 1、5-2 4 並びに本要綱の別記様式 1 0 を用いて、届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて保健医療局感染症対策部防疫課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所等からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を經由して診断した医師に通知するとともに、保健所、保健医療局感染症対策部防疫課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

- (エ) 健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、保健医療局感染症対策部防疫課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。
- (オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

3 定点把握対象の五類感染症

(1) 対象とする感染症患者の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合及び当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体と検案される場合とする。

(2) 定点の選定

ア 患者定点

定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(ア) 小児科定点

対象感染症のうち、別表1の88、89、91、92、97、101から103まで、105、111、114及び116までに掲げるものについては、小児科を標ぼうする医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定する。この場合において、小児科定点として指定された医療機関は、インフルエンザ定点、新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」とする。）定点として協力するよう努めること。なお、インフルエンザ定点とCOVID-19定点は同一とする（インフルエンザ／COVID-19定点）。

(イ) インフルエンザ／COVID-19 定点

対象感染症のうち、別表1の90に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。以下同じ。）及び96に掲げる新型コロナウイルス感染症については、前記（ア）で選定した小児科定点のうちインフルエンザ定点及びCOVID-19定点として協力する小児科定点に加え、内科を標ぼうする医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ／COVID-19 定点とする。

(ウ) 眼科定点

対象感染症のうち、別表1の93及び110に掲げるものについては、眼科を標ぼうする医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）を眼科定点として指定する。

(エ) 性感染症定点

対象感染症のうち、別表1の98から100まで、112及び115までに掲げるものについては、産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和二十三年政令第三百二十六号）第三条の二第一項第一号ハ及びニ(2)の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標ぼうする医療機関（主として各々の標ぼう科の医療を提供しているもの）を性感染症定点として指定する。

(オ) 基幹定点

対象感染症のうち、別表1の90及び96に掲げるもの（届出基準はインフルエンザ／COVID-19 定点と異なり、入院患者に限定される）、別表1の94、95、104、106から109まで及び113までに掲げるものについては、患者を300人以上収容する施設を有する病院であって、内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を二次医療圏毎に1か所以上、基幹定点として指定する。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、病原体定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(ア) 医療機関を病原体定点として選定する場合は、原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定する。

(イ) アの(ア)により選定された患者定点の概ね10%を小児科病原体定点とし、別表1の88、89、91、92、97、101から103まで、105、111、114及び116までを対象感染症とする。

(ウ) アの(ア)及び(イ)により選定された患者定点の概ね10%をインフルエンザ病原体定点とし、別表1の90を対象感染症とする。また、インフルエンザ病原体定点を、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として指定する。

(エ) アの(ウ)により選定された患者定点の中から眼科病原体定点を選定し、別表1の93及び110を対象感染症とする。

(オ) アの(エ)により選定された患者定点の中から性感染症病原体定点を選定し、別表1の98から100まで、112及び115を対象感染症とする。

(カ) アの(オ)により選定された患者定点の中から基幹病原体定点を選定し、別表1の90に掲げるインフルエンザ（入院患者に限る。）、別表1の94、95、104、106から109まで及び113までを対象感染症とする。

(3) 調査単位等

ア 患者情報

調査単位の期間等は、別表2のとおりとする。

イ 病原体情報

病原体情報のうち、(2)のイの(ウ)により選定された病原体定点に関するものについては、別表1の90に掲げるインフルエンザの流行期（(2)のアの(イ)により選定された患者定点あたりの患者発生数が東京都全体で1を超えた時点から1を下回るまでの間）には1週間（月曜日から日曜日）を調査単位とし、非流行期（流行期以外の期間）には各月を調査単位とする。その他病原体定点に関するものについては、各月を調査単位とする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

(ア) 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準を参考とし、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれの調査単位の患者発生状況を届け出る。

(ウ) (イ) の届出に当たっては、感染症法施行規則第7条に従い行うとともに、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により、別記様式2から7を用いて、届出を行う。

イ 病原体定点

(ア) 病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のために検体等を採用する。

(イ) 病原体定点は、検体等について、別記様式1の検査票を添付し、速やかに健康安全研究センターへ送付する。

(ウ) (2) のイの(イ)により選定された病原体定点においては、別表1の88、89、91、92、97、101から103まで、105、111、114及び116までの対象感染症のうち、調査単位ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付するものとする。

(エ) (2) のイの(ウ)により選定された病原体定点においては、別表1の90に掲げるインフルエンザ(インフルエンザ様疾患を含む。)について、調査単位ごとに、少なくとも1検体を送付するものとする。

ウ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

エ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医療機関からの届出である場合には、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症サーベイランスシステムに入力するものとし、併せて、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、保健医療局感染症対策部防疫課及び健康安全研究センターに報告する。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて保健医療局感染症対策部防疫課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

オ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所等からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、別記様式1の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとと

もに、別記様式1により保健所、保健医療局感染症対策部防疫課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあつては、保健医療局感染症対策部防疫課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

4 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点）

(1) 対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 疑似症定点の選定

東京都は、関係医師会の協力を得て、国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱第5の4(2)に定める基準を満たす医療機関の中から疑似症定点を選定する。また、疑似症定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(3) 調査単位

調査単位の期間等は、別表3のとおりとする。

(4) 実施方法

ア 疑似症定点

(ア) 疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) 疑似症定点として選定された医療機関は、届出基準に従い、直ちに疑似症発生状況を届け出る。

(ウ) (イ) の届出に当たっては、感染症法施行規則第7条に従い行うとともに、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により、国の定める届出基準の別記様式6-7を用いて、届出を行う。

イ 保健所

(ア) 保健所は、疑似症定点から得られた疑似症情報を、随時保健医療局感染症対策部防疫課に報告する。

また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、保健医療局感染症対策部防疫課及び健康安全研究センターに報告する。

(イ) 保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

ウ 保健医療局感染症対策部防疫課

保健医療局感染症対策部防疫課は保健所から得られた疑似症情報を健康安全研究センターに

報告する。

エ 健康安全研究センター

基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての疑似症情報を収集し、疑似症定点において感染症サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を感染症サーベイランスシステムに入力する。また、当該情報を分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

5 その他

- (1) 上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、東京都の実情に応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査体制を構築していくこととする。
- (2) 感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的のために用いてはならない。また、検体採取の際には、その使用目的について説明の上、できるだけ、本人等に同意をとることが望ましい。なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の規定に従い行うものとする。
- (3) 本実施要綱に定める事項以外の内容については、必要に応じて保健医療局長が定めることとする。

6 特別区及び保健所政令市との関係

東京都は、本事業を実施するため特別区及び保健所政令市と協議し、連携を図るものとする。

附 則

この実施要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成15年11月5日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成16年8月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成19年6月15日から施行し、同年4月1日から適用する。

- 附 則
この実施要綱は、平成20年1月31日から施行し、同年1月1日から適用する。
- 附 則
この実施要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成20年7月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成22年3月16日から施行し、同年3月11日から適用する。
- 附 則
この実施要綱は、平成23年2月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成23年4月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成23年9月5日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成25年4月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成25年5月22日から施行し、同年5月6日から適用する。
- 附 則
この実施要綱は、平成25年10月14日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成26年6月12日から施行し、同年5月12日から適用する。
- 附 則
この実施要綱は、平成26年8月13日から施行し、同年7月26日から適用する。附 則
この実施要綱は、平成26年9月19日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成27年2月25日から施行し、同年1月21日から適用する。
- 附 則
この実施要綱は、平成27年5月21日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成28年1月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成28年2月15日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成28年4月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成30年1月1日から施行する。
- 附 則
この実施要綱は、平成30年5月1日から施行する。
- 附 則

この実施要綱は、平成31年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和元年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年2月3日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年5月13日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年6月24日から施行し、5月29日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和2年6月25日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年10月2日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和2年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和3年3月31日から施行し、同年2月13日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和3年6月18日から施行し、同年6月3日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和3年12月14日から施行し、同年12月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和4年3月31日から施行し、同年3月17日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和4年6月30日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和4年8月29日から施行し、同年8月19日から適用する。

附 則

この実施要綱は、令和4年10月31日から施行する。

附 則

1 この要綱は、令和5年5月8日から施行する。

2 この要綱の施行の日から令和5年6月30日までの間、第5中「保健医療局感染症対策部防疫課」とあるのは「福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課」、「保健医療局長」とあるのは「福祉保健局長」とする。

附 則

この実施要綱は、令和5年5月26日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和5年9月25日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和6年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、令和6年6月1日から施行する。

感染症法に基づく感染症の分類

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
一類	1 エボラ出血熱	○	○	○	全数	直ちに
	2 クリミア・コンゴ出血熱					
	3 痘そう					
	4 南米出血熱					
	5 ベスト					
	6 マールブルグ病					
	7 ラッサ熱					
二類	8 急性灰白髄炎	○	—	○	全数	直ちに
	9 結核	○	○	△※		
	10 ジフテリア	○	—	○		
	11 重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○		
	12 中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○		
	13 鳥インフルエンザ (H5N1)	○	○	○		
14 鳥インフルエンザ (H7N9)	○	○	○			
三類	15 コレラ	○	—	○	全数	直ちに
	16 細菌性赤痢	○	—	○		
	17 腸管出血性大腸菌感染症	○	—	○		
	18 腸チフス	○	—	○		
	19 パラチフス	○	—	○		
四類	20 E型肝炎	○	—	○	全数	直ちに
	21 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	○	—	○		
	22 A型肝炎	○	—	○		
	23 エキノコックス症	○	—	○		
	24 エムボックス	○	—	○		
	25 黄熱	○	—	○		
	26 オウム病	○	—	○		
	27 オムスク出血熱	○	—	○		
	28 回帰熱	○	—	○		
	29 キャサヌル森林病	○	—	○		
	30 Q熱	○	—	○		
	31 狂犬病	○	—	○		
	32 コクシジオイデス症	○	—	○		
	33 ジカウイルス感染症	○	—	○		
	34 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	○	—	○		
	35 腎症候性出血熱	○	—	○		
	36 西部ウマ脳炎	○	—	○		
	37 ダニ媒介脳炎	○	—	○		
	38 炭疽	○	—	○		
	39 チクングニア熱	○	—	○		
40 つつが虫病	○	—	○			
41 デング熱	○	—	○			
42 東部ウマ脳炎	○	—	○			
43 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く)	○	—	○			
44 ニバウイルス感染症	○	—	○			
45 日本紅斑熱	○	—	○			
46 日本脳炎	○	—	○			
47 ハンタウイルス肺症候群	○	—	○			

※結核の無症状病原体保有者については、結核医療を必要としないと認められる場合は届出不要。

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
48	Bウイルス病	○	—	○	全数	直ちに
49	鼻疽	○	—	○		
50	ブルセラ症	○	—	○		
51	ベネズエラウマ脳炎	○	—	○		
52	ヘンドラウイルス感染症	○	—	○		
53	発しんチフス	○	—	○		
54	ボツリヌス症	○	—	○		
55	マラリア	○	—	○		
56	野兎病	○	—	○		
57	ライム病	○	—	○		
58	リッサウイルス感染症	○	—	○		
59	リフトバレー熱	○	—	○		
60	類鼻疽	○	—	○		
61	レジオネラ症	○	—	○		
62	レプトスピラ症	○	—	○		
63	ロッキー山紅斑熱	○	—	○		
指定感染症	—	—	—	—	—	—

※令和6年5月31日現在、政令に基づく指定感染症なし。

2 五類感染症（全数把握）

	疾患名	届出対象者			届出方法			
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期		
64	アメーバ赤痢	○	—	—	全数	7日以内		
65	ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	○	—	—				
66	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	○	—	—				
67	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。)	○	—	—				
68	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	○	—	—				
69	クリプトスポリジウム症	○	—	—				
70	クロイツフェルト・ヤコブ病	○	—	—				
71	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	—	—				
72	後天性免疫不全症候群	○	—	○				
73	ジアルジア症	○	—	—				
74	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	—	—				
75	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	—	—			全数	直ちに
76	侵襲性肺炎球菌感染症	○	—	—			全数	7日以内
77	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。)	○	—	—				
78	先天性風しん症候群	○	—	—				
79	梅毒	○	—	○				
80	播種性クリプトコックス症	○	—	—				
81	破傷風	○	—	—				
82	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—				
83	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	—	—				
84	百日咳	○	—	—				
85	風しん	○	—	—	全数	直ちに		
86	麻しん	○	—	—	全数	7日以内		
87	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	—	—				

3 新型インフルエンザ等感染症

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
117	新型インフルエンザ	○	○	○	全数	直ちに
118	再興型インフルエンザ	○	○	○		
119	新型コロナウイルス感染症	○	○	○		
120	再興型新型コロナウイルス感染症	○	○	○		

4 五類感染症（定点把握）

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別 (定点)	時期
88	RSウイルス感染症	○	—	—	別表2参照	
89	咽頭結膜熱	○	—	—		
90	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	○	—	—		
91	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	—	—		
92	感染性胃腸炎	○	—	—		
93	急性出血性結膜炎	○	—	—		
94	クラミジア肺炎（オウム病を除く。)	○	—	—		
95	細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)	○	—	—		
96	新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))	○	—	—		
97	水痘	○	—	—		
98	性器クラミジア感染症	○	—	—		
99	性器ヘルペスウイルス感染症	○	—	—		
100	尖圭コンジローマ	○	—	—		
101	手足口病	○	—	—		
102	伝染性紅斑	○	—	—		
103	突発性発しん	○	—	—		
104	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	—	—		
105	ヘルパンギーナ	○	—	—		
106	マイコプラズマ肺炎	○	—	—		
107	無菌性髄膜炎	○	—	—		
108	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—		
109	薬剤耐性緑膿菌感染症	○	—	—		
110	流行性角結膜炎	○	—	—		
111	流行性耳下腺炎	○	—	—		
112	淋菌感染症	○	—	—		
113	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	○	—	—		
114	川崎病 (都単独)	○	—	—		
115	臈トリコモナス症 (都単独)	○	—	—		
116	不明発しん症 (都単独)	○	—	—		

5 疑似症

	届 出 対 象	届 出 対 象 者			調 査 単 位 (期間)	時 期
		患 者	疑 似 症 患 者	無 症 状 病 原 体 保 有 者		
121	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状 その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に 認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これ に準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と 診断することができないと判断したもの。	—	○	—	別表3参照	

6 法第14条第8項の規定に基づく把握

	届 出 対 象	届 出 対 象 者			調 査 単 位 (期間)	時 期
		患 者	疑 似 症 患 者	無 症 状 病 原 体 保 有 者		
122	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状 その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に 認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これ に準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と 診断することができないと判断したものであって、当該感 染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生 し、又は発生するおそれがあると判断し、知事が指定届出 機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基 づき届出を求めたもの。	—	○	—	別表3参照	

五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期

定点種別	疾患名	調査単位 (期間)	時期
小児科定点 ※	R S ウイルス感染症	週単位 (月曜日から 日曜日。以下同じ。)	次の月曜日
	咽頭結膜熱		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		
	感染性胃腸炎		
	水痘		
	手足口病		
	伝染性紅斑		
	突発性発しん		
	ヘルパンギーナ		
	流行性耳下腺炎		
	不明発しん症 (都単独)		
	川崎病 (都単独)		
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)		
新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。) であるものに限る。)			
内科定点※	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	週単位	次の月曜日
	新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。) であるものに限る。)		
眼科定点	急性出血性結膜炎	週単位	次の月曜日
	流行性角結膜炎		
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	月単位	翌月初日
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ		
	淋菌感染症		
	膻トリコモナス症 (都単独)		
基幹 定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	週単位	次の月曜日
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)		
	細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)		
	マイコプラズマ肺炎		
	無菌性髄膜炎		
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。入院患者のみ。)		
新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。) であるものに限る。入院患者のみ。)			
基幹定点	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	月単位	翌月初日
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		

※小児科定点と内科定点を合わせてインフルエンザ/COVID-19定点とする。

疑似症の調査単位と報告時期

定点種別	届出対象	調査単位 (期間)	時 期
疑似症定点	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	随時	直ちに
法第14条第8項の規定に基づく把握	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。	随時	直ちに

(注)

- 1 感染症法に規定する感染症によるものでないことが明らかである場合には、本届出の対象とはならない。
- 2 感染症法に規定する感染症によるものであることが明らかであり、かつ、いずれの感染症であるかが特定可能な場合には、当該感染症の届出基準に基づき届出を行うこととなるため、本届出の対象とはならない。

別記様式一覧表

別記様式	件名等	別記様式	件名等
1	感染症発生動向調査病原体定点検査票	38	キャサナル森林病発生届
2	五類感染症（定点把握対象）小児科患者定点報告票	39	Q熱発生届
3	五類感染症（定点把握対象）インフルエンザ/COVID-19 患者定点報告票	40	狂犬病発生届
4	五類感染症（定点把握対象）眼科患者定点報告票	41	コクシジオイデス症発生届
5	五類感染症（定点把握対象）性感染症患者定点報告票	42	エムボックス発生届
6-1 6-2 6-3	五類感染症（定点把握対象）基幹患者定点報告票（週報告分）	43	ジカウイルス感染症発生届
7	五類感染症（定点把握対象）基幹患者定点報告票（月報告分）	44	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）発生届
8	麻疹発生届	45	腎症候性出血熱（HFRS）発生届
9	結核発生届	46	西部ウマ脳炎発生届
10	梅毒発生届	47	ダニ媒介脳炎発生届
11	風しん発生届	48	炭疽発生届
12	エボラ出血熱発生届	49	チクングニア熱発生届
13	クリミア・コンゴ出血熱発生届	50	つつが虫病発生届
14	痘そう発生届	51	デング熱発生届
15	南米出血熱発生届	52	東部ウマ脳炎発生届
16	ベスト発生届	53	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9）を除く。）発生届
17	マールブルグ病発生届	54	ニバウイルス感染症発生届
18	ラッサ熱発生届	55	日本紅斑熱発生届
19	急性灰白髄炎発生届	56	日本脳炎発生届
20	ジフテリア発生届	57	ハンタウイルス肺症候群（HPS）発生届
21	重症急性呼吸器症候群（SARS）発生届	58	Bウイルス病発生届
22	中東呼吸器症候群（MERS）発生届	59	鼻疽発生届
23	鳥インフルエンザ（H5N1）発生届	60	ブルセラ症発生届
24	鳥インフルエンザ（H7N9）発生届	61	ベネズエラウマ脳炎発生届
25	コレラ発生届	62	ヘンドラウイルス感染症発生届
26	細菌性赤痢発生届	63	発しんチフス発生届
27	腸管出血性大腸菌感染症発生届	64	ボツリヌス症発生届
28	腸チフス発生届	65	マラリア発生届
29	バラチフス発生届	66	野兎病発生届
30	E型肝炎発生届	67	ライム病発生届
31	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎含む）発生届	68	リッサウイルス感染症発生届
32	A型肝炎発生届	69	リフトバレー熱発生届
33	エキノコックス症発生届	70	類鼻疽発生届
34	黄熱発生届	71	レジオネラ症発生届
35	オウム病発生届	72	レプトスピラ症発生届
36	オムスク出血熱発生届	73	ロッキー山紅斑熱発生届
37	回帰熱発生届	74	侵襲性髄膜炎菌感染症発生届

各様式は東京都感染症情報センターに掲載（<https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/survey/kobetsu/>）